

2024年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健工学専攻

まえがき

本冊子は、皆さんが歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の授業を受けるうえで、知っておいていただきたい事項をまとめたものです。本専攻での履修を円滑かつ充実したものにするため、内容を理解し、活用するようにしてください。

なお、教育要項（シラバス）は電子化され冊子体は配布致しませんので、教育内容に関する情報はインターネットを利用して本学ホームページから入手してください。各科目のシラバスおよび授業スケジュールは教育支援システム（ドリームキャンパス）に、それぞれアクセスして参照してください。また、授業に関するお知らせや資料等も随時 e-learning システムの WebClass に掲載されますので、日々のチェックを心掛けるようお願いします。

2024 年 4 月

歯学部口腔保健学科教育委員会

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健工学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 高い専門知識と技術および研究マインドの修得

歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術だけでなく、最新の ICT やデジタル技術を歯科技工物製作に応用できる技術開発への基礎力を有し、Scientific Clinician・Clinical Scientist を目指す研究マインドを備えている。

4. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健工学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健工学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、専門科目の医療倫理、コミュニケーション学、PBL テュートリアルで行う口腔保健と専門職、ヘルスプロモーション、多職種連携等の履修をとおして、歯科医療人としての倫理観ならびにコミュニケーション能力を育てる。
2. 全学共通科目の自然科学、専門課程の基礎歯科医学を学び、統合力を必要とする包括臨床実習，科学的思考を必要とする研究体験実習，研究実習の履修をとおして、学際的な科学的思考と問題提起、解決能力を育成する。
3. 歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学ぶことにより、最新の ICT やデジタル技術を駆使した歯科補綴装置製作の理論と臨床への理解を深め、新たな技術開発への基礎力を培う。
4. 高齢者歯科学、周術期手術支援工学、顎顔面補綴学や 3D モデリングによる手術シミュレーション等の履修をとおして、疾患により失われた機能回復を促し、患者の QOL 向上に寄与できる能力を育成するとともに、人々の健康を支援することにより人々の幸福に貢献する、医療者としての使命感を養う。
5. 全学共通科目の外国語、専門科目の科学英語、グローバル口腔保健工学実習等の履修により、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を培う。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（2023年度以降入学者）	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（2022年度以前入学者）	18
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規(2023年度以前入学者)	23
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規(2024年度以降入学者)	25
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項(2023年度以前入学者)	27
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項(2024年度以降入学者)	29
東京医科歯科大学試験規則	31
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規	34
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項	35
国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席における取扱要項	36
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ	38
学生周知事項	
歯科技工士国家試験について	49
学生周知事項	51
災害関係連絡事項	58
学生・女性支援センター（5号館3階）について	60
保健管理センター（5号館2階）について	61
実習要件（抗体検査・ワクチン接種）について	62
図書館（M&Dタワー3・4階）について	64
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	66
湯島キャンパス案内	70
1号館西6～8階平面図	71
2号館見取り図	72
7号館平面図	73
2024年度歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻専門課程科目授業計画表	74
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻教員連絡先一覧	75

第 1 学年 履修科目

口腔保健と専門職.....	77
メディア情報学基礎.....	79
メディア情報学応用.....	81
造形美術概論実習.....	83
AI・データサイエンスのための数学.....	85
医療とAI・ビッグデータ入門.....	87
アカデミック・リテラシー.....	91
感染予防.....	94
早期臨床体験実習.....	97
う蝕と歯周病.....	100
人体の構造と機能.....	102
歯の解剖学.....	106
研究体験実習.....	109
多職種連携 I.....	111
口腔保健工学エクスターンシップ.....	116

第 2 学年 履修科目

科学英語 I.....	119
英語 II.....	121
ICCD L1 On-demand.....	138
ICCD L1 On-line.....	140
ヘルスプロモーション.....	142
グローバル口腔保健工学.....	145
口腔と全身の基礎医学.....	149
硬組織薬理学.....	153
歯の形態実習.....	159
口腔保健理工学.....	159
口腔保健理工学実習.....	163
デジタルデンティストリー基礎.....	166
全部床義歯補綴学.....	169
全部床義歯実習.....	172
デジタル全部床義歯実習.....	174
部分床義歯補綴学.....	176

部分床義歯補綴学実習	179
歯冠修復学.....	182
歯冠修復学基礎実習	185
口腔保健工学エクスターンシップ.....	188

第 3 学年 履修科目

科学英語Ⅱ	191
コミュニケーション学	193
グローバル口腔保健工学実習	196
口腔保健工学管理学.....	199
口腔外科工学.....	201
高齢者歯科工学.....	204
臨床咬合学.....	207
プロセスデバイス工学	210
部分床義歯工学実習Ⅱ	213
顎補綴工学.....	215
顎補綴工学実習	218
顔面補綴工学実習	222
臨床義歯管理工学.....	225
歯冠修復工学応用実習	229
審美修復工学.....	231
審美修復工学実習	234
CAD／CAMシステム工学実習	237
インプラント工学実習	240
小児歯科工学	243
小児歯科工学実習	245
矯正歯科工学.....	247
再建工学包括臨床実習Ⅰ	250
医療倫理	257
卒業研究Ⅰ	229
口腔保健工学エクスターンシップ.....	264

第4学年 履修科目

歯科技工士と法律.....	267
画像解析学.....	270
スポーツ歯科工学.....	273
オーラルアプライアンス工学.....	276
CAD／CAMシステム工学演習.....	279
再建工学包括臨床実習Ⅱ.....	281
再建工学包括臨床実習Ⅲ.....	292
統合基礎実習.....	294
統合応用実習.....	297
卒業研究Ⅱ.....	300
卒業研究Ⅲ.....	303
卒業製作.....	305
口腔保健工学エクスターンシップ.....	312
口腔保健工学企業研修.....	314

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
- 2 休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ （※2）		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ （※1）			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ （※2）		
	国際教養特論3	1		○	○	○ （※2）		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

」

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

4

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）
生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年9月26日規則第130号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に、在学者の属する学年に再入学、転入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年10月24日規則第131号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわら

ず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

附 則 (令和元年 5 月 8 日規則第 56 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和元年 5 月 8 日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 平成 31 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 31 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 の (1) 及び (4) 並びに別表 3 (1) 及び (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 総合診療・地域医療

別表 1 (4) 総合診療・地域医療

別表 3 (1) 総合診療・地域医療

別表 3 (3) 総合診療・地域医療

附 則 (令和 2 年 3 月 11 日規則第 49 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (1)、(3) 及び (4) の次に掲げる科目並びに別表 3 (1) の (5)、注 1 及び別表 3 (3) の (4)、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (1) 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）、社会医学及び行動科学

別表 1 (3) 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表 1 (4) 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）

3 前項の規定にかかわらず、Learning Medical English については、平成 31 年 4 月 1 日に入学した者のみ改正後の別表 1 (3) を適用する。

附 則 (令和 3 年 1 月 15 日 規則第 3 号)

1 この規則は、令和 3 年 1 月 15 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (令和 3 年 2 月 3 日 規則第 16 号)

(施行期日等)

1 この規則は、令和 3 年 2 月 3 日より施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 令和 2 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 2 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (7) 及び別表 2 のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 (7) 及び別表 2 オンライン異文化交流

附 則 (令和 3 年 3 月 31 日規則第 40 号)

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条、別表 1 (4) 及び別表 3 (1) は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

(施行期日等)

附 則 (令和 4 年 1 月 17 日規則第 6 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 4 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 4 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表 1 (2) 及び別表 1 (3) のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例（別表 1 (3) 電子顕微鏡学を除く。）による。

別表 1 (2) インディペンデントスタディ A

別表 1 (2) インディペンデントスタディ B

別表 1 (2) インディペンデントスタディ C

別表 1 (3) 生命理工学概論

附 則 (令和 4 年 1 月 31 日規則第 10 号)

1 この規則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（7）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（7）ポストコロナ社会における感染症対策

附 則（令和4年2月15日規則第15号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正前の別表1（7）のうち次に掲げる科目は、令和5年3月31日までの間は存続するものとする。

別表1（7） Introduction to Medical Anthropology

別表1（7） Decision-making in the Health Sciences

別表1（7） Health in Contemporary Japanese Society

附 則（令和4年3月1日規則第16号）

- 1 この規則は、令和4年4月1日より施行する。
- 2 令和4年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（6）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（6） 口腔保健工学エクスターンシップ

附 則（令和4年3月22日規則第44号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 令和4年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）のうち、令和2年度までに入学した者、及び令和4年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者（以下「再入学等者」という。）のうち、令和2年度までに入学した者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。

別表1（7）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習

- 3 在学者のうち令和3年度に入学した者、及び再入学等者のうち令和3年度に入学した者の属する学年に再入学、転入学または編入学する者への改正後の別表の適用は、次に掲げる科目を除いて、なお従前の例による。

別表1（1）及び（4）医療とAI・ビッグデータ応用

別表1（7）医療とAI・ビッグデータ応用、AI実践演習

附 則（令和4年10月11日規則第132号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和5年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和5年1月11日規則第4号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和5年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（3）及び（7）医療とAI・ビッグデータ応用

附 則（令和5年2月9日規則第9号）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和5年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（7）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（7）疫学基礎

別表 1 (7) 生物統計学基礎

別表 1 (7) 生物統計学応用 I

別表 1 (7) 生物統計学応用 II

別表 1 (7) 臨床試験方法論基礎

別表 1 (7) 臨床試験方法論応用

別表 1 (7) 口腔疫学基礎

別表 1 (7) 疫学応用

附 則 (令和 5 年 3 月 6 日規則第 26 号)

1 この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 5 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和 5 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
					1年		2年		3年		4年	
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	口腔保健と専門職	1			○						
		科学英語Ⅰ	1				○					
		科学英語Ⅱ	1						○			
		英語Ⅱ※1		1~4			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD)L1-L3 On-demand※2		1			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD)L1-L3 On-line		1			○	○	○	○	○	○
		International Course for Clinical Dentistry (ICCD) Advanced		0.5								○
		ヘルスプロモーション	1				○					
		メディア情報学基礎	1			○						
		メディア情報学応用	1			○						
		コミュニケーション学	1						○			
		造形美術概論実習	1			○						
		グローバル口腔保健工学	1					○				
		グローバル口腔保健工学実習	1						○	○		
		AI・データサイエンスのための数学	2			○						
		医療とAI・ビッグデータ入門	2			○						
		アカデミック・リテラシー	1			○						
専門基礎	歯科技工と歯科医療	歯科技工士と法律	1								○	
		感染予防	2			○						
		ポストコロナ社会における感染症対策※2		1			○					
		口腔保健工学管理学	1						○			

専 門 分 野		早期臨床体験実習	1				○						
		周産期手術支援工学	1							○			
		う蝕と歯周病	1				○						
		高齢者歯科工学	2								○		
	歯・口腔の構造と機能	人体の構造と機能	2				○						
		歯の解剖学	1				○						
		口腔と全身の基礎医学	2					○	○				
		硬組織薬理学※2		1				○					
		画像解析学※2		1								○	
		歯の形態実習	2					○	○				
		臨床咬合学	1							○			
	歯科材料・歯科技工器具と加工技術	口腔保健理工学	3					○					
		口腔保健理工学実習	3					○					
		デジタルデンティストリー基礎	1						○				
		デジタルデンティストリー応用	1							○			
	有床義歯技工学	顎顔面補綴学	1								○		
		顎補綴学実習	2.5								○		
		顔面補綴学実習	1								○		
		臨床義歯管理工学	1								○		
		スポーツ歯科学※2		1								○	
		顎関節症とオーラルアプライアンス※2		1								○	
		睡眠とオーラルアプライアンス※2		1								○	
		全部床義歯補綴学	1					○					
		全部床義歯実習	2					○					
		デジタル全部床義歯実習	2					○					
		部分床義歯補綴学	1						○				
		部分床義歯補綴学実習	4						○				
		デジタル金属床義歯実習	2							○			
	歯冠	歯冠修復学	2						○				

統 合 分 野	修復 技工 学	歯冠修復学実習	5						○				
		審美修復学実習	2							○			
		デジタル歯冠修復学実習	1							○			
		デジタルデンティストリー実習	1									○	
		インプラント歯科補綴学実習	2							○			
	小児 歯科 技工 学	小児歯科学	1								○		
		小児歯科学実習	1								○		
	矯正 歯科 技工 学	矯正歯科学	2							○			
	歯科 技工 実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	3.5								○		
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	6									○	○
		再建工学包括臨床実習Ⅲ※3		2								○	○
		統合実習基礎	1.5										○
		統合実習応用※2		1									○
	総合 口腔 保健 工学	医療倫理	1								○		
		研究体験実習※2		1			○						
		卒業研究Ⅰ	1								○		
		卒業研究Ⅱ	4									○	○
		卒業研究Ⅲ※3		2									○
		多職種連携Ⅰ	0.5			○							
		多職種連携Ⅱ	0.5							○			
		多職種連携Ⅲ	1									○	
		口腔保健工学エクスター ンシップ			1	○	○	○	○	○	○	○	○
		口腔保健工学企業研修 ※3		2								○	○
計			93.5	15	3.5 ～ 6.5								

※1 英語Ⅱ(A)・(B)・(C)・(D) 各1単位

※2 9科目から5単位以上修得する。

※3 3科目の中から1科目修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
Biosocial Research Topics	1	○	○	○	○	○	○
Problem-solving in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
Leadership	1	○	○	○	○	○	○
Negotiation	1	○	○	○	○	○	○
Design Thinking	1	○	○	○	○	○	○
オンライン異文化交流 (※1)	0.5~3	○	○	○	○	○	○
ポストコロナ社会における感染症対策	1	○	○	○	○	○	○
医療とAI・ビッグデータ応用 (※2) (※3)	1		○	○	○	○	○
AI実践演習 (※3)	1		○	○	○	○	○
アントレプレナー教育	1		○	○	○	○	○
疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学基礎	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用I	1	○	○	○	○	○	○
生物統計学応用II	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論基礎	1	○	○	○	○	○	○
臨床試験方法論応用	1	○	○	○	○	○	○
口腔疫学基礎	1	○	○	○	○	○	○
疫学応用	1	○	○	○	○	○	○
計	20.5~23						

※1 所定のプログラムを修了した学生に対し、0.5 単位を認定する。但し、同一年次・年度に認定できる単位は、0.5 単位を上限とする。

※2 別表1(1)及び(4)のうち医療とAI・ビッグデータ応用を必修科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

※3 別表1(3)のうち医療とAI・ビッグデータ応用及びAI 実践演習を選択科目として履修する学生又は履修して単位を付与された学生を除く。

(8) 医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目

授業科目	単位数	履修学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
地域医療学習プログラム	1	○	○	○	○	○	○

※地域特別枠推薦入試による入学者は、別表(1)の授業科目に加え、上記1科目を必修科目とする。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表 3

(1) 医学科

<p>(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第2学年に進級することができない。</p> <p>多職種連携Ⅰ、医学導入、匠講話、AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、人体構造総論、細胞生物学</p>
<p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第3学年に進級することができない。</p> <p>生理学、組織学、人体解剖学、薬理学、生化学、分子遺伝学、神経解剖学、免疫学、神経科学・基礎、感染・基礎、病理学、医動物学、腫瘍学、基礎医学実習、医療とAI・ビッグデータ応用、臨床医学導入、循環器</p>
<p>(3) 第3学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>呼吸器、消化器、腎臓・泌尿器、内分泌・代謝、血液・腫瘍、一般外科、神経科学・臨床、骨・関節・脊椎、感染・臨床、東洋医学、頭頸部・臨床、総合診療・地域医療、生殖・発達、救急・麻酔・集中治療、法医学、衛生学、公衆衛生学、行動科学、生物統計学、選択社会医学実習、生命倫理、多職種連携Ⅱ、System-based medical terminologyⅠ、System-based Medical terminologyⅡ</p>
<p>(4) 第4学年の末までに次の授業科目の単位を全て修得しなければ、第5学年に進級することができない。</p> <p>自由選択学習、臨床導入実習、IMRAD Format Presentation in English</p>
<p>(5) 共用試験〔コンピュータ活用試験(CBT)及び客観的臨床能力試験(PreCC OSCE)]に合格しなければ、第5学年に進級することができない。</p>

(6) 第5学年の末までに次の授業科目の単位を修得しなければ、第6学年に進級することができない。

臨床実習 I

注1：臨床導入実習は、共用試験〔コンピュータ活用試験 (CBT) 及び客観的臨床能力試験 (PreCC OSCE)〕に合格しなければ、単位を修得することができない。

注2：臨床実習 I は、実習を行う全ての診療科を合格しなければ、単位を修得することができない。

注3：臨床実習 II は、実習を行う全ての診療科を合格し、かつ、共用試験〔客観的臨床能力試験 (PostCC OSCE)〕に合格しなければ、単位を修得することができない。

(2) 保健衛生学科 (看護学専攻及び検査技術学専攻)

(1)

(看護学専攻) 第1学年の必修科目に未履修科目があるとき、または不合格科目が2科目以上あるときは、第2学年に進級することができない。

(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるとき、または不合格科目が2科目以上あるときは、第2学年に進級することができない。

(2)

(看護学専攻) 第1学年の必修科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第3学年に進級することができない。

(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目に不合格科目があるときは、第3学年に進級することができない。また、第2学年の必修科目に未履修科目があるとき、または不合格科目が2科目以上あるときは、第3学年に進級することはできない。

(3)

(看護学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

(検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科

(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。

多職種連携 I、歯学入門、早期臨床体験実習、基礎情報医歯学、行動科学基礎、社会と環境、遺伝の分子的基盤、細胞機能の分子的基盤、生命を構成する分子とその代謝、硬組織生化学の分子的基盤、生命の分子的基盤実習、人体の構造と機能（歯の解剖）、研究入門 I、AI・データサイエンスのための数学、医療と AI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、生命科学基礎

<p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位を修得若しくは試験に合格しなければ、第3学年に進級する事ができない。</p> <p>人体の構造と機能（人体解剖学）、人体の構造と機能（人体解剖実習）、人体の構造と機能（組織学総論）人体の構造と機能（組織学各論）、人体の構造と機能（人体の発生）、学年混合セミナーⅠ、医療とAI・ビッグデータ応用、人体の構造と機能（神経系の機能Ⅰ）、人体の構造と機能（神経系の機能Ⅱ）、人体の構造と機能（生命維持のための生体機能）、人体の構造と機能（口腔生理）、人体の構造と機能（生理学実習）、人体の構造と機能（口腔組織学）、予防と健康管理、歯科医療基礎Ⅰ、医療統計学・疫学基礎、研究入門Ⅱ、自然科学演習</p>
<p>(3) 第3学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>System-based medical terminologyⅠ、多職種連携Ⅱ、臨床歯学イントロダクション、感染と生体防御（免疫学・細菌学）、病因と病態（病理学）、病態科学演習、生体と薬物（薬理学）、歯科法医学、隣接医学Ⅰ（内科等）、隣接医学Ⅱ（外科・耳鼻科・眼科等）、歯科医療基礎Ⅱ、学年混合セミナーⅡ、生命倫理、歯科材料と歯科医療機器（歯科理工学）、歯科放射線学基礎、総合診療・地域医療、課題統合セミナー、研究入門Ⅲ、研究実習Ⅰ</p>
<p>(4) 第4学年の末までに次の授業科目の単位を修得し、かつ、共用試験に合格しなければ、第5学年に進級することができない。</p> <p>IMRAD Format Presentation in English、研究実習Ⅱ、保存修復学、歯内治療学、歯周病学、全部床補綴学、部分床補綴学、口腔外科学、歯科麻酔学、高齢者歯科学、歯科医療基礎Ⅲ、学年混合セミナーⅢ、冠橋義歯補綴学、インプラント治療学、歯科矯正学、小児歯科学、障害者歯科学、歯科放射線学臨床、医療統計学・疫学演習、医療情報学、基礎歯科学総合学習、共用試験（CBT・OSCE）</p>
<p>(5) 第5学年の末までに次の授業科目の単位を修得もしくは試験に合格しなければ、第6学年に進級することができない。</p> <p>発展歯科臨床、歯科心身医学、包括臨床実習導入、包括臨床実習Ⅰ、包括臨床実習Ⅱ、口腔顔面臨床解剖、長寿口腔健康科学、包括医療統合教育Ⅰ</p>

(4) 口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

<p>(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。</p> <p>公衆衛生学、社会保障、歯科衛生学総論、メディア情報学基礎、多職種連携、AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、（第1学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能、歯・口腔の構造と機能</p>
<p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅰ、人体の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、高齢者福祉、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、口腔内科学、臨床体験実習、児童・家庭福祉、障害児・者福祉、地域福祉、コミュニケーション論 （第2学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、歯科衛生過程</p>

<p>(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。</p> <p>疾病の成り立ちと回復過程の促進、社会調査・研究の基礎、生命倫理、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、歯科衛生過程、社会福祉実習 (第3学年前期に実施される授業を対象とする) 健康教育の企画と実践</p>
<p>(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>チーム医療の実践、口腔機能管理実習、高齢者歯科学、障害者歯科学、健康教育の企画と実践</p>

(5) 口腔保健学科 (口腔保健工学専攻)

<p>(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。</p> <p>口腔保健と専門職、メディア情報学基礎、メディア情報学応用、造形美術概論実習、AI・データサイエンスのための数学、医療とAI・ビッグデータ入門、アカデミック・リテラシー、感染予防、早期臨床体験実習、う蝕と歯周病、人体の構造と機能、歯の解剖学、多職種連携Ⅰ</p>
<p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学、口腔と全身の基礎医学、歯の形態実習、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、デジタルデンティストリー基礎、全部床義歯補綴学、全部床義歯実習、デジタル全部床義歯実習、部分床義歯補綴学、部分床義歯補綴学実習、歯冠修復学、歯冠修復学実習</p>
<p>(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。</p> <p>デジタル金属床義歯実習、審美修復学実習、デジタル歯冠修復学実習</p>
<p>(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、グローバル口腔保健工学実習、口腔保健工学管理学、周術期手術支援工学、高齢者歯科学、臨床咬合学、デジタルデンティストリー応用、顎顔面補綴学、顎補綴学実習、顔面補綴学実習、臨床義歯管理工学、インプラント歯科補綴学実習、小児歯科学、小児歯科学実習、矯正歯科学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、研究実習Ⅰ、多職種連携Ⅱ</p>

別表１（１）～（５）省略

（６）口腔保健学科（口腔保健工学専攻）教育課程

区 分		授業科目	単位数			時間 数	履修学年							
			必修	選 択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎 分野	科学的思考 の基盤 人間と生活	口腔保健 工学概論	1			15	○							
		科学英語 Ⅰ	1			15			○					
		科学英語 Ⅱ	1			15					○			
		ヘルスプ ロモーシ ョン	1			15			○					
		メディア 情報学基 礎	1			15		○						
		コミュニ ケーショ ン学	1			15					○			
		造形美術 概論実習	1			40		○						
		グローバ ル口腔保 健工学	1			15				○				
		グローバ ル口腔保 健工学実 習	1			45					○	○		
専門 基礎 分野	歯科技工と 歯科医療	歯科技工 士と法律	1			15							○	
		感染予防	2			30			○					
		口腔保健 工学管理 学	1			15					○			
		早期臨床 体験実習	1			30		○						
		口腔外科 工学	1			15						○		
		う蝕と歯 周病	1			15			○					
		高齢者歯 科工学	2			30						○		
	歯・口腔の 構造と機能	人体の構 造と機能	2			30		○						
		口腔医学 の基礎	2			30			○					
		全身疾患 と治療の 基礎	3			45				○				

専 門 分 野		画像解析学※1	1	15						○	
		歯の形態基礎実習	1	45			○				
		歯の形態実習	1	45				○			
		咬合学	1	15			○				
		臨床咬合学	1	15					○		
	歯科材料・ 歯科技工機 器と加工技 術	加工技術基礎	1	15		○					
		口腔保健理工学	3	45			○				
		口腔保健理工学実習	2	80			○				
		精密鑄造学実習	1	30			○				
		プロセスデバイス工学※1	1	15					○		
専 門 分 野	有床義歯 技工学	顎補綴工学	1	15						○	
		顎補綴工学実習	2	70						○	
		顔面補綴工学実習	1	30						○	
		臨床義歯管理工学	1	30						○	
		スポーツ歯科工学※1	1	15							○
		オーラルアプライアンス工学※1	1	20							○
		全部床義歯工学	1	20			○				
		全部床義歯工学実習	3	120			○				
		部分床義歯工学	1	20				○			
		部分床義歯工学実習Ⅰ	4	160				○			
		部分床義歯工学実習Ⅱ	1	45					○		
	歯冠修復 技工学	歯冠修復工学	2	30				○			

		歯冠修復工学基礎実習	4		165				○				
		歯冠修復工学応用実習	1		30				○				
		審美修復工学	1		15				○				
		審美修復工学実習	3		120				○				
		CAD/CAMシステム工学実習	1		45				○				
		CAD/CAMシステム工学演習	1		15						○		
		インプラント工学実習	2		60				○				
	小児歯科技工学	小児歯科技工学	1		17					○			
		小児歯科技工学実習	1		30					○			
	矯正歯科技工学	矯正歯科技工学	2		36				○				
	歯科技工実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	4		180					○			
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	7		300						○	○	
		再建工学包括臨床実習Ⅲ※2		1	45							○	
		統合基礎実習	2		70						○	○	
		統合応用実習※1		2	60							○	
統合分野	総合口腔保健工学	医療倫理	1		15				○				
		卒業研究Ⅰ	2		60					○			
		卒業研究Ⅱ	6		180						○	○	
		卒業研究Ⅲ※2		1	45							○	
		卒業製作	3		135						○	○	
		口腔保健工学エク			45	○	○	○	○	○	○	○	○

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

※全学科共通自由科目のうち、「オンライン異文化交流」の評価は、以下のとおりとする。

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格

別表 3 (1) ~ (4) 省略

(5) 口腔保健学科 (口腔保健工学専攻)

<p>(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。</p> <p>口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能、加工技術基礎</p>
<p>(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学、感染予防、う蝕と歯周病、口腔医学の基礎、全身疾患と治療の基礎、歯の形態基礎実習、歯の形態実習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鑄造学実習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習Ⅰ、歯冠修復工学、歯冠修復工学基礎実習</p>
<p>(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。</p> <p>部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習、インプラント工学実習</p>
<p>(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。</p> <p>科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、グローバル口腔保健工学実習、口腔保健工学管理学、口腔外科学、高齢者歯科学、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習、臨床義歯管理工学、審美修復工学、CAD/CAM システム工学実習、小児歯科学、小児歯科学実習、矯正歯科学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ</p>

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。
- 4 学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級等)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。
- 3 風水害等の災害や社会情勢等の特別な事情により試験等が実施できない場合、またはこれらの事情を起因として学生が本人の責によらずやむを得ず試験等を受験できない場合に限り、当該科目責任者の事前申告をもとに口腔保健学科教育委員会にて協議し、前期分については後期科目の履修開始、後期分については仮進級を認めることができる。
- 4 第3項に該当する学生は、原則として前期分は10月末日、後期分は翌年度4月末日までに、同科目の単位認定を受けなければならない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

評価	A +	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則（平成28年10月19日制定）

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学修の評価)

第2条 期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学修の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評点は、0点とする。
- 3 第1項の学修の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 学修の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級等)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。
- 3 風水害等の災害や社会情勢等の特別な事情により試験等が実施できない場合、またはこれらの事情を起因として学生が本人の責によらずやむを得ず試験等を受験できない場合に限り、当該科目責任者の事前申告をもとに口腔保健学科教育委員会にて協議し、前期分については後期科目の履修開始、後期分については仮進級を認めることができる。
- 4 第3項に該当する学生は、原則として前期分は10月末日、後期分は翌年度4月末日までに、同科目の単位認定を受けなければならない。

(G P)

第4条 評点とG Pとの対応は次のとおりとする。

評点	90～100	80～89	70～79	60～69	0～59
GP	3.5～4.5	2.5～3.4	1.5～2.4	0.5～1.4	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学修の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則（平成28年10月19日制定）

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令和6年4月4日制定）

- 1 この内規は、令和6年4月4日から施行し、令和6年4月1日から適用する。
- 2 令和6年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和6年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A⁺, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A⁺, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評 価	GP	評価基準
A ⁺	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

$$\text{当該年度の GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

3 計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

附 則（平成30年9月6日制定）

この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義および計算方法)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学修到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (0~100 点の整数の評点) を次の計算式によって 0.0~4.5 までの点数 (GP; Grade Point) に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

$$GP = (\text{科目の評価} - 55) \times 0.1$$

ただし、科目の評価が59点以下の場合は、GP = 0.0 とする

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) 0~100 点の整数による学修の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学修の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

3 第1項の計算において、「単位数」には不合格 (59 点以下) となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

4 GPAの計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(学修の評価及びGP)

第3条 学修の評価基準、評点及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評点	GP	評価基準
90~100	3.5~4.5	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
80~89	2.5~3.4	当該科目の到達目標を全て達成した
70~79	1.5~2.4	当該科目の到達目標を概ね達成した
60~69	0.5~1.4	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
0~59	0.0	当該科目の到達目標を達成していない

(GPAの種類)

第4条 GPAは、対象期間に応じて「学期GPA」、「年度GPA」及び「通算GPA」に区分して算出するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学期、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、通算GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

附 則（平成30年9月6日制定）

この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（令和6年3月30日制定）

1 この要項は、令和6年4月1日から施行する。

2 令和6年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和6年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この要項にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

（1）講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

（2）実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

（追試験）

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 11 条 試験において不正行為があったときは、学則第 58 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 12 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 16 年規則 202 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 16 年規則 214 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 23 年 3 月 31 日において現に医学部または歯学部 に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 74 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第5条第5項、第7条第6項、第8条第6項及び第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 定期試験に係る追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。

私物を置く場所について

- ・ 学生証；机上に必ず置くこと（本人確認のため）
- ・ スマートフォン/腕時計（スマートウォッチ等）；
電源をOFFにして、机上（監督者の指示でカバンに入れさせることもある）
- ・ ティッシュペーパー；机上（監督者が確認して袋から出すこともある）
- ・ その他のもの；カバンの中（カバンが無い場合は監督者が預かる）
- ・ 引き出し・天板下は、使用不可とする（カバンは床または隣の席に置く）

机上には原則、筆記用具と学生証、電源OFFにしたスマートフォン／腕時計（スマートウォッチ等）以外は置かないこと。教科書や参考書、ノートやプリント、小型パソコンなどの電子機器を机上または天板下（机下の棚）に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。

2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。原則試験時間の延長は認めないが、本人の責によらない理由により試験を受験した場合は、監督者の判断により延長を認めることができる。一旦試験を受験した場合は、当該科目の追試験を申請することはできない。
3. トイレ等の申し出がある場合は挙手をし、監督者の指示に従うこと。
4. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
5. 持ち帰りが認められていない試験において、故意・過失にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

（１）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（２）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（３）答案を交換した場合	停学
（４）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項

令和 2 年 1 1 月 3 0 日
制 定

(趣旨)

第 1 条 この要項は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における授業欠席に関する取扱いについて必要な事項を定める。

(公欠及びその要件)

第 2 条 この要項において、公欠とは、本学が認める一定の事由によりやむを得ず正課を欠席した場合、これを出席として取扱うことをいう。

2 本学の学生が、次の各号の事由によりやむを得ず正課を欠席する場合は、これを公欠として取扱う。

- (1) 感染症に罹患した場合
- (2) 親族が死亡した場合
- (3) 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (4) その他学長が必要と認める場合

(公欠の手續及び様式)

第 3 条 前条第 2 項各号による公欠の具体的な基準及び手續については、別表のとおりとする。

2 前条第 2 項第 3 号又は第 4 号により公欠が認められた場合は、欠席届の写を回付する等の方法により授業担当教員にその旨通知することとする。

(公欠とされた学生への配慮義務)

第 4 条 授業担当教員は、公欠とされた学生に対し、履修上不利とならないよう配慮するものとする。

(公欠期間中の試験の取扱い)

第 5 条 公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部長又は研究科長の定めるところによる。

(公欠以外の欠席)

第 6 条 公欠以外の理由により 1 週間以上欠席する場合は、欠席届を速やかに各学科又は各専攻の教務係へ提出することとする。

附 則

この要項は、令和 2 年 1 1 月 3 0 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

別表（第3条関連）

公欠事由	条件	公欠として認められる期間	手続等
感染症に罹患した場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第19条に規定する期間	欠席届と証拠となる書類（診断書等）を添付し、担当係へ提出すること。
親族が死亡した場合	配偶者及び1親等、2親等の親族の死亡に伴い必要と認められる葬儀、服喪その他の行事のため授業に出席できなかった場合	親族に応じ次に掲げる連続する暦日数（葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数）の期間	欠席届と証拠となる書類（会葬礼状等）を添付し、担当係へ提出すること。
		配偶者及び1親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続7日（休日を含む。）	
		2親等（祖父母、兄弟姉妹等）の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日を含む。）	
裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	欠席届と証拠となる書類（裁判所からの通知書等）を添付し、担当係へ提出すること。
その他学長が必要と認める場合	学長が必要と認める場合	学長が必要と認めた期間	欠席届と証拠となる書類（学長が必要と認めたことがわかる書類）を添付し、担当係へ提出すること。

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

平成20年2月8日
申 合 せ

1. 目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第58条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

2. 基本的な考え方

- (1) 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。
- (2) 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。
- (3) 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

3. 懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

(1) 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

(2) 停学

- ① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。
- ② 停学は、無期停学及び有期停学とする。
- ③ 有期停学の期間は6か月未満とする。
- ④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（1か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。
- ⑤ 無期停学は、原則として6か月を経過した後でなければ解除することができない。
- ⑥ 停学期間には、学則第9条の「休業日」を含むものとする。

(3) 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

4. 謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

5. 停学期間中の措置

- (1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
- (2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
- (3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

6. 懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

- ① 学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

- ② 調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式1）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

- ① 調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取することができる。

- ② 調査委員会は、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

- ① 学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

- ② 前号の決定に関し、特に必要と学長が認めた場合は懲戒委員会を設置し、事実の確認及び処分量定について諮問することができる。

- ③ 前号の懲戒委員会については、国立大学法人東京医科歯科大学懲戒委員会等規則第2条を準用する。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式2）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

7. 不服が申立てられた場合の手続

- (1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して14日以内に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。
- (2) 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。
- (3) 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。
- (4) 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

8. 無期停学の解除

- (1) 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。
- (2) 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。
- (3) 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式3）を交付するものとする。

9. 試験の無効等

(1) 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

(2) 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続は可能とする。

10. 懲戒の標準は、別表のとおりとする。

11. 科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第10章及び第12章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

12. 大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のよう
に字句を読み替えるものとする。

- (1) 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」
- (2) 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」
- (3) 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」
- (4) 様式2 中、「東京医科歯科大学学則第58条」を「東京医科歯科大学大学院学則第60条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第58条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成16年4月1日規程第5号）第12章から第14章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。」

13. 守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

14. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附 則

この申合せは、平成20年2月8日から施行する。

附 則（平成24年2月24日制定）

- 1 この申合せは、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成24年9月30日まで、なお従前の例による。

附 則（平成28年10月21日制定）

この申合せは、平成28年10月21日から施行する。

附 則（平成30年2月20日制定）

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月13日制定）

この申合せは、平成30年12月13日から施行し、平成30年11月30日から適用する。

附 則（令和5年5月11日制定）

この申合せは、令和5年5月11日から施行する。

別表

懲戒の標準

・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
<p>1. 試験における不正行為</p> <p>(1) 代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合</p> <p>(2) 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合</p> <p>(3) 答案を交換した場合</p> <p>(4) その他、試験において不正行為を行った場合</p> <p>2. その他の懲戒対象行為</p> <p>(1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪</p> <p>① 殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合</p> <p>② 窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合</p> <p>③ 痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合</p> <p>(2) 交通事故・交通法規違反</p> <p>① 人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること</p> <p>（ア）ひき逃げ行為をしたとき</p> <p>（イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき</p> <p>（ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く）</p> <p>② 飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合</p> <p>(3) ハラスメント等行為</p> <p>性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合</p> <p>(4) 社会的モラルを問われる行為</p> <p>① 未成年者の飲酒</p> <p>② 未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合</p> <p>③ 喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為</p> <p>④ その他本学の名誉・信用を失墜させる行為</p> <p>(5) 薬物犯罪</p> <p>違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合</p> <p>(6) 個人情報の漏えい</p> <p>授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報漏らした場合</p> <p>① 情報の漏えいが故意の場合</p> <p>② 情報の漏えいが過失の場合</p> <p>(7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為</p> <p>(8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為</p> <p>① 研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合</p> <p>② 剽窃を行った場合</p> <p>③ 知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合</p>	<p>退学</p> <p>停学</p> <p>停学</p> <p>停学又は訓告</p> <p>退学</p> <p>退学又は停学</p> <p>停学又は訓告</p> <p>退学又は停学</p> <p>退学、停学又は訓告</p> <p>退学、停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>退学又は停学</p> <p>退学又は停学</p> <p>停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>退学、停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>退学、停学又は訓告</p> <p>停学又は訓告</p> <p>退学又は停学</p>

④ 学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学
3. 再犯学生の懲戒 過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。	

備考

- ・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。
- ・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

懲戒に関する事実認定の報告書

1. 対象学生 ・ 学部（研究科） 学科（専攻） 課程・コース・学籍番号
・ 氏名 年 月 日生
・ 入学年月 年 月
・ 現住所 電話番号
2. 事件の経緯・概要
3. 学生の弁明
4. 審議経緯
5. その他参考資料等

記載要領

- 2 は、事件の経緯，概要，大学側の対応，事実の確認等について年月日順に記載する。
- 3 は、当該学生が行った弁明について，日時，場所，証拠，証人，補佐人の有無，内容等を記載する。
- 5 は，その他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式 2

懲戒通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学学則第 58 条の規定により、下記のとおり懲戒する。

記

1. 懲戒の種類
2. 停学の期間（停学の場合）
3. 処分理由

交付日付 年 月 日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 6. により、この説明を受領した日の翌日から起算して 14 日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式 3

停学解除通知書

学 部 名 _____ 学籍番号 _____ 氏 名 _____

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 7 の規定により、

年 月 日付けで停学を解除する。

年 月 日

東京医科歯科大学長

印

様式 4

告 示

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

1. 懲戒処分となった学生の学部等

(学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。)

2. 処分内容

(退学の場合)

退 学

(停学の場合)

停 学

(有期停学の場合は期間)

(例： 年 月 日 ～ 年 月 日)

(訓告の場合)

訓 告

3. 処分理由

年 月 日

国立大学法人

東京医科歯科大学長

印

学 生 周 知 事 项 等

歯科技工士国家試験について

【試験の実施】

試験は毎年 1 回実施しますが、試験を施行する期日及び場所並びに受験願書の提出期限等は 9 月初旬に官報で公告いたします。

1. 試験日

令和 6 年 2 月 18 日（日）

2. 集合時間

各試験場とも午前 9 時 15 分までに受験番号に従い指定された試験会場に入室してください。災害等によって試験の開始時間等に変更が生じた場合は、「一般財団法人歯科医療振興財団」のホームページに掲載します。

3. 試験場（※本専攻は東京都の試験場で受験します。）

受験地	試験場	所在地
北海道	札幌駅前ビジネススペース	北海道札幌市中央区北 5 条西 6-1-23
宮城県	仙台青葉学院短期大学	宮城県仙台市青葉区中央 4-5-3
東京都	日本歯科大学生命歯学部	東京都千代田区富士見 1-9-20
※ 大阪府	大阪歯科大学（楠葉学舎）	大阪府枚方市楠葉花園町 8 番 1 号
福岡県	博多メディカル専門学校	福岡県福岡市博多区千代 4-32-1

4. 試験科目

学説試験：歯科理工学、歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学、矯正歯科技工学、小児歯科技工学及び関係法規

実地試験：歯科技工実技

5. 受験資格

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科技工士学校を卒業した者
- (2) 都道府県知事の指定した歯科技工士養成所を卒業した者
- (3) 歯科医師国家試験又は歯科医師国家試験予備試験を受けることができる者
- (4) 外国の歯科技工士学校若しくは歯科技工士養成所を卒業し、又は外国で歯科技工士免許を受けた者で、厚生労働大臣が前記（1）から（3）までに掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者

6. 受験手続

試験を受けようとする者は、受験願書、卒業証明書若しくは卒業見込証明書、歯科医師国家試験等を受けることができる旨を証する書類又は歯科技工士国家試験受験資格認定書の写し及び写真（出願前 6 月以内に脱帽正面で撮影した縦 6 cm、横 4 cm のもので、その裏面に撮影年月日及び氏名を記載すること）が必要です。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、当財団から 10 月下旬に各学校・養成所に送付されます。

受験に関する書類は指定期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に提出してください。（本学では大学でまとめて送付します。）なお、卒業見込証明書を提出した者にあたっては、指定期日までに卒業証明書を提出してください。当該期日までに提出されないときは、当該受験は無効となります。（本学では大学でまとめて送付します。）

7. 受験手数料

受験手数料の額は 30,000 円です。

8. 試験当日の持参品

- (1) 受験票
- (2) HB の鉛筆（シャープペンシル不可）及び黒のボールペン、マジック
- (3) 消しゴム（砂消しゴムは不可）
- (4) 昼食
- (5) 実地試験に必要な技工用器具
- (6) その他（電卓機能及びメールの送受信機能がある時計は使用を禁止）

9. 合格者の発表

合格者の発表は約 1 か月後、一般財団法人歯科医療振興財団ホームページおよび厚生労働省ホームページの資格・試験情報のページにおいて、受験地、受験番号を掲示して発表し、即日合格証書を郵送します。

一般財団法人歯科医療振興財団：<http://www.dc-training.or.jp>

厚生労働省：<https://www.mhlw.go.jp>

10. その他

視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能に障害を有するもので受験を希望する者は、期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に申し出てください。申し出た者については、受験の際にその障がいの状況に応じて必要な配慮を講ずることがあります。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡は、主に e ラーニングシステム（[WebClass : OE教務係からのお知らせ2024](#)）、電子メール（Web メール）によって連絡されるので頻繁に確認すること。特にWebClassに掲載される情報およびWebClassからのメールは重要事項が多いため、各自、転送設定をするなど、確実に見落とさないよう注意すること。

2. 学生証について

- （1）学生証は常に携帯すること。
- （2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1 号館西 1 階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（**1,500 円**）は学生本人の負担とする。
- （3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- （1）課外活動または帰省等で JR 線を利用し、乗車区間が片道 100km を超える場合、旅客運賃の割引（2 割）を受けることができる。
- （2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- （3）年間使用限度枚数は 1 人 10 枚（1 回につき 2 枚まで）とする。
- （4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）に問い合わせること。
- （5）学割証が必要なときは 5 号館 4 階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、口腔保健教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- （1）次に掲げるものは、口腔保健教務係（D棟南 2 階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8：30～17：15）
 - （①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から10日程度要する。）
 - ①成績証明書
 - ②英文の卒業見込証明書（第 4 学年在学者のみ）
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5 号館 4 階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074））

①在学証明書

②卒業見込証明書（第 4 学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに口腔保健教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

学内での感染拡大予防のため、風邪症状のある方、新型コロナウイルス感染症罹患者は登校を控え、**発症から 24 時間以内（無症状の場合は検査した時）に各Formsに回答し（授業・実習がある場合は担当の教員・実習先に欠席連絡し）、自宅療養にて経過をみてください。**このうち、大学の定める状況の方（※）は、「出席停止（＝出席扱い）」として自宅療養していただきます。

ただし、必要な連絡や検査受診を怠った場合は、「通常欠席」となりますので、必ず保健管理センターの指示に沿って行動をしてください。「出席停止」は学内での感染拡大防止を目的としているため、症状が出た時点での速やかな対応が必須です。欠席した日数を保証する制度ではありませんので、事後対応は行いません。

(※) 大学の定める「登校を控える症状・状況」

1 体温 37.5℃以上があり、咽頭痛（違和感を含む）・咳のどちらかがある

2 周囲に COVID-19 陽性者がいて、自身にも風邪症状（発熱・咽頭痛・咳・倦怠感・鼻汁・頭痛など）がある

3 症状があり、検査にて COVID-19 陽性が判明した

4 無症状だが、定期検査などで検査受けたら COVID-19 陽性が判明した

（周囲に COVID-19 陽性がいるが、自身は無症状の場合→無症状の間は、通常登校可です。大学への報告は不要です。健康観察に留意し、症状が出た際は、登校を控えて、下記沿って報告してください。）

詳細は以下大学のHPを確認してください → <https://www.tmd.ac.jp/hsc/covid/>

「登校を控える状況発生報告 Forms」



「学校感染症 初回報告 Forms」



就職活動により欠席する場合は別に定める（14の（6）に詳細を記載）。

（2）休 学

病気その他の事由により、引き続き 3 か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を口腔保健教務係へ提出し、学長の許可を得ること（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること）。

休学を許可される期間は、通算して 2 年以内（特別の事情があるときは、さらに 1 年以内の休学が許可されることがある）である。

（3）復 学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合、復学願（保証人連署）を口腔保健教務係へ提出し、学長の許可を得ること（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある）。

（4）退 学

病気その他の事由により学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を口腔保健教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

（5）他大学受験

他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願しようとする場合は、志願する 2ヶ月前までに口腔保健教務係へ、申し出た上で、学長の許可を得ること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・大学病院の実習中には必ずネームプレートを着用すること。3年次後期からの大学病院実習では、登院式で交付されるネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし（卒業時に要返却）、紛失または破損した場合は、実費を負担し再

交付を受けること。

学部学生用のプレートには学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例：0E2）を貼ること。シールは口腔保健教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること）。問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線（5077）

<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおり

- （1）講義室、実習室、ロッカー室：口腔保健教務係（D棟南 2 階：内線 5104）
学部防災センター（D棟北 1 階）
- （2）上記（1）以外：歯学部総務係（D棟南 2 階：内線 5404）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は5月中に、後期分授業料は 11月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

- （1）感染予防対策のため、大学病院玄関から出入りすることを原則禁止する。
- （2）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。
 - 1）聖門⇄1 号館、2 号館、7 号館
 - 2）正門⇄1 号館、2 号館、7 号館
 - 3）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇄1 号館、2 号館、大学病院（歯系）防災センター（歯学部時間外通用口、身分証明書の提示が必要）
- （3）エレベーターを使用する場合は大学病院（歯系）の聖橋側エレベーターを使用すること。御茶ノ水門側エレベーターは患者専用とし、学生は使用不可とする。
- （4）やむを得ない理由で大学病院内を移動するときは、私語を慎むこと。**歩きスマホは禁止とする。**
- （5）白衣または実習着を着用したまま学外への外出は禁止とする。

12. 授業中のパーソナルコンピューター、スマートフォンなどの機器使用の制限について

対面授業中におけるパーソナルコンピューター、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- （1）**当該授業に関係のない機器**を使用することを禁ずる。

(2) 授業担当者あるいは授業補助者が、当該授業中に学生が授業と関係なく使用していると認めたときは、下記の1)～3)の対応をする。

- 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者・授業補助者が当該機器を保管する。
 - 3) 当該学生を退出させる。当該機器を持ち込んでいないことを確認し入室を許可する。
- (3) 講義室および実習室でのスマートフォンの充電を禁ずる。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。対面での各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので学生証を必ず忘れないようにすること。なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、口腔保健教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。

学生証を忘れた等でカードリーダーにタッチしなかった場合、当日中（当該授業時間内）に担当教員に申し出ること。後日に申し出た場合は欠席とする。

他人の学生証をカードリーダーにタッチした場合、カードタッチした学生およびカードタッチをしてもらった学生の両方を欠席とする。必ず本人が学生証をタッチすること。

14. 授業の出席・欠席・遅刻・早退の取り扱いについて

(1) 定期試験受験資格：講義科目の全授業時間数の 2/3 以上、実習・演習科目は3/4 以上出席しなかった者には定期試験の受験資格を与えない。授業科目ごとの詳細な試験受験資格はシラバスに明記されている。

(2) 出席率は各自ドリームキャンパスで確認すること。出席不良者に対して注意喚起をし、科目責任者から学生に指導を行う。

(3) 対面講義・実習の出席は基本的にはカードリーダーへの学生証のタッチによりカウントする。遠隔講義の出席は、同期型の場合は画面とアクセス記録により確認し、非同期型の場合はアクセス記録、小テスト実施等、授業担当者の指示した出席要件を満たした場合に出席とする。科目ごとの詳細はシラバスに明記されている。

(4) 遅刻・早退の取り扱い：遅刻・早退の出・欠席は、授業担当教員が判断する。交通機関の事故等の理由で遅刻した場合は遅刻扱いとする。担当教員に遅延の証明となる書類を提出し、教員の判断を仰ぐこと。後日の提出は認めない。

(5) 病欠の扱い：学内での感染拡大予防のため、風邪症状のある方、新型コロナウイルス感染症罹患者は登校を控え、発症から 24 時間以内（無症状の場合は検査した時）に各 Forms に回答し（授業・実習がある場合は担当の教員・実習先に欠席連絡し）、自宅療養にて経過をみてください。このうち、大学の定める状況の方は、「出席停止（＝出席扱い）」として自宅療養していただきます。

ただし、必要な連絡や検査受診を怠った場合は、「通常欠席」となりますので、必ず保健管理センターの指示に沿って行動をしてください。「出席停止」は学内での感染拡大防止

を目的としているため、症状が出た時点での速やかな対応が必須です。欠席した日数を保証する制度ではありませんので、事後対応は行いません。

詳細は以下大学のHPを確認してください。

<https://www.tmd.ac.jp/hsc/covid/>

(6) 就職活動の取り扱い

就職活動の場合も原則として欠席とする。ただし、WebClassの0E1-4学生連絡コース内に示されたGoogleFormにて欠席届および報告書を提出すること。

1) 事前に欠席届を提出し、担当教員（科目責任者）に許可を得る。

2) 就職活動後に説明担当者名、連絡先、就職活動内容の報告書をGoogleFormにて提出する。配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどは担当教員に示すこと。

以上2つの条件が満たされた場合には、就職活動による欠席を総授業時間数に含めないこととする。報告書は欠席した翌日から1週間以内に提出すること。

対面実習での欠席は装置製作の進行に支障をきたすこととなるので十分に考慮すること。対面実習のうち全体の4分の1以上になるなど科目責任者が定める回数を超える場合は欠席扱いとすることがある。

(7) 忌引の取り扱い：忌引は出席扱いとする（父母・保証人 7 日以内、父母以外の直系親族 3 日以内）。ただし、欠席届と忌引を証明できる書類を出席可能となった最初の日から1週間以内に口腔保健教務係に提出すること。それ以後の提出は認めない。

(8) 4年生の再建工学包括臨床実習・卒業研究・卒業製作の時間に関して

カードリーダーへの学生証のタッチを行い、実習室から離れて実習・研究を行う場合は、指導教員の指示に従うこと。所在が不明の場合は欠席とする。

(9) 登校前、対面講義・演習・実習中など、体調が悪くなった場合はすみやかに教務と担当教員に報告すること。保健管理センターとの相談を行い、その後の対応を決定する。

事由ごとの対応一覧表

事由	取り扱い	提出（添付）書類	提出期限	提出先
カードリーダーへのタッチ忘れ	授業担当教員が判断	なし	当日 (当該授業時間内)	授業担当教員 (科目責任者)
遅刻	授業担当教員が判断	期日が記された遅延証明書	当日	授業担当教員 (科目責任者)
病気 (※1 けが)	原則欠席	「登校を控える状況発生報告Forms」/「学校感染症初回報告Forms」の指示に従う	発症から24 時間以内 (無症状の場合は検査した時)	各Formsに回答
出席停止となる病気	出席扱いとなる場合もある			
就職活動	総授業時間数に含めない	報告書・就職活動を証明する書類	事前に欠席届→欠席翌日から 1 週間以内	授業担当教員 (科目責任者)
忌引	出席	忌引を証明する書類	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	口腔保健教務係

※1 けがで試験欠席の場合は、欠席届と医師の診断書を5日以内に口腔保健教務係へ提出

15. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にks@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準

じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックすること。

16. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないように。

(2) 事務の窓口

教 務 事 務：口腔保健教務係（D棟南 2 階、内線 5104）

授業料の納入：財務部財務企画課資金管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨学金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、内線 5078）

奨学金：<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<https://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、**午前 6 時 30 分までに**公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、**午前 10 時までに**公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、**午前 6 時 30 分までに**公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、**午前 10 時までに**公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。講義室や実習室等、2号館内にいる場合、教員の指示によりいったん2号館正面玄関前の駐車場に集合してから、M&Dタワー前の避難場所に移動する。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせ

せること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：口腔保健教務係（D棟南 2 階）03-5803-5104

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

(学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報)

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID (学籍番号) とパスワード (初期値は ID と同じ) によりログインして自身の安否を入力すること。

安否確認システムに連絡先を登録すること。その際、大学メール以外の連絡先（携帯のメールアドレスや携帯電話番号など）も必ず登録すること。両方が登録されないと登録されたことにならないので注意してください。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

- ・ 場所：5号館3階
- ・ 業務時間：月～金（平日）9：00～17：00
- ・ 個別相談時間：事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

※HP： 本学トップページ>教育・研究>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関すること。	e-mail : scenter.stc@tmd.ac.jp	上記>学生支援室/障害学生支援室>専用 Web サイト (https://www.tmd.ac.jp/sdc/)
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。	個別相談に応じています	
ダイバーシティ・インクルージョン室 (DI 室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。 ・ 病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。 ・ 今後の進路や生き方に関する支援及びその相談。 ・ 研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。 ・ 授乳・搾乳室の設置。 ・ マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。 	e-mail : info.ang@tmd.ac.jp 個別相談に応じています	上記>ダイバーシティ・インクルージョン室>専用 Web サイト (https://www.tmd.ac.jp/ang/) 

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島 5号館 2階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談
保健管理センター分室	国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階	047-300-7108	3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HPの健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap用ベッドも備えていますのでご利用ください。

開室時間	湯島地区	8時45分～17時00分
	国府台地区	9時45分～16時15分 (木曜日のみ15時45分)

ホームページ：<https://www.tmd.ac.jp/hsc/>

下記が実施済であることを実習要件とする (2017年6月27日教育戦略会議にて決定)

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性またはnon-responder (計6回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
- ・T スポット®. TB検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である















*ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

<4種ワクチン接種>

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

<B型肝炎ワクチン接種>

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	<div></div> <div>四種抗体検査 麻疹/風疹/ 流行性耳下腺炎/水痘 (対象:全員)</div>	学生 一般定期健康診断(全員)	<div></div> <div>1回目</div>				<div></div> <div>2回目</div>					
			<div>四種ワクチン接種期間 対象:抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たさない)→1回接種</div>									
2年	<div></div> <div>B型肝炎抗原抗体検査 (対象:全員)</div>		<div></div> <div>1回目</div>	<div></div> <div>2回目</div>					<div></div> <div>3回目</div>			
				<div>B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目(全3回) 対象:抗体価が陰性だった者</div>								
	<div></div> <div>T スポット®. TB検査 (対象:全員)</div>											
3年	<div></div> <div>B型肝炎抗原抗体検査 (対象:2年次にB肝ワクチン 1クール目を接種した者)</div>		<div></div> <div>1回目</div>	<div></div> <div>2回目</div>					<div></div> <div>3回目</div>			
				<div>B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目(全3回) 対象:抗体価が陰性だった者</div>								
4年	<div></div> <div>B型肝炎抗原抗体検査 (対象:2年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者)</div>		<div>B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても抗体価が陰性の場合は、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない</div>									



ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。



対象学年で、検査やワクチン接種を受け忘れた場合は、保健管理センターへご相談ください。

※看護学専攻及び口腔保健学科は、B型肝炎抗原抗体検査及びワクチン接種を1年から開始

図書館について

1. 場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
休館日		年末年始

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROM などの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて 5 冊まで、貸出期間について図書は 2 週間、製本雑誌は 1 週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1 回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1 階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ OPAC から出庫予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金でお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ 1 枚 10 円 カラー1 枚 30 円
- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが不要な印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設

置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。

3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。

- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）

（注）Covid-19 感染拡大防止のため、他大学の図書館（明治大学図書館を含む）は学外者の利用を停止している場合があります。詳細は当該図書館の HP をご覧ください。

- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp
ホームページ: https://www01s.ufinity.jp/tmdu_lib/

1 号館西・2 号館・7 号館の管理、使用について

1. 1 号館西・2 号館・7 号館の出入口の施錠（平日）について

1 号館西出入口

1 号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1 号館西 東側出入口 終日施錠中

2 号館出入口

2 階正面玄関 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。

D 棟出入口

D 棟南 1 階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2 階に口腔保健教務係があります。

7 号館側接続口 1・4 階は出入不可、2・3・5 階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限ります）。

7 号館出入口 ※7 号館は現在順次改修工事のため使用不可（2025 年 2 月末完了予定）

1 階聖門側 解錠 7:00 施錠 18:00

D 棟北接続口（東側 1～6 階） 1 階は 解錠 7:00 施錠 18:00、
2～6 階は常時開放

1 号館東接続口（2～5 階） 常時開放

消防法の規定により、D 棟側と 2 階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7 号館 1 階歯科棟側接続口、1 号館東接続口（2、3 階）は施錠すると出入りできません。

2. 1 号館西・2 号館・7 号館内各室の施錠について

1 号館西講義室 解錠 8:00 施錠 19:00

2 号館講義室 解錠 8:00 施錠 18:00

2 号館学生ロッカー 番号ロック制
室

※2 号館の部屋を開ける際は必ず教員に申し出ること。許可なく使用を禁じます。

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（2号館2階・3階）について

- (1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。
- (2) 出入口はテンキーロック式です。暗証番号は1年ごとに変更します。退出時には出入口の扉が確実に閉まっていることを確認してください。
- (3) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。
学生ロッカー1と2は女子学生が、学生ロッカー3は男子学生が使用します。
また、各人の責任による破損等については各人の負担により原状回復してください。
- (4) ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、盗難に注意しましょう。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。ロッカーの鍵のトラブル（開かない、閉まらない）などが生じた場合は速やかに口腔保健工学専攻教員に申し出ること。
- (5) ロッカーの上部や室内に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。
- (7) ロッカー内での飲食は禁止します。紙くず等は必ず分別して廊下に設置してあるゴミ箱に捨て、室内に放置しないこと。室内をきれいに清掃すること。
- (8) ロッカー室でサークルの集会をしたり、マーじゃん等をしたりしないこと。
近年、2号館の電気使用量が増加しています。特に誰もいないロッカー室の電気やエアコンがつけっぱなしになっています。退出時にはエアコン、電気を消し、エアコンの設定温度に注意し、節電を心がけてください。

5. リフレッシュルーム（2号館）の使用について

- (1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使います。
- (2) 口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使いますが、他の学科専攻学生も使用することがあります。
- (3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。
- (4) リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。
- (5) リフレッシュルームに設置してある機器は共用で使います。インクや紙の補給などの管理は学生に任されています。
- (6) 注意事項

- ・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
 - ・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。
 - ・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別して廊下のごみ箱に捨てること。
 - ・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。
 - ・全員退出する際には電源を全て消すこと。
 - ・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。
 - ・リフレッシュルームは共用です。きれいに使用しましょう。掃除もしてください。
- (7) リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。
- 近年、2号館の電気使用量が増加しています。電気やエアコンなど、節電を心がけ、エアコンの設定温度にも注意してください（大学推奨基準は夏 28℃、冬 19℃です）。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

***注意：現在、7号館改修工事のため、使用中止となっています。**

7号館1階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

***注意：現在、感染対策のため、使用中止となっています。**

7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

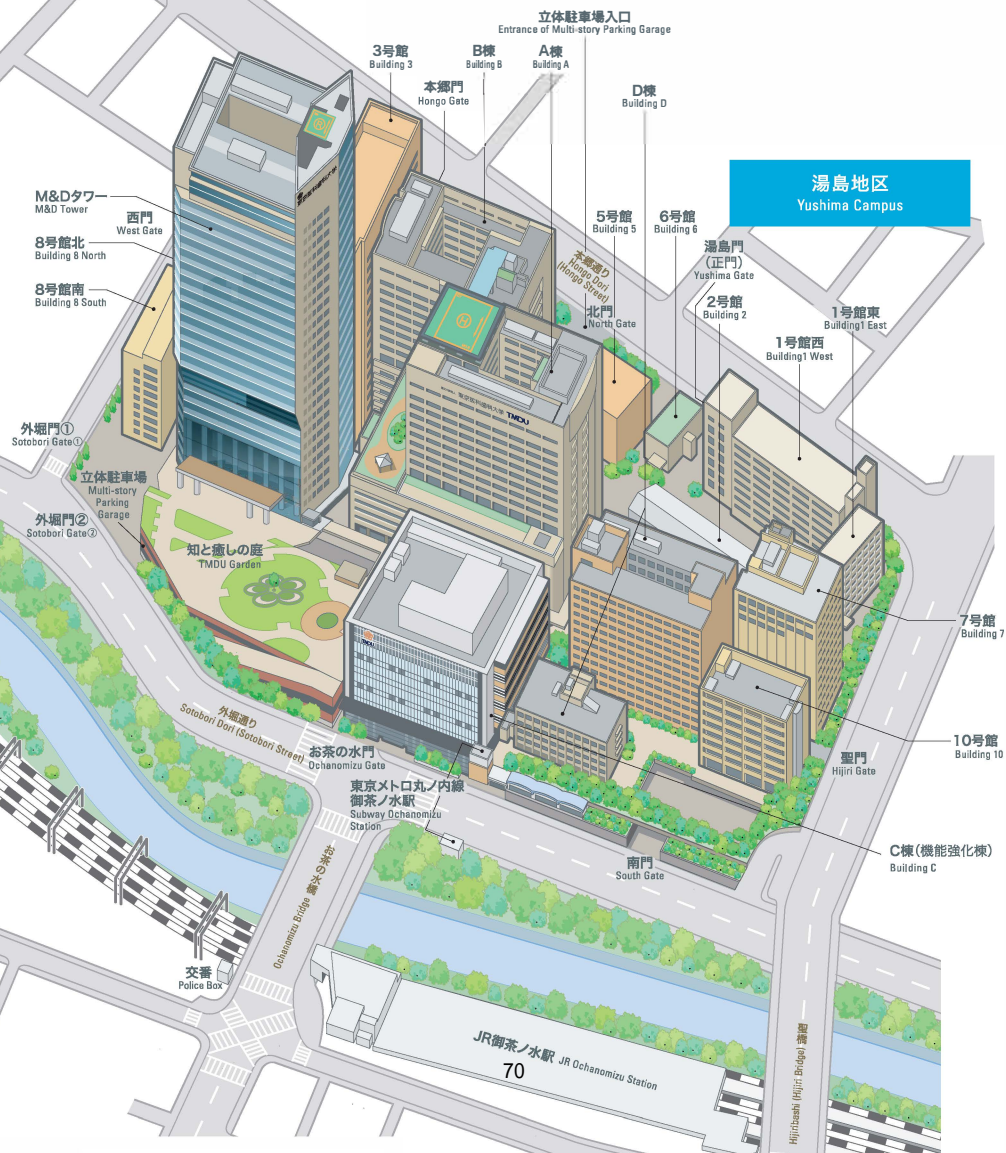
- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
- (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

8. 昼食について

- (1) 1年生はリフレッシュルーム、2年生は第2講義室、3年生は第1講義室、4年生は第3講義室を昼食に使用可能。
- (2) 講義室は他学科の授業でも使用するので、講義室等には私物を置かないこと。

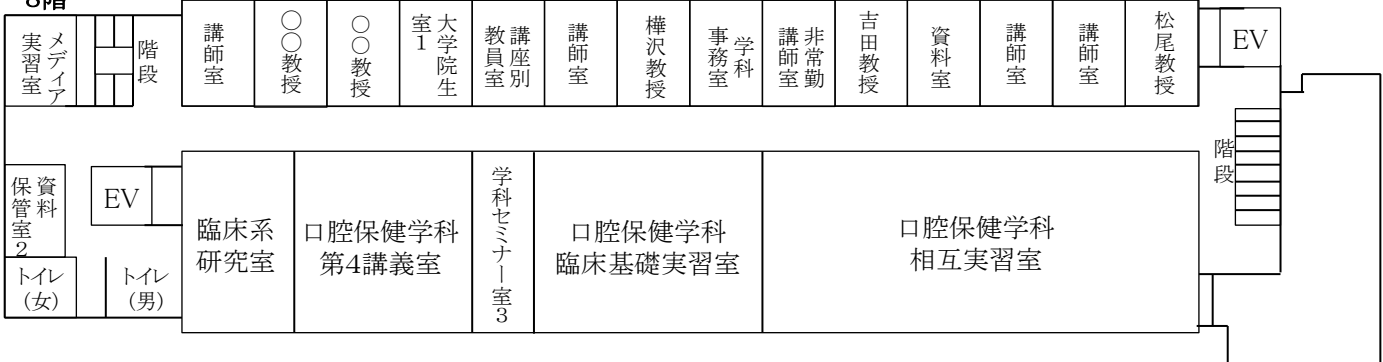
9. 講義室・実習室の使用について

- (1) 実習室における**飲食は原則として禁止**します。特に実習室内では安全上の理由から持ち込みも禁止します。ただし、脱水予防の理由から、講義室を講義で使用する場合および4階実習室廊下では原則として蓋のしめる飲み物のみ、休憩時間に許可します。休憩中に決められた昼食会場等で飲食してください。4階では、飲み物を置く場所を実習室外の廊下に指定します。
- (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- (3) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- (4) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (5) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
- (6) 実習室に私物のかばんや上着など実習に必要なのないものを持ち込まないこと。各自のロッカーに保管してください。
- (7) 白衣は実習室に放置しないこと。放置してある場合は予告なしに処分されます。
- (8) 講義室および実習室でのスマートフォン等の充電を禁止します。
- (9) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
- (10) 7号館7階以上は動物実験施設なので、関係者以外の出入りを禁止します。
- (11) 講義室は他学科の授業でも使用するので、時間外は原則使用しないこと。時間外に実習室を使用する場合は、教員の許可を得て使用すること。使用終了時には教員に状態を確認してもらってから退出すること。

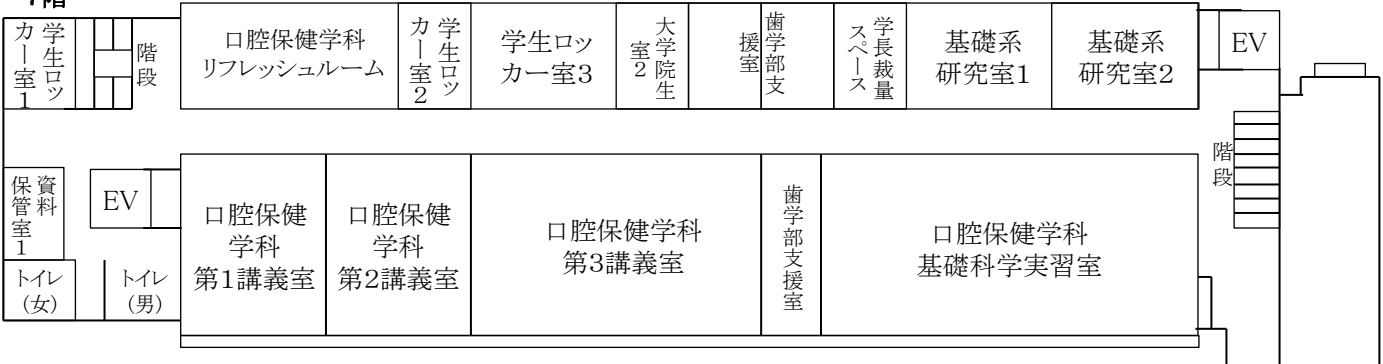


1号館 平面図

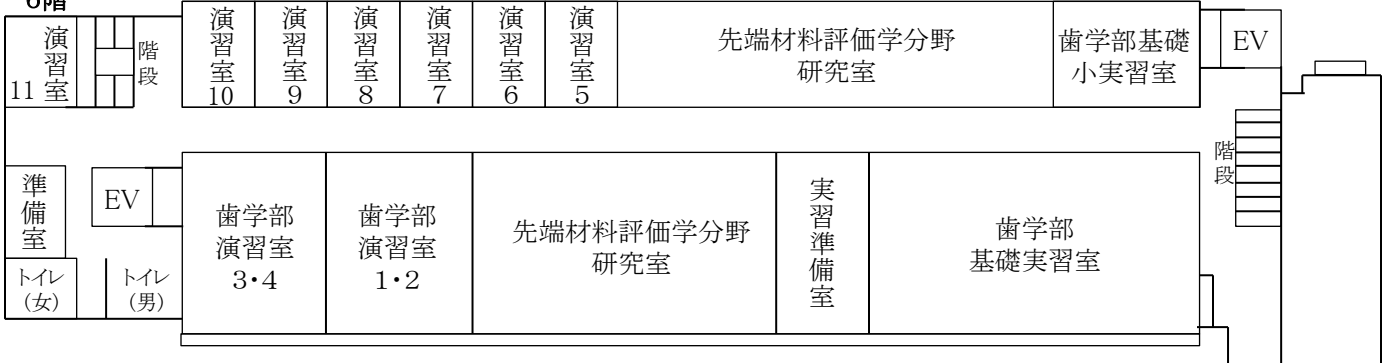
8階



7階

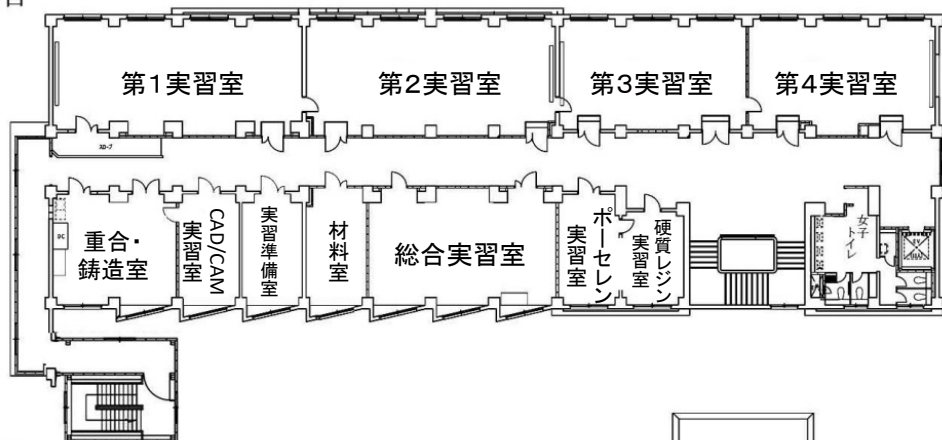


6階

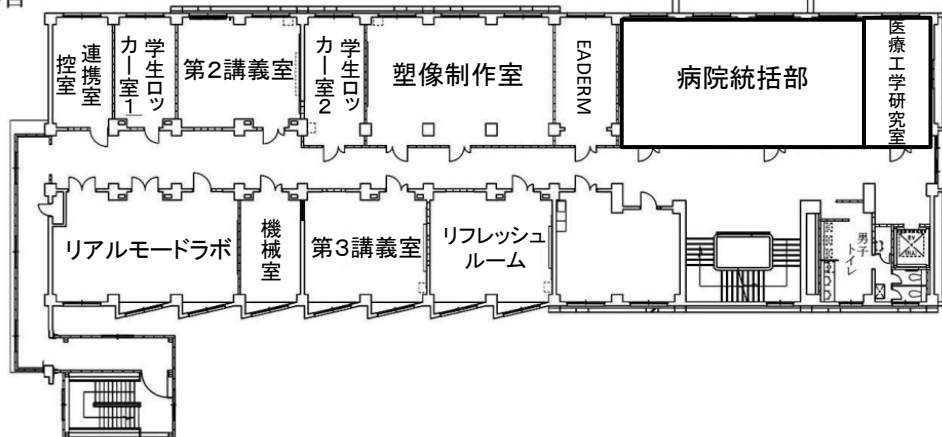


2号館 平面図

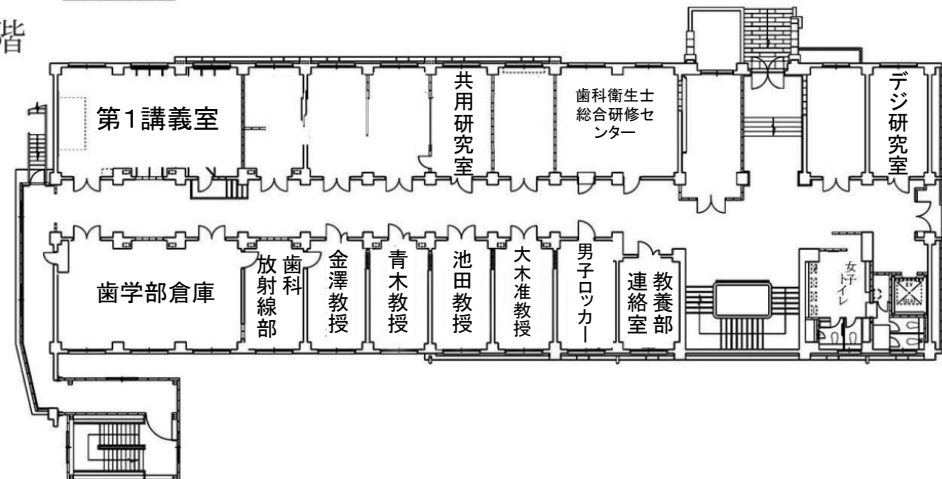
4階



3階

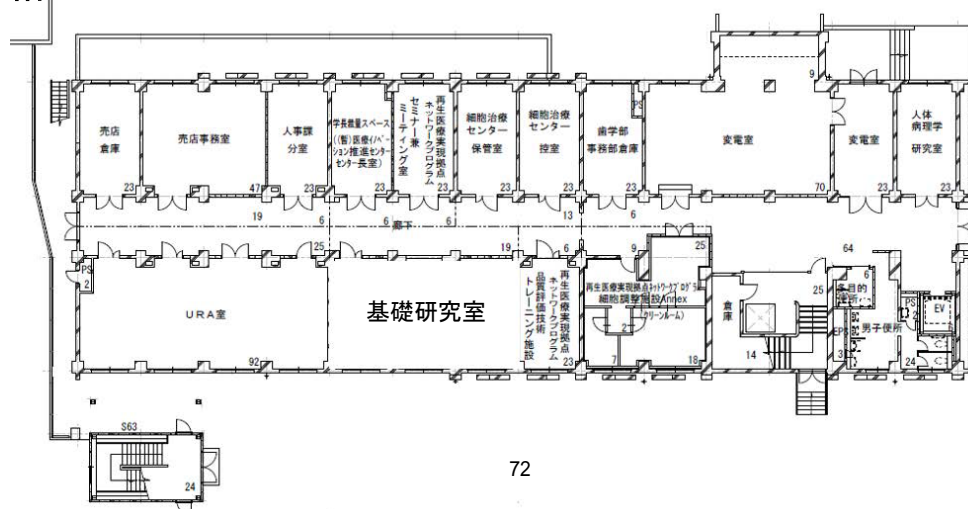


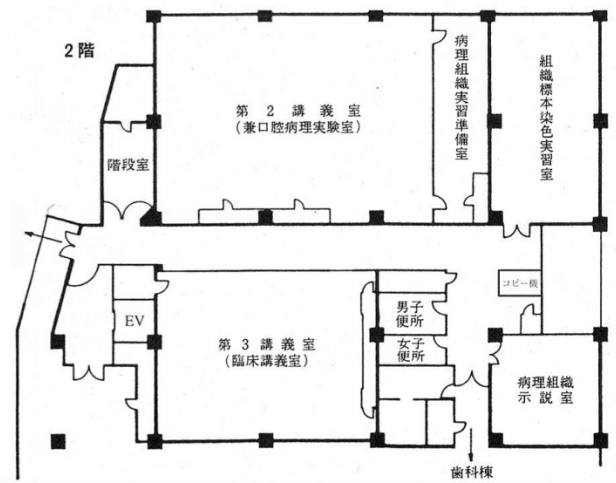
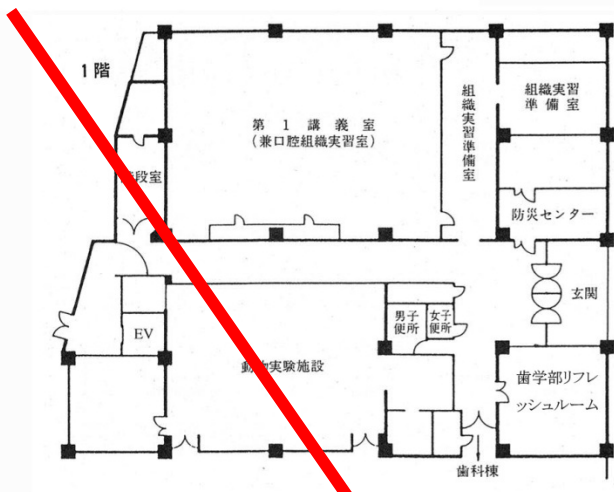
2階



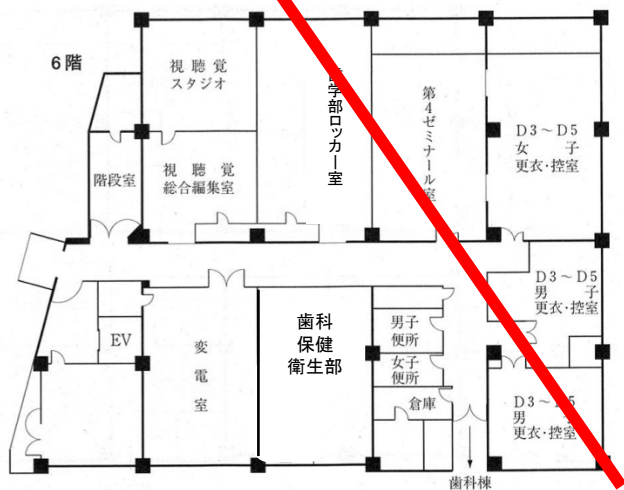
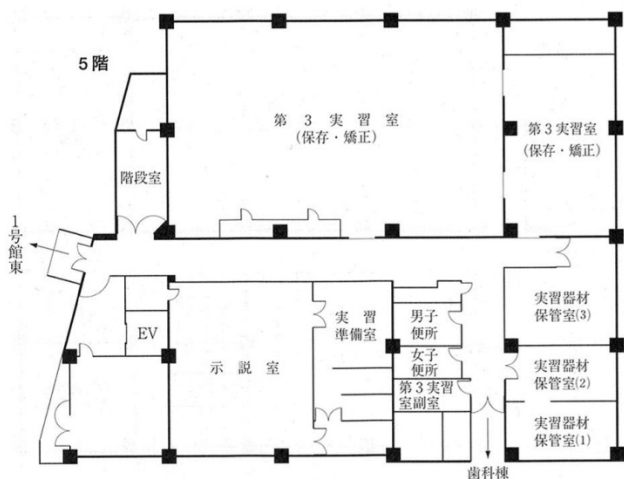
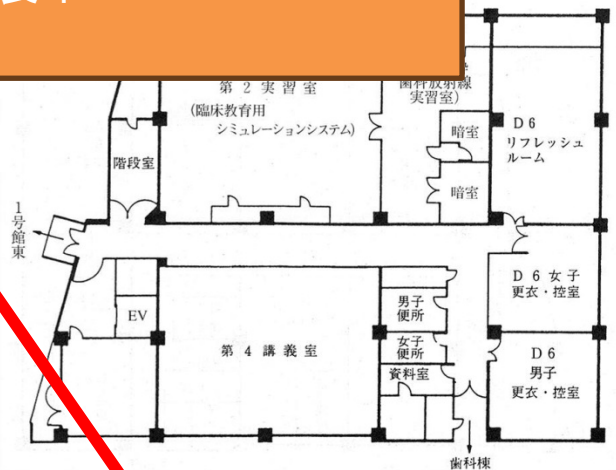
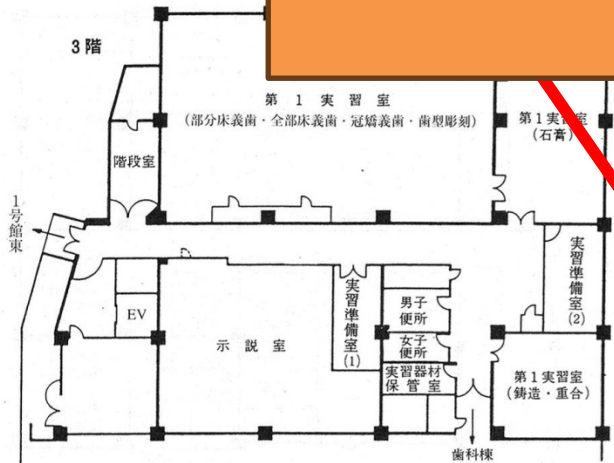
2階
連歯科棟
口

1階





改装中



2024年度 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 専門科目授業計画表

第1学年

	学 部 専 門 科 目	期 間
前期	入 学 式	2024/4/8 (月)
	新入生オリエンテーション	2024/4/9 (火)～ 2024/4/11 (木)
	「多職種連携Ⅰ」	2024/4/16 (火)
後期	専門課程ガイダンス	2024/9/17 (火)
	「口腔保健と専門職」	2024/9/17 (火)～ 2025/2/7 (金) 19週
	「早期臨床体験実習」	
	「造形美術概論実習」	
	「メディア情報学基礎」	
	「メディア情報学応用」	
	「AI・データサイエンスのための数学」	
	「医療とAI・ビッグデータ入門」	
	「アカデミック・リテラシー」	
	「う蝕と歯周病」	
	「感染予防」	
	「人体の構造と機能」	
	「歯の解剖学」	
	「研究体験実習」	
	定期試験	2025/2/3 (月)～ 2025/2/27 (木)
	TMDU - TMU 交流	2025/3/4 (火)～ 2025/3/6 (木)

第2学年

	区 分	期 間
前期	春 季 休 業	2024/4/1 (月)～ 2024/4/2 (火)
	授 業 18 週	2024/4/3 (水)～ 2024/7/31 (水)
	専門課程ガイダンス	2024/4/5 (金)
	入 学 式	2024/4/8 (月)
	TOEFL 試 験	2024/4/10 (水)
	カービングコンテスト	2024/7/23 (火)
	大 掃 除	2024/7/31 (水)
	オープンキャンパス	2024/8/1 (木)～ 2024/8/2 (金)
後期	夏 季 休 業	2024/8/1 (月)～ 2024/8/30 (金)
	補講および定期試験	2024/9/2 (月)～ 2024/9/13 (金)
	授 業 16 週	2024/9/18 (水)～ 2024/12/24 (火)
	創 立 記 念 日	2024/10/1 (火)
	救命救急実習・大掃除	2024/12/24 (火)
	冬 季 休 業	2024/12/25 (水)～ 2025/1/7 (火)
	授 業 6 週	2025/1/8 (水)～ 2025/2/13 (木)
	補講および定期試験	2025/2/14 (金)～ 2025/2/27 (木)
	大 掃 除	2025/2/28 (金)
	TMDU - TMU 交流	2025/3/4 (火)～ 2025/3/6 (木)
	春 季 休 業	2025/3/6 (木)～ 2025/3/31 (月)

第3学年

	区 分	期 間
前期	春 季 休 業	2024/4/1 (月)～ 2024/4/2 (火)
	授 業 18 週	2024/4/3 (水)～ 2024/7/29 (月)
	専門課程ガイダンス	2024/4/5 (金)
	TOEFL 試 験	2024/4/10 (水)
	カービングコンテスト	2024/7/23 (火)
	定期試験	2024/7/29 (月) 2024/7/31 (水)
	業 界 研 究	2024/7/30 (火)
	大 掃 除	2024/7/31 (水)
	オープンキャンパス	2024/8/1 (木)～ 2024/8/2 (金)
	夏 季 休 業	2024/8/1 (木)～ 2024/8/30 (金)
	補講および定期試験	2024/9/2 (月)～ 2024/9/13 (金)
後期	登 院 式	2024/9/9 (月)
	授 業 15 週	2024/9/17 (火)～ 2024/12/24 (火)
	就 職 対 策 講 座	2024/9/24 (火)
	グローバル海外研修	2024/9/30 (月)～ 2024/10/4 (金)
	創 立 記 念 日	2024/10/1 (火)
	解剖体追悼式	2024/10/25 (木) 午後予定
	救命救急実習・大掃除	2024/12/24 (火)
	冬 季 休 業	2024/12/25 (水)～ 2025/1/8 (水)
	授 業 6 週	2025/1/9 (木)～ 2025/2/10 (月)
	補講および定期試験	2025/2/12 (水)～ 2025/2/27 (木)
	大 掃 除	2025/2/28 (金)
	TMDU - TMU 交流	2025/3/4 (火)～ 2025/3/6 (木)
	春 季 休 業	2025/3/6 (木)～ 2025/3/31 (月)

第4学年

	区 分	期 間
前期	春 季 休 業	2024/4/1 (月)～ 2024/4/4 (木)
	専門課程ガイダンス	2024/4/5 (金)
	授 業 17 週	2024/4/8 (月)～ 2024/7/26 (金)
	カービングコンテスト	2024/7/23 (火)
	試 験 ・ 補 講	2024/7/29 (月)～ 2024/7/31 (水)
	大 掃 除	2024/7/31 (水)
	オープンキャンパス	2024/8/1 (木)～ 2024/8/2 (金)
	夏 季 休 業	2024/8/1 (木)～ 2024/8/30 (金)
後期	再 試 験 ・ 補 講	2024/9/9 (月)～ 2024/9/13 (金)
	授 業 15 週	2024/9/17 (火)～ 2024/12/24 (火)
	創 立 記 念 日	2024/10/1 (火)
	歯科技工臨床能力判定試験	2024/11/26 (火)
	大 掃 除	2024/12/24 (火)
	冬 季 休 業	2024/12/25 (水)～ 2025/1/8 (水)
	授 業 3 週	2025/1/9 (木)～ 2025/1/21 (火)
	卒 業 製 作 発 表 会	2025/1/10 (金)
	臨 床 実 習 Ⅲ 発 表 会	2025/1/9 (木)
	卒 業 研 究 発 表 会	2025/1/17 (金)
	国 家 試 験 対 策 会 お よ び 自 己 研 修	2025/1/14 (火)～ 2025/2/21 (金)
	国 家 試 験	2025/2/23 (日) 予定
	大 掃 除	2025/2/28 (金)
	TMDU - TMU 交流	2025/3/4 (火)～ 2025/3/6 (木)
	春 季 休 業	2024/3/6 (木)～ 2024/3/22 (金)
	卒 業 式	2025/3/25 (火) 予定

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 教員連絡先一覧

分野名	氏名	メールアドレス
口腔基礎工学分野	青木 和広	Kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp
	大木 明子	moki.mfoe@tmd.ac.jp
	上條 真吾	s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
口腔デジタルプロセス学分野		
	岩城 麻衣子	m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp
	土田 優美	yumi.bmoe@tmd.ac.jp
口腔医療工学分野	池田 正臣	ikeda.csoe@tmd.ac.jp
	佐藤 隆明	tsatope@tmd.ac.jp
	塩沢 真穂	m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

2024 年度学年別担当教員

口腔保健学科口腔保健工学専攻

担当学年	氏 名	所 属 等
第1学年担当	青木 和広	口腔基礎工学分野・教授
第2学年担当	岩城 麻衣子	口腔デジタルプロセス学分野・准教授
第3学年担当	池田 正臣	口腔医療工学分野・教授
第4学年担当	上條 真吾	口腔基礎工学分野・助教

第 1 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023600						
科目名	口腔保健と専門職			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所							
2 号館 3 階 第2、第3 講義室、リフレッシュルーム							
授業の目的、概要等							
自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習 (PBL) や演習をとおして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理、および多職種連携の重要性を学ぶ。							
授業の到達目標							
1. 口腔保健の概要を説明できる。							
2. 保健・医療・福祉の専門職の内容を概説できる。							
3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明できる。							
4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/24	09:45-11:30	第2講義室 第3 講義室	オリエンテーション、シナリオ1	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBLチュートリアル)、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広、大木 明子	到達目標:1-4 WebClass に教材をアップしている ので、事前準備をして くること チューター: 謝倉右
3-6	10/8	08:50-12:25	第2講義室 第3 講義室	学習項目の発表、シナリオ2	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広、大木 明子	到達目標:1-4 WebClass に教材をアップしている ので、事前準備をして くること チューター: 謝倉右
7-10	10/15	08:50-12:25	第2講義室 第3 講義室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	青木 和広、大木 明子	到達目標:1-4 WebClass に教材をアップしている ので、事前準備をして くること チューター: 謝倉右
11-13	10/29	08:50-11:30	第2講義室 第3 講義室	全体発表準備、作成した内容の発表、修正	ディスカッション、発表内容の検討	青木 和広、大木 明子	到達目標:1-4 WebClass に教材をアップしている ので、事前準備をして くること チューター: 謝倉右
14-15	11/12	09:45-11:30	第1講義室	全体発表	グループ課題発表、討論、まとめ	青木 和広、大木 明子	到達目標:1-4 WebClass に期限までに発表資料

							をアップすること チューター：謝倉 右
授業方法 講義、PBL、グループ討論、課題発表 事前に提示された課題を学習して資料を準備しておくこと。							
授業内容 医療チームメンバーの一員として、医療や口腔保健に関わる専門職について理解する。							
成績評価の方法 評価は事前学習の資料準備、授業参加態度、全体発表、課題レポートによって行う。 ・授業態度を加味し、出席状況(10 点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20 点)、全体発表の内容(20 点)、課題レポートの内容(50 点)で総合的に評価する。 ・資料準備やディスカッションの状況はチューターの評価、全体発表とレポートの評価は担当教員2名および TA による点数の平均を評価点とする。 ・対面授業に出席し、発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。							
成績評価の基準 ・事前学習資料内容、グループディスカッション、全体発表の合計点数が 60 点以上の者を合格とする。 ・配点は、出席状況(10 点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20 点)、全体発表の内容(20 点)、課題レポートの内容(50 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・事前学習内容を評価するので、必ず事前学習を行い、まとめてから PBL に参加すること。							
試験の受験資格 ・定期試験はないが、3 分の 2 以上の出席で単位認定の最低条件とする ・対面講義に出席し、演習に参加、事前準備資料や発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
他科目との関連 多職種連携Ⅰを基礎とし、多職種連携Ⅱ、Ⅲにつながる。							
履修上の注意事項 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
備考 PBL 方式の演習、グループワークによる課題発表をおこなう。 昨年度授業終了時アンケート結果より、内容を再検討し、昨年度より対面での実施、歯科技工士により近いシナリオを提示することで演習内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 青木 和広 メールにて日時を相談 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp 大木 明子 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp							

時間割番号	023505						
科目名	メディア情報学基礎				科目ID	DE-110500-L	
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代[KINOSHITA ATSUHIRO, SASAKI YOSHIYUKI, SUNAGA MASAYO]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:メディア情報学基礎 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、WebClass)、M&D タワー 4 階 図書館内 情報検索室 (通常:3 階図書館入口より入館、試験時:4 階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標 1) 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 2) PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画を編集できる。 3) 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 4) インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/30	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	情報セキュリティと著作権	情報セキュリティ、著作権	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:1 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
3-4	10/7	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習1	フリーソフトによる静止画像処理と パワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
5-6	10/21	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 2	フリーソフトによる動画処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
7-8	10/28	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成 演習 3	フリーソフトによる動画処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:2 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
9-10	11/11	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	インターネット情報検索 演習	インターネットからの情報の収集 と吟味	佐々木 好幸	到達目標:4 学習 方法:演習 事前 学習:事前資料確認
11-12	11/18	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成 演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標:3 学習 方法:動画視聴 (終了後に課題提出)
13-14	12/2	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	課題発表(情報の収集と 吟味)	課題発表(情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	到達目標:4 学習 方法:演習 事前

							学習:事前資料確認
15-16	12/9	08:50-10:30	情報検索室	試験/課題発表(動画処理)	課題発表(動画処理)	木下 淳博 須永 昌代 佐々木 好幸	到達目標:1-4 学習方法:Web 試験 補足:提出期限までにすべての課題を提出すること
授業方法 講義、演習 遠隔授業(同期型・非同期型)を行う。 遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、課題の提出をもって出席とする。課題提出の期限は原則授業実施予定日から一週間とする。 遠隔授業(同期型)では指示された期間までに課題を提出すること。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。 遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。							
成績評価の方法 各回の提出課題の達成度、確認テストの点数、最終回の WebClass による試験の点数により、授業の到達目標の達成度を評価する。 欠席等により課題が提出されない場合は、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。							
成績評価の基準 各回の課題の達成度を 7 割、最終回の WebClass による試験の成績を 3 割として合計 100 点満点で換算し、評価する。到達目標をすべて達成した場合は 80 点以上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。 ・授業コマの 2/3 以上出席した者。なお、遠隔授業では、課せられた課題(確認テストへの解答、課題提出)をすべて実施したことをもって出席とみなす。 なお、特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
備考 口腔保健衛生学専攻と合同授業 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。							
連絡先(メールアドレス) 木下 淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp 佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp 須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp 土田 優美:yumi.bmoe@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 木下 淳博:金 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発学分野 佐々木 好幸:随時(事前にメールでアポイントを取ること) 須永 昌代:随時 土田 優美:メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023690						
科目名	メディア情報学応用			科目ID			
担当教員	土田 優美 金澤 学[TSUCHIDA Yuumi, KANAZAWA MANABU]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:メディア情報学応用 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、WebClass) 2 号館 3 階 CA/CAM 演習室							
授業の目的、概要等 コンピュータやソフトウェアの構造、ネットワークといった、情報処理に必要なコンピュータに関する基礎的な知識を身に付ける。 その上で文書作成、ソフトウェアを用いた表計算やグラフの作成、プレゼンテーションファイルの作成および効果的なプレゼンテーションの方法を身に付ける。 これらにより口腔保健活動および研究活動に必要な情報を編集する基礎的な能力と、わかりやすく効果的な情報の共有ができる能力を習得する。							
授業の到達目標 1) 情報処理に必要なコンピュータに関する基礎的な知識を理解できる。 2) コンピュータ技術を応用したものづくりの基礎的な知識を理解できる。 3) 文書作成ソフトウェアの基本操作を理解できる。 4) 表計算ソフトウェアの基本操作を理解できる。 5) プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を理解できる。 6) 効果的なプレゼンテーションの方法を理解できる。 7) 文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を効果的なデータの編集に応用できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/25	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	コンピュータの基礎知識	ハードウェア、ソフトウェア	土田 優美	到達目標:1 学習方法:講義 事前学習:なし 終了後に小テストを実施
3-4	12/16	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	コンピュータ技術を応用したものづくり	コンピュータ技術の発展と産業、デジタルデンティストリー概論	土田 優美	到達目標:1 学習方法:講義 事前学習:なし 終了後に小テストを実施
5-7	12/23	09:45-12:25	CAD/CA M 演習室	表計算演習	表計算ソフトウェアの基本操作	土田 優美	到達目標:3 学習方法:演習 事前学習:なし
8-10	1/20	09:45-12:25	CAD/CA M 演習室	文書・プレゼンテーション作成演習	文書作成ソフトウェアの基本操作、プレゼンテーションソフトウェアの基本操作、効果的なプレゼンテーション	土田 優美	到達目標:4-6 学習方法:演習 事前学習:なし
11-12	1/27	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	課題製作	土田 優美	到達目標:7 学習方法:演習 事前

			型)				学習:なし
13	2/3	09:45-10:30	CAD/CA M 演習室	試験	試験	土田 優美	到達目標:- 学習 方法:試験 事前 学習:なし
14-15	2/3	10:45-12:25	CAD/CA M 演習室	課題発表	課題発表	土田 優美	到達目標:7 学習 方法:演習 事前 学習:なし
授業方法 講義、演習 遠隔授業(非同期型)、および演習を行う。 遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、課題の提出または小テストの実施をもって出席とする。 期限までに課題が提出されない場合、当該日程は欠席とするため、課題提出の期限は毎回よく確認すること。 ※小テストは実施期限をよく確認し、必ず期限内に実施すること。小テスト未実施および不合格は欠席となるため注意すること。 小テストは満点の取得をもって出席扱いとする。 小テストは期限内であれば何度でも実施可能。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。							
成績評価の方法 評価は試験(筆記試験)と課題発表によって行う。 ・試験: 80 点(試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。) ・課題発表: 20 点 出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。							
成績評価の基準 試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 試験、課題発表の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じて課題等での対応を行うこととする。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。							
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023507						
科目名	造形美術概論実習			科目ID	DE-130700-E		
担当教員	池田 正臣, 宮永 美知代, 角田 優[IKEDA MASAOMI, MIYANAGA MICHIO, KADOTA YU]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間 授業形態:実習							
主な講義場所							
2 号館 3 階 塑像製作実習室							
授業の目的、概要等							
光が物体にあたり、その反射を目がとらえ、脳が認識し、認識した物体を指手で再現するという造形美術の理論的背景を学び、実際に、2次元、3次元で、物体をとらえ、その形態を再現する。補綴装置製作の過程でも同様の方法にて、歯や顔貌を認識し色や形態を再現できる能力が必要なため、その基礎となる形態認識能力と造形に関する知識と技術を習得し、観察力、認識力、造形力を養い、歯と顔貌を立体的に認識し的確に造形できる能力を培う。							
授業の到達目標							
1.人モデルを観察し、塑像制作の基本的操作を理解し、行うことができる。							
2.人体外部からの観察により、頭頸部の骨・筋肉の形態が理解できる。							
3.歯科領域における美的感覚の重要性を説明できる。							
4.人体解剖における芸術と医学の共通の時代背景を説明できる。							
5.芸術的視点からの人体の観察法を理解する。							
6.人体の頭部・顔面領域のサイズを計測し、分類・比較を行うことにより、人体の特徴を深く理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/7	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 1	塑像制作実習(課題説明、クロッキー)	宮永 美知代 角田 優 鈴木 友晴	講義:SBOs 4-6
4-6	10/21	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 2	美術解剖学(医療と造形の接点としての美術解剖学)	宮永 美知代 角田 優 鈴木 友晴	講義:SBOs 4-6
7-9	10/28	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 3	塑像制作実習(心棒の制作、粘土練り、制作)	宮永 美知代 角田 優 鈴木 友晴	講義:SBOs 4-6
10-12	11/11	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 4	美術解剖学(顔をどう見るか)	宮永 美知代 角田 優 鈴木 友晴	講義:SBOs 4-6
13-15	11/18	13:30-16:10	305 室 連携教育 講義室 遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 5	美術解剖学(頭蓋と顔)	宮永 美知代 角田 優 鈴木 友晴	実習:SBOs 1-3
16-18	12/2	13:30-16:10	305 室 連携教育 講義室 遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 6	美術解剖学(表情と顔)・仕上げ	宮永 美知代 角田 優 鈴木 友晴	実習:SBOs 1-3
19-21	12/9	13:30-16:10	305 室 連携教育	塑像制作実習・講義 1	塑像制作実習(課題説明、クロッキー)	宮永 美知代 角田 優 鈴木	実習:SBOs 1-3

			講義室 遠隔授業 (同期型)			木 友晴	
22-24	12/16	13:30-16:10	305 室 連携教育 講義室 遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 2	美術解剖学(医療と造形の接点としての美術解剖学)	宮永 美知代 角田 優 鈴 木 友晴	実習:SBOs 1-3
25-27	1/20	13:30-16:10	305 室 連携教育 講義室 遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 3	塑像制作実習(心棒の制作、粘土練り、制作)	宮永 美知代 角田 優 鈴 木 友晴	実習:SBOs 1-3
28-30	1/27	13:30-16:10	305 室 連携教育 講義室 遠隔授業 (同期型)	塑像制作実習・講義 4	美術解剖学(顔をどう見るか)	宮永 美知代 角田 優 鈴 木 友晴	実習:SBOs 1-3
授業方法 講義・実習							
成績評価の方法 ・評価は実習で作成し提出された作品について行う。 実習作品 80 点について、「観察力」「認識力」「表現力」を評価する。 ・講義出席状況(10 点)、レポート内容および適宜、実習態度の評価(10 点)を行い、総合的に評価する。							
成績評価の基準 ・講義出席状況(10 点)、レポート内容および適宜、実習態度の評価(10 点)、作品の評価(80 点)を行い、総合的に評価する。 ・総合点 60 点以上を合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 実習は実習室で行う。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							

時間割番号	023700				
科目名	AI・データサイエンスのための数学			科目ID	
担当教員	中林 潤, 中山 まどか[NAKABAYASHI Junn, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2-1)					
主な講義場所					
同期型遠隔授業					
授業の目的、概要等					
数論など数学の基本から始めて、微積分や代数、行列など基礎数学について学び、AI やデータサイエンスを習得するために必要な数理リテラシーを身につける。					
授業の到達目標					
数論や微積分、代数、行列などの基礎的知識を理解し、AI・データサイエンスを習得するのに必要な数学的基礎知識を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1	9/19	10:45-11:30			
2	9/19	11:40-12:25			
3	9/26	10:45-11:30			
4	9/26	11:40-12:25			
5	10/3	10:45-11:30			
6	10/3	11:40-12:25			
7	10/10	08:50-09:35			
8	10/10	09:45-10:30			
9	10/10	10:45-11:30			
10	10/10	11:40-12:25			
11	10/24	08:50-09:35			
12	10/24	09:45-10:30			
13	11/7	08:50-09:35			
14	11/7	09:45-10:30			
15	11/21	08:50-09:35			
16	11/21	09:45-10:30			
17	12/5	08:50-09:35			
18	12/5	09:45-10:30			
19	12/19	08:50-09:35			
20	12/19	09:45-10:30			
21	1/15	08:50-09:35			
22	1/15	09:45-10:30			
23	1/16	08:50-09:35			
24	1/16	09:45-10:30			
25	1/22	08:50-09:35			
26	1/22	09:45-10:30			
27	1/23	08:50-09:35			
28	1/23	09:45-10:30			
29	1/30	10:45-11:30			
30	1/30	11:40-12:25			

授業方法
講義と実習により進める
授業内容
数論、微積分、代数、行列、確率
成績評価の方法
出席状況と授業中の態度、授業内課題と最終レポートの点数などを勘案して総合的に判断する。
成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」に従う。
準備学習等についての具体的な指示
特に準備学習は不要であるが、講義後の復習を行い毎回の講義内容をしっかり理解することが重要である。
試験の受験資格
授業数の 2/3 以上の出席
他科目との関連
「医療と AI・ビッグデータ入門」の講義を理解し、実習を行うための基礎知識となる。
連絡先(メールアドレス)
中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
中林 潤:月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

時間割番号	023710						
科目名	医療と AI・ビッグデータ入門			科目 ID			
担当教員	宮野 悟, 中林 潤, 高橋 邦彦, 坂内 英夫, 清水 秀幸, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 徳永 伸一, 木下 淳博, 岡田 英理子, 那波 伸敏, 鹿島田 彩子, 森田 久美子, 土田 優美, 河原 智樹, 竹内 康雄, 角 勇樹, 平川 晃弘, 須藤 毅顕, 石丸 美穂, 曹 日丹, 中山 まどか, 中島 義和, 江花 有亮[MIYANO Satoru, NAKABAYASHI Junn, TAKAHASHI Kunihiro, BANNNAI Hideo, SHIMIZU Hideyuki, HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, TOKUNAGA SHINICHI, KINOSHITA ATSUHIRO, OKADA ERIKO, NAWA Nobutoshi, KASHIMADA Ayako, MORITA KUMIKO, TSUCHIDA Yuumi, KAWAHARA Tomoki, TAKEUCHI YASUO, SUMI YUKI, HIRAKAWA Akihiro, SUDOU Takeaki, ISHIMARU MIHO, SOU Hitann, NAKAYAMA Madoka, NAKAJIMA Yoshikazu, EBANA YUSUKE]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2-1)							
主な講義場所							
同期型遠隔授業							
授業の目的、概要等							
今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AI の基礎的素養を習得する。							
なぜ、数理・データサイエンス・AI を学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野での AI の活用事例を学ぶ。							
将来的に保健医療分野における AI 技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同で AI 技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。							
授業の到達目標							
・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AI を学ぶことの意義を説明できる。							
・AI を活用した新しいビジネス/サービスを説明できる							
・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。							
・データ・AI を活用するために使われている技術を概説できる。							
・データ・AI を活用することによって、どのような価値が生まれているかを説明できる。							
・データ・AI 利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。							
・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/17	10:45-11:30		講義 1			
2	10/17	11:40-12:25		講義 2			
3	10/24	10:45-11:30		講義 3			
4	10/24	11:40-12:25		講義 4			
5	10/31	10:45-11:30		講義 5			
6	10/31	11:40-12:25		講義 6			
7	11/7	10:45-11:30		講義 7			
8	11/7	11:40-12:25		演習 1:python 基礎 1	python の復習	曹 日丹, 石丸 美穂	Google Colaboratory の使い方の復習ができる
9	11/14	10:45-11:30		演習 2:python 基礎 2	データの型、リストの概念、制御構文	曹 日丹, 石丸 美穂	python のデータ型とリストの概念、制御構文について復習できる

10	11/14	11:40-12:25		演習 3:python 基礎 3	関数、モジュール、パッケージ、ライブラリ	曹 日丹, 石丸 美穂	pythonの関数、モジュール、パッケージ、ライブラリ等の概念について理解できる
11	11/21	10:45-11:30		演習 4:python 基礎 4	配列概念、多次元配列、ファイル操作	曹 日丹, 石丸 美穂	python の numpy ライブラリ、配列概念、多次元配列について理解できる
12	11/21	11:40-12:25		演習 5:python 基礎 5	データ読み込み	曹 日丹, 石丸 美穂	python でデータフレーム(csc ファイル)を読み込める
13	11/28	10:45-11:30		演習 6:python 基礎 6	データフレーム取り扱い	曹 日丹, 石丸 美穂	python で実際にデータクレンジングを行える
14	11/28	11:40-12:25		演習 7:python 基礎 7	データ可視化	曹 日丹, 石丸 美穂	python でデータの可視化を行える
15	12/5	10:45-11:30		演習のための講義 1:機械学習概論 1	機械学習(回帰分析)の概念の解説	清水 秀幸	回帰分析の概念について理解できる
16	12/5	11:40-12:25		演習 8:回帰分析 1	線形回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際に線形回帰分析を行える
17	12/12	10:45-11:30		演習 9:回帰分析 2	線形回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際に線形回帰分析を行える
18	12/12	11:40-12:25		演習 10:回帰分析 3	ロジスティック回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際にロジスティック回帰分析を行える
19	12/19	10:45-11:30		演習 11:回帰分析 4	ロジスティック回帰分析	石丸 美穂 曹 日丹	python で実際にロジスティック回帰分析を行える
20	12/19	11:40-12:25		演習のための講義 2:機械学習概論 2	機械学習(教師あり学習)の概念の解説	清水 秀幸	教師あり機械学習の概念について理解できる
21	1/9	10:45-11:30		演習 12:教師あり機械学習 1	教師あり学習(サポートベクターマシン)	石丸 美穂 曹 日丹	python でサポートベクターマシンを行える
22	1/9	11:40-12:25		演習 13:教師あり機械学習 2	教師あり学習(決定木)	石丸 美穂 曹 日丹	python で決定木分析を行える
23	1/15	10:45-11:30		演習 14:教師あり機械学習 3	教師あり学習(ランダムフォレスト)	石丸 美穂 曹 日丹	python でランダムフォレストを行える
24	1/15	11:40-12:25		演習のための講義 3:深層学習概論	深層学習の概念の解説	清水 秀幸	深層学習の概念について理解できる
25	1/16	10:45-11:30		演習 15 深層学習 1	深層学習の基礎	石丸 美穂	python で深層学

						曹 日丹	習を行う方法を理解する
26	1/16	11:40-12:25		演習 16 深層学習 2	深層学習の結果の可視化	石丸 美穂 曹 日丹	python で深層学習の結果を可視化する
27	1/22	10:45-11:30		演習 17 深層学習 3	画像の読み込みと前処理	石丸 美穂 曹 日丹	python で画像の読み込みと前処理を行える
28	1/22	11:40-12:25		演習 18 深層学習 4	深層学習モデルの設計	石丸 美穂 曹 日丹	python で画像の深層学習モデルを設計できる
29	1/23	10:45-11:30		演習 19 深層学習 5	肺レントゲンでの深層学習	石丸 美穂 曹 日丹	python で肺レントゲン写真を用いて深層学習を行える
30	1/23	11:40-12:25		まとめの演習	機械学習と深層学習についての課題	石丸 美穂 曹 日丹	自分で学習モデルを設計することができる

授業方法

・前半は講義、後半は自分の PC で演習を行う。

授業内容

AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習

社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義:

社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など

データ解析実習:

データハンドリング、機械学習など

成績評価の方法

・各講義及び演習後の課題により成績評価を行う。

・試験は実施しない。

・最終回終了時までに、以下の授業評価に回答していることを成績評価の前提とする。

○医学科の学生:「M1 コース評価アンケート 2024」の「2024 年度「医療と AI・ビッグデータ入門」コース評価」

○保健衛生学科看護学専攻の学生:「N1 教務係等からのお知らせ 2024」の「N1 2024「医療と AI・ビッグデータ入門」授業評価」

○保健衛生学科検査技術学専攻の学生:「MT1 教務係等からのお知らせ 2024」の「MT1 2024「医療と AI・ビッグデータ入門」授業評価」

○歯学科の学生:「歯学科授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ入門」

○口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生:「OH1-4 口腔保健衛生学専攻授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ入門」

○口腔保健学科口腔保健工学専攻の学生:「OE1-4 口腔保健工学専攻授業評価アンケートコース 2024」の「医療と AI・ビッグデータ入門」

成績評価の基準

・課題をすべて期限内に提出し、提出課題により本科目の到達目標を全て達成したと判断された場合は、科目の評点を 80 点以上とする。

・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席として扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

・期限内に提出された課題、および期限後に再提出された課題は 100 点満点で、期限後に初めて提出された課題は 79 点満点で評価する。

・WebClass 上で提出された課題のみを評価対象とし、個別メール等で送られた課題は原則受け付けない。

準備学習等についての具体的な指示

・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格

- ・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす。
- ・演習のコマは授業最後に与える課題の提出をもって出席とみなす。
- ・webclass の必修 IT 基礎研修のスタートアップ編および情報セキュリティ編を受講しテストに合格していることを単位取得の条件とする。

他科目との関連

- ・情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる。

履修上の注意事項

- ・演習および課題提出を行うので、参加者は PC 持参を原則とする。

備考

- ・実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。
- ・事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

曹 日丹:caoemdv@tmd.ac.jp

石丸 美穂:ishimaru.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

曹 日丹:毎週木曜日 AM.10:00-PM.5:00 10 号館 3 階 301 室

石丸 美穂:毎週木曜日 AM10:00-PM5:00 1 号館 3 階 統合教育機構

時間割番号	023720				
科目名	アカデミック・リテラシー			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める 別表 1-7)人間の心への理解を高める 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける					
主な講義場所 国府台キャンパスにて対面で実施予定。					
授業の目的、概要等 「アカデミック・リテラシー」は、調査力・思考力・表現力・コミュニケーション能力を総合的に向上させ、高校までの学習に対する受動的な意識から、大学生としての主体的な学びの意識へと早期に転換させることを目指した取り組みである。「文章表現リテラシー」「情報活用リテラシー」「口頭表現リテラシー」で構成される。大学生活や今後に向け、調査、分析、考察し、論理的また明確に文章にし、またプレゼンテーションやディスカッションなどをする能力を身につけることを目標とする。 三つに分けて改めて記す。 1情報活用リテラシー： レポートや論文などアカデミックな論理的文章の執筆や、発表のために必要で正確な情報を収集し、活用できるようになる。 2文章表現リテラシー： 複数の文献を用いて 3000 字以上の論理的文章が書けるようになる。 3口頭表現リテラシー： PPT を用いたアカデミックプレゼンテーションができるようになる。					
授業の到達目標 1情報活用リテラシー ・研究倫理の観点から、情報収集のために必要なリテラシーを身につける ・複数の情報を比較して、情報を精査する視点を得ることができるようになる 2文章表現リテラシー ・論理的に展開するための定型に則った文章を書けるようになる ・自ら問いを立て、調査やデータに基いた考察分析ができるようになる 3口頭表現リテラシー ・論理的に展開するためのを身につけることができる ・定型に則った明解なプレゼンテーションができるようになる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-2	9/19	08:50-10:30			
3-4	9/26	08:50-10:30			
5-6	10/3	08:50-10:30			
7-8	10/10	08:50-10:30			
9-10	10/24	08:50-10:30			
11-12	11/7	08:50-10:30			
13-14	11/14	08:50-10:30			
15-16	11/28	08:50-10:30			

17-18	12/19	08:50-10:30	
19-20	1/29	08:50-10:30	
授業方法 文章表現、情報活用、口頭表現の三種類の内容で構成し、担当者が講義を行う。受講者には、課題の執筆や口頭発表、ディスカッションなどを課す。アクティブラーニング形式で行うため、出席し、能動的な態度で臨むこと。			
授業内容 1. ガイダンス ・リテラシー授業、今後の課題について説明 ・自己紹介文執筆、提出(400字) ・文献検索と引用法について Zoom 講義で振り返り 2. 情報活用Ⅰ、文章表現Ⅰ 書評とディスカッションへの記事提出 優れた自己紹介文の紹介、メールの書き方、論理的文章の型や、レポートの描き方など説明。この授業で書く 3000 字のレポートについての説明。 3. 情報活用Ⅱ、口頭表現Ⅰ、文章表現Ⅱ ディスカッションで提出した記事について、他紙、全国紙、地方紙などを提出、記事内容の比較分析。情報倫理・研究倫理の要点について Zoom 講義で説明。 ディスカッションについての説明の後、新聞記事に基づいたディスカッション 提出した記事から引用した論理的文章の提出。 4. 情報活用Ⅲ、文章表現Ⅲ 記事の比較分析、ディスカッションを通して考えたことなどを提出。書評記事を提出。 前回の文章の返却。それに基づいた説明。 5. 文章表現Ⅳ、口頭表現Ⅱ 第 4 回で提出した書評を引用し書籍を紹介する文章の提出。 アカデミックプレゼンテーションの型、スライドの作成方法など説明。 ブックトークについての説明。 6. 口頭表現Ⅲ 第 4 回で提出した書籍の、PPT を用いたブックトークの実施。 7. 文章表現Ⅴ、情報活用Ⅳ この授業で書く 3000 字のレポートについてのテーマの決定。 自分のテーマに基づく、アンケート、インタビューの実施について。 アンケート項目の検討と提出。			
成績評価の方法 情報活用の課題 30%、文章表現の課題 30%、口頭表現 20%、 期末コメントシート 20%			
成績評価の基準 (授業開始前)授業内容を把握し、学期を通して扱う書評と、ディスカッションのテーマとしたい記事を探し、初回授業で提出する。 (授業開始後)シラバスに則った課題を遅れることなく提出する。			
準備学習等についての具体的な指示 与えられた課題に取り組み、〆切を遅れず提出すること。			
試験の受験資格 授業内の課題を提出し、3 分の 2 以上の授業に出席していること。			
教科書 授業内で指示。			
参考書 授業内で指示。			

他科目との関連

グローバル教養総合講座「情報活用」。また本講義で学んだアカデミック・リテラシーを、他の授業でいかす。

履修上の注意事項

「アカデミック・リテラシー」そのものを身につける授業であるため、生成 AI などの使用が認められた場合は、厳しく対応する。課題は遅れることなく提出すること。授業には能動的に臨むこと。

時間割番号	023510B						
科目名	感染予防			科目ID	DE-231000-L		
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間							
授業形態:遠隔授業(非同期、同期)講義・演習、対面実習							
主な講義場所							
対面授業と演習は2号館第1講義室、遠隔授業(同期、非同期型)、対面実習は、口腔保健学科基礎科学実習室（1号館西 7 階）							
授業の目的、概要等							
病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみ、感染予防の方法ならびに実際の対処法、特に、歯科医療で必要となる消毒・滅菌の実際と標準予防策について理解する。							
授業の到達目標							
授業の到達目標							
1. 細菌、ウイルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から説明できる。							
2. 感染への生体防御機構を微生物の特性に基づき説明できる。							
3. 感染の予防と治療の基礎について説明できる。							
4. 口腔に存在する微生物の特徴と感染症について説明できる。							
5. 感染予防の方法と限界について説明できる。							
6. 感染を予防する手洗いができる。							
7. 抗感染症薬について説明できる。							
8. 疫学の成り立ちと疫学の基礎的用語について説明できる。							
9. 歯科医療現場で遭遇する感染症について説明できる。							
10. 歯科技工操作における感染予防・安全対策の対処法が説明できる。							
11. 細菌をグラム染色し、陽性が陰性が判定できる。							
12. 感染症対策を自ら考えることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	10/15	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	微生物と疾病、病原性微生物	微生物の特徴、病原性微生物細菌、ウイルス、真菌の特徴	鈴木 敏彦	到達目標:1 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。
4-6	10/22	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	病原微生物と感染症	グラム陽性菌・陰性菌と感染症、ウイルス感染症	齋藤 良一	到達目標:2,3 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。
7-9	11/5	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	感染に対する生体防御機構(その1)	宿主防御機構と免疫	永井 重徳	到達目標:3 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。
10-11	11/19	09:45-11:30	第2講義室	疫学の基礎	感染症と疫学、オッズ比、擬陽性等、疫学用語の理解	相田 潤	到達目標:8 感想記入を行って

							出席となります。
12-14	11/26	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	感染に対する生体防御機構(その2)	宿主防御機構と免疫	永井 重徳	到達目標:3 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。
15-17	12/3	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	口腔の微生物と感染症	口腔細菌叢、プラーク、う蝕、歯髄炎、歯周病ほか	竹内 康雄	到達目標:4, 11 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。
18-20	12/10	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	滅菌、消毒法と感染対策	洗浄、消毒、滅菌と歯科における感染対策	道 泰之	到達目標:1,3,5, 9,10 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。
21-23	12/17	09:45-12:25	第2講義室	疫学演習	感染症対策演習 (班ごとの発表)	相田 潤 青木 和広	到達目標:1-10, 12 宿題を行った上で参加すること
24-26	1/14	13:30-16:10	口腔保健 学科基礎 科学実習室	細菌観察の実際	細菌のグラム染色(口腔内細菌も含む)	鈴木 敏彦、 芦田 浩、岡野 徳壽	到達目標:1-12 対面実習
27-28	1/14	16:20-18:00	第1講義室 遠隔授業(同期型)	感染予防・消毒材料の開発 Meeting ID: 928 0539 2545 Passcode: 597301 工学専攻学生以外は遠隔同期可能	除菌・抗菌作用、バイオフィルム形成阻止材料	二川 浩樹	到達目標:1-5 授業後に感想記入
29-30	1/21	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	抗感染症薬	化学療法薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬	芦田 浩	到達目標:7 動画視聴後に小テストと感想記入をして出席となります。

授業方法

遠隔授業(非同期)、対面の特別講義(複合コースは遠隔同期も可能)、対面の演習、対面の実習

成績評価の方法

評価は確認テスト、発表、実習レポートおよび期末試験(筆記試験:60分の予定)によって行う。

- ・確認テスト(22点)、感染症対策演習発表スライド提出(14点)、微生物実習レポート(14点)による評価を行う(平常点合計50点)。
- ・期末試験(筆記試験)の配点は50点、上記平常点50点と合算して成績を評価する。

成績評価の基準

- ・総合点数が60点以上のものを合格とする。
- ・期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。
- ・配点は、筆記試験(50点)、確認テスト(22点)、感染症対策演習発表スライド提出(14点)、微生物実習レポート(14点)とし、合計100点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度、試験の平均点等を考慮して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

特に、相田先生の演習は事前のプレゼンテーションの準備が必要です。
また、毎回非同期授業は確認テストがあります。合格点をとれるまで繰り返し視聴してください。
微生物学実習には色鉛筆が必要です。準備できる学生は持参すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・2/3 以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(非同期型)を視聴し、小テストなどの課題(感想記入も含む)を提示された期限までに提出して出席となる。

また、小テストは満点をとるなど指定がある場合は、その条件をクリアした場合に出席となる。

・まとめとなる二川先生の特別講義、相田先生の演習(プレゼン準備必要)および対面の微生物学実習はかならず出席すること。

・やむを得ない理由で欠席する場合は、メールで連絡後、実習相当のレポート課題の提出後、評価を行い、試験の受験資格を認めることとする。

備考

アクティブラーニングは対面実習、演習によりおこなう。

昨年度の授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、新カリキュラムの内容として対面演習をいれるなど改善を行っている。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhito_aoki@tmd.ac.jp

それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。

非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。

対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。

時間割番号	023512						
科目名	早期臨床体験実習				科目ID	DE-151200-E	
担当教員	池田 正臣, 青木 和広, 大木 明子, 上條 真吾, 土田 優美, 樋口 和秀, 金澤 学, 岩城 麻衣子, 佐藤 隆明 [IKEDA MASAOMI, AOKI KAZUHIRO, OKI MEIKO, KAMIJO SHINGO, TSUCHIDA Yuumi, Kazuhide Higuchi, KANAZAWA MANABU, IWAKI Maiko, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:後期 30 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2号館第4実習室							
授業の目的、概要等 歯科外来、歯科技工部を見学し、臨床の現場を体験することで歯科医学ならびに歯科医療の現況を知り、医療人としての基本的な姿勢を学ぶ。また、歯科技工所と歯科企業を見学し、歯科器材・歯科技工装置の開発と製造および販売の現状と歯科市場の動向について把握することで、将来のニーズを読み取る能力を身に着ける。これらにより、歯科技工士に求められる資質とは、人の健康の維持・増進に寄与し、健康で幸せな生活の実現のため専門的知識および技術をもって広く社会貢献することであることを認識する。							
授業の到達目標 1. 歯科医療従事者に求められる態度を身につける。 2. 歯科医療と歯科保険制度が人々の健康の維持増進に果たす社会的役割を説明できる。 3. 加齢に伴う高齢者の身体的変化を説明できる。 4. 歯科業界の市場および動向について説明できる。 5. 行動特性検査と分析結果を説明できる。 6. 歯科医療のなかでの歯科技工士の役割を説明できる。 7. 歯科材料、器械の扱いを説明できる。 8. 歯科医療の現状と補綴装置、顔、口等のニーズについて分析できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/17	13:30-17:05	第4実習室	オリエンテーション、歯科医療概論 身だしなみと態度 歯科技工部(リアルモースタジオ)・病院見学	現在の歯科業界の動向と検証 保険制度と保存修復治療のながれ 医療現場での身だしなみと態度、高齢者疑似体験実習 歯学部附属病院および歯科技工部の紹介	青木 和広 金澤 学 大木 明子, 岩城 麻衣子, 池田 正臣, 土田 優美 上條 真吾	到達目標1-4 病院(動画)・技工部 見学・高齢者疑似体験
5-8	9/24	13:30-17:05	第4実習室	行動特性分析 歯科企業見学	行動特性検査登録(web) 歯科材料メーカーでの体験実習	池田 正臣	到達目標1-5 歯科材料メーカーでの体験実習
9-12	10/8	13:30-17:05	第4実習室	課題学習と発表会について 資料室、図書館の見学 歯科技工所見学	課題学習法とPPT 操作・作成・発表方法 資料室見学、図書館の見学と利用方法、文献検索方法 中規模歯科技工所見学	池田 正臣	到達目標1-5 歯科技工所見学 図書館見学
13-16	11/19	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	マーケティングリサーチ1と就職活動	歯科市場における商品とサービスおよび将来的なニーズ 就職活	池田 正臣	到達目標1-3.7

					動の実際		
17-20	12/3	13:30-17:05	遠隔授業 (同期型)	行動特性分析 マーケティングリサーチ2 将来のための自己分析	自身の将来設計発表、(就職後の自分と就職先) 行動特性検査分析結果の解説 歯科市場における商品とサービスおよび将来的なニーズ	池田 正臣 樋口 和秀	到達目標 1-4,7
21-24	12/17	13:30-17:05	第4実習室	歯科技工士の役割	歯科技工士会、同窓会等、国外の歯科技工士教育、奨励制度の紹介	池田 正臣	到達目標4,7(
25-27	1/28	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	課題学習発表方法	課題学習発表方法おさらい	池田 正臣	到達目標1-8
28-30	2/4	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	学習結果発表	課題に関する学習結果発表	池田 正臣	到達目標8
授業方法 講義、課題発表、演習、実習 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。							
授業内容 歯科材料メーカー・歯科技工所見学では、スーツを着用し、白衣を持参すること							
成績評価の方法 ・出席状況(10 点)、実習態度(見学への参加度、10 点)、学習成果発表(歯科材料、機器、補綴物、治療方法のニーズについて 80 点) 学習成果発表の点数が 60%未満の場合はスライドを再提出とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。							
成績評価の基準 ・配点は発表時間 20 点、説明のわかりやすさ 20 点、スライドの論理性 20 点、質疑応答 20 点、合計 80 点)で評価する。 ・学習成果発表の点数が 60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。歯科材料、機器、補綴物、治療方法の違いについて事前に調べておくこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)で、実習は実習室と材料メーカーで行います。							
試験の受験資格 定期試験(学習成果発表会)の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 必要に応じ、適宜資料の配布を行う。							
参考書 必要に応じ、適宜資料の配布を行う。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp							

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023514B						
科目名	う蝕と歯周病				科目ID	DE-251400-L	
担当教員	池田 正臣, 井上 剛, 岩田 隆紀, 竹内 康雄, 佐藤 隆明[IKEDA MASAOMI, INOUE GO, IWATA Takanori, TAKEUCHI YASUO, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型)							
授業の目的、概要等 う蝕の原因と歯の実質欠損病態およびその治療法を理解する。また、歯周病の原因、病態、治療法の概要について理解する。							
授業の到達目標 1. 保存修復の全体像を説明できる。 2. う蝕の診断と処置が技工操作に与える影響について説明できる。 3. 接着材料と技術について説明できる。 4. 歯周病の全体像を説明できる。 5. 審美修復材料について説明できる。 6. 歯周病の診断と処置と歯科技工物との関係について説明できる。 7. 修復物の予後と2次う蝕の予防について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/27	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)			池田 正臣	到達目標 1〜3
3-4	10/18	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	う蝕 保存修復概論	硬組織疾患の診断と処置、不潔域、自浄作用 う蝕の診断と処置、切削装置	井上 剛 平 石 典子	到達目標 1〜3
5-6	11/1	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	う蝕	硬組織、窩洞の名称と分類、窩洞形態	井上 剛 平 石 典子	到達目標 1〜3
7-8	11/15	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯周病学概論	歯周病の治療法	井上 剛 平 石 典子	到達目標 4,6
9-10	11/29	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯周病	歯周病の病因と病態	井上 剛 平 石 典子	到達目標 4,6
11-12	12/20	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	接着性コンポジット レジン修復	材料、接着の基礎(歯質との接着)、臨床術式	井上 剛 平 石 典子	到達目標 3,5,7
13-14	1/10	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	メンテナンス	う蝕予防、修復物の予後	井上 剛 平 石 典子	到達目標 3,5,7
15	1/31	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	審美性間接修復 材料の透過性演習 ディスカッション 間接法	材料、接着の基礎、レジンインレー、ポーセレンインレー、CAD/CAM、ラミネートベニア、ホ	井上 剛 平 石 典子, 池田 正臣	到達目標 3,5,7 細菌付着ディスク照射

					ホワイトニング 細菌付着ディスカッション 光照射演習 間接法用修復材料について		演習	
授業方法 講義、演習 遠隔授業(非同期型)後に、授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者よりメールにて回答する。								
成績評価の方法 ・出席状況(10 点)、ディスカッション(授業最終日)への参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。								
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。								
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)で行います。								
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(非同期型)を視聴。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合は、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う								
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017								
参考書 接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編日本接着歯学会, 医歯薬出版, 2015								
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。								

時間割番号	023517A						
科目名	人体の構造と機能			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間 授業形態:遠隔(同期型および非同期型)授業と対面授業および実習							
主な講義場所 Zoom による遠隔授業(同期型)、WebClass 上のオンデマンド講義および 2 号館 4 階 第 4 実習室							
授業の目的、概要等 骨の構造と機能を学ぶことを中心に、恒常性を維持するために素晴らしく構成されている人体の不思議に目を向け、生命が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルに至るまで理解する。骨が地上に生きるための支持器官であるとともに、全身と連関して内分泌器官として機能していることが発見されて来た経緯を学ぶことにより、科学的好奇心を鼓舞し、生物学研究に対する理解を深める。また、口腔内細菌が全身疾患と連関していることと新規薬物開発の過程について理解することにより、2 年生科目である「口腔と全身の基礎医学」や「硬組織薬理(硬組織に限らず薬の各論)」への橋渡しとする。							
授業の到達目標 1. 骨の構造と機能を説明できる。 2. 骨を構成する細胞について説明できる。 3. 筋肉の起始停止を説明できる。 4. 破骨細胞、骨芽細胞の構造と機能について説明できる。 5. カルシウム代謝を理解することにより、生体の恒常性維持機構を説明できる。 6. 骨のリモデリングと石灰化機構について説明できる。 7. カルシウム代謝の理解から、ホルモンのターゲットとなる腎臓、腸、骨の構造と機能を説明できる。 8. 中枢神経系、自律神経系、運動神経、感覚神経の構造と機能について概説できる。 9. 骨と中枢神経系との連関について発見された経緯について学ぶことにより、生物学の研究手法を説明できる。 10. 細胞内シグナル伝達とその解析方法に関して概説できる。 11. 生物学と理工学との融合研究をととした骨造成剤の開発について概説できる。 12. 新薬開発の過程に関して概説できる。 13. 口腔内細菌と全身疾患との関連、特に歯周病と糖尿病の関連を説明できる。 14. 恒常性維持機構など人体の合目的的な構造と機能について概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/20	10:45-12:25	第1講義室	はじめに、基礎医学について、口腔と骨	臨床に向けた基礎医学分野 口腔における骨の重要性	青木 和広	到達目標:1, 2 WebClass に資料がアップされます。授業後に確認テストを行うこと。
3-4	10/11	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	支持器官としての骨の構造と機能	骨と筋肉、解剖用語の理解	青木 和広	到達目標:1-4, 6 講義を視聴し、確認テスト(小テスト)を行う
5-6	10/22	14:25-16:10	遠隔授業(非同期型)	骨にかかわる生体の恒常性維持機構	骨の機能にかかわる細胞とカルシウム代謝	青木 和広	到達目標:1, 2, 4-6, 14 講義を視聴し、確認テス

							ト(小テスト)を行う
7-8	10/25	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	生体の恒常性維持に働く器官の理解	骨の石灰化機構 腎臓と小腸の構造と機能 内分泌器官としての骨	青木 和広	到達目標:5,6,7,14 講義を視聴し、確認テスト(小テスト)を行う
9-10	10/29	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	骨のリモデリング単位 ハバース系	骨の標本観察実習 顕微鏡の基礎知識	青木 和広	到達目標:1-6 白衣、マスクを着用して臨むこと 色鉛筆とスケッチブックを持参のこと。 骨の標本観察実習
11-12	11/5	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	骨のリモデリング単位 ハバース系	骨の標本観察実習	青木 和広	到達目標:1-6 白衣、マスクを着用して臨むこと 色鉛筆とスケッチブックを持参のこと。 骨の標本観察実習
13-14	11/8	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	骨リモデリングの分子機構	骨吸収から骨形成へのカップリング機構	青木 和広	到達目標:1,2,4-6 講義を視聴し、確認テスト(小テスト)を行う
15-16	11/12	13:30-15:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	軟骨組織の観察	骨の標本観察実習	青木 和広	到達目標:1-6 白衣、マスクを着用して臨むこと 色鉛筆とスケッチブックを持参のこと。 骨の標本観察実習
17-18	11/22	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯周病と全身疾患	歯周病と糖尿病との関連など口腔内細菌と全身との関連の理解	片桐 さやか	到達目標:13 講義を視聴し、確認テスト(小テスト)を行う
19-20	11/26	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	生物学の研究手法の理解 生物学と理工学との融合研究	骨関連論文の理解 骨造成に必要な理工学との融合研究	青木 和広	到達目標:10, 11 講義を視聴し、確認テスト(小テスト)を行う
21-22	12/6	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	骨の多臓器連関	骨と中枢神経系、末梢神経系(自律神経系)、内分泌系、免疫系(全身と骨の連関)	青木 和広	到達目標:1-11, 14 講義視聴後、指示に従いレポートをWebClassにアップすること
23-25	12/10	13:30-16:10	第1講義 室	新薬開発の過程 発表準備 Meeting ID: 955 5206 3370 Passcode: 977948 工学専攻以外	薬の開発過程と グループワーク	青木 和広	到達目標:1-14 発表についてグループワークを行い、結果を

				の学生は遠隔同期も可能			WebClass にアップすること
26-27	1/24	10:45-12:25	第1講義室	人体の不思議について 発表準備 Meeting ID: 955 5206 3370 Passcode: 977948 工学専攻以外の学生は遠隔同期も可能	人体の合目的な構造と機能について理解する	青木 和広	到達目標:1-14 グループ別に発表し、質問を Padlet で記入し、グループ内で意見を出し合い、質問を投げかけます。
28-30	1/28	09:45-12:25	第1講義室	人体の不思議について 発表 Meeting ID: 955 5206 3370 Passcode: 977948 工学専攻以外の学生は遠隔同期も可能	人体の合目的な構造と機能について理解する	青木 和広	到達目標:1-14 グループ別に発表し、質問を Padlet で記入し、グループ内で意見を出し合い、質問を投げかけます。

授業方法

講義、実習

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

対面および Zoom のブレイクアウト機能を用いて発表資料を作成するグループワークを行う。

顕微鏡を用いた実習を行う。

終了した講義内容、あるいは、WebClass にアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。

成績評価の方法

評価は提出課題、発表、討論、実習のスケッチおよび期末試験(筆記試験:60 分の予定)によって行う。

・授業後の小テスト(10 点)、TBL 方式などによる発表内容や討論の態度(10 点)、提出レポートや組織スケッチ(20 点)による評価を行う。
発表内容や討論の態度はグループの評価ではなく個人評価である。

・平常点を重視する。

・期末の客観試験、論述試験の配点は 60 点とする。

・期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

・出席状況、授業態度を加味する。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験 60 点、授業後の小テスト(10 点)、発表内容や討論の態度(10 点)、提出レポートや組織スケッチ(20 点)とし、合計 100 点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

・質問がある場合は、WebClass の掲示板を使って質問すること。

質問があった場合は、担当教員に連絡が行くため、返答までしばらく待つこと。

質問は、講義を受講した全員に共有されるので、他の学生の質問内容を各自参照すること。

試験の受験資格

本試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とするが、実習は休まないようにすること

・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。

・非同期型授業の場合は、視聴記録とともに小テストに合格することで出席とみなします。

・特に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うが、科目責任者に事由が生じるあるいは生じた前後1週間以内に連絡を怠った場合は、この対応は適応できない。

教科書

新骨の科学 = Bone biology／須田立雄 [ほか] 編著；田中栄 [ほか] 著、須田、立雄、小澤、英浩、高橋、栄明、田中、栄(整形外科学)、中村、浩彰、森、諭史、高橋、直之、網塚、憲生、遠藤、直人、竹澤、保政：医歯薬出版、2016

参考書

ヒューマンボディ：からだの不思議がわかる解剖生理学／Barbara Herlihy 著；片桐康雄 [ほか] 監訳、Herlihy, Barbara, Maebius, Nancy K., 片桐、康雄、飯島、治之、片桐、展子、尾岸、恵三子、エルゼビア・ジャパン、2008

現代歯科薬理学／鈴木、邦明、戸苅、彰史、青木、和広、兼松、隆、筑波、隆幸、八田、光世、鈴木邦明 監修、戸苅彰史、青木和広、兼松隆、筑波隆幸、八田光世 編、戸苅彰史 [ほか] 執筆：医歯薬出版、2024.1

備考

アクティブラーニングは同期型授業、対面演習によりおこなう。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiko_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。

非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。

対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。

時間割番号	023760						
科目名	歯の解剖学			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:15 時間 授業形態:講義と実習 講義は遠隔授業(同期型、非同期型) および対面授業(歯の鑑別演習)							
主な講義場所 遠隔授業(同期型、非同期型) 2 号館 3 階リフレッシュルーム(対面の演習) MD タワー4 階 図書館情報検索室(試験会場)							
授業の目的、概要等 歯の形態を知り、永久歯の鑑別ができるようになること。							
授業の到達目標 1. 歯の生物学的特性、歯の外形と内形を説明できる。 2. 歯の種類と名称を列挙できる。 3. 歯の記号と歯式の表示法を説明できる。 4. 歯の方向と部位を表す用語を説明できる。 5. 歯の形態を説明できる。 6. 歯の植立様式を説明できる。 7. 永久歯の形態的特徴を列挙できる。 8. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。 9. 歯の数、形態および色の異常について説明できる。 10. 歯の鑑別の重要性を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/21	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	歯の鑑別について Meeting ID: 926 3699 6165 Passcode: 243301	シラバス説明 歯の鑑別の重要性	青木 和広	到達目標:10 講義を視聴後、感想を記入
2	11/11	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯の解剖学総論	歯の種類と名称、歯式、英語名称、歯列弓、咬合	青木 和広、 岩永 譲 北 河 憲雄 吹 野 恵子	到達目標:1-7,9 講義を視聴後、感想を記入
3-4	11/12	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の形態 1, 2 永久歯の形態 3 歯の鑑別法	前歯群(切歯、犬歯)の形態	青木 和広、 岩永 譲 北 河 憲雄 吹 野 恵子	到達目標:1-7,9 到達目標:1-7,9 講義を視聴後、感想を記入
5-6	11/25	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の形態 1, 2 永久歯の形態 3 歯の鑑別法	小臼歯、大臼歯の形態	青木 和広、 岩永 譲 北 河 憲雄 吹 野 恵子	到達目標:1-7,9 到達目標:1-7,9 講義を視聴後、感想を記入
7-8	11/26	15:25-17:05	遠隔授業	国家試験問題演習 (自	国家試験問題演習 WebClass 上	青木 和広、	到達目標:1-10

			(非同期型)	学自習) 対面鑑別テストに向けた絵練習	の練習問題を行う	岩永 譲 北 河 憲雄 吹 野 恵子	到達目標:1-7, 9 WebClass にアップした問題を解いて理解を深めること。
9-10	12/9	10:45-12:25	2号館リフレッシュルーム	歯の鑑別演習 その1	鑑別テスト演習	青木 和広	到達目標:1-7, 9 永久歯の鑑別演習 最初に鑑別テストを行います。
11	12/16	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	乳歯の形態	乳歯の特色、乳切歯、乳犬歯、乳臼歯	青木 和広、 岩永 譲 北 河 憲雄 吹 野 恵子	到達目標:1-10 到達目標:1-7, 9 講義を視聴後、感想を記入
12-13	12/23	13:30-15:10	2号館リフレッシュルーム	歯の鑑別演習 その2	鑑別テスト演習	青木 和広	到達目標:1-10 永久歯の鑑別演習 最初に鑑別テストを行います。
14-15	1/14	10:45-12:25	2号館リフレッシュルーム	歯の鑑別演習 その3	鑑別テスト演習	青木 和広	到達目標:1-10 永久歯の鑑別演習 最初に鑑別テストを行います。 1月24日 10時から鑑別本試験の予定

授業方法

講義、実習

- ・前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。
- ・遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、掲示板に書き込むようにしてください。個別にメールでは行わないようにしてください。
- ・遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言にて質問すること。
- ・対面実習は、歯の鑑別練習となる(毎回鑑別テストを行う)。
- ・試験前の対応はしていないので、この時間にしっかりと練習しておくこと。

成績評価の方法

評価は提出課題(小テスト)と期末試験(歯の鑑別テストおよび筆記試験CBT方式)および平常点の合計によって総合的に評価する。

- ・課題提出は、小テストの合計を 20 点として評価する。
- ・期末試験は歯の鑑別テストと客観試験の合計であり、70 点分として評価する。
- ・平常点は、出席状況、授業態度を 10 点として評価する。
- ・期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

期末試験では、鑑別テスト 4 割、筆記試験は 6 割で加算する。期末試験が 6 割以上でも鑑別テストが 7 割以上とれない場合は、鑑別テストのみ再試験とする。

なお、筆記テストは CBT (Computer based test)となる。

鑑別テストは試験期間を待たずに1月24日10時から行う予定です。

場所はリフレッシュルームの予定。

成績評価の基準

- ・期末試験が 6 割以上で歯の鑑別テストが 7 割以上のものを合格とする。
- ・評価の配点は、期末試験 70 点、提出課題が 20 点(提出レポートや小テストなど)、出席状況、授業態度(10 点)とし、合計 100 点満点で換算し、この科目の評価(総合点数)とする。

A+は、期末試験が9割以上の場合、あるいは、総合点数が90点以上の場合となる。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 歯の模型を必要に応じて持参すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・特別に勘案すべき事情があるために教員からの指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 ・非同期講義では、ビデオ視聴記録が確認できても、感想を記入し、小テスト(確認テスト)を行う、もしくは合格点があるものは合格点に達しなければ出席とカウントされない。
教科書 口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy／全国歯科技工士教育協議会 編集、脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミカ 著、脇坂 聡、杉田、順弘、市川、博之、全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2016
備考 アクティブラーニングは対面実習、演習によりおこなう。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 毎週火曜日 17 時～18 時 これ以外は メールにて面談の日程を調整すること 青木和広 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。 非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。 対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。

時間割番号	023a90						
科目名	研究体験実習			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間 授業形態:講義・演習・実習 遠隔授業(同期型)および対面授業 2 号館 3 階第3講義室							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2 号館 3 階第 3 講義室 各分野の研究室							
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心として、各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域研究、あるいは生物学と理工学の融合研究のテーマを紹介することにより、研究とは何かを考え、日々の勉強から研究のシーズを見つけ出せることを理解する。							
授業の到達目標 1. 研究の進め方、学術論文の構成を説明できる。 2. EBM の概念を説明できる。 3. 本学の基本理念を中心に各人の知的興味、将来の方向性に沿った研究テーマを考えることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	10/18	13:30-15:10	第1講義室	研究とは何か 研究室見学イントロ 研究者のキャリアパス	興味のある研究について 将来の夢実現につながる研究について 2 回生土田優美先生のお話	青木 和広	到達目標:1,2 分野見学のためのグループ分け (AL) 双方向の授業 特別授業 WebClass に感想を記入して出席とします。
3	10/18	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	研究者のキャリアパス	2 回生土田優美先生のお話	青木 和広 土田 優美	特別授業 WebClass に感想を記入して出席とします。
4	11/15	13:30-14:15	第1講義室	研究者のキャリアパス	研究者とは？	青木 和広	6 回生久保優里さんのお話を視聴してくる WebClass に感想を記入と合わせてこの時間の出席とします。
5-6	11/15	14:25-16:10	第4実習室	研究室見学 その1 (見学後、15 時 45 分までに第4実習室に集合)	工学 3 分野(口腔デジタルプロセス学、口腔医療工学、口腔基礎工学)のうち一つの分野の見学	青木 和広 池田 正臣 大木 明子	到達目標:1-3 各分野に分かれて、研究見学。最

						佐藤 隆明, 土田 優美 塩沢 真穂	後に集まり、グループごとに報告し、質問を受ける
7-9	11/22	13:30-16:10	第4実習室	研究室見学 その2 (見学後、15時30分までに第4実習室に集合)	工学3分野(口腔デジタルプロセス学、口腔医療工学、口腔基礎工学)のうち前回とは違う分野の見学	青木 和広, 池田 正臣, 大木 明子, 佐藤 隆明, 土田 優美 塩沢 真穂	到達目標:1-3 各分野に分かれて、研究見学。最後に集まり、グループごとに報告し、質問を受ける
10-12	11/29	13:30-16:10	第4実習室	研究室見学 その3 (見学後、15時30分までに第4実習室に集合)	工学3分野(口腔デジタルプロセス学、口腔医療工学、口腔基礎工学)のうちまだ見学していない分野の見学	青木 和広, 池田 正臣, 大木 明子, 佐藤 隆明, 土田 優美 塩沢 真穂	到達目標:1-3 各分野に分かれて、研究見学。最後に集まり、グループごとに報告し、質問を受ける
13-18	12/13	08:50-15:10	第4実習室	OH4 卒業研究発表会参加	アンケート調査による研究など、工学専攻の研究とは別の研究手法を学ぶ	青木 和広, 大木 明子	到達目標:1-3 Padletに感想を記載する PadletのアクセスURLは事前に案内する。
19-21	1/10	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	研究室見学 その4 (見学後、15時30分までに第4実習室に集合)	工学3分野(口腔デジタルプロセス学、口腔医療工学、口腔基礎工学)のうち再度見学したい分野を訪問	青木 和広, 池田 正臣, 大木 明子, 佐藤 隆明, 土田 優美 塩沢 真穂	到達目標:1-3 各分野に分かれて、再度訪問したい分野の研究見学。最後に集まり、各分野ごとに報告し、質問を受ける。
22-27	1/17	09:45-16:10	特別講堂	OE4 卒業研究発表会参加	4年生の研究発表から、工学専攻での研究を学ぶ	青木 和広	到達目標:1-3 Padletに感想を記載する PadletのアクセスURLは事前に案内する。
28-30	1/31	13:30-16:10	第4実習室	発表会	研究体験実習のまとめ 前日までに発表スライドを WebClass に提出	青木 和広	到達目標:1-3 この科目を通して得られたことを最後に訪問したグループごとに発表する。各自、見学した分野の研究、身の回りのことでも研究したいテーマなど自由に発表

授業方法

対面講義、非同期授業、見学、グループ学習、課題発表

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組みや授業態度(20点)、4回にわたる分野見学報告の内容(30点)、最後に行う個別の発表内容(50点)から総合

<p>的評価を行う。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>出席状況、授業への取り組みや授業態度(20点)、4回にわたる分野見学報告の内容(30点)、最後に行う個別の発表内容(50点)から総合的評価を行う。</p> <p>見学内容発表においては、班全体の評価となるため、気づいたこと感じたことを発表前に共有しておくこと。</p> <p>個別発表においては、各自の知的好奇心や自らの将来構想をもとに、自らが考えた研究テーマであるかどうかを基準として評価を行う。</p> <p>A以上の評価は、8割以上参加が条件となる。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。</p> <p>e-learning(Web Class)を連絡だけでなく、反転授業のためにも利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。</p> <p>発表会に向けて、パワーポイントの使い方は練習しておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>4分の3の出席が単位取得の基本条件。</p> <p>それぞれの授業の開始時間から30分以上の遅刻はその時間の出席とはならない。</p> <p>非同期型授業は、感想記入までおこなって出席となる。</p> <p>やむをえず、欠席する場合は、再受講などの措置をとるので、かならず、授業前、場合によってはその日のうちに理由をメールで送ること。</p>
<p>参考書</p> <p>研究の育て方：ゴールとプロセスの「見える化」／近藤克則著、近藤 克則、医学書院、2018</p>
<p>備考</p> <p>この科目は、研究に対する興味と日々の学習から研究のシーズを探す姿勢を学ぶことを目標としている。</p> <p>選択科目ではあるが、1年生はまず最初の2回に参加し、履修をするかどうかを決定してください。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>毎週火曜日 17時～18時</p> <p>これ以外は</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p> <p>青木和広 kazuhiro_aoki@tmd.ac.jp</p> <p>それぞれの担当教員への質問はWebClass 科目の掲示板を使うこと。</p> <p>対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。</p>

時間割番号	023b30						
科目名	多職種連携 I			科目ID			
担当教員	大木 明子, 中川 美奈, 金子 英司, 鶴田 潤, 今津 陽子, 土田 優美, 青山 二郎, 矢郷 哲志, 藤代 瞳, 濱洋平, 伊藤 奏, 鈴木 瞳, 布川 裕規, 清水 六花, 大河原 啓文, 田中 ゆきえ[OKI MEIKO, NAKAGAWA MINA, KANEKO EIJI, TSURUTA JIYUN, IMAZU YOKO, TSUCHIDA Yuumi, AOYAMA Jirou, YAGOU Satoshi, FUJISHIRO Hitomi, HAMA YOHEI, ITOU Kanade, SUZUKI Hitomi, FUKAWA Yuuki, SHIMIZU Rikuka, OOGAWARA Hirofumi, TANAKA Yukie]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	0.5		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 0.5 単位							
主な講義場所							
MD タワー2F 鈴木章夫記念講堂ほか							
授業の目的、概要等							
医療・歯科医療において活躍する保健・医療・福祉の専門職について知り、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、それぞれの将来像を共有する。患者の講演をととして医療系大学初学者の自覚を持つ。医学部歯学部 の 1 年生として、自らの知識や価値観を他学科の学生に共有することができる。また、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。演習活動を行う中で、協働を実現するために自らの役割を果たすことができる。							
授業の到達目標							
1. 本学初学年の学生として、自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。							
2. 本学初学年の学生として、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。							
3. 他学科学生との演習活動の中で、協働を実現するために、自らの役割を果たすことができる。							
H26 歯科技工学教育モデル・コア・カリキュラム							
A-1 歯科技工学概論							
到達目標:							
A-1-1)⑤ 多職種との連携とチーム医療について説明できる。							
A-1-1)⑥ チーム医療でのコミュニケーション力の必要性を認識できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/16	08:50-10:30	鈴木章夫記念講堂	オリエンテーション 教員講演	実習の概略説明 各学科教員から講演(学科専攻・キャリア紹介、学生に期待することなど)	田中 真琴, 柿沼 晴, 樺沢 勇司, 大木 明子, 金子 英司, 鶴田 潤, 中川 美奈, 山口 久美子, 則武 加奈子, 沼沢 益行, 森岡 典子, 藤代 瞳, 三島 有華, 安達 奈穂子, 土田 優美	到達目標 1-3、講義対面 事前学習:なし
3-4	4/16	10:45-12:25	鈴木章夫記念講堂	チームビルディング、グループワーク1	チームビルディングについて 取り組み説明 講演を聞いてグル	田中 真琴, 柿沼 晴, 樺	到達目標 1-3、演習対面、課題提

					ープで討論	沢 勇司, 大木 明子, 金子 英司, 鶴田 潤, 中川美奈, 森岡典子, 松山祐輔, 山口久美子, 則武加奈子, 土井理美, 杉本明日菜, 沼沢益行, 藤代瞳, 土田 優美, 安達 奈穂子, 三島有華	出
5	4/16	13:30-14:15	鈴木章夫 記念講堂	患者講師講演	患者から見た「多職種協働の大切さ」 どのような医療者になってほしいか	田中 真琴, 柿沼 晴, 樺沢 勇司, 大木 明子, 金子 英司, 鶴田 潤, 中川美奈, 山口久美子, 則武加奈子, 沼沢益行	到達目標 1-3、講義対面 非常勤講師:長岡亮介
6	4/16	14:25-15:10	鈴木章夫 記念講堂	グループワーク 2	講演を聞いてグループで討論	田中 真琴, 柿沼 晴, 樺沢 勇司, 大木 明子, 金子 英司, 鶴田 潤, 中川美奈, 山口久美子, 則武加奈子, 沼沢益行, 川本祐子, 副島友莉恵, 松村茉由子, 松山祐輔, 土井理美, 鈴木瞳	到達目標 1-3、演習対面
7	4/16	15:25-16:10	鈴木章夫 記念講堂	質疑応答・全体討論	班ごとに代表学生から患者講師、教員へ質問 患者視点も含めた多職種連携について討論	田中 真琴, 柿沼 晴, 樺沢 勇司, 大木 明子, 金子 英司, 鶴田 潤, 中川美奈, 山口久美子, 則武	到達目標 1-3、講義演習対面、課題提出

						加奈子, 沼沢 益行, 川本 祐子, 副島 友莉恵, 鈴木 瞳	
8	4/16	16:20-17:05	鈴木章夫 記念講堂	グループワーク 3 ま とめ	多職種連携についてグループで 討論 まとめと事後課題説明	田中 真琴, 柿沼 晴, 樺 沢 勇司, 大 木 明子, 金 子 英司, 鶴 田 潤, 中川 美奈, 山口 久美子, 則武 加奈子, 沼沢 益行	到達目標 1-3、講 義演習対面、課 題提出、事後課 題を提出すること
授業方法 講義、演習(グループワーク) 医学部歯学部の全学科全専攻の1年生、2年次編入生が参加し、グループに分かれて討論を行う。 課題の提出を WebClass にて行うこと。							
授業内容 チーム医療とは、チームビルディング、患者からみた多職種連携についての講演やグループワーク、発表							
成績評価の方法 成績はグループワークへの参加態度(30%)、レポート等の個人事後課題提出物(70%)により評価する。 出席状況、授業態度を総合評価に加味する。							
成績評価の基準 以下の1・2の合計点数が60点以上を合格とする。 1. 参加態度 到達目標1～3に関連し、参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。 担当チューターによる評価を基本根拠とする。30点満点 2. 課題提出物 期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。70点満点							
準備学習等についての具体的な指示 資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自視聴すること。 課題の提出を WebClass にて行うこと。							
試験の受験資格 全ての授業への出席を成績評価対象の基本とし、提出された課題により評価を行う。 ・授業に出席し、演習に参加する。 ・演習発表資料、個人事後課題などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。 これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 ・1日で行われる授業のため、その欠席の際には、事情を考慮した対応を図ることがある。							
参考書 他人の悩みはひとごと、自分の悩みはおおごと。：#なんで僕に聞くんだろう。／幡野 広志, 1983- 幡野広志 著: 幻冬舎, 2020.11 チームが機能するとはどういうことか：「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ／Edmondson, Amy C. 野津 智子, エイミー・C・エドモ ンドソン 著: 野津智子 訳: 英治出版, 2014.5 WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版							

他科目との関連 多職種連携Ⅱ、Ⅲへの導入科目である。
履修上の注意事項 積極的に参加すること。課題を提出すること。
備考 2023 年度から新設された科目である。 東京医科歯科大学に入学した学生の、専門にかかわらずに全員が参加する科目である。 昨年の科目評価を受けての変更点:休憩時間を延長した。 科目責任者(口腔保健工学専攻)のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023558				
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ			科目 ID	DE-495800-Z
担当教員					
開講時期	2024 年度4年通年	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自らの課題解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。 また、3)の TMU との交流における成績は、参加への積極性や発表時の内容等により総合的に判断して成績をつけるものとする。なお、ポイントは学年をまたいで持ち越しにはなるが、A+の基準としては、プログラムの全部の参加状況が一つの基準となる。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。 3)の TMU との交流にあたり、事前に TMU 学生と交流をし、準備を進めることが大切である。 来日時の交流に備えた事前の交流の仕方は、担当教員から指示がある。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加					

をもって、単位申請することができる。

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。

(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)

・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。

3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。 3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiko_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。

非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。

国際交流なので、AL(グループディスカッション)を行う。

学生自身で単位申請を行うこと。

第 2 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023502						
科目名	科学英語 I			科目 ID	DE-210200-L		
担当教員	佐藤 隆明[SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:15 時間 授業形態:講義と実習 遠隔授業(同期型)、演習、課題発表							
主な講義場所 自宅学習 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 歯科界で使われる英語について基本的な知識を増やし、日常的に使用される歯科技工関連の専門用語を、英語で理解し・表現する(読む、聞く、書く、話す)ことができる力を身につける。							
授業の到達目標 1. 英語で、自己紹介ができる。 2. 英語で、簡単なコミュニケーションを行うことができる。 3. 英語で、歯科医療の概要を説明できる。 4. 英語で、歯／口腔の解剖学的構造を説明できる。 5. 英語で、歯科補綴装置、専門用語を説明できる。 6. 英語で、歯科材料を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/9	15:25-16:10	遠隔授業(同期型)	自然科学の英語	英語で発表 歯科用単語の説明 61ー120 語各科名称、治療法、補綴装置を扱う治療法、日常診療他、演習	佐藤 隆明	到達目標:1, 7 934 6386 4399 904115
2-3	5/16	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	歯科治療の基礎	演習 歯科用単語の説明 121ー180 語 歯科生体材料の名称、	佐藤 隆明	到達目標:1-3 934 6386 4399 904115
4-5	5/23	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	自己紹介 自然科学の英語	英語での自己紹介 1ー60 語 英語での発表予行	佐藤 隆明	到達目標:1, 7 934 6386 4399 904115
6-7	5/30	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	歯科治療の基礎	歯科診療、歯科診療チーム、演習 歯科用単語の説明 181ー240 語	佐藤 隆明	到達目標:1-3 934 6386 4399 904115
8-9	6/6	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	歯／口腔解剖の基礎	歯／口腔解剖、名称、方向表現、 歯式、演習 歯科用単語の説明 241ー300 語	佐藤 隆明	到達目標:1-3 934 6386 4399 904115
10-11	6/13	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	歯科生体材料	コミュニケーション演習	佐藤 隆明	到達目標:1-3 934 6386 4399 904115
12-13	6/20	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	まとめ	コミュニケーション演習 課題発表 質疑応答	佐藤 隆明	到達目標:1-3 934 6386 4399

							904115
14-15	6/27	15:25-17:05	遠隔授業 (同期型)	まとめ	コミュニケーション演習 課題発表 質疑応答	佐藤 隆明	到達目標:1-3 934 6386 4399 904115
授業方法 遠隔授業(同期型)、演習、課題発表							
成績評価の方法 ・自己紹介、1週間の過ごし方発表(毎回:1点×15回) ・期末テストの得点 (75点) ・授業態度、出席状況(10点)とし総合的に評価し可否を判定する。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。							
成績評価の基準 ・授業態度・参加度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 ・期末テストが6割未満の場合は再試験とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・1回目までに英語での自己紹介の準備し、発表する ・発表課題については、事前に課題を製作すること。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3以上の出席を評価基準とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
参考書 歯科英語／全国歯科技工士教育協議会編；鶴田潤 [ほか] 著,全国歯科技工士教育協議会,鶴田, 潤,:医歯薬出版, 2017 Dr. 佐藤とリチャードの臨床で使える歯科英会話 = Dr. Sato and Dr. Richard's Dental English conversation／佐藤尚弘, Richard Foxton 著,佐藤, 尚弘,Foxton, Richard,:クインテッセンス出版, 2010							
備考 本科目は、演習中心の科目となります。 国際的な感覚、視野を持って仕事をするには必ずしも英語ができることだけで実現するものではありません。 積極的に発言すること、楽しむこと、様々な要素とともに英語というツールを活用することが必要となると思います。 新たな知識を得ることを楽しんで受講するようにしてください。 昨年度授業終了時アンケート結果より、授業内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023620						
科目名	英語Ⅱ: Academic Reading			科目ID			
担当教員	JEANETTE DENNISSEON[JEANETTE DENNISSEON]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
<div>・曜日・時間:水曜5・6限(3講)</div> <div>・対象学科:歯学部</div> <div>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3) 別表4～5)</div>							
<div>授業の目的、概要等</div> <div>さまざまなテーマについて英語の原文を読書します。また、学生が書いた文章と専門家が書いた文章の両方について話し合い、評価します。</div> <div>このコースの主な目標は、英語の読解力を向上させることです。</div>							
<div>授業の到達目標</div> <div>(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ</div> <div>自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる</div> <div>新しい語彙を理解して使用することができる</div> <div>完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる</div> <div>以下の3点を満たすことが、B 評価(70点以上)の必要条件として要求される。</div> <div>1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。</div> <div>2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。</div> <div>3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。</div>							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-14:15	未定 遠隔授業 (同期型)	Orientation	Webclass/online set up	JEANETTE DENNISSEON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
2	4/10	13:30-14:15	未定 遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Online task Brainstorming	JEANETTE DENNISSEON	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
3	4/10	14:25-15:10	未定 遠隔授業	Discussion 1	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSEON	アクティブラーニング:グループワ

			(同期型)				ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
4	4/17	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
5	4/17	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Reading	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
6	4/24	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion test 1	Group discussion	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
7	4/24	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
8	5/1	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Reading 3	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
9	5/1	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
10	5/8	13:30-14:15	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online task: Reading	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク/リアクション ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
11	5/8	14:25-15:10	未定, 遠 隔授業 (同期型)	Discussion test 2	Group discussion	JEANETTE DENNISON	アクティブラーニ ング:グループワ ーク Meeting ID: 919 5730 6571

							Passcode: 351911
12	5/15	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
13	5/15	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
14	5/22	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Discussion	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
15	5/22	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Review/Feedback	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
16	9/18	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Orientation	Webclass/online set up	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
17	9/25	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
18	9/25	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
19	10/2	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
20	10/2	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク/リアクション

							ペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
21	10/9	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion test 1	Group discussion	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
22	10/9	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
23	10/16	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Online task: Reading 3	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
24	10/16	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
25	10/23	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク/リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
26	10/23	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion test 2	Group discussion	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
27	10/30	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Online: Brainstorming	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:グループワーク Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
28	10/30	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Online task: Reading	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911

29	11/6	13:30-14:15	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Discussion	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911
30	11/6	14:25-15:10	未定, 遠隔授業 (同期型)	Final assessment Review	Review/Feedback	JEANETTE DENNISSE	アクティブラーニング:リアクションペーパー Meeting ID: 919 5730 6571 Passcode: 351911

授業方法

スキルの指導と実践

授業内容

クラス 1: Orientation

クラス 2-11: Skills Instruction and Continuous Assessment

クラス 12-15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Participation: 30% assignments: 30% final assessments: 40%

再評価はありません

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

教科書

We will use articles from the internet.

参考書

Reliable news websites will be used as material.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

備考

PC、タブレットなどが必要です。

参照ホームページ

連絡先(メールアドレス)

JEANETTE DENNISSON:dennisson.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

JEANETTE DENNISSON:Wednesday/Thursday 12:30 – 13:00 PM 管理研究棟3階

時間割番号	023640						
科目名	英語Ⅱ: Conversation I(前期)			科目ID			
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
<div>・曜日・時間:水曜 3 講</div> <div>・対象:全学科</div> <div>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)</div>							
授業の目的、概要等							
English II, "Conversation I" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to Conversation I	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode: 575373
2-3	4/10	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar,

							Zoom 同上
4-5	4/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	4/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	5/1	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	5/8	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	5/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
14-15	5/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Class 1: Orientation							
Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%							
Discussion Test: 25%							
再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習等についての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							
履修上の注意事項							
教員がとる出欠を優先します。							
連絡先(メールアドレス)							
畔柳 和代 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
畔柳 和代 水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室							

時間割番号	023641						
科目名	英語Ⅱ ConversationⅠ（後期）			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
・曜日・時間:水曜 3 講 ・対象:全学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ, “ConversationⅠ” is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる 以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。 1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/18	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅠ	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode: 575373
2-3	9/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar,

							Zoom 同上。
4-5	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
6-7	10/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
8-9	10/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
10-11	10/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
12-13	10/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
14-15	11/6	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
授業方法							
Skills Instruction and Practice							
授業内容							
Class 1: Orientation							
Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment							
Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment							
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法							
Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%							
Discussion Test: 25%							
再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習等についての具体的な指示							
Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格							
「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							
履修上の注意事項							
教員がとる出欠を優先します。							

時間割番号	023650						
科目名	英語Ⅱ: ConversationⅡ(前期)			科目ID			
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
<div>・曜日・時間:水曜 3 講(ただし、後期は水曜3 講および5 講)</div> <div>・対象:全学科</div> <div>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)</div>							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ“ConversationⅡ”(Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。 2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げるこ と。 3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方 法・その他
1	5/29	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Class 1	Intro to ConversationⅡ	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode:

							575373
2-3	6/5	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4-5	6/12	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	6/19	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	6/26	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	7/3	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	7/10	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
14-15	7/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代 kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代 水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	023651						
科目名	英語Ⅱ ConversationⅡ（後期）			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
<div>・曜日・時間:水曜 3 講 および 5 講</div> <div>・対象:全学科</div> <div>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)</div>							
授業の目的、概要等							
EnglishⅡ“ConversationⅡ”(Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.							
授業の到達目標							
To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる							
To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる							
To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる							
To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる							
以下の3点を満たすことが、B評価(70点以上)の必要条件として要求される。							
1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。							
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。							
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 1, Class 2	Intro to ConversationⅡ, Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 4009 3684 Passcode:

							575373
3	11/13	17:15-18:00	遠隔授業 (同期型)	Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4-5	11/20	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6-7	11/20	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8-9	11/27	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
10-11	11/27	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
12-13	12/4	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
14-15	12/4	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation II 評価: Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45分×15コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

時間割番号	023630				
科目名	英語Ⅱ: Global Connections			科目ID	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
<div>・曜日・時間:水曜 3 講</div> <div>・対象:全学科</div> <div>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表3－4) 別表4－5)</div>					
<div>授業の目的、概要等</div> <div>While it is important for medical professionals in Japan to study and understand issues specific to their own country, it is also crucial to remember that we are all part of a global community as well. Learning about problems or innovations in other contexts can lead to greater respect and empathy and may spark ideas concerning ways we can better help others or even ourselves. This course will examine societal and healthcare-related challenges being faced in various countries through the perspectives of people from those countries.</div>					
<div>授業の到達目標</div> <div>To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics 多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる</div> <div>To be able to comprehend and use new vocabulary 新しい語彙を理解して使用することができる</div> <div>To be able to speak in front of others more effectively 他の人の前でより効果的に話すことができる</div> <div>To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English 完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる</div> <div>To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English 様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる</div> <div>To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English 英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)</div> <div>To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting 国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる</div> <div>以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。</div> <div>1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。</div> <div>2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。</div> <div>3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。</div>					

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/18	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	Orientation	Introduction to course	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom Meeting ID: 974 0503 2702 Passcode: 803253
2-3	9/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 1	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
4-5	10/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 2	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
6-7	10/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 3	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
8-9	10/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 4	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
10-11	10/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 5	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
12-13	10/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 6	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
14-15	11/6	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Discussion 7	Listening and speaking activities	PATRICK F OSS	Active learning/seminar Zoom 同上
授業方法 Skills Instruction and Practice							
授業内容 Class 1: Orientation Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.							
成績評価の方法 Active and thoughtful participation: 80% Group discussion: 20% 再評価: 再評価はありません。							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習等についての具体的な指示 Attendance and participation are both essential.							
試験の受験資格 「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。							

履修上の注意事項 教員がとる出欠を優先します。
連絡先(メールアドレス) PATRICK FOSS:foss.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー PATRICK FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00 管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	023660					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-demand			科目ID		
担当教員	金澤 学, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 金森 ゆうな[KANAZAWA MANABU, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI NAOKO, KANAMORI Yuuna]					
開講時期	2024 年度3年通年	対象年次	2～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所 オンデマンド教材						
授業の目的、概要等 歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)オンデマンドは歯学分野における語彙力向上や文章理解力と臨床の専門的な知識を習得するために、学部学生の臨床的な知識を高めることを目的としています。						
授業の到達目標 学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 することができる。 コース修了時、 英語で臨床歯学を学修することを期待できます。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/9	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	1. オンデマンド学習 配信期間 9/9(月)(9:00)-13(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	金澤 学, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
2	9/12	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	2. 学習確認テスト 配信期間 9/12(木)(9:00)-13(金)(23:59)	・学習確認テスト	金澤 学, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
3	9/20	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	3. 復習教材提供 配信期間 9/20(金)(9:00)-27(金)(23:59)	・歯科英単語学習 ・リーディング教材	金澤 学, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな
4	9/26	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	4. 学習確認テスト 配信期間 9/26(木)(9:00)-27(金)(23:59)	・学習確認テスト	金澤 学, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨子, 金森 ゆうな

						な	
授業方法 L1 では高齢者歯科学、L2 では歯周病学、L3 では保存修復学と矯正歯科学に関する歯科英単語と知識について 自習や課題を行います。							
成績評価の方法 オンデマンド教材履修状況により評価されます。履修期間内に全ての教材学習を行なってください。							
準備学習等についての具体的な指示 課題に取り組む前に、記事／論文を読み、語彙を学んでください。							
試験の受験資格 1. WebClass コースに配信される課題 WebClass の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。全ての当該課題を定められた期間内に履修し一定のスコアを記録すること。							
履修上の注意事項 1. このコースを選択する学生は、必要な WebClass のオンデマンド課題を全て修了すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2(OH/OE3)レベル 3(OH/OE4)でもコースを受講することになります。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与されます。							
参照ホームページ 参考) https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/							
連絡先(メールアドレス) 金澤 学:m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp 関 奈央子:nseki.edev@tmd.ac.jp JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp 金森 ゆうな:kanamori.ope@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 金澤 学:火水木金 16:00- 18:00 2 号館 2 階 口腔デジタルプロセス学分野 Lab 1 関 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室 JANELLE RENEE MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。							

時間割番号	023670					
科目名	International Course for Clinical Dentistry (ICCD) L1-L3 On-line		科目ID			
担当教員	金澤 学, JANELLE RENEE MOROSS, 關 奈央子, 金森 ゆうな[KANAZAWA MANABU, JANELLE RENEE MOROSS, SEKI NAOKO, KANAMORI Yuuna]					
開講時期	2024 年度3年通年	対象年次	2～4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
主な講義場所						
オンラインセッション(入室のための ID とパスワードは WebClass に掲示)						
授業の目的、概要等						
歯学部国際歯科臨床教育コース(International Course for Clinical Dentistry, ICCD)オンラインは学部学生の臨床的な知識、文化的コンピテンシー、そしてコミュニケーションと論理的な問題解決の基本的な能力を高めることを目的としています。 ICCD は学生に国際的なネットワーキングに参加できるようにし、歯学分野における語彙と英語でのコミュニケーション能力を向上させ、さらに、歯学に関連した様々なアクティビティを通して臨床の専門的な知識を習得することを可能にします。 ディスカッションや、問題解決のためにチームで仕事をしたり、論理的な議論を作り上げたりする機会を提供し、チームビルディングや批判的吟味、批判的思考能力、そして学際的な臨床の治療計画の基本を強化します。						
授業の到達目標						
学生が全てのレベル(L1-3)を修了したとき、 1. 英語の理解能力を向上 2. 歯学分野の英語の語彙力を向上 3. 仲間や教員と歯学分野のトピックについてディスカッション 4. 文化的規範について学び、互いの文化について理解 することができる。 コース修了時、 1. 文化的コンピテンシーの向上 2. ネットワーキング能力の向上 3. 問題解決能力の向上 4. 英語で臨床歯学を学修すること 5. コミュニケーション上の課題に対処するためのレジリエンス／柔軟性の獲得 6. 情報を批判的かつ客観的に吟味する能力の向上 7. より明確な推論能力と論理的な説明を行う能力の獲得 を期待できます。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/4	17:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	2. プレゼン準備	・プレゼンテーション準備 ※ WebClass「IL2400215 歯学部国際 歯科臨床教育コースL1 2024」の掲 示板を適宜使用してください。	金澤 学, 金 森 ゆうな
2	9/4	17:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	1. イントロ Zoom ID は 後日配布	・コースイントロダクション(日本語) ・本コースをプロデュースする臨床系教員との対談(日本語) ※前後で9/11 プレゼンの打ち合わせがあります。	金澤 学, 駒 田 亘, 關 奈 央子, 水谷 幸嗣, 駒ヶ嶺 友梨子, 畑山 貴志, 米満 郁男, 金森 ゆうな, 保坂 啓一
3	9/11	18:30-20:30	遠隔授業	3. 国際交流 Zoom ID	・自己紹介 ・プレゼンテーション	金澤 学, JA

			(同期型)	は後日配布	(国や文化、大学の紹介) ・コミュニケーションアクティビティ	NELLE REN EE MOROS S, 関 奈央子, 金森 ゆうな	
4-5	9/18	18:30-20:50	遠隔授業 (同期型)	4. 国際交流 Zoom ID は後日配布	・講義 ・ディスカッションとプレゼンテーション(「高齢化に付随した問題点と解決策」) ・フィードバック(20:35-20:50)	金澤 学, JA NELLE REN EE MOROS S, 関 奈央子, 駒ヶ嶺 友梨 子	

成績評価の方法

授業への参加、授業でのプレゼンテーションと論理的なスピーキングが考慮されます(オンライン 1 回目 10%、2 回目 45%(準備含む)、3 回目 45%)

準備学習等についての具体的な指示

コース開始前に WebClass にて提示する予定表により、各回で取り上げるテーマを再確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で、授業に参加してください。

試験の受験資格

オンラインセッションへの出席と参加

定刻までにオンラインセッションに入室し、クラスでのディスカッションやアクティビティに参加する準備をしてくること。

各日、予定されているオンラインセッション時間の 2/3 以上の出席をもって出席とみなす。

履修上の注意事項

1. このコースを選択する学生は、全てのオンラインセッションに出席し、プレゼンテーションを準備し、そして授業でのディスカッションとプレゼンテーションに参加すること。 2. ICCD はレベル 1 から 3 で構成されており、レベル 1 への履修登録をもってレベル 2(OH/OE3)レベル 3(OH/OE4)でもコースを受講することになります。 3. ICCD は全てのレベル(レベル 1-3)を履修したのちに単位が付与されます。 4. ICCD オンデマンドの履修も推奨される。 5. 履修においては TOEFL iBT61 (ITP500)程度の英語力が推奨される。

備考

オンライン授業においては AL(ペア/グループディスカッション、ケース演習など)を行う。

参照ホームページ

参考) <https://www.tmd.ac.jp/international/events/iccd/>

連絡先(メールアドレス)

金澤 学:m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

関 奈央子:nseki.edev@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

金森 ゆうな:kanamori.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

金澤 学:火水木金 16:00- 18:00

2 号館 2 階 口腔デジタルプロセス学分野 Lab 1

関 奈央子:毎週月曜日 15:00 - 16:00 M&D タワー7階 教員室

JANELLE RENEE MOROSS:予約をしたい方は電子メールを送ってください。

時間割番号	023017A						
科目名	ヘルスプロモーション			科目ID	DE-230400-Z		
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 20 時間							
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1、2、3 講義室、第3 実習室							
口腔保健学科(口腔保健衛生学専攻)相互実習室(1号館8階)							
授業の目的、概要等							
ヘルスプロモーションの変遷を知るとともに、その活動プロセスを学び、口腔保健の専門家としてのヘルスプロモーションにおける役割を理解する。口腔疾患に対する口腔健康管理の基礎とその予防法について学び、口腔領域のヘルスプロモーションについて理解する。							
授業の到達目標							
1. ヘルスプロモーションの定義と役割を理解できる。							
2. WHO の健康の定義と施策を理解できる。							
3. ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、展開過程(計画・実施・評価)を理解し、応用できる。							
4. 日本人の健康と疾患(人口動態と死因、生活習慣病)についての背景を理解できる。							
5. 人々の健康における問題を分析し、解決法の検討に応用できる。							
6. 歯科医療、口腔保健、健診に関する法律と歯科疾患の実態について理解できる。							
7. 口腔健康管理の基礎を理解し、う蝕や歯周病などの疾患の予防法を応用できる。							
8. 自分の口腔の状況を認識し、ブラッシング法、フロス、歯磨剤等の使用法について応用できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/9	13:30-16:10	第1講義室	ヘルスプロモーションとは、施策と活動方法	ヘルスプロモーションとは、背景、ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、課題提示	大木 明子	到達目標:1-4 講義 対面 事前学習:WebClass の資料をみておくこと
4-6	4/30	13:30-16:10	第2講義室 第3 講義室	反転授業・課題演習	ヘルスプロモーション課題演習 (A 喫煙と健康、B メタボリックシンドロームとヘルスプロモーション)	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:3,5 第2 講義室に集合、課題演習グループワーク。事前学習:課題を行い、準備をしておくこと。講義前に小テスト回答。
7-8	5/14	10:45-12:25	第2講義室 第3 講義室	健康教育とPDCA サイクル・課題演習	ヘルスプロモーション課題演習 健康教育とPDCA サイクル 討論	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:3,5 第2 講義室に集合、講義 課題演習グループワーク。事前学習:課題を行い、準備をしておくこと。講義後に小テスト回答。
9-11	6/18	09:45-12:25	第1講義室	課題発表	ヘルスプロモーション課題発表 割り当てられた課題について発表	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:1、3-6 課題発表 対面

					スライドを作成し発表		事前学習: 発表資料を作成。発表スライドを提出
12-13	7/2	10:45-12:25	第1講義室	口腔の健康	口腔の健康、歯科疾患実態調査、口腔疾患と健康	大木 明子	到達目標:3,5,6 講義 対面 事前学習: WebClass の資料をみっておくこと
14-16	7/9	09:45-12:25	第3実習室	口腔疾患の予防(実習)	歯科疾患の予防と口腔清掃法カリエスリスクテスト、酸蝕症と飲み物(pH 測定)	大木 明子、 塩沢 真穂	到達目標:7 実習、対面 事前学習:WebClass の資料をみっておくこと、事後:レポート提出
17-20	7/23	13:30-17:05	口腔保健 学科相互 実習室 第3実習室	口腔健康管理の基礎実習	口腔健康管理、ブラッシング法、フロスや歯磨剤等の使用法について(OH3 との合同実習)	大木 明子、 塩沢 真穂、 安達 奈穂子、 竹内 康雄	到達目標:7, 8 実習 最初に第3実習室に集合し1号館に移動 事前学習:WebClass の事前アンケート実施、指示されたものを持参すること。実習後にレポートを提出 TA:Liao-Shin Ru

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、反転授業、演習、実習
反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。
課題の提出を WebClass にて行うこと。

授業内容

ヘルスプロモーション講義、ヘルスプロモーションの演習(グループワーク、課題発表)
口腔疾患の予防実習
口腔健康管理の実習(OH3年との合同実習)

成績評価の方法

評価は提出課題および期末試験(筆記試験(対面):60 分)によって行う。
・課題演習は、小テスト(5 点×2)、資料準備(2 点)、課題の発表内容(8 点)による評価を行う(合計 20 点)。課題演習はグループの評価ではなく個人評価である。
・口腔健康管理実習と口腔疾患の予防実習では、レポートを評価する。(各 5 点)
・期末試験の配点は 70 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。
・出席状況、授業態度、発表内容、期末試験を総合的に評価する。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。
・配点は、期末試験 70 点、小テスト 10 点、課題演習・発表 10 点、口腔健康管理実習レポート 5 点、口腔疾患の予防実習レポート 5 点とし、合計 100 点満点で換算する。
・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

反転授業の回では、事前に WebClass に提示された課題について学習してから講義に臨むこと。
衛生学専攻 3 年との合同実習では歯の染めだしを行うので、汚れてもいい服装でくること。指定された期日までに事前調査票を記入し提出すること。最終回の実習では歯磨きについての指導が行われるので、使用している歯ブラシ等清掃用具や歯磨剤など、使用しているも

のをすべて忘れずに持参すること。

口腔疾患の予防実習では、実習室にて実習を行う。準備するものを事前に指示するので忘れずに持参すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・2/3 以上の出席を基本とする。出席確認は対面では学生証のカードタッチで行う。

・課題を提示された期限までに提出すること。

・口腔保健衛生学専攻との合同実習に参加し、レポートを提示された期限までに提出すること。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

スタンダード衛生・公衆衛生 = STANDARD PUBLIC HEALTH AND HYGIENE／安井利一，荒川浩久，三宅達郎 編集，安井，利一，1951-，荒川，浩久，1952-，三宅，達郎，：学建書院，2019

歯科発アクティブライフプロモーション 21：健康増進からフレイル予防まで／花田信弘 監著，武内博朗，野村義明，泉福英信 編著，花田，信弘，1953-，武内，博朗，1962-，野村，義明，泉福，英信，：デンタルダイヤモンド社，2017

国際保健医療学／日本国際保健医療学会編集；石井明 [ほか] 編集委員，日本国際保健医療学会，石井，明，：杏林書院，2005

FACTFULNESS：10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣／ハンス・ロスリング，オーラ・ロスリング，アンナ・ロスリング・ロンランド 著，上杉周作，関美和 訳，Rosling, Hans, 1948-2017, Rosling, Ola, 1975-，Rönnlund, Anna Rosling, 1975-，上杉，周作，関，美和，：日経 BP 社，2019

口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一，宮崎秀夫，鶴本明久，川口陽子，山下喜久，廣瀬公治 編，安井，利一，1951-，宮崎，秀夫，1952-，鶴本，明久，1952-，：医歯薬出版，2017

他科目との関連

感染予防と一部関連があります。う蝕と歯周病を基礎としています。

履修上の注意事項

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。特に反転授業、課題演習の回は予習してこないと授業に参加できないので必ず予習をしてくること。・口腔疾患の予防実習では、準備するものを事前に指示するので忘れずに持参すること。・口腔健康管理は口腔保健衛生学専攻 3 年との合同実習を行う。授業場所が違うので注意すること。各自、歯ブラシなどの清掃用具、歯磨剤、筆記具を持参し、服装に注意すること。実習に際し事前アンケートが必要になるので指定された期日までに実施して提出すること。衛生学専攻学生からのフィードバック後にレポートを提出すること。

備考

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。特に反転授業、課題演習の回は予習してこないと授業に参加できないので必ず予習をしてくること。

・口腔健康管理は口腔保健衛生学専攻 3 年との合同実習を行う。授業場所が違うので注意すること。各自、歯ブラシなどの清掃用具、歯磨剤、筆記具を持参し、服装に注意すること。実習に際し事前アンケートが必要になるので指定された期日までに実施して提出すること。衛生学専攻学生からのフィードバック後にレポートを提出すること。

反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

昨年度授業終了時アンケート結果より、昨年度より内容を改善し、演習の時間を 2 回に分けて授業時間の順番を変更した。また、合同実習を対面で行い、新しく口腔疾患の予防実習を追加、合同実習内容の再検討と学生同士のフィードバックの時間を確保した。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023559						
科目名	グローバル口腔保健工学			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 授業形態: 講義, グループディスカッション、外部業者提供によるオンライン英会話レッスン							
主な講義場所 2 号館 第 1 講義室							
授業の目的、概要等 日本の歯科技工、歯科医療の現況を知り、日本と海外の歯科医療の違いを認識し、海外の口腔保健工学に携わる学生に説明するために必要な基本的な知識を習得する。 言いたいことが英語で話せるレベル(オンライン英会話レッスンで定めた B1 基準)、B1 基準以上の英会話力の学生は1段階アップしたレベルの安定した英会話力を習得する。							
授業の到達目標 1. 日本の文化を説明できる。 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について説明できる。 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを説明できる。 4. 東京医科歯科大学を説明できる。 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを作成できる。 6. 英語で1～4の内容を説明することを考慮したプレゼンテーションを作成できる。 7. 日常会話であれば、言いたいことが伝えられ、相手の話が理解できる英会話力を身につける。 8. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/27	10:45-12:25	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科技工	海外研修の意義 過去のプレゼンテーション視聴	青木 和広	到達目標: 1-5.8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25 を参照
3-5	10/22	09:45-12:25	第1講義室	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科技工	紹介すべき項目の列挙と整理	青木 和広	到達目標: 1-8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25 を参照。事前に課題を行い準備をしておくこと
6	10/22	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	個別英会話レッスン	個別オンライン英会話レッスンと PROGOS によるスピーキングテスト	青木 和広	到達目標: 6, 7 Web Class を参照。英会話レッスンの予定を月初めに入れるこ

							と。
7	11/19	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	個別英会話レッスン	個別オンライン英会話レッスンと PROGOSによるスピーキングテスト	青木 和広	到達目標:6, 7 Web Class を参照。 英会話レッスンの予定を月初めに入れること。
8	12/3	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科技工 ID: 960 0680 8662 PW: 548444	紹介すべき項目の列挙と整理 英語で作成したスライドを準備してグループワーク	青木 和広	到達目標:1-8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25 を参照。事前に課題を行い準備をしていくこと
9	12/17	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科技工 ID: 960 0680 8662 PW: 548444	紹介すべき項目の列挙と整理 英語で作成したスライドを準備してグループワーク	青木 和広	到達目標:1-8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25 を参照。事前に課題を行い準備をしていくこと
10	12/17	17:15-18:00	遠隔授業 (非同期型)	個別英会話レッスン	個別オンライン英会話レッスンと PROGOSによるスピーキングテスト	青木 和広	到達目標:6, 7 Web Class を参照。 英会話レッスンの予定を月初めに入れること。
11	1/14	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	個別英会話レッスン	個別オンライン英会話レッスンと PROGOSによるスピーキングテスト	青木 和広	到達目標:6, 7 Web Class を参照。 英会話レッスンの予定を月初めに入れること。
12	1/21	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科技工 ID: 960 0680 8662 PW: 548444	英語で作成したスライドを用いた発表 (日本) (医科歯科大学) (歯科技工)	青木 和広 大木 明子	到達目標:1-8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25 を参照。事前に課題を行い準備をしていくこと
13	1/28	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科技工 ID: 960 0680 8662 PW: 548444	英語で作成したスライドを用いた発表 (日本) (医科歯科大学) (歯科技工)	青木 和広 大木 明子	到達目標:1-8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25 を参照。事前に課題を行い準備をしていくこと

							てくること
14-15	2/4	10:45-12:25	第1講義 室	外国人に紹介する日本、東京科学大学、歯科 技工	英語で作成したスライドを用いた 発表	青木 和広	到達目標:1-8 IL2400065 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2024-25を 参照。事前に課 題を行い準備をし てくること
授業方法 授業形態:講義、グループディスカッション、個別オンライン英会話レッスンへの参加							
成績評価の方法 評価は、出席状況・授業態度(10 点)、個別オンライン英会話教室への予定記載状況、参加状況、および英会話レベルアップの状況(40 点)、課題提出内容および班ごとの発表(50 点)によって行う。 ・課題を提示された場合は、期限までに提出すること。 ・課題演習、発表内容はグループの評価ではなく個人評価である。							
成績評価の基準 ・合計点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、出席状況、授業態度(10 点)、個別オンライン英会話教室への予定記載状況、参加状況、および英会話レベルアップの状況(40 点)、課題提出内容および班ごとの発表(50 点)で換算する。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 ・合格すれば、到達目標達成したと判断し、80 点以上をの成績評価をつける。 また、A+基準は3つの評価項目すべてにおいて優れた成績を収めたものを評価する。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・個別のオンライン英会話レッスンの予約を月の始まる前に決定し、Teams の予約表に早めに記載すること。 ・この記載状況は成績判定の一つとなる。 ・英会話能力の向上のために、日々研鑽を積むこと。 特に A1 High から B1に上がるためには、与えられた月8回のレッスン以外に、自らが努力して積極的に英会話力向上のために努力を積み重ねることが大切です。 業者の提供するすべての教材に目を通して、能力にあった教材を選び、日々取り組んでください。 月8回のレッスンは、自分の自由な時間に行うため、時間割上では、非同期講義として記載しているが、8回分をすべて時間割には反映していないことに注意する。 月初めには、少なくともその月の予定を TEAMS 上に書き込むこと							
試験の受験資格 定期試験の受験資格(課題発表会参加資格) 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3/4 以上の出席を基本とする。 ・個別オンライン英会話レッスンを10月から1月まで4カ月間、月8回参加する ・発表資料などの課題を提示された期限までに必ず提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
備考							

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。

時間割番号	023770				
科目名	口腔と全身の基礎医学			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
時間数:30 時間 授業形態: 講義は遠隔授業(非同期型)および対面授業(複合領域コースは遠隔同期型でも聴講可能) 演習と実習(複合領域コースは受講不可)					
主な講義場所 遠隔授業(同期型、非同期型) 対面講義は第1講義室 対面の OEOH 合同薬理学実習は、1号館7階口腔保健学科基礎実習室 対面の OEOH 合同解剖実習は、3号館地下1階 解剖					
授業の目的、概要等 最初に基礎と臨床をつなぐ薬理学の総論から学ぶ。 つぎに、人体の発生から口腔器官の発生、歯周組織の知識を深め、 最後に顎顔面部の解剖を学ぶ。 具体的には、以下のような項目を理解することになる(詳細は授業日程参照)。 1. 薬の作用・効果の発現を規定する要素・薬の吸収・分布・代謝・排泄について理解する。 2. ヒトの発生、口腔器官・歯の発生過程および組織を理解する。 3. 顎・顔面・口腔領域の骨格、筋、神経支配、脈管を理解する。 4. 実習では、薬理学実習と全身解剖実習を行う 生きた動物を用いた生理・薬理学実習や顎顔面の解剖実習を通じて、医療に携わるものとしての心構えを身につける。 なお、一部の薬の各論は実習において扱うが、鎮痛薬や漢方薬をはじめ口腔や全身に作用する薬の各論については、選択科目「硬組織薬理」において学ぶ。					
授業の到達目標 1. 基礎医学(解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、免疫学)と臨床医学との架け橋である薬理学について説明できる。 2. 多職種連携になぜ薬理学が必要かを説明できる。 3. オーダーメイド医療について説明できる。 4. 薬理作用の種類を説明できる。 5. 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 6. 薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 7. 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 8. 薬物の生物学的検定法、ED50、用量反応曲線について説明できる。 9. 薬理作用を規定する要因について説明できる。 10. 薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 11. 薬物の構造活性相関について説明できる。 12. ライフステージと薬の効果について説明できる。 13. 人体の発生、口腔組織の発生、発育および歯の交換過程を説明できる。 14. 歯の組織の基本的構造を説明できる。 15. 歯周組織の基本構造を説明できる。 16. 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。 17. 頭頸部、口腔を構成する主要な骨、頭蓋骨について説明できる。 18. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明できる。					

19. 顎口腔の主な神経支配を説明できる。
20. 口腔領域に分布する主な脈管系を説明できる。
21. 全身麻酔薬について説明できる(薬理学実習の一部として)。
22. 3次元的身体構造を理解できる。
23. 医療人、あるいは医療を支える人を目指す心構えを身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	10:45-11:30	第1講義室	生体と薬物1 複合コースの方は遠隔(同期)ミーティング ID: 975 9546 2717 パスコード: 415897	薬理学の基礎、薬力学、薬物動態学、オーダーメイド医療	青木 和広	到達目標:1-3 講義後に確認テストと感想を記載すること
2	4/9	11:40-12:25	第1講義室	生体と薬物2 複合コースの方は遠隔(同期)ミーティング ID: 975 9546 2717 パスコード: 415897	薬の使用目的とその作用、受容体と薬物	青木 和広	到達目標:4,5 講義後に確認テストと感想を記載すること
3	4/23	10:45-11:30	遠隔授業(非同期型)	生体と薬物3	薬物の適用方法	青木 和広	到達目標:6 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
4	4/23	11:40-12:25	遠隔授業(非同期型)	生体と薬物4	薬物の吸収、分布、代謝、排泄	青木 和広	到達目標:7 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
5	4/30	10:45-11:30	遠隔授業(非同期型)	生体と薬物5	薬物の生物学的検定法、用量反応曲線	青木 和広	到達目標:8 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
6	4/30	11:40-12:25	遠隔授業(非同期型)	生体と薬物6	薬理作用を規定する要因、薬物の反復、構造活性相関	青木 和広	到達目標:9-11 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
7	5/28	10:45-11:30	遠隔授業(非同期型)	生体と薬物7	ライフステージと薬物	青木 和広	到達目標:12 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
8-10	11/5	09:45-12:25	第1講義室	人体の発生総論・口腔組織の発生	人体の発生過程、口腔組織の発生過程、歯の交換過程	井関 祥子	到達目標:13 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
11-13	11/19	09:45-12:25	第1講義室	口腔組織	歯と歯周組織の構造および歯の加齢変化	井関 祥子	到達目標:14-16 講義視聴後に確認テストと感想を記載すること
14-16	12/3	09:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	頭蓋の骨	頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋の全景	岩永 譲	到達目標:17 講義視聴後に感想

			型)				を記載すること
17-19	12/17	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	頭頸部の筋、顎関節	顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、 舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋 群)、頸部の筋、顎関節の構造と機 能	岩永 譲	到達目標:18 講 義視聴後に感想 を記載すること
20-22	1/21	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	頭頸部の神経	脳神経、頭頸部に分布する脊髄神 経、自律神経	岩永 譲	到達目標:19 講 義視聴後に感想 を記載すること
23-25	1/21	13:30-16:10	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 生物学的 検定法	中枢神経抑制薬(麻酔薬) 薬剤感 受性の個体差 ED50 吸入麻酔 薬・注射薬	青木 和広 天野 均 菅 森 泰隆	到達目標:1-3, 8, 21, 23 期限まで に実習レポート提 出
26-28	1/28	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	口腔付近に分布する脈 管系	頭頸部に分布する動脈系、静脈 系、リンパ系	岩永 譲	到達目標:20 講 義視聴後に感想 を記載すること
29-30	1/31	10:45-12:25	解剖学実 習室	頭頸部の解剖	頭頸部の解剖実習見学	岩永 譲 北 河 憲雄 吹 野 恵子	到達目標:17-20, 22, 23 実習後に 期限までにレポ ートを提出する

授業方法

講義、実習

前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、掲示板に書き込むようにしてください。個別にメールでは行わないようにしてください。

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度(10 点)、提出レポートや小テストなど提出物(20 点)による平常点、および期末テスト(70 点)で総合的評価を行う。なお、期末テストが 6 割未満の者は再試験となる。

再試験で 6 割未満のものは不合格となる。

なお、筆記テストは CBT(Computer based test)となる。

成績評価の基準

・出席状況、授業態度(10 点)、提出レポートや小テストなど提出物(20 点)による平常点、および期末テスト(70 点)で総合的評価を行う。なお、期末テストが 6 割未満の者は再試験となる。

・授業態度も加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

A+は、総合評価 90 点以上の場合に評価される

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料が配布される場合や WebClass にアップロードされる場合は、予習をして授業に臨むこと。

また、動物実験では一人一回は注射をする機会があるため、WebClass 上のシミュレーション資料で予習しておくこと。

解剖実習の前に、生と死について、また医療従事者として解剖された遺体の提供者に対する気持ちについて考えておくこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・2/3 以上の出席を受験資格とする。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

・非同期講義では、ビデオ視聴記録が確認できても、感想を記入し、小テスト(確認テスト)を行う、もしくは合格点があるものは合格点に達しなければ出席とカウントされない。なお、一部の非同期講義は、期限までの感想記入のみで出席とする講義もある。

・対面実習は参加だけではなく、期限までにレポートを提出することで出席となる。
教科書 口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy／全国歯科技工士教育協議会 編集,脇坂聡, 杉田順弘, 市川博之, 里田隆博, 木暮ミカ 著,脇坂 聡,杉田 順弘,市川 博之,全国歯科技工士教育協議会.:医歯薬出版, 2016
参考書 現代歯科薬理学／鈴木 邦明,戸苅 彰史,青木 和広,兼松 隆,筑波 隆幸,八田 光世,鈴木邦明 監修,戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波 隆幸, 八田光世 編,戸苅彰史 [ほか] 執筆:医歯薬出版, 2024.1
備考 アクティブラーニングは対面実習、演習によりおこなう。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 毎週火曜日 17 時～18 時 これ以外は メールにて面談の日程を調整すること 青木和広 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。 非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題および感想記入をそれぞれの期限までに行うこと。 一部、感想記入のみで出席とする授業もある。 対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。

時間割番号	023780						
科目名	硬組織薬理学			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 17 時間(希望により後期の実習と演習の受講が可能)							
授業形態: 講義と実習							
講義は対面講義と遠隔授業(非同期型)							
主な講義場所							
対面講義は2号館第 1 講義室、							
遠隔授業(同期型・非同期型)、							
実習は、口腔保健学科基礎科学実習室 (1 号館西 7 階)							
演習は、1号館西、第3講義室							
授業の目的、概要等							
必修科目の「口腔と全身の基礎医学」において学ぶ薬理学総論の内容では伝えきれない、全身疾患の病因に基づく薬物治療の実際について学ぶ。							
特に、骨に対する薬の作用に関しては、前期科目ではあるが、後期に行われる OH との合同演習に参加し、研究実習への橋渡しとなる知識を深めることができる。自律神経系の腸管平滑筋に対する作用の実際も経験することができる。							
授業の到達目標							
1. 局所麻酔について概説できる							
2. 硬組織内時刻描記法と硬組織に作用する薬物について概説できる。							
3. 自律神経系と運動神経の病気とその治療に関して概説できる。							
4. 循環器系の薬理、特に高血圧治療薬について概説できる。							
5. 血液の薬理、特に局所の止血薬、全身の抗血栓薬について概説できる。							
6. 免疫系の生理・薬理について概説できる。							
7. 呼吸器系の生理・薬理について概説できる。							
8. 消化器系の生理・薬理について概説できる							
9. 内分泌系の生理・薬理について概説できる。							
10.中神経系の生理・薬理について概説できる。							
11.漢方薬の薬理について概説できる。							
12.悪性腫瘍の薬理について概説できる。							
13.唾液腺の生理・薬理について概説できる。							
14.臨床検査について概説できる。							
15.口腔関連の臨床検査について概説できる。							
16.ビタミンについて概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/5	10:45-11:30	第1講義室	局所麻酔薬	局所麻酔薬の種類と主作用・副作用	青木 和広	到達目標:1
2	6/5	11:40-12:25	第1講義室	硬組織の薬理 薬事関連法規	骨粗しょう症薬 口腔における骨形成誘導材料 骨形態計測 薬機法	青木 和広	到達目標:2
3	6/12	09:45-10:30	遠隔授業(非同期型)	末梢神経系作用薬物	自律神経系作用薬、運動神経系作用薬。	青木 和広	到達目標:3 後期の OH2 との合同実習および合

							同演習で今一度勉強する機会がある。
4	6/12	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	循環器系の薬理	高血圧治療薬	青木 和広	到達目標:4
5	6/12	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	血液の薬理	局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広	到達目標:5
6	6/19	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	免疫系の薬理	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチン製剤、抗アレルギー薬、特異的抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬	青木 和広	到達目標:6
7	6/19	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	呼吸器系の薬理	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、喘息治療薬、呼吸促進	立石 知也	到達目標:7
8	6/19	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	消化器系の薬理	消化性潰瘍治療薬を中心に消化器系に作用する薬物の役割について	青木 和広	到達目標:8
9	7/10	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	内分泌系の薬理	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬	長谷川 純矢	到達目標:9
10	7/10	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経系の薬理その1	全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、抗不安薬の種類と特徴	七田 崇	到達目標:10
11	7/10	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	中枢神経系の薬理その2	中枢神経興奮薬、抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、アルツハイマー病治療薬の種類と特徴	七田 崇	到達目標:10
12-13	7/17	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	漢方薬物療法 および 歯科における漢方薬	漢方薬(和漢薬)	藤井 晋也	到達目標:11
14	7/17	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	悪性腫瘍薬	化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍治療薬	渡部 徹郎	到達目標:12
15	7/24	09:45-10:30	遠隔授業 (非同期型)	唾液腺の生理・薬理 臨床検査その1	唾液腺の生理、病気と治療、臨床検査	樺沢 勇司	到達目標:13, 14
16	7/24	10:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	臨床検査その2 口腔 関連の臨床検査	臨床検査(口腔関連検査含む)	樺沢 勇司	到達目標:14、15
17	7/24	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	ビタミン	ビタミンの作用とビタミン薬	影近 弘之	到達目標:16
18-21	1/28	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	自律神経系の薬理・硬組織薬理	腸管に対する自律神経系薬の反応・硬組織の蛍光画像からわかること	青木 和広 天野 均 菅 森 泰隆	到達目標:2、3 OH2 との合同実習・演習
22-23	2/4	13:30-15:10	口腔保健 学科第3 講義室	自律神経系の薬理演習	TBL 形式の演習 13時30分から確認テストを行うので遅刻しないように	青木 和広	到達目標:2、3 OH2 との合同演習 最初に確認

							テストを行うので、6月12日公開のビデオなど指示に従い視聴し、準備をしてくること。
24	2/4	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	歯科用医薬品の特徴と使用	歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾患治療薬	青木 和広	到達目標:17
授業方法 ・前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。 ・TBL方式の講義も導入する。							
成績評価の方法 出席状況、感想記入(30点)、小テストの実施状況(70点)として総括的評価を行う。 前期で一度成績をつけるが、後期の実習と演習の参加およびレポート提出を加味し、最終評価を行う。							
成績評価の基準 出席状況、感想記入(30点)、小テストの実施状況(70点)として総括的評価を行う。 前期で一度成績をつけるが、後期の実習と演習の参加およびレポート提出を加味し、最終評価を行う。 A+は、後期の実習及び演習の参加をした場合に評価される。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 特に後期の実習や TBL 授業の前には自律神経系の薬理に関してよく復習して臨むこと。 演習の最初に確認テストを行うので、遅刻をしないように1号館第3講義室に集まること。							
試験の受験資格 試験は行わず、毎回行われる小テストなどの課題による平常点による評価となる。 2/3 以上の出席とあわせて、合格となる。 ・初回の対面講義および後期のオプションの実習・演習は 30 分以上遅れた場合に欠席となる。 ・遠隔授業(非同期型)の場合は、小テストと感想記入を出席の条件とする。小テストに合格点があるものは合格点に達しなければ出席とカウントされない。 ・対面実習は、出席の条件にはいれないが、実習レポートを決められた期限までに提出すること。							
参考書 現代歯科薬理学／鈴木 邦明,戸苅 彰史,青木 和広,兼松 隆,筑波 隆幸,八田 光世,鈴木邦明 監修,戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸, 八田光世 編,戸苅彰史 [ほか] 執筆:医歯薬出版, 2024.1							
備考 アクティブラーニングは対面実習、演習によりおこなう。 担当教員のオフィシアワーおよび連絡先 毎週火曜日 17 時～18 時 これ以外は メールにて面談の日程を調整すること 青木和広 kazuhiko_aoki.bhoe@tmd.ac.jp それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。 非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。 対面授業では、AL(TBL, グループディスカッション)を行う。							

時間割番号	023790						
科目名	歯の形態実習			科目ID			
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:歯の形態実習 時間数:60 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 第3 実習室							
授業の目的、概要等 補綴装置製作の基本となる天然歯の形態を精密に彫刻再現できる技術力を養い、種々の補綴装置製作における高度な造形能力を身につける。							
授業の到達目標 1. 大臼歯の形態的特徴を理解し、ワックス彫刻で概形を再現できる。 2. 歯の形態的特徴を理解し、ワックス彫刻で精密に再現できる。 3. 歯の形態的特徴を理解し、石膏彫刻で精密に再現できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/9	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
3-4	5/16	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
5-6	5/23	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
7-8	5/30	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
9-10	6/6	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
11-12	6/13	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
13-14	6/20	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
15-16	6/27	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
17-18	7/4	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし

19-20	7/11	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習 方法:実習 事前 学習:なし
21-22	7/18	13:30-15:10	第3実習室	ワックス彫刻(概形)	ワックス彫刻(概形)	土田 優美	到達目標:1 学習 方法:実習 事前 学習:なし
23-24	7/23	10:45-12:25	第3実習室	カービングコンテスト	カービングコンテスト	土田 優美	到達目標:- 学習 方法:- 事前学 習:なし
25-26	9/18	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
27-28	9/25	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
29-30	10/2	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
31-32	10/9	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
33-34	10/16	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
35-36	10/23	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
37-38	10/30	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
39-40	11/6	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
41-42	11/13	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
43-44	11/20	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
45-46	11/27	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
47-48	12/4	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
49-50	12/11	10:45-12:25	第3実習室	ワックス彫刻	ワックス彫刻	土田 優美	到達目標:2 学習 方法:実習 事前 学習:なし
51-52	12/18	10:45-12:25	第3実習室	石膏彫刻	石膏彫刻	土田 優美	到達目標:3 学習

			室				方法:実習 事前 学習:なし
53-54	1/15	10:45-12:25	第3実習 室	石膏彫刻(課題提出)	石膏彫刻(課題提出)	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:実習 事前 学習:なし
55-56	1/22	10:45-12:25	第3実習 室	石膏彫刻(課題提出)	石膏彫刻(課題提出)	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:実習 事前 学習:なし
57-58	1/29	10:45-12:25	第3実習 室	石膏彫刻(課題提出)	石膏彫刻(課題提出)	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:実習 事前 学習:なし
59-60	2/5	10:45-12:25	第3実習 室	石膏彫刻(課題提出)	石膏彫刻(課題提出)	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:実習 事前 学習:なし
授業方法 実習 歯形彫刻実習。 授業期間中に他学年と合同のカービングコンテストを実施する。 また、授業期間内に課題を課す。							
成績評価の方法 カービングコンテストの作品と課題 4 題によって行う。 ・カービングコンテスト作品 20 点 ・石膏彫刻 4 題 各 20 点 出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。							
成績評価の基準 各作品の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 本科目は試験を行わない。							
教科書 口腔・顎顔面解剖学／全国歯科技工士教育協議会 編集、脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミカ 著、脇坂、聡、杉田、順弘、市川、博之、全国歯科技工士教育協議会、:医歯薬出版、2016							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。							
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023526A						
科目名	口腔保健理工学			科目ID	DE-252600-L		
担当教員	塩沢 真穂 宇尾 基弘[SHIOZAWA Maho, UO MOTOHIRO]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型および非同期型)							
授業の目的、概要等 歯科技工で用いられている材料の基礎的な物理的、化学的知識を修得する。歯科技工で用いる各種の歯科材料・器械について、扱う上で必要な知識を修得する。							
授業の到達目標 1. 歯科材料の機械的特性と物理的性質を説明できる。 2. 生体材料に要求される化学的・生物学的性質を説明できる。 3. 歯科用ワックスの組成と性質を説明できる。 4. 歯科用合金の種類と特徴を説明できる。 5. 金属の加工法と、それに伴う加工硬化と熱処理について説明できる。 6. 義歯床用レジンの組成と特徴、成形法を説明できる。 7. 歯冠用硬質レジンの組成と性質を説明できる。 8. 印象材と模型との関係を説明できる。 9. 印象材の組成と性質を説明できる。 10. 石膏の組成と性質を説明できる。 11. 接着の機序と接着剤の成分を説明できる。 12. 成形修復材料の種類と特徴を説明できる。 13. 歯科用陶材の組成と特徴、成形法を説明できる。 14. 審美修復に必要な色彩に関する知識を説明できる。 15. 埋没材の硬化膨張、熱膨張について説明できる。 16. 歯科用合金の鑄造について説明できる。 17. 鑄造体の寸法変化と補償について説明できる。 18. ろう付けについて説明できる。 19. 切削と研磨の原理を説明できる。 20. 歯科用 CAD/CAM の特徴を説明できる。 21. 歯科用インプラント材料の特徴を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	16:20-17:05	遠隔授業 (同期型)	歯科理工学概論	歯科理工学概論	塩沢 真穂	到達目標:1 Zoom ID: 946 3173 1188 パスコード: 390558
2-3	4/10	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	材料の物性評価の基礎 歯科用ワックス	応力とひずみ、硬さ、レオロジー、 光学的性質 歯科用ワックスの種類と特徴	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:1,3 WebClass 小テストを実施
4-6	4/17	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	金属材料の基礎 歯科用合金 合金の熱処理と腐食	金属材料の特徴、歯科用合金の種類、特徴 加工の特徴、加工硬化、金属材料の熱処理	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:4,5 WebClass 小テストを実施
7-9	4/23	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	有機・複合材料の基礎 歯科用レジン	有機材料概論 義歯床用レジン、 加熱重合レジン、常温重合レジン	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:6 WebClass 小テストを実施

			型)		ン、その他の義歯床用レジン、成形法		ストを実施
10-12	4/24	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	補綴用レジン	コンポジットレジン、硬質レジン、CAD/CAM ブロック	塩沢 真穂	到達目標:7,11 WebClass 小テストを実施
13-15	5/1	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯科材料・歯質の物性 生物学的安全性試験	腐食、防食、変色、表面張力、接着とぬれ 歯科材料の安全性、薬機法における歯科材料の分類	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:2 WebClass 小テストを実施
16-18	5/8	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	確認テスト①		塩沢 真穂	WebClass 小テストを実施
19-21	5/14	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	無機材料の基礎 印象材・模型材	印象材の種類、弾性印象材の特徴 模型材の種類、石膏の硬化	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:8-10 WebClass 小テストを実施
22-24	5/15	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	模型材・石膏		塩沢 真穂	到達目標:10 WebClass 小テストを実施
25-27	5/22	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	成形修復材料 合着材 仮封材・暫間修復材・その他	成形修復材料の種類と特徴	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:11,12 WebClass 小テストを実施
28-30	5/29	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	陶材・セラミックス 光と色	セラミックスの特徴	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:13,14 WebClass 小テストを実施
31	6/11	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	確認テスト②	確認テスト②	塩沢 真穂	WebClass 小テストを実施
32-33	6/11	14:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	インプラント材料	インプラント材料	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:21 WebClass 小テストを実施
34-36	6/26	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	埋没材と精密鑄造	鑄造用埋没材の組成と特徴、金属融解の熱源、鑄込み、鑄造欠陥の種類と原因、寸法精度に及ぼす因子	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:15-17 WebClass 小テストを実施
37-39	7/3	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	切削・研削・研磨 3D デジタル造形の基礎	切削・研削・研磨 3D デジタル造形の基礎	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:19,20 WebClass 小テストを実施
40-41	7/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	CAD/CAM の基礎	CAD/CAM の基礎	堀田 康弘	到達目標:20 Zoom ID: 949 3642 6167 パスコード: 300643
42-43	7/16	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	合金の接合	ろう付け	宇尾 基弘 塩沢 真穂	到達目標:18 WebClass 小テストを実施
44-45	7/30	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	歯科での加工法のまとめ	歯科精密鑄造のまとめ	玉置 幸道	到達目標:15-19 Zoom ID: 921 2834 0265 パスコード: 725490
授業方法 講義・演習							

<p>遠隔授業(同期型および非同期型)を行います。</p> <p>事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。</p> <p>遠隔授業(非同期型)の課題を WebClass にて行い、期限までに提出すること。</p> <p>遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p> <p>遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。</p>
<p>授業内容</p> <p>講義</p> <p>遠隔授業(同期型、非同期型)で行う。</p> <p>事前に WebClass に提示される資料を学習しておくこと。</p> <p>遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は小テスト(10 点)および期末試験(90 点)(筆記試験:60 分)によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の配点は 90 点とするが、期末試験の点数が 6 割以下の場合は再試験を行う。 ・出席状況と授業態度を加味し、総合的に評価する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が 100 点満点中 60 点以上の者を合格とする。 ・配点は、期末試験 90 点、小テスト 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>教科書</p> <p>スタンダード歯科理工学 第 7 版: 生体材料と歯科材料／中畠裕 [ほか] 編集(幹事)・執筆； 石川邦夫 [ほか] 編集・執筆； 赤坂司 [ほか] 執筆、中畠 裕、石川 邦夫、赤坂 司、:学建書院, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>コア歯科理工学／小倉英夫、高橋英和、宮崎隆、小田豊、榎本貢三、小園凱夫編；遠藤一彦 [ほか] 執筆、小倉 英夫、高橋 英和、宮崎 隆、小田 豊、榎本 貢三、小園 凱夫、遠藤 一彦、:医歯薬出版, 2008</p> <p>臨床歯科理工学／宮崎隆 [ほか] 編、宮崎 隆、中畠 裕、河合 達志、小田 豊、:医歯薬出版, 2006</p> <p>歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices／日本歯科理工学会 編、日本歯科理工学会、:医歯薬出版, 2018</p> <p>歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会編；大島浩 [ほか] 著、全国歯科技工士教育協議会、大島 浩、米山 隆之、高橋 英和、岩崎 直彦、:医歯薬出版, 2021</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>グループディスカッションが含まれます。</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、前年度の授業時間配分と構成を見直し、実習と連動するようにスケジュールを調整している。</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p> <p>宇尾 基弘 mail@m-uo.com</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p>

塩沢 真穂m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp
オフィスアワー
塩沢 真穂2 号館 3 階 314

時間割番号	023800						
科目名	口腔保健理工学実習			科目ID			
担当教員	塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
2号館 第1実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
1号館6階 基礎実習室、小実習室							
1号館7階 口腔保健学科基礎科学実習室							
授業の目的、概要等							
歯科技工で使用する歯科材料の性質を理解し、それらの性質を測定し、適切に扱える力を身につける。							
授業の到達目標							
1. 測定器具を使用して計測できる。							
2. 材料の引張試験と圧縮試験の方法と応力-ひずみ線図を説明できる。							
3. 金属材料の硬さ試験の方法と金属の加工硬化、熱処理について説明できる。							
4. 歯科用ワックスの収縮と変形について説明できる。							
5. 加熱重合レジンの重合方法と重合体の寸法変化について説明できる。							
6. 歯冠用硬質レジンの重合方法と曲げ強さについて説明できる。							
7. 石膏の硬化時間、硬化膨張、発熱を測定し、その性質を説明できる。							
8. 各種印象材の寸法精度と細線再現性を測定し、その性質を説明できる。							
9. 成形修復用材料の適切な取り扱い方法を説明できる。							
10. 歯科用セラミックスの成形方法と性質を説明できる。							
11. 研磨の方法とその理論について説明できる。							
12. セラミックスの色調を測定し、その特性を説明できる。							
13. 各種埋没材の硬化膨張、熱膨張を測定しその性質を説明できる。							
14. 歯科用合金の鑄造方法について説明できる。							
15. 鑄造体の寸法変化について説明できる。							
16. ろう付けとフラックスの役割について説明できる。							
17. 歯科材料メーカーを見学し、技工用材料の製造過程を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/12	10:45-12:25	第3実習室	測定器具の使い方	ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、目盛付きルーペの使い方	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:1
3-6	4/12	13:30-17:05	第3実習室	ワックス	ワックスの応力緩和による変形測定、冷却による寸法変化測定	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:4
7-8	4/19	10:45-12:25	第3実習室	引張試験	ワイヤーの引張試験、応力ひずみ線図	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:2
9-12	4/19	13:30-17:05	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	硬さ試験	硬さ測定、加工による硬さの変化、熱処理による硬さの変化	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:3
13-14	4/26	10:45-12:25	第3実習室	加熱重合レジン(1)	餅状期の観察、パターンの作製、埋没、流ろう	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:5
15-18	4/26	13:30-17:05	第3実習室	硬質レジン(1)	硬質レジン試験片製作	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:6

19-22	5/10	10:45-15:10	第3実習室	加熱重合レジン(2)	レジン填入、重合	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:5
23-24	5/10	15:25-17:05	第3実習室	硬質レジン	硬質レジンの曲げ試験	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:6
25-26	5/17	10:45-12:25	第3実習室	加熱重合レジン(3)	割り出し	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:5
27-30	5/17	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	石膏(1)	石膏の硬化時間、硬化膨張、発熱	塩沢 真穂 佐藤 隆明 土田 優美 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:7 衛 生学専攻との合 同実習
31-36	5/24	10:45-17:05	第3実習室	石膏(2)	練和溶液が石膏硬化に及ぼす影 響	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:7
37-38	5/31	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	成形修復用材料(1)	常温重合レジン、コンポジットレジ ン、グラスアイオノマーセメント、 各種合着用セメントの特徴	塩沢 真穂	到達目標:9
39-42	5/31	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	印象材(1)	ハイドロコロイド印象材と模型の 精度	塩沢 真穂 佐藤 隆明 土田 優美 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:8 衛 生学専攻との合 同実習
43-44	6/7	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	成形修復用材料(2)	常温重合レジン、コンポジットレジ ン、グラスアイオノマーセメント、 各種合着用セメントの特徴	塩沢 真穂	到達目標:9
45-48	6/7	13:30-17:05	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	印象材(2)	ゴム質印象材と模型の精度	塩沢 真穂 佐藤 隆明 土田 優美 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:8 衛 生学専攻との合 同実習
49-54	6/14	10:45-17:05	第3実習室 総合 実習室	陶材の焼成収縮・研磨	陶材試験片の作製と寸法測定、研 磨、研磨面の観察	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:10, 11
55-60	6/21	10:45-17:05	第3実習室	色の鑑別、色の測定	シェードガイドの識別、Crystal eye による測定	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:12
61-66	6/28	10:45-17:05	第3実習室	埋没材の膨張 (1)	石膏系埋没材の硬化膨張、熱膨張 測定	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:13
67-68	7/5	10:45-12:25	第3実習室	ワックス・パターン作製	クラウンワックスアップ	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:14
69-72	7/5	13:30-17:05	第3実習室	埋没材の膨張 (2)	リン酸塩系埋没材の硬化膨張、熱 膨張測定	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:13
73-78	7/12	10:45-17:05	第3実習室	鑄造	クラウン埋没・鑄造	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:14
79-80	7/19	10:45-12:25	第3実習室	鑄造体の評価	鑄造体の寸法精度測定	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:15
81-84	7/19	13:30-17:05	第3実習室	ろう付け	フラックスとアンチフラックスの働 き	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:16
85-90	7/26	10:45-17:05	その他	歯科材料の研究・製造	歯科メーカー研究所見学(トクヤマ デンタル)	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:17
授業方法							

<p>実習、見学実習</p> <p>歯科技工で用いる材料や機材の物性や使用方法の実習</p> <p>事前に WebClass に提示されている資料を予習しておくこと。</p>
<p>授業内容</p> <p>実習および企業見学に出席し、実習の各項目終了後にレポートを作成し提出すること。</p> <p>特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。</p>
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価は、実習作品およびレポートにより行う。 ・実習に出席し、提示された期限までにレポートおよび製作物を提出すること。 ・評価は、各課題項目での提出レポート(70 点)、実習作品(10 点)、出席状況(10 点)、授業態度(10 点)とし、その合計点で総括的評価する。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、提出レポート 70 点、実習作品 10 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>3/4 以上の出席を基本とする。</p>
<p>教科書</p> <p>スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料 / 中島裕, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事, 中島裕, 宮崎隆, 1953-, 米山隆之: 学建書院, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫編 ; 遠藤一彦 [ほか] 執筆, 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫, 遠藤一彦: 医歯薬出版, 2008</p> <p>臨床歯科理工学 / 宮崎隆 [ほか] 編, 宮崎隆, 中島裕, 河合達志, 小田豊: 医歯薬出版, 2006</p> <p>歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices / 日本歯科理工学会 編, 日本歯科理工学会: 医歯薬出版, 2018</p> <p>歯科理工学 / 全国歯科技工士教育協議会編 ; 大島浩 [ほか] 著, 全国歯科技工士教育協議会, 大島浩, 米山隆之, 高橋英和, 岩崎直彦: 医歯薬出版, 2021</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>基本的に、歯科理工学講義と連動しています。実習に参加する前に、必ず関連した講義を受けてから参加するようにしてください。</p> <p>実習後は、提示された期限までに実習レポートを提出してください。</p> <p>前年度の授業終了時アンケート結果より、時間配分および内容を再検討し、改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 2 号館 3 階 314</p>

時間割番号	023810						
科目名	デジタルデンティストリー基礎				科目ID		
担当教員	土田 優美 金澤 学[TSUCHIDA Yuumi, KANAZAWA MANABU]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:デジタルデンティストリー基礎 時間数:15 時間 授業形態:講義							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom, WebClass)							
授業の目的、概要等 コンピュータ支援設計・加工・製造および三次元計測の原理と、歯科へ応用するための基礎的な知識を習得する。							
授業の到達目標 1. 歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向について理解できる。 2. 三次元データの計測、設計、加工、製造の方法と仕組みの概要を説明できる。 3. デジタルデンティストリーの最新の研究について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/25	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム概論	歯科用 CAD/CAM システム概論	土田 優美	到達目標:1 学習方法:講義 事前学習:なし
2	10/2	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム概論	歯科用 CAD/CAM システム概論	土田 優美	到達目標:1 学習方法:講義 事前学習:なし
3	10/9	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	三次元データ、計測、スキャン	土田 優美	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
4	10/16	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	三次元データ、計測、スキャン	土田 優美	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
5	10/23	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	設計、デザイン、インプラントシミュレーション	岩城 麻衣子	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
6	10/30	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	設計、デザイン、インプラントシミュレーション	岩城 麻衣子	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
7	11/6	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	切削加工	宮安 杏奈	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
8	11/13	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	切削加工	宮安 杏奈	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
9	11/20	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	付加製造	羽田 多麻木	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし
10	11/27	08:50-09:35	遠隔授業	歯科用 CAD/CAM システム	付加製造	羽田 多麻木	到達目標:2 学習

			(非同期型)	テム			方法:講義 事前学習:なし
11	12/4	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	最新研究発表	プレゼンテーション準備	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:講義 事前学習:なし
12	12/11	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	最新研究発表	プレゼンテーション準備	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:講義 事前学習:なし
13	12/18	08:50-09:35	遠隔授業 (非同期型)	最新研究発表	プレゼンテーション準備	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:講義 事前学習:なし
14	1/15	08:50-09:35	リアルモ ードラボ	試験	試験	土田 優美	到達目標:- 学習 方法:試験 事前学習:なし
15	1/15	09:45-10:30	リアルモ ードラボ	最新研究発表	最新研究発表	土田 優美	到達目標:3 学習 方法:演習 事前学習:なし

授業方法

講義、演習

遠隔授業(同期型・非同期型)、対面授業を行う。

遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格または課題の提出をもって出席とする。

※小テストは実施期限をよく確認し、必ず期限内に実施すること。小テスト未実施および不合格は欠席となるため注意すること。

小テストは満点の取得をもって出席扱いとする。

小テストは期限内であれば何度でも実施可能。

遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。

成績評価の方法

評価は試験(筆記試験)と課題発表によって行う。

・試験: 80 点(試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。)

・課題発表: 20 点

出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。

試験、課題発表の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とする。

・特に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じて課題等での対応を行うこととする。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、1951-、宮崎 隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬 一彦、宮崎隆 編、医歯薬出版、2017.8

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。

連絡先(メールアドレス)

土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023890						
科目名	全部床義歯補綴学			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 非同期型遠隔授業							
授業の目的、概要等 無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的、機能的変化を、全部床義歯により、いかに回復し維持するかを理解する。これらの知識をもとに全部床義歯製作に必要な技法を習得する。							
授業の到達目標 1. 無歯顎の特殊性を理解できる。 2. 全部床義歯の製作の流れを診療室と技工室に分けて説明できる。 3. 無歯顎の印象採得法とそれに必要な器材を説明できる。 4. 無歯顎の咬合採得法とそれに必要な器材を説明できる。 5. 咬合器装着とそれに必要な器材を説明できる。 6. 人工歯の種類と特徴を列挙できる。 7. 人工歯排列、歯肉形成法を説明できる。 8. 埋没と重合法を理解し説明できる。 9. 削合と研磨の重要性を理解し説明できる。 10. 義歯装着の方法と義歯管理の重要性を説明できる。 11. リライン、リベース、修理法を説明できる。 12. 金属床義歯の利点と欠点を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/8	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の特性	全部床義歯の特性 1. 全部床義歯の構成要素 2. 全部床義歯の種類 3. 全部床義歯の口腔内での維持、安定および支持	金澤 学	『有床義歯工学』 P.19-23
2	4/8	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンチャー、インプラントオーバーデンチャー	デジタルデンチャー、インプラントオーバーデンチャー	金澤 学、岩城 麻衣子	『やってみよう！インプラントオーバーデンチャー』
3	4/8	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の製作順序	全部床義歯の製作順序 1. 歯科診療所と歯科技工所における作業の関連	金澤 学	『有床義歯工学』 P.24-40
4-5	4/8	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の印象採得	全部床義歯の印象採得に伴う技工作業 1. 無歯顎 2. 無歯顎の印象とトレー 3. 精密印象と作業模型	金澤 学	『有床義歯工学』 P.24-40
6-7	4/11	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業	全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 1. 咬合床製作のための作業模型の処理 2. 咬合床の製作 3. 全部床義歯に用いられる咬合器 4. 作業用模型の咬合器装着 5. 咬合器の調節 6. ゴシックアーチ描記装置の取り付け	駒ヶ嶺 友梨子	『有床義歯工学』 P.41-53

8	4/11	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 1. 人工歯 2. 人工歯排列 3. 歯肉形成 4. 蟬義歯の試適	駒ヶ嶺 友梨子	『有床義歯工学』 P.56-80
9-11	4/18	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の埋没と重合	全部床義歯の埋没と重合 1. 埋没の前準備 2. 埋没 3. 流蟬 4. 義歯床用レジンの重合	羽田 多麻木	『有床義歯工学』 P.81-86
12-13	4/25	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	全部床義歯の咬合器への再装着 削合および研磨	全部床義歯の咬合器への再装着, 削合および研磨 1. 咬合器再装着の方法と特徴 2. 人工歯の削合 3. 研磨	駒ヶ嶺 友梨子	『有床義歯工学』 P.89-102
14-15	5/2	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	リラインとリベース, 義歯修理, 義歯ケア	リラインとリベース, 義歯修理, 義歯ケア	金澤 学	

授業方法

講義

遠隔授業(非同期型)で行います。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よりメールで回答します。

授業内容

.

成績評価の方法

確認テスト50点、期末テスト50点(筆記試験)の合計100点によって行う

成績評価の基準

確認テスト、期末テストの合計点数が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席とする。

・授業ごとの確認テストの実施をもって出席とする。

教科書

有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会、鈴木、哲也、1954-、全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 (ほか著:医歯薬出版、2017.2

参考書

よい義歯だめな義歯：鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール／鈴木、哲也、1954-、鈴木哲也 著：クインテッセンス出版、2011.11
コンプリートデンチャー：鈴木哲也のマスター1：ランクアップのための知恵と技／鈴木、哲也、1954-、古屋、純一、鈴木哲也、古屋純一 著：デンタルダイヤモンド社、2017.4

無歯顎補綴治療学／市川、哲雄、1958-、大川、周治、大久保、力廣、水口、俊介、市川哲雄、大川周治、大久保力廣、水口俊介 編集、市川哲雄 [ほか] 執筆：医歯薬出版、2022.2

バウチャー無歯顎患者の補綴治療／Boucher, Carl O,Zarb, George A,Bolender, Charles L,Eckert, Steven E,田中、久敏、1935-、古谷野、潔、市川、哲雄、1958-、バウチャー [原著]Zarb, Bolender, Eckert, Jacob, Fenton, Mericske-Stern 編著、田中久敏、古谷野潔、市川哲雄 監訳：医歯薬出版、2008.4

コンプリートデンチャーテクニック／細井、紀雄、1940-、細井紀雄 (ほか編：医歯薬出版、2011.7

やってみよう！インプラントオーバーデンチャー／金澤、学、水口、俊介、金澤学、水口俊介 編：医歯薬出版、2020.7

他科目との関連

一部、全部床義歯実習、デジタル全部床義歯実習と連動しています。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

本講義では、一部の内容を全部床義歯実習およびデジタル全部床義歯実習と連動し、実習、演習によるアクティブラーニングを実施します。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先:

口腔デジタルプロセス学分野

教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023900				
科目名	全部床義歯実習			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
2 号館第 3 実習室					
2 号館重合鑄造室					
2 号館総合実習室					
授業の目的、概要等					
無歯顎の特徴を理解し、その損なわれた形態と機能を回復するために用いる全部床義歯の製作方法を理解し、全部床義歯を製作する。					
授業の到達目標					
1. スタディモデルからランドマークが理解できる。					
2. リリーフとブロックアウトの意義を理解できる。					
3. 印象採得の手順を説明し、そのための個人トレーを製作できる。					
4. ハンドピース・エンジンを使って切削作業を実施できる。					
5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作できる。					
6. 丁寧に正確なワックス操作を行える。					
7. 模型を適切に咬合器に装着できる。					
8. 適切な人工歯排列ができる。					
9. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。					
10. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。					
11. 選択削合・自動削合を行える。					
12. 義歯の形態修正、研磨を行える。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-3	6/10	09:45-12:25			
4-10	6/17	09:45-17:05			
11-13	6/18	13:30-16:10			
14-20	6/24	09:45-17:05			
21-24	6/25	13:30-17:05			
25-31	7/1	09:45-17:05			
32-35	7/2	13:30-17:05			
36-42	7/8	09:45-17:05			
43-46	7/9	13:30-17:05			
47-53	7/22	09:45-17:05			
54-60	7/29	09:45-17:05			
授業方法					
実習					
事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。					
実習前に確認テストを実施する。					
成績評価の方法					
授業の実習内容について webclassm にアップされた資料を予習しておくこと。					
毎回の実習前に確認小テストを実施する。必ず予習を行い、実習内容を把握した上で実習に臨むこと。					
毎回の実習前の小テストの受験をもって出席とする。					
遅刻は欠席とする。					
プロダクトの完成。提出は必須とする。					

成績評価の基準 確認小テストの平均点が60点(100点満点)以上を合格とする。 また本実習で製作する全部床義歯の完成、提出は必須とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 実習帳やデモビデオを事前に予習してから実習に出席すること。
教科書 有床義歯技工学／全国歯科技工士教育協議会 鈴木 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 (ほか著: 医歯薬出版, 2017.2)
参考書 無歯顎補綴治療学／市川 哲雄, 1958-, 市川哲雄 編集代表: 医歯薬出版, 2016.2 よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール／鈴木 哲也, 1954-, 鈴木哲也 著: クインテッセンス出版, 2011.11 コンプリートデンチャー : 鈴木哲也のマスター1 : ランクアップのための知恵と技／鈴木 哲也, 1954-, 古屋 純一, 鈴木哲也, 古屋純一 著: デンタルダイヤモンド社, 2017.4 コンプリートデンチャーテクニック／細井 紀雄, 1940-, 細井紀雄 (ほか編: 医歯薬出版, 2011.7)
他科目との関連 一部, デジタル全部床義歯実習と連動しています。
備考 実習によるアクティブラーニングを実施する。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先: 口腔デジタルプロセス学分野 教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp 准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023910				
科目名	デジタル全部床義歯実習			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
主な講義場所					
2 号館第 3 実習室					
2 号館 CAD/CAM 実習室					
授業の目的、概要等					
デジタルデンティストリーの特徴を理解し、デジタル技術を用いた全部床義歯を製作方法を習得する。					
授業の到達目標					
1. スタディモデルからランドマークが理解できる。					
2. リリーフとブロックアウトの意義を理解できる。					
3. CAD を用いた義歯製作について理解し、操作することができる。					
4. ハンドピース・エンジンを使って切削作業を実施できる。					
5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作できる。					
6. 適切な人工歯排列ができる。					
7. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。					
8. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。					
9. 付加造形について理解し、3D プリンターを用いた義歯の造形ができる。					
10. 選択削合・自動削合を行える。					
11. 義歯の形態修正、研磨を行える。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-7	4/15	09:45-17:05			
8-14	4/22	09:45-17:05			
15-21	5/7	09:45-17:05			
22-28	5/13	09:45-17:05			
29-35	5/20	09:45-17:05			
36-42	5/21	09:45-17:05			
43-49	5/27	09:45-17:05			
50-56	6/3	09:45-17:05			
57-60	6/10	13:30-17:05			
授業方法					
実習					
事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。					
実習前に確認テストを実施する。					
成績評価の方法					
授業の実習内容について webclassm にアップされた資料を予習しておくこと。					
毎回の実習前に確認小テストを実施する。必ず予習を行い、実習内容を把握した上で実習に臨むこと。					
毎回の実習前の小テストの受験をもって出席とする。					
遅刻は欠席とする。					
プロダクトの完成。提出は必須とする。					
成績評価の基準					
確認小テストの平均点が60点(100 点満点)以上を合格とする。					
また本実習で製作する全部床義歯の完成。提出は必須とする。					
準備学習等についての具体的な指示					

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
実習帳やデモビデオを事前に予習してから実習に出席すること。

時間割番号	023920						
科目名	部分床義歯補綴学			科目ID			
担当教員	塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 2号館第1講義室 遠隔授業(非同期型)							
授業の目的、概要等 部分的な歯の欠損の病態を理解し、部分床義歯による補綴治療で口腔の形態的、機能的回復をはかる意義を理解する。部分床義歯の構成要素および義歯の安定をはかるための理論を理解し、部分床義歯の製作方法を習得する。							
授業の到達目標 1. 部分床義歯の構成要素を説明できる。 2. 部分床義歯の製作順序を説明できる。 3. 部分床義歯を咬合圧の支持様式、残存歯と欠損の分布状態、使用目的で分類できる。 4. 部分床義歯における支持・把持・維持の考え方を説明できる。 5. 支台装置の種類、構造、機能を説明できる。 6. クラスプとアタッチメントの種類を説明できる。 7. 連結子の種類と特徴を説明できる。 8. 部分床義歯の印象採得の方法を説明できる。 9. 部分床義歯の設計の基本原則と順序を説明できる。 10. 部分床義歯の咬合採得の方法を説明できる。 11. 金属フレームワークの特徴と製作方法を説明できる。 12. 部分床義歯の人工歯排列の方法を説明できる。 13. 部分床義歯の埋没の種類と方法、重合方法を説明できる。 14. 部分床義歯の破損や不適合と、それらに対応する修理とリラインの方法を説明できる。 15. オーバーデンチャー、金属床義歯の特徴を説明できる。 16. ノンメタルクラスプデンチャーの特徴を説明できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	9/24	09:45-12:25	第1講義室	部分床義歯工学の構成要素 部分床義歯製作の手順 部分床義歯の分類	部分床義歯工学の構成要素 部分床義歯製作の手順 部分床義歯の分類	塩沢 真穂	到達目標:1-3
4-5	10/8	10:45-12:25	第1講義室	支持・把持・維持		塩沢 真穂	到達目標:4
6-7	10/29	10:45-12:25	第1講義室	支台装置 連結子		塩沢 真穂	到達目標:5-7
8-9	11/12	10:45-12:25	第1講義室	部分床義歯の印象採得と咬合採得 部分床義歯の人工歯排列と歯肉形成 部分床義歯の埋没とレジン重合		塩沢 真穂	到達目標:8,10,12,13
10-11	11/26	10:45-12:25	第1講義室	部分床義歯の設計の基本原則 金属フレームワーク		塩沢 真穂	到達目標:9,11

12	12/10	10:45-11:30	第1講義 室	義歯装着後の変化と対応 オーバーデンチャーと金属床義歯		塩沢 真穂	到達目標:14,15
13	12/10	11:40-12:25	遠隔授業 (非同期型)	ノンメタルクラスプデンチャー		笛木 賢治	到達目標:16 WebClass 小テストを実施
14-15	1/9	13:30-15:10	第1講義 室	部分床義歯の設計演習	部分床義歯の設計演習(課題発表)	塩沢 真穂	到達目標:1-16 事前に WebClass の資料で学習し、発表用スライドを作成すること。

授業方法

講義、小テスト、課題発表

遠隔授業(非同期型)では、WebClass 上で小テストを実施すること。

最終回は課題学習発表を行います。事前に課題を行い、発表スライドを WebClass に提出すること。

成績評価の方法

評価は課題学習発表および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

・配点は課題学習発表(10 点)、期末試験(90 点)とする(合計 100 点)。

・期末試験の配点は 90 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 6 割以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験 90 点、課題学習発表 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とする。

・授業に出席すること。

・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。

・事前に学習して準備し、課題学習発表を行うこと。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

スタンダードパーシャルデンチャー補綴学／藍稔、五十嵐順正 編集・執筆、藍 稔、1933-、五十嵐 順正、1947-、:学建書院、2016

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures／全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木 哲也、1954-、全国歯科技工士教育協議会、:医歯薬出版、2017

備考

演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、内容を改善している。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

笛木 賢治 メールにて日時を相談 kunfu.rpro@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

塩沢 真穂:m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

時間割番号	023930						
科目名	部分床義歯補綴学実習			科目ID			
担当教員	塩沢 真穂, 池田 正臣, 佐藤 隆明[SHIOZAWA Maho, IKEDA MASAOMI, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
第3 実習室、重合・鋳造室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
口腔の形態的、機能的回復をはかるための部分床義歯の製作方法を習得し、各構成要素が具備すべき条件および使用する材料の性質を理解し、部分床義歯を製作する。							
授業の到達目標							
1. 部分歯列欠損症例の個人トレーを製作できる。							
2. 部分歯列欠損症例の咬合床を製作できる。							
3. 顎位を保持して作業模型を咬合器に装着できる。							
4. 作業模型のサベイングを行い、支台装置の設計ができる。							
5. 作業模型のブロックアウトとリリースができる。							
6. 外形線に沿ってワイヤークラスプの屈曲ができる。							
7. 直接法で鋳造用パターンが採得できる。							
8. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。							
9. コバルトクロム合金の鋳造ができる。							
10. 鋳造体の形態修正を行い作業用模型に適合させることができる。							
11. 鋳造体の研磨ができる。							
12. 複印象を採得し、耐火模型を製作できる。							
13. 耐火模型上で支台装置のワックスアップができる。							
14. 耐火模型の型ごと埋没ができる。							
15. 支台装置のレーザー溶接ができる。							
16. 審美性と機能性に配慮して人工歯排列ができる。							
17. 機能性と生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。							
18. ろう義歯の埋没ができる。							
19. 加熱重合レジンの填入と重合ができる。							
20. 義歯の割り出しができる。							
21. 人工歯の削合・調整ができる。							
22. レジン床の形態修正と研磨ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/24	13:30-17:05	第3実習室	個人トレー製作	個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接	塩沢 真穂	到達目標:1
5-8	9/26	13:30-17:05	第3実習室	個人トレー製作	トレートリミング、柄・フィンガーレスト付与、個人トレー完成	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:1 実習作品の提出
9-12	10/1	13:30-17:05	第3実習室	咬合床製作	外形線記入、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接	塩沢 真穂	到達目標:2
13-16	10/3	13:30-17:05	第3実習室	咬合床製作	基礎床トリミング、ろう堤形成	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:2
17-20	10/8	13:30-17:05	第3実習室	咬合床製作、咬合器装着	咬合床完成、咬合器装着	塩沢 真穂	到達目標:2 実習作品の提出

21-24	10/10	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	サベイング、支台装置設計、ブロッカアウト	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:3, 4, 5
25-28	10/15	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	ワイヤークラスプ屈曲	塩沢 真穂	到達目標:6
29-32	10/17	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	ワイヤークラスプ屈曲、上顎支台装置(鑄造レスト、鑄造クラスプ)パターン採得	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:6, 7
33-36	10/22	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置パターン埋没	塩沢 真穂	到達目標:8
37-40	10/24	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置パターン鑄造、リンガルバーパターン採得	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:9
41-44	10/29	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	リンガルバーパターン埋没、鑄造	塩沢 真穂	到達目標:8, 9
45-48	10/31	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置適合確認、研磨、リンガルバー適合確認、研磨	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:10, 11
49-52	11/5	13:30-17:05	第3実習室 総合実習室	支台装置製作	レーザー溶接、研磨	塩沢 真穂	到達目標:15
53-56	11/7	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	下顎複印象採得、耐火模型製作	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:12
57-60	11/12	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置ワックスアップ	塩沢 真穂	到達目標:13
61-64	11/14	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置型ごと埋没	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:14
65-68	11/19	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置鑄造、形態修正、適合確認	塩沢 真穂	到達目標:9, 10
69-72	11/21	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置適合確認、研磨	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:10, 11
73-76	11/26	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作	支台装置研磨	塩沢 真穂	到達目標:15
77-80	11/28	13:30-17:05	第3実習室	支台装置製作 人工歯排列	支台装置研磨 前歯部人工歯排列	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:15, 16
81-84	12/3	13:30-17:05	第3実習室	人工歯排列	前歯部人工歯排列	塩沢 真穂	到達目標:16
85-88	12/5	13:30-17:05	第3実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:16
89-92	12/10	13:30-17:05	第3実習室	人工歯排列、歯肉形成	臼歯部人工歯排列、歯肉形成	塩沢 真穂	到達目標:16, 17
93-96	12/12	13:30-17:05	第3実習室	歯肉形成	歯肉形成	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:17
97-100	12/17	13:30-17:05	第3実習室	埋没	一次埋没	塩沢 真穂	到達目標:18
101-104	12/19	13:30-17:05	第3実習室 総合実習室	埋没	二次埋没、三次埋没、流ろう	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:18
105-108	1/16	13:30-17:05	第3実習室 総合実習室	填入、重合	填入、重合	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:19
109-1	1/23	13:30-17:05	第3実習室	咬合器再装着、削合	割り出し、咬合器再装着、削合	塩沢 真穂	到達目標:20, 21

12			室			佐藤 隆明	
113-1 16	1/30	13:30-17:05	第3実習 室	研磨	形態修正、荒研磨	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:22
117-1 20	2/6	13:30-17:05	第3実習 室	研磨	レーズ研磨、艶出し完成	塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:22 実 習作品の提出
授業方法 実習 上下顎部分歯列欠損症例の個人トレー、咬合床、部分床義歯の製作実習 事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。							
成績評価の方法 評価は実習製作物(90 点)、出席状況(10 点)によって行う。 実習製作物は、 ・下顎個人トレー:外形・辺縁・柄(10 点) ・上下咬合床:基礎床・ろう堤(15 点) ・下顎ろう義歯:支台装置・排列・咬合状態・形態(30 点) ・上顎完成義歯:支台装置・排列・咬合状態・形態・研磨状態(35 点) について評価し、合計点数を成績とする。 授業態度を加味する。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品(90 点)、出席状況(10 点)で評価を行う(100 点)。60 点以上を合格とする。 ・授業態度を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class にアップロードされているデモビデオをあらかじめ視聴してから実習に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに作品を提出すること。							
参考書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures／全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 ほか著 鈴木 哲也, 1954-, 全国歯 科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017 パーシャルデンチャーテクニック／五十嵐順正 〔ほか〕編 五十嵐 順正, 石上 友彦, 大久保 力廣, 岡崎 定司, 馬場 一美, 横山 敦郎, 医歯 薬出版, 2012							
履修上の注意事項 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class にアップロードされているデモビデオをあらか じめ視聴してから実習に臨むこと。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp							
連絡先(メールアドレス) 塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 塩沢 真穂 2 号館 3 階 314							

時間割番号	023950						
科目名	歯冠修復学			科目ID			
担当教員	池田 正臣[IKEDA MASAOMI]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30時間 授業形態:講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型,非同期型)							
授業の目的、概要等 歯冠修復治療の手順と補綴装置の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。また、補綴治療に求められる機能性、審美性、生体親和性を学ぶことにより、口腔内で長期間安定するために必要な歯冠修復および架工義歯の条件を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯冠修復の適応と意義を説明できる。 2. う蝕治療の流れと歯冠修復物の特徴を説明できる。 3. 築造と仮封冠の目的を説明できる。 4. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。 5. 印象法と咬合採得の意義について説明できる。 6. 作業用模型の種類と取り扱い方を説明できる。 7. ろう型採得と埋没および鑄造の方法について説明できる。 8. 研磨の手法を説明できる。 9. 試適と咬合接触および合着の手順を説明できる。 10. 模型と生体との違いを説明できる。 11. ブリッジの特徴とポンティック形態を説明できる。 12. 術前のテンポラリークラウンの調整について説明できる。 13. 窩洞形態とマージン形態を説明できる。 14. ファイバーコアとメタルコアの違いを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/30	10:45-12:25	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	歯冠修復工学総論	歯冠修復物の種類と目的 トラブルの原因と解決方法についての演習	野崎 浩佑 池田 正臣	到達目標 1,2 948 4688 7215 127824
3-4	10/7	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	全部鑄造冠	全部鑄造冠の特徴、支台形態	野崎 浩佑	到達目標 2
5-6	10/21	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	歯内療法学概論 1	歯内療法学における基本的な治療 1	興地 隆史	到達目標 2
7-8	10/28	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	歯内療法学概論 2	歯内療法学における基本的な治療 2	興地 隆史	到達目標 2 根管充填実演

9-10	11/11	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	築造、仮封冠	築造の目的、仮封冠の目的	野崎 浩佑	到達目標 3
11-12	11/18	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	間接法、印象法	間接法の寸法精度、補償理論 印象に用いられる材料、必要精度、特徴	野崎 浩佑	到達目標 4.5
13-14	11/25	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	間接法、印象法	間接法の寸法精度、補償理論 印象に用いられる材料、必要精度、特徴	野崎 浩佑	到達目標 4.5
15-16	12/2	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	咬合採得、作業用模型、 ろう型採得	咬合採得に用いる材料と方法、注意点、各種模型の特質 内面の適合精度、外面形態:咬合面、隣接面、頬舌面	野崎 浩佑	到達目標 5-7
17-18	12/9	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	他の歯冠修復材料	金属以外の材料と接着	池田 正臣	到達目標 5-7
19-20	12/16	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	埋没、鑄造、研磨	スプルー線の植立、埋没操作 埋没材の変化、ワックスの焼却	野崎 浩佑	到達目標 7.8
21-22	12/23	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	埋没、鑄造、研磨	鑄造用合金、鑄造体の熱処理 研磨の目的、研磨器具の種類と特徴	野崎 浩佑	到達目標 7.8
23-24	1/20	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	試適、合着	接触点の調整、咬合調整 セメントの種類、浮き上がり防止策	野崎 浩佑	到達目標 9
25-26	1/27	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	間接法と生体	顎骨の歪みや歯の微小変位が間接法に与える影響	野崎 浩佑	到達目標 10
27-28	2/3	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	ブリッジ	ポンティックの形態 術前 Tek 調整、ブリッジの調整とセット	野崎 浩佑	到達目標 11,12
29-30	2/10	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	支台歯・窩洞形態 マー ジン形態 ファイバーコア	各種修復物の支台歯・窩洞形態 各種修復物のマージン形態 ファイバーコアの特徴、歯根破折	野崎 浩佑	到達目標 13、14

授業方法

講義、歯科材料に関する課題発表

遠隔授業(同期型、非同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中、時間後にチャット・メールにて回答する。

成績評価の方法

- ・出席状況(10 点)、ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。
- ・期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 講義は遠隔授業(同期型、非同期型)で行います。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う
<p>教科書</p> <p>歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>保存修復学 21／田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集 田上 順次 阿南 壽 奈良 陽一郎 山本 一世 斎藤 隆史, : 永末書店, 2017 クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集 矢谷 博文, 1954-, 三浦 宏之 細川 隆司, : 医歯薬出版, 2014</p>
<p>備考</p> <p>池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p>

時間割番号	023960						
科目名	歯冠修復学実習			科目ID			
担当教員	池田 正臣, 佐藤 隆明[KEDA MASAOMI, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	2	単位数	5		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:165 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 2号館第3実習室 2号館重合鑄造室 2号館総合実習室 2号館硬質レジン実習室 歯学科補綴実習室							
授業の目的、概要等 歯冠修復物の製作に必要な基本的要件を理解し、正確で迅速な歯科技工操作に求められる基礎的技術および知識を修得する。また、製作に用いる器材の取り扱い方法を学び、機能的および形態的に残存歯と調和の取れた歯冠補綴装置を製作するための基礎的な技術を習得する。							
授業の到達目標 1. 技工器具を用いて精度の高い模型の製作方法を説明できる。 2. 精度の高いろう型の採得方法を説明できる。 3. 埋没・鑄造方法について説明できる。 4. 適合と形態修正についてを説明できる。 5. 個歯トレーと暫間被覆冠の製作方法を説明できる。 6. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触の付与方法を説明できる。 7. 鏡面研磨の方法を説明できる。 8. レジン前装冠前装部の窓開け方法を説明できる。 9. 前装用レジンを築盛方法を説明できる。 10. ファイバーコアの製作方法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/27	13:30-17:05	第3実習室	実習の進め方 模型製作	実習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方 模型トリミング	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 1
5-8	10/7	13:30-17:05	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 1
9-14	10/11	10:45-17:05	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 1
15-20	10/18	10:45-17:05	第3実習室	模型製作咬合器装着	模型分割咬合器装着	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 1
21-24	10/21	13:30-17:05	第3実習室	歯型のマージン出し	歯型のマージン出し	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 1
25-30	10/25	10:45-17:05	第3実習室	メタルコアのワックスパターンの製作	メタルコアのワックスパターンの製作	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 2
31-34	10/28	13:30-17:05	第3実習室	メタルコアの埋没	スブルーイング、埋没	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 2,3
35-40	11/1	10:45-17:05	第3実習室	メタルコアの鑄造	鑄造	池田 正臣	到達目標 2,3

			室			佐藤 隆明	
41-46	11/8	10:45-17:05	第3実習室	メタルコアの完成	形態修正、完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 4
47-50	11/11	13:30-17:05	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 5
51-56	11/15	10:45-17:05	第3実習室	暫間被覆冠の歯冠形態回復	暫間被覆冠製作 歯冠形態回復	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 5,6 非常勤講師 市原謙一
57-60	11/18	13:30-17:05	第3実習室	暫間被覆冠製作	形態修正 研磨完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 5-7
61-66	11/22	10:45-17:05	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作	クラウンのワックスパターンの概形製作	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 2
67-70	11/25	13:30-17:05	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作、クラウンの埋没	クラウンのワックスパターンの製作、マージンのしめ直し、スプルーイング、埋没	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 2,3
71-76	11/29	10:45-17:05	第3実習室	クラウンの鋳造	鋳造 内面調整	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3,4
77-80	12/2	13:30-17:05	第3実習室	クラウンの完成	接点、咬合調整、研磨、完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 4-6
81-86	12/6	10:45-17:05	第3実習室	メタルインレーのワックスパターンの製作	メタルインレーのワックスパターンの概形製作、歯冠形態回復	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 2
87-90	12/9	13:30-17:05	第3実習室	埋没、鋳造	スプルーイング、埋没、鋳造	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3
91-96	12/13	10:45-17:05	第3実習室	メタルインレーの鋳造調整、完成	鋳造、適合確認、内面調整、接点調整、咬合調整、研磨、完成鋳造、適合確認、内面調整、接点調整、咬合調整、研磨、完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3,4,6,7
97-100	12/16	13:30-17:05	第3実習室	レジ前装冠の waxup	レジ前装冠の waxup	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3
101-104	12/20	13:30-17:05	第3実習室	レジ前装冠のワックスパターンの製作	窓開け、ワックスパターン完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3 非常勤講師 市原謙一 到達目標 2,8
105-108	12/23	13:30-17:05	第3実習室	卒業製作準備	卒業製作発表会	池田 正臣 佐藤 隆明	
109-112	1/10	13:30-17:05	第3実習室	レジ前装冠のリテンションピース付与、レジ前装冠の埋没	窓開け、ワックスパターン完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3
113-118	1/17	10:45-17:05	第3実習室	卒業研究準備	卒業研究発表会	池田 正臣 佐藤 隆明	
119-122	1/20	13:30-17:05	第3実習室	鋳造、調整	鋳造、適合確認、内面調整、接点調整、	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 3,4,8
123-128	1/24	10:45-17:05	第3実習室	調整、研磨	フィニッシュライン調整、咬合調整、荒研磨	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 6,8
129-132	1/27	13:30-17:05	第3実習室	前装レジ構築	デンティン構築 エナメル構築	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 9
133-136	1/31	13:30-17:05	第3実習室	レジ前装冠の形態修正、研磨	前装レジ構築、形態修正、研磨、完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 4,6,9
137-1	2/3	13:30-17:05	第3実習室	ファイバーコアの構築	レジ構築、形態修正、完成	池田 正臣	到達目標 4,10

40			室			佐藤 隆明	
141-1 46	2/7	10:45-17:05	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 4,10
147-1 50	2/10	13:30-17:05	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 佐藤 隆明	到達目標 4,10
授業方法 実習							
成績評価の方法 ・製作物(コア 10 点、個歯トレー10 点、テック 10 点、インレー10 点、クラウン 20 点、前装冠 20 点、ファイバーコア 10 点)、出席状況(10点)で総合的に評価する。 ・製作物の点数が 60%未満の場合は再提出とする。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品で評価を行う ・製作物の点数が 60%以上を合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 実習は実習室で行う。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著],末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017							
参考書 クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集,矢谷 博文, 1954-,三浦 宏之,細川 隆司,:医歯薬出版, 2014 保存修復学 21／田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集,田上 順次,阿南 壽,奈良 陽一郎,山本 一世,斎藤 隆史,:永末書店, 2017							
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。							

時間割番号	023558				
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ			科目ID	DE-495800-Z
担当教員					
開講時期	2024 年度4年通年	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自らの課題解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。 また、3)の TMU との交流における成績は、参加への積極性や発表時の内容等により総合的に判断して成績をつけるものとする。なお、ポイントは学年をまたいで持ち越しにはなるが、A+の基準としては、プログラムの全部の参加状況が一つの基準となる。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。 3)の TMU との交流にあたり、事前に TMU 学生と交流をし、準備を進めることが大切である。 来日時の交流に備えた事前の交流の仕方は、担当教員から指示がある。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加					

をもって、単位申請することができる。

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。

(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)

・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。

3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。 3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiro_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。

非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。

国際交流なので、AL(グループディスカッション)を行う。

学生自身で単位申請を行うこと。

第 3 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023503						
科目名	科学英語Ⅱ				科目ID	DE-310300-L	
担当教員	池田 正臣, 佐藤 隆明[IKEDA MASAOMI, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、WebClass) 口腔保健工学専攻 第1 実習室							
授業の目的、概要等 歯科で使われる英語について、英論文を読みながら基本的な知識を理解することができる。							
授業の到達目標 1. 英語論文の抄録を読んで内容を理解することができる。 2. 英語論文の要点をまとめ、わかりやすい日本語抄録を作成できる。 3. 英語の抄録を説明できる。 4. 英語の専門用語について日本語、英語で説明できる。 5. 英語論文を読み、抄録を作成し、論文の内容をわかりやすく説明できる。 6. 研究をまとめて発表する方法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/11	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	論文の読み方、まとめ方1	論文の構成(CAD/CAM 論文) 発表課題	池田 正臣	到達目標 1-5
3-4	4/18	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	論文の読み方、まとめ方2	論文の構成(材料論文)	池田 正臣	到達目標 1-5
5-6	4/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション1	緒言、目的、材料と方法、結果、考察、結論(CADCAM 論文)	池田 正臣	到達目標 1-5
7-8	5/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション2	緒言、目的、材料と方法、結果、考察、結論(材料論文)	池田 正臣	到達目標 1-5
9-10	5/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	抄読会、ディスカッション3	論文で用いられる単語、文法	池田 正臣	到達目標 1-5
11-12	5/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	研究発表シミュレーション	課題発表	池田 正臣	到達目標 1-5
13-15	5/30	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	研究発表シミュレーション	課題発表	池田 正臣	到達目標 1-5
授業方法 講義、演習、課題発表 抄読会(対面演習)を行います。 事前に課題を行い、発表スライドを作成し発表する。							
成績評価の方法 ・出席状況(10 点)、抄読会発表内容・ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							

・出席状況(10 点)、抄読会発表内容・ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。
準備学習等についての具体的な指示 事前に WebClass で提示される英文資料を読み、課題を作成すること。授業当日は作成された英語課題について発表し、ディスカッションする。事前に十分予習してから授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・事前に提示された課題を行い、授業前の提出期限までに課題を提出し、遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・事前に提示された課題を行い、授業前の提出期限までに課題を提出し、遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 事前に出される課題を行い、WebClass にて提出すること。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、課題英文が授業時間内に読み込めないことから、昨年度より課題の英文を少なくし、内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 メールにて日時を相談 ikeda.csoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023506						
科目名	コミュニケーション学			科目ID	DE-330600-L		
担当教員	塩沢 真穂 樋口 和秀[SHIOZAWA Maho, Kazuhide Higuchi]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2 号館第 1 講義室							
授業の目的、概要等 他者の意見を整理し、自分の意見を相手に伝達するための基本的知識、技能および態度を学び、社会人に必要なコミュニケーション能力を習得する。							
授業の到達目標 1. コミュニケーションの定義と種類について説明できる。 2. 社会人に必要なコミュニケーション能力について説明できる。 3. 物事をわかりやすく説明できる。 4. 自分の意見を的確に伝達できる。 5. コミュニケーションの構築について説明できる。 6. 文章をわかりやすく書くことができる。 7. 適切な敬語を使用できる。 8. 相手に配慮したメールでの依頼ができる。 9. 就職活動の進め方について説明できる。 10. 将来の展望について発表できる。 11. 自己分析方法と結果を解釈できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/9	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	社会人に必要なコミュニケーション能力、説明の方法、口頭表現の基礎	社会人に必要なコミュニケーション能力、わかりやすい説明、印象のよい話し方、効果的な自己PR(演習)	塩沢 真穂	到達目標:1-4 Zoom ID: 969 5326 7888 パスコード: 587964 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後 WebClass に課題を提出すること。
4-5	4/10	14:25-16:10	遠隔授業 (同期型)	コミュニケーション概論、医療とコミュニケーション	コミュニケーションの進化、コミュニケーションの構成要素、コミュニケーションと認知のフレーミング、認知心理学とメンタルモデル、医療コミュニケーション、言語化・社会化と治癒、メンタルモデル(解釈モデル)の共有、コンセンサス・ゲーム	梅森 幸 塩沢 真穂	到達目標:5 Zoom ID: 933 0971 5376 パスコード: 452533
6-7	4/17	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	敬語、メールでの依頼	敬語の基礎、相手に配慮したメールでの依頼(演習)	塩沢 真穂	到達目標:7,8 Zoom ID: 958 0022 4883 パスコード: 4883

							ド: 236775 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後 WebClass に課題を提出すること。
8-9	4/24	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	就活活動の実際	在学中の就職活動の実際、就職後に学ぶ接遇とマナー、社会人に求められる能力やスキルについて	塩沢 真穂 栗山 未来 細谷 瑛理子	到達目標:9 Zoom ID: 996 0307 1519 パスコード: 788186 授業後、WebClass に課題を提出すること。
10-12	5/15	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	レポート・論文の書き方の基本	論理的な文章、わかりやすい文の書き方、パラグラフ・ライティング(演習)	塩沢 真穂	到達目標:6 Zoom ID: 932 7736 1636 パスコード: 946478 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後 WebClass に課題を提出すること。
13-15	5/22	13:30-16:10	第3講義室	就職活動の現状 将来の展望(課題学習発表)	自己分析結果の検討 自分の将来展望について(課題学習発表)	塩沢 真穂 樋口 和秀	到達目標:10,11 事前に自己分析を web で受験すること。事前に発表スライドを準備し、発表後 WebClass に提出すること。

授業方法

講義、演習、課題発表

遠隔授業(同期型)、対面授業のほかに演習、課題発表が含まれます。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は提出レポート、課題学習発表、期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

- ・配点はレポート(20 点)、課題学習発表(10 点)、期末試験(70 点)とする。
- ・期末試験の得点率が 6 割未満の場合は再試験を行う。
- ・出席状況と授業態度を加味する。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。
- ・配点は、期末試験 70 点、レポート 20 点、課題発表 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

昨年度より演習部分を増やし、内容を改善している。

<p>事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)および対面授業に出席し、レポートや演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>参考書</p> <p>大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編／橋本修, 安部朋世, 福嶋健伸 編著, 橋本, 修, 安部, 朋世, 1968-, 福嶋, 健伸, : 三省堂, 2008</p> <p>大学生のための日本語表現トレーニング 実践編／福嶋健伸, 橋本修, 安部朋世 編著, 福嶋, 健伸, 橋本, 修, 安部, 朋世, 1968-, : 三省堂, 2009</p>
<p>備考</p> <p>演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、内容を改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>塩沢 真穂 2 号館 3 階 314</p>

時間割番号	023508A						
科目名	グローバル口腔保健工学実習			科目ID	DE-230800-Z		
担当教員							
開講時期	2024 年度通年	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
実習							
主な講義場所 第3講義室(リハーサル) 第1講義室(報告会) 遠隔授業(同期型) 台北医学大学 台湾の技工所							
授業の目的、概要等 海外における歯科技工の現況を知り、自身の将来設計を具体化させるとともに、海外の口腔保健工学に携わる学生と交流できるようにコミュニケーション力を育てる。国際社会における多様な考え方を理解し、広い視野を持ったグローバルな人材となるために必要な能力を習得する。							
授業の到達目標 1. 日本の文化を英語で説明する。 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について英語で説明する。 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを英語で説明する。 4. 東京医科歯科大学について英語で説明する。 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを英語で作成する。 6. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。 7. 文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方について理解し実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30	遠隔授業 (同期型)	DOUGLAS 先生、 SATO H 先生、Waer 先生 グループ別レッスン	スライドのブラッシュアップ、プレゼンテーションの練習	JANELLE R ENEE MOR OSS、青木 和広	SBO's: 1-6 ZoomID と PW は WebClass IL2300096 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2023-24 を参照
3-4	4/25	08:50-10:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
5	5/2	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
6	5/9	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
7-8	5/16	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR	

						OSS	
9-10	5/23	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
11-12	5/30	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
13-14	6/6	09:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
15	6/13	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
16	6/20	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
17	6/27	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
18	7/4	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
19	7/11	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
20	7/18	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	グループ別レッスン		JANELLE R ENEE MOR OSS	
21-22	7/25	10:45-12:25	第3講義 室	発表リハーサル(対面)		JANELLE R ENEE MOR OSS, 青木 和広, 大木 明子	
23-24	9/19	10:45-12:25	第3講義 室	対面のリハーサル		青木 和広, 大木 明子	
25-26	9/26	10:45-12:25	第3講義 室	対面のリハーサル		大木 明子, 青木 和広	
27	9/30	15:25-16:10	その他	海外研修1日目		青木 和広	
28-33	10/1	09:45-16:10	その他	海外研修2日目		青木 和広	
34-39	10/2	09:45-16:10	その他	海外研修3日目		青木 和広	
40-41	10/3	09:45-11:30	その他	海外研修4日目		青木 和広	
42	10/4	10:45-11:30	その他	海外研修5日目		青木 和広	
43-45	10/22	09:45-12:25	第1講義 室	報告会		JANELLE R ENEE MOR OSS, 青木 和広	2年生も同席

授業方法

遠隔授業(同期型)、講義、課題発表、演習、実習

成績評価の方法

<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(50 点)および報告会プレゼンテーション(20 点)、英語での発表(20 点)に、出席状況、毎回の課題への取り組み、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。 ・海外特別研修は本授業の 16 時間分として認定する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート(50 点)、英語での発表(20 点)、および報告会プレゼンテーション(20 点)に、出席状況、毎回の課題への取り組み、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。 ・総合の点数が 60%未満の場合は課題を再提出とする。 ・遠隔授業(同期型)、リハーサル、および報告会に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・授業に対する積極性を評価するが、レポートや報告会での内容に自ら考えた内容があると思われる場合、A+評価となる。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。</p> <p>事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>試験はない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/4 以上の出席を海外特別研修への参加条件とするが、海外研修だけでなく、リハーサルと報告会に出席すること。 ・遠隔授業(同期型)、対面の発表リハーサルおよび、報告会に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>備考</p> <p>アクティブラーニングは対面実習、演習によりおこなう。</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>毎週火曜日 17 時～18 時</p> <p>これ以外は</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p> <p>青木和広 kazuhiko_aoki@tmd.ac.jp</p> <p>それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。</p> <p>同期授業は、インストラクターの指示に従いコミュニケーション能力を磨くこと。</p> <p>対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>WebClass__IL2300096 OE2-3 Global Oral Health Engineering English 2023-24 コースを参照すること</p>

時間割番号	023511A						
科目名	口腔保健工学管理学			科目ID	DE-351100-L		
担当教員	池田 正臣[IKEDA MASAOMI]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:15 時間 授業形態:講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 演習は第1 実習室 就職支援セミナーは1号館口腔保健学科第3 講義室、基礎科学実習室							
授業の目的、概要等 歯科医療および歯科技工の作業環境が健康に及ぼす影響とその改善に必要な5S および安全対策について学ぶ。また、歯科技工所開設に必要な構造設備基準と経営方針について理解する。さらに、SDGs の歴史と目的について理解する。							
授業の到達目標 1. 自然・社会環境と廃棄物処理について説明できる。 2. 粉じんと有害物質について説明できる。 3. 歯科技工所の設備構造と作業環境の改善方法について説明できる。 4. チェアサイド、ラボサイドの作業環境について説明できる。 5. 作業環境が健康に及ぼす影響を説明できる。 6. 歯科技工所の経営について説明できる。 7. 安全対策について説明できる。 8. 労働安全衛生法について説明できる。 9. 5S について説明でき、実施できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	環境と健康 ラボサイドでの作業環境、歯科の粉じんと有害物質について	自然・社会環境と廃棄物処理 歯科技工材料の取り扱いと保管方法、歯科の粉じんと有害物質、歯科技工所の作業環境と改善方法と設備構造基準課題	池田 正臣	到達目標 1-5
3-4	4/25	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	歯科技工所の作業環境と改善方法について 設備構造基準 安全対策の計画課題	歯科技工所の作業環境と改善方法と設備構造基準 (グループワーク、発表) 安全対策の計画課題	池田 正臣	到達目標 1-5
5-6	5/9	11:40-14:15	遠隔授業 (同期型)	チェアサイドとラボサイドでの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営 スマイルエクスチェンジ	チェアサイドとラボサイドの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営の実際 スマイルエクスチェンジ	池田 正臣	到達目標 1-5 高橋健先生
7-10	5/10	15:25-18:55	第1実習室	SDGsの歴史と現在 チェアサイドとラボサイドでの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営 5S 演習	SDGsの歴史と現在の SDGs チェアサイドとラボサイドの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営の実際 鑄造室、実習室の5S 活動演習	池田 正臣	到達目標 1-9 5S 演習
11-15	7/19	13:30-18:00	口腔保健学科基礎科学実習室	作業環境が健康に及ぼす影響、作業環境の測定 安全対策について 就活セミナー	作業環境が健康に及ぼす影響と作業管理と作業環境管理 5S 労働安全衛生法 次世代育成支援対策推進法 働き方改革 安	池田 正臣	到達目標 1-9 安全対策の計画 (グループワーク、発表) 就職

					全対策の計画(グループワーク、発表)		活動支援セミナー (1号館の衛生学専攻の実習室で実施します)
授業方法 講義と演習および課題発表 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問すること。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答する。							
授業内容 講義、グループワーク、発表							
成績評価の方法 ・発表・グループワーク(20点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的に評価する。 ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・講義・課題発表は基本的に遠隔授業(同期型)、演習は実習室で行います。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う							
教科書 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会,末瀬一彦,医歯薬出版, 2017							
参考書 労働衛生のしおり／中央労働災害防止協会/編;中央労働災害防止協会, 2018-08							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikeda.csoe@tmd.ac.jp							

時間割番号	023513						
科目名	口腔外科学			科目ID	DE-351300-L		
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 16 時間							
主な講義場所							
オンデマンドを中心とするが、ライブにてまとめを行う。							
授業の目的、概要等							
口腔外科領域の疾患と診断、治療法の基礎的知識を修得する。臨床口腔解剖学や口腔病理学、歯科麻酔学についても講義内容に含まれる。							
授業の到達目標							
1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。							
2. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を理解できる。							
3. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を理解できる。							
4. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を理解できる。							
5. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を理解できる。							
6. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を理解できる。							
7. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を理解できる。							
8. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を理解できる。							
9. 唾液腺疾患の病因と病態について理解できる。							
10. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について理解できる。							
11. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について理解できる。							
12. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。							
13. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を理解できる。							
14. 口腔外科手術患者、口腔がん患者の全身管理や口腔管理について理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/7	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	総論	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス	樺沢 勇司	到達目標:1 学習方法:ディスカッション 事前学習:WebClass にある資料・動画の視聴をすること。ミーティング ID: 953 3880 1841 パスコード: 742008
2-3	10/7	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	先天異常と発育異常	歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1,2 学習方法:オンデマンド、終了後小テストを実施 事前学習:WebClass にある資料・動画の視聴をすること。

4-6	10/21	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・ 顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周 囲組織の炎症 嚢胞の定義・分 類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の 嚢胞	樺沢 勇司	到達目標:3-5 学 習方法:オンデマ ンド 終了後小テ ストを実施 事 前学習:WebClass にある資料・動画 の視聴すること。
7-10	10/28	08:50-12:25	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍および腫瘍類似疾 患 口腔粘膜疾患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と 治療、悪性腫瘍の診断と治療 口 腔粘膜疾患の診断と治療	樺沢 勇司	到達目標:6,7 学 習方法:オンデマ ンド 終了後小テ ストを実施 事 前学習:WebClass にある資料・動画 の視聴すること。
11-13	12/2	08:50-11:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔顎顔面領域の神経 系疾患、唾液腺疾患、血 液疾患、出血性素因、代 謝性疾患の口腔症状・症 候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液 腺疾患の診断と治療 血液疾患、 出血性素因の診断と治療 代謝 性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領 域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司	到達目標:8-11 学習方法:オンデ マンド 終了後小 テストを実施 事前学習: WebClass にある 資料・動画の視聴 をすること。
14-15	12/9	08:50-10:30	遠隔授業 (非同期型)	顎関節疾患、口腔外科と 補綴治療、口腔外科手 術・口腔がん患者の全 身管理と口腔健康管理	顎関節症の診断と治療、顎関節症 以外の顎関節疾患の種類、診断と 治療 口腔外科疾患術後患者に対 する補綴治療、補綴に関連した 口腔外科手術 口腔外科手術・口 腔がん患者への口腔ケア	樺沢 勇司	到達目標:12-14 学習方法:オンデ マンド 終了後小 テストを実施 事前学習: WebClass にある 資料・動画の視聴 をすること。
16	12/16	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	まとめ	理解度の確認(評価テスト)	樺沢 勇司	到達目標:1-14 学習方法:ライブ 演習 事前学習: 演習のための資 料を準備すること ミーティング ID: 953 3880 1841 パスコード: 742008

授業方法

講義、演習

オンデマンドを中心とするが、ライブ講義にてまとめを行う。

オンデマンドの課題を WebClass にて行い、提出すること。

ライブで質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

オンデマンドで質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

授業内容

講義(オンデマンド、ライブ)

口腔外科学の基礎的知識を学ぶ。
成績評価の方法 評価は提出課題および期末試験(筆記試験:対面:60分)によって行う。 ・課題演習は、事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10点)、最終講義での演習、討論、授業態度、出席(30点)により評価する。 ・期末試験の配点は60点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上の者を合格とする。 ・配点は、事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10点)、最終講義での演習、討論、授業態度、出席(30点)および期末テスト(60点)とし、合計100点満点で換算する。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布およびWebClass上に事前学習用のビデオなど自己学習用のアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 課題を提出すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3以上の出席を受験資格とする。出席確認は、ライブ:遠隔授業(同期型)では画面ONと授業中に実施される質問への返答や課題提出、オンデマンド:遠隔授業(非同期型)では学習履歴と小テストの実施で行う。 ・ライブ授業に出席すること。 ・オンデマンド授業を実施し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合やライブ授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔／松井恭平ほか:医歯薬出版, 2011
他科目との関連 顎補綴工学、オーラルアプライアンス工学、画像解析学の基礎となる科目です。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。課題の提出を提示された期日までに行うこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、学習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 樺沢 勇司 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 moki.mfoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023515						
科目名	高齢者歯科学				科目ID	DE-351500-L	
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 30 時間							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型) 口腔保健工学専攻 第2 講義室							
授業の目的、概要等 高齢者に特徴的な疾患と問題点について学び、摂食・嚥下障害など口腔機能障害の病態と、その機能訓練・回復治療法について理解する。高齢者施設の見学をとおして施設利用者に対する理解を深め、高齢者をとりまく環境と口腔内状況、口腔内装置の実際を理解する。							
授業の到達目標 1. 高齢者に特徴的な疾患とそれにより生じる問題点を説明し、介護保険などの公的支援についてを説明できる。 2. 摂食嚥下障害の病因、病態、障害を説明できる。 3. 高齢者施設について種類を列挙し、介護保険サービスと利用者の口腔内と装着装置の実際をを説明できる。 4. 演習をとおして歯科技工のニーズや今後の展望を説明できる。 5. 摂食嚥下障害に対するリハビリテーションの流れを説明できる。 6. 摂食嚥下障害に対する補綴的対応を説明できる。 7. 誤嚥性肺炎と口腔健康管理、口腔衛生管理用品について説明できる。 8. 高齢者における口腔機能低下症とフレイルについて説明できる。 9. 摂食嚥下障害に対するチーム医療を説明できる。 10.歯科業界に関連したスタートアップについて説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/20	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	高齢者の特徴、現状、社会の高齢化、死因、加齢と老化、摂食嚥下のメカニズム	高齢者の特徴、超高齢社会、高齢者の背景、死因、健康寿命と平均寿命、全身の加齢と老化、摂食嚥下のメカニズムとその障害	金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1-2
3-4	9/27	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	高齢者に対する医療、保健・福祉制度、訪問診療	医療、保健、福祉制度、介護保険 高齢者施設、訪問診療、高齢者に多い疾患	金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1, 3-6
5-8	10/18	09:45-14:15	遠隔授業 (非同期型)	高齢者における口腔機能低下症	高齢者における口腔機能低下症	濱 洋平, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:8
9-10	11/1	09:45-11:30	第3講義室	Let's start up!	高齢社会における歯科医療・歯科技工の課題解決に向けて 一起業への第一歩	稲田 雅彦, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:10
11-13	11/11	14:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	高齢者に多い疾患	高齢者に多い疾患	猪越 正直, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1-2, 5-9
14-17	11/15	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	高齢者に多い疾患	高齢者に多い疾患	猪越 正直, 金澤 学, 岩城 麻衣子	到達目標:1-2, 5-9
18-21	12/2	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	チームアプローチ、地域包括ケア、まとめ	摂食嚥下障害、言語障害、周術期チーム、栄養サポートチームや呼	古屋 純一, 金澤 学, 岩	到達目標:5-9

			型)		吸サポートチーム、地域包括ケア、まとめ	城 麻衣子	
22-23	12/6	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔ケアと誤嚥性肺炎	肺炎、誤嚥、口腔細菌と誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎の予防、誤嚥性肺炎の治療法、口腔健康管理	松尾 浩一郎 金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1-2, 5-9
24-27	12/9	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	脳血管疾患と摂食嚥下障害	脳血管障害と摂食嚥下リハビリテーション、在宅・施設における摂食嚥下障害の対応	戸原 玄、金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1, 5, 7-9
28-30	12/16	13:30-16:10	第2講義 室	高齢者への対応(発表・1人 10 分)	高齢者への対応(発表)	金澤 学、岩城 麻衣子	到達目標:1-10

授業方法

講義、演習

講義は遠隔授業(非同期型)で行います。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よりメールで回答します。

演習は対面で行います。事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

成績評価の方法

評価は授業ごとの確認テスト、発表評価によって行う。

成績評価の基準

・確認テスト、発表評価の合計点数が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料が WebClass にアップロードされた場合はよく読んでから講義に出席すること。配布資料は WebClass にアップロードされます。

試験の受験資格

定期試験は行わず、以下をもって成績判定の資格を得るものとする。

・3 分の 2 以上の出席

・非同期型授業では、授業ごとの Web クラスでの確認テストの実施をもって出席とする。

なお、確認テストの実施期限は当該授業終了時までとする。

参考書

歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 = Dysphagia Rehabilitation for Dental Students／向井美恵、山田好秋、井上誠、弘中祥司 編著、向井、美恵、1947-、山田、好秋、1949-、井上、誠、1963-、:医歯薬出版、2019

歯科発アクトイブライフプロモーション 21 : 健康増進からフレイル予防まで／花田信弘 監著、武内博朗、野村義明、泉福英信 編著、花田、信弘、1953-、武内、博朗、1962-、野村、義明、泉福、英信、:デンタルダイヤモンド社、2017

義歯ケア事典 : らくらくお口のケア : 義歯ケアマイスター認定テキスト／日本義歯ケア学会編、日本義歯ケア学会、浜田、泰三、水口、俊介、:永末書店、2018

歯科と栄養が出会うとき : 診療室からはじめる!フレイル予防のための食事指導／菊谷武、尾関麻衣子 著、菊谷、武、尾関、麻衣子、:医歯薬出版、2020

高齢者歯科／植田耕一郎ほか著、植田、耕一郎、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2013

開業医のための摂食・嚥下機能改善と装置の作り方超入門 : 摂食機能療法&舌接触補助床 (PAP) の基本がわかる Q&A 50／前田芳信、阪井丘芳 監著、小野高裕 編著、野原幹司、小谷泰子、堀一浩、山本雅章、中島純子、熊倉勇美 著、:クインテッセンス出版、2013

臨床歯科栄養学 : 歯科に求められる栄養の基礎知識／花田信弘、萩原芳幸、北川昇 監修、花田、信弘、1953-、萩原、芳幸、北川、昇、:口腔保健協会、2018

老年歯科医学／森戸光彦 [ほか] 編、森戸、光彦、山根、源之、櫻井、薫(歯学)、羽村、章、下山、和弘、柿木、保明、:医歯薬出版、2015

老年医学系統講義テキスト : カラー版／日本老年医学会編集、日本老年医学会、:西村書店、2013

高齢者歯科／植田耕一郎ほか著、植田、耕一郎、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2013

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 演習においては自学自習の上、参加すること。

備考

本講義では、講義内容によって演習、グループワーク、討論などのアクティブラーニングを実施します。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

口腔デジタルプロセス学分野

教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023523						
科目名	臨床咬合学			科目ID	DE-352300-L		
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 1 号館 8 階 口腔保健学科 相互実習室 2 号館第1実習室							
授業の目的、概要等 咬合器装着模型を用いた学生相互実習において、予備印象採得、フェイスボウ記録、半調節性咬合器の装着、顎路調整という一連の臨床操作を実施することにより、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。口腔機能の各種検査について学ぶ。							
授業の到達目標 1. 標準予防策について理解し、応用できる。 2. 衛生的な手洗いを理解し、応用できる。 3. 歯科医療で用いるものの廃棄についてゴミを分別できる。 4. 予備印象採得の方法を理解できる。 5. 研究用模型を製作することができる。 6. 半調節性咬合器を含む咬合器の種類を説明できる。 7. フェイスボウトランスファーの方法を理解できる。 8. チェックバイトを説明できる。 9. 顎路調整を行うことができる。 10. 口腔機能低下症と用いられる口腔機能評価を理解できる。 11. 舌圧の測定法と役割を説明できる。 12. 咬合接触面積を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	5/21	09:45-12:25	口腔保健学科相互実習室 第1実習室	感染予防について、衛生的な手洗い、予備印象採得(実習)、口腔機能評価	標準予防策、衛生的な手洗い、廃棄物の分類、歯科用ユニットの使用法、アルジネート印象材による予備印象採得（実習）、口腔機能低下症と口腔機能評価(口腔衛生状態)	大木 明子, 塩沢 真穂 佐藤 隆明	最初に白衣を着て第1実習室に集合してください。 unnecessaryなものは持参しないように。到達目標: 1-3、10-11 講義実習 事前学習: WebClass にある資料・動画の視聴をすること。
4-7	5/21	13:30-17:05	第1実習室	研究用模型の製作(実習)	研究用模型の製作 半調節性咬合器の種類と取り扱い	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3,5-6 実習 事前学習: WebClass にある資料・動画の視聴をすること。 実習作品の提出

8-10	5/28	09:45-12:25	口腔保健 学科相互 実習室 第1実習 室	フェイスボウトランスファ ー、口腔機能の測定(実 習)	フェイスボウトランスファー、チェッ クバイト法、咬合接触面積の測定 (実習)	大木 明子, 塩沢 真穂 佐藤 隆明	到達目標:1-3, 7, 8, 10 講義実習 最初に白衣を着 て第1実習室に 集合してくださ い。不必要なもの は持参しないよう に。事前学習: WebClass にある 資料・動画の視聴 をすること。
11-13	5/28	13:30-16:10	第1実習 室	フェイスボウトランスファ ー(実習)	咬合器装着、チェックバイト法(実 習)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 6-8 実習 事前学習: WebClass にある 資料・動画の視聴 をすること。実 習作品の提出
14-15	6/11	09:45-11:30	第1実習 室	顎路調整、口腔機能低 下症、口腔機能の測定 (実習)	顎路調整、口腔機能低下症と口腔 機能の測定、咬合接触面積の測 定	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 9-12 実習 事前学習: WebClass にある 資料・動画の視聴 をすること。実 習後にレポートを 提出

授業方法

講義、実習演習

対面実習を行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

課題を WebClass にて行い、提出すること。

実習で与えられた課題レポートを WebClass にて提出すること。

実習で印象採得、模型の製作、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、半調節性咬合器の調節、口腔機能検査を行う。

授業内容

感染予防について、衛生学的手洗い、研究用模型の製作、フェイスボウトランスファー、顎路調整、口腔機能低下症と口腔機能の測定、咬合採得についてまとめ

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験(対面):60分)によって行う。

・研究模型(上下各5点、計10点)、フェイスボウトランスファー(5点)、咬合器装着(10点)、口腔機能測定実習レポート(5点)、期末試験(70点)で総合的に評価する。

・提出作品は担当教員2名が採点し、その平均点を作品の点数とする。

・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。

・配点は、筆記試験70点、提出プロダクト25点、実習レポート5点とし、合計100点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

実習にあたって事前に WebClass で資料・動画を視聴し、予習してくること。

自習として WebClass の「押さえておきたいポイント」を実施すること。

試験の受験資格

<p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3分の2以上の出席を基本とする。出席確認は対面では学生証のカードタッチで行う。 ・課題を実施し、WebClassに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>教科書</p> <p>顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science／全国歯科技工士教育協議会 編集,志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著,志賀, 博, 町, 博之,小泉, 順一,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2016</p>
<p>参考書</p> <p>コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄 [ほか] 編,細井, 紀雄,平井, 敏博,長岡, 英一,赤川, 安正,鈴木, 哲也(歯科学),大川, 周治,:医歯薬出版, 2011</p>
<p>他科目との関連</p> <p>咬合学と全部床義歯工学を基礎としています。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業場所に注意すること(シラバスに集合場所が記載されています。実習にあたり、服装の注意事項や持参が必要なものがあるので確認して実習に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、事前に WebClass にある資料を学習することで実習時間を確保し、実習前にポイントを確認するための時間を確保できるように内容を改善している。また、咬合採得に関してのまとめを追加した。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p> <p>塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023037A						
科目名	プロセスデバイス工学			科目ID	DE-292900-L		
担当教員	土田 優美, 金澤 学, 瓜生 博伺, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 羽田 多麻木, 木原 琢也[TSUCHIDA Yuumi, KANAZAWA MANABU, Hiroshi Uryu, IWAKI Maiko, MIYAYASU Annna, HADA Tamaki, KIHARA Takuya]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:プロセスデバイス工学 時間数:15 時間 授業形態:講義 選択							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom, WebClass) 2 号館 3 階 第 3 講義室							
授業の目的、概要等 コンピュータ支援設計・加工・製造および三次元計測の原理と、歯科へ応用するための基礎的な知識を習得する。							
授業の到達目標 1. 歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向について理解できる。 2. 三次元データの計測、設計、加工、製造の方法と仕組みを説明できる。 3. デジタルデンティストリーを応用した臨床例について説明できる。 4. デジタルデンティストリーの最新の研究について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/16	13:30-15:10	第3講義室	最近の歯科用 CAD/CAM システムの動向	最近の歯科用 CAD/CAM システムの動向	瓜生 博伺	到達目標:1 学習方法:講義 事前学習:なし
3	4/23	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリーの基本	三次元データ、計測、スキャン	土田 優美	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし 終了後に小テストを実施
4	4/23	14:25-15:10	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリーの基本	設計、デザイン、インプラントシミュレーション	岩城 麻衣子	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし 終了後に小テストを実施
5	4/23	15:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリーの基本	切削加工	宮安 杏奈	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし 終了後に小テストを実施
6	4/30	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	デジタルデンティストリーの基本	付加製造	羽田 多麻木	到達目標:2 学習方法:講義 事前学習:なし 終了後に小テストを実施
7-8	4/30	14:25-16:10	遠隔授業	デジタルを利用した臨床	デジタルを利用した臨床	金澤 学	到達目標:3 学習

			(非同期型)	床			方法:講義 事前学習:なし 終了後に課題を提出
9-11	5/7	13:30-16:10	第3講義室	調整中	広島大学 峯 裕一 講師による講義		到達目標:4 学習方法:講義 事前学習:なし
12	5/14	13:30-14:15	2号館リフレッシュルーム	試験	試験	土田 優美	到達目標:- 学習方法:試験 事前学習:なし
13-15	5/14	14:25-17:05	第3講義室	口腔工学とデジタルデンティストリーの展開	口腔工学とデジタルデンティストリーの展開	木原 琢也	到達目標:4 学習方法:講義 事前学習:なし

授業方法

講義、演習

遠隔授業(同期型・非同期型)、対面授業を行う。

遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格または課題の提出をもって出席とする。

※小テストは実施期限をよく確認し、必ず期限内に実施すること。小テスト未実施および不合格は欠席となるため注意すること。

小テストは満点の取得をもって出席扱いとする。

小テストは期限内であれば何度でも実施可能。

対面授業ではグループディスカッションを含む。

遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。

遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。

成績評価の方法

評価は試験(筆記試験)によって行う。

試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

出席状況、授業態度、小テスト、課題の結果を総合的評価に加味する。

成績評価の基準

試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。

出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とする。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じて課題等での対応を行うこととする。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、1951-、宮崎、隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2017

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。

連絡先(メールアドレス)

土田 優美 yumi.bmo@tmd.ac.jp

金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp

岩城 麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

宮安 杏奈 a.miyayasugerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること

金澤 学 火水木金 16:00- 18:00

2 号館 2 階 口腔デジタルプロセス学分野 Lab 1

宮安 杏奈 毎週月・水・木・金曜日 9:00-17:00

2 号館 2 階 口腔デジタルプロセス学分野 Lab

時間割番号	023538						
科目名	部分床義歯工学実習Ⅱ			科目ID	DE-253800-E		
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
第1 実習室、重合・鋳造室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論と、各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解、および補綴装置の構造力学的安定を考慮し、個々の臨床ケースに対応できる部分義歯製作のための技法および技術を身につける。							
授業の到達目標							
1. 金属床義歯の設計線の記入ができる。							
2. CADを用いた金属床のデザインができる。							
3. キャスト用レジンパターンを造形することができる。							
4. スプルーイングができる。							
5. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。							
6. コバルトクロム合金の鋳造ができる。							
7. ワイヤークラスプの屈曲ができる。							
8. メタルフレームの形態修正・研磨ができる。							
9. 審美性・機能性に配慮して人工歯排列ができる。							
10. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。							
11. 即時重合レジンの流し込みと重合ができる。							
12. レジン床の形態修正と研磨ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	4/8	13:30-17:05	第1実習室	義歯の設計、サベイング、モデルスキャン	支台装置の概略と構成要素、金属床外形線の記入、作業模型のスキャン、鋳造床製作術式の講義	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:1, 2
5-8	4/15	13:30-17:05	第1実習室	モデリング	CAD ソフトウェアを用いたモデリング、力学的構造設計	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:2
9-12	4/22	13:30-17:05	第1実習室	モデリング、プリンティング	3D プリンターによるレジンパターンの造形	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:3
13-15	5/13	13:30-16:10	第1実習室	埋没、鋳造	スプルーイング、埋没、鋳造の講義	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:4, 5, 6
16-18	5/20	13:30-16:10	第1実習室	形態修正、研磨	鋳造、スプルーカット、形態修正、内面研磨	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:8
19-21	5/27	13:30-16:10	第1実習室	研磨、適合	クラスプの維持力調整、仕上げ研磨、作業用模型への適合	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:7, 8
22-24	6/3	13:30-16:10	第1実習室	人工歯排列、歯肉形成	臼歯部人工歯排列、歯肉形成	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:9, 10

25-27	6/10	13:30-16:10	第1実習室	レジン重合、形態修正	コア採得、流し込みレジン重合、咬合調整、形態修正	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:11
28-30	6/17	13:30-16:10	第1実習室	研磨	レジン研磨、完成	沖本 祐真 岩城 麻衣子、 宮安 杏奈	到達目標:12 実習作品の提出
授業方法 実習 上顎金属床義歯の製作 事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと							
成績評価の方法 評価は実習で製作する作品と出席状況によって行う。 ・完成製作物(90 点):形態(40 点)、適合状態(20 点)、研磨状態(30 点) ・出席状況(10 点) で総合的に評価する。授業態度を加味する。							
成績評価の基準 ・実習で製作した完成製作物(90 点)、出席状況(10 点)で評価を行う。60 点以上を合格とする。 ・授業態度を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に Webclass 上にある実習帳を熟読し、当日の実習内容について把握しておくこと。							
試験の受験資格 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに作品を提出すること。							
教科書 新 1 週間でマスターするキャストパーシャル／川島 哲, 1948-, 川島哲 著:医歯薬出版, 2012.10 T.K.M.キャストデンチャーのすべて : Bio-mimetic cast denture／川島 哲, 川島哲著:医歯薬出版, 2005.10							
参考書 「デジタルサベヤーによるキャストクラスプの設計と製作」野首孝祠・小野高裕・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.66 SHOFU, Inc. 京都 1984 「コバルトクロム合金を用いたキャストクラスプの合理的な製法」野首孝祠・小野高裕・守光隆・奥野善彦著 デンタルエコー Vol.71 SHOFU, Inc. 京都 1986 「パーシャルデンチャーの設計・製作によりよい環境を求めて」野首孝祠・安井栄・喜多誠一・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.89 SHOFU, Inc. 京都 1992 「合理的で確実なパーシャルデンチャーの製作方法」池邊一典・野首孝祠 著 デンタルエコー Vol.109 SHOFU, Inc. 京都 1997 「金属床と構造設計進化論 軽くて薄くて壊れない金属床義歯の設計と製作」古賀壮一 歯科技工 Vol.33 No.4 pp.409-433 医歯薬出版 東京 2005 「義歯に血の通うまで～アルプス歯科の総義歯製作技法」中込敏夫・向井道夫 著 サンバレー書房 2011 「Fundamentals of Esthetic Dental Technology」歯科技工別冊 医歯薬出版 2009 「パーシャルデンチャー製作のための設計/構造」歯科技工別冊 医歯薬出版 2000							
履修上の注意事項 事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
備考 担当教員のオフィスアワー 口腔デジタルプロセス学分野 准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp							
参照ホームページ Webclass							

時間割番号	023530						
科目名	顎補綴工学			科目ID	DE-353000-L		
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 対面講義 2 号館 3 階 第 3 講義室 ライブ (Zoom)							
授業の目的、概要等 顎口腔および顔面の欠損の病態と治療法、治療用装置の構造と製作法を理解する。外科治療や放射線治療、言語治療などに用いられる補助装置の構造と製作法、治療法を理解する。							
授業の到達目標 1. 顎顔面補綴の治療範囲、原因、分類を理解できる。 2. 上顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について理解できる。 3. 上顎欠損に用いられる補綴装置の構造と製作過程を理解し、応用できる。 4. 下顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について理解できる。 5. 舌欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について理解できる。 6. 外傷後の補綴と小口症、開口障害への対応について理解できる。 7. 放射線治療補助装置の種類と放射線治療法について理解できる。 8. インプラントを用いた顎顔面欠損に対する対応を理解できる。 9. 唇顎口蓋裂の病態と特徴、治療用装置について理解できる。 10. 言語治療補助装置と治療法を理解できる。 11. 外科治療補助装置について理解できる。 12. 顔面、体幹欠損症例の欠損の病態、材料、治療用装置について理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/17	13:30-15:10	第3講義室	顎顔面補綴学とは、上顎欠損と上顎顎義歯 1	定義、分類、歴史 上顎欠損の特徴、分類反転授業	大木 明子	到達目標:1-3 講義 対面 テストを実施 事前学習:WebClass の資料を見て上顎欠損の分類を覚えてくること
3-4	9/19	13:30-15:10	第3講義室	上顎欠損と上顎顎義歯 2	上顎欠損の症例、製作法、上顎顎義歯の設計演習	大木 明子	到達目標:1-3 講義 対面 事前学習:WebClass の資料をチェックすること
5-6	10/11	10:45-12:25	第3講義室	設計演習 下顎欠損と舌欠損	演習解説、下顎欠損、舌欠損の特徴、症例	大木 明子	到達目標:4-5 講義 対面 事前学習:設計演習課題を指定された日時に提出後に授業に出席すること

7-9	10/25	09:45-12:25	第3講義 室	外傷後の補綴、小口症、 開口障害の補綴、放射 線治療と補綴	顎顔面部外傷後特徴、小口症・開 口障害の特徴、印象採得・技工の 工夫について、口腔咽頭腫瘍に対 する放射線治療、放射線治療補助 装置、放射線治療後の補綴	大木 明子	到達目標:6-7 講 義 対面 事前 学習:WebClass の 資料をチェックす ること
10-11	11/8	09:45-11:30	第3講義 室	唇顎口蓋裂と補綴、言語 治療補助装置、各種 補助装置	唇顎口蓋裂の特徴、チームアプロ ーチと補綴、構音障害と言語治療 用補助装置、外科治療用補助装置	大木 明子	到達目標:9-11 講義 対面 事前学習: WebClass の資料 をチェックするこ と
12	11/15	09:45-10:30	遠隔授業 (同期型)	インプラントを用いた顎 顔面補綴	インプラントを用いた顎顔面補綴 の症例	大木 明子、 尾澤 昌悟	到達目標:8 ライ ブ Zoom 事前学 習:WebClass の資 料をチェックする こと ミーティング ID: 924 7551 0176 パスコード: 566069
13-14	12/20	09:45-11:30	第3講義 室	顔面・体幹補綴	顔面補綴治療、体幹補綴、エピテ ーゼ材料、エピテーゼの製作法	大木 明子	到達目標:12 講 義 対面 事前 学習:WebClass の 資料をチェックす ること
15	12/20	11:40-12:25	第3講義 室	顔面補綴の症例	顔面補綴の症例	大木 明子、 吉岡 文	到達目標:12 講 義 対面 事前 学習:WebClass の 資料をチェックす ること

授業方法

講義、小テスト(WebClass)、演習

対面講義および遠隔授業(同期型)で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

設計演習の課題を行い、期限までに対面で提出すること。

ライブで質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

授業内容

講義

顎顔面補綴学

顎顔面補綴学とは、上顎欠損、下顎欠損、舌欠損、唇顎口蓋裂、顔面補綴、外傷後の補綴、各種治療補助装置

成績評価の方法

評価は小テスト、提出課題および期末試験(筆記試験(対面):60分)によって行う。

・小テスト(5点)、設計演習(5点)、筆記試験(90点)で総合的に評価する。

・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。

・配点は、筆記試験90点、小テスト5点、設計演習課題5点とし、合計100点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に WebClass に資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。</p> <p>1 回目の上顎欠損分類について、事前に WebClass にアップロードされている課題を行った上で講義にのぞむこと。講義中に小テストを行います。</p> <p>設計演習の課題を期日までに提出すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・対面講義またはライブに出席すること。出席確認は画面 ON と授業中に実施される質問への返答や課題提出で行う。 ・事前学習の後実施される小テストを行うこと。 ・課題を実施し、提示された期限までに課題を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合やライブ授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>参考書</p> <p>顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編、医学情報社、2006</p> <p>口唇裂口蓋裂の補綴治療／大山喬史 編著、医歯薬出版、1997</p> <p>口唇口蓋裂のチーム医療／高戸毅 監修、須佐美隆史、米原啓之 編、金原出版、2005</p> <p>構音障害の臨床：基礎知識と実践マニュアル／阿部雅子 著、金原出版、2008</p> <p>顎口腔外傷のチーム医療／高戸毅 監修、米原啓之、須佐美隆史 編、金原出版、2005</p> <p>口腔・中咽頭がんのリハビリテーション：構音障害、摂食・嚥下障害／溝尻源太郎、熊倉勇美 編著、医歯薬出版、2000</p>
<p>他科目との関連</p> <p>口腔外科学や矯正歯科学、高齢者歯科学と一部連携しています。また、本科目を基礎として顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習で実際に装置を製作して応用します。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。課題の提出を提示された期日までに行うこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、学習の理解が高まるよう事前に演習課題を実施するように内容を改善した。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023531						
科目名	顎補綴工学実習			科目ID	DE-353100-E		
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 70 時間							
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1 実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
授業の目的、概要等							
上顎骨欠損患者に適用される上顎顎義歯の構造と栓塞子の製作法を理解し、上顎顎義歯を製作する。							
授業の到達目標							
1. 上顎顎義歯の構造について説明できる。							
2. 無歯顎上顎欠損の印象範囲を理解し、個人トレーを製作できる。							
3. 上顎欠損の部分床義歯について設計原則を理解し、設計の説明ができる。							
4. 上顎顎義歯製作のための咬合採得の手順を理解し、ワイヤークラスプを付与した咬合床を製作することができる。							
5. 上顎顎義歯製作のために模型を適切に咬合器に装着することができる。							
6. 上顎顎義歯の支台装置を適切な形態でワックスパターンを製作し、鑄造、製作することができる。							
7. 適切な人工歯排列を説明できる。							
8. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。							
9. ろう義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行える。							
10. 栓塞部の製作法を理解して石膏コアの製作方法が説明できる。							
11. 上顎顎義歯の咬合調整、形態修正、研磨を行える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/24	13:30-17:05	第1実習室	顎補綴工学実習概説 個人トレー	顎補綴工学実習内容説明、模型調整、概形線記入、ブロックアウト、 リリース 常温重合レジン圧接、トリミング、柄	大木 明子	到達目標:1,2 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと 実習作品の提出
5-8	9/26	13:30-17:05	第1実習室	咬合床	作業用模型調整、設計、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接、トリミング	大木 明子	到達目標:1,3-4 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
9-12	10/8	13:30-17:05	第1実習室	咬合床	ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定	大木 明子	到達目標:1,3-4 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
13-16	10/10	13:30-17:05	第1実習室	咬合床、咬合器装着	ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定、ワックスリム追加、咬合採得、模型修正、咬合器装着	大木 明子	到達目標:1,3-5 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと 実習作品の提出

17-20	10/15	13:30-17:05	第1実習室	設計、支台装置	設計、ワイヤークラスプ屈曲、ブロッカアウト、リリーフ	大木 明子	到達目標:1,3,6 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
21-24	10/17	13:30-17:05	第1実習室	支台装置	複印象、耐火模型製作、支台装置ワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,3,6 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
25-28	10/22	13:30-17:05	第1実習室	支台装置	支台装置ワックスパターンの製作、埋没	大木 明子	到達目標:1,3,6 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
29-31	10/29	13:30-16:10	第1実習室	人工歯排列 支台装置	人工歯排列、鋳造	大木 明子、 上條 真吾	到達目標:1,3,6-7 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
32-35	10/31	13:30-17:05	第1実習室	支台装置	支台装置形態修正、咬合調整	大木 明子	到達目標:1,3,6 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
36-39	11/7	13:30-17:05	第1実習室	支台装置、人工歯排列	レーザー溶接・ろう着、支台装置完成・付与、人工歯排列	大木 明子	到達目標:1,3,6-7 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
40-43	11/12	13:30-17:05	第1実習室	歯肉形成、ろう義歯完成	歯肉形成、ろう義歯完成	大木 明子	到達目標:1,7-8 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと 実習作品の提出
44-47	11/14	13:30-17:05	第1実習室	埋没	埋没前準備、一次埋没、シリコーンコア採得、二次埋没、三次埋没	大木 明子	到達目標:1,9 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
48-51	12/3	13:30-17:05	第1実習室	流ろう、欠損部修正、石膏コア製作	流ろう、欠損部修正、石膏コア製作	大木 明子	到達目標:1,9-10 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
52-54	12/5	13:30-16:10	第1実習室	填入、重合	レジン填入、重合	大木 明子	到達目標:1,9-10 実習 事前学習: WebClass の動画

							を視聴しておくこと
55-58	12/10	13:30-17:05	第1実習室	割り出し、咬合器再装着、咬合調整	割り出し、咬合器再装着、人工歯咬合調整	大木 明子	到達目標:1,11 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
59-62	12/12	13:30-17:05	第1実習室	咬合調整、割り出し、形態修正	人工歯咬合調整、割り出し、形態修正	大木 明子	到達目標:1,11 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
63-66	12/17	13:30-17:05	第1実習室	形態修正、研磨	形態修正、研磨	大木 明子	到達目標:1,11 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
67-70	12/19	13:30-17:05	第1実習室	研磨、完成	研磨	大木 明子	到達目標:1,11 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと 実習作品の提出

授業方法

実習、反転授業

上顎骨欠損患者に用いられる個人トレー、上顎顎義歯の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

授業内容

上顎顎義歯の製作実習

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトによって行う。

- ・上顎個人トレー(柄、辺縁、栓塞部、全体:計 20 点)
- ・上顎顎義歯の咬合床(基礎床、ろう堤、栓塞部:計 15 点)
- ・ろう義歯(支台装置、人工歯排列、全体:計 15 点)
- ・完成顎義歯(支台装置、人工歯部、栓塞部、研磨状態、全体:計 50 点)

について段階的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。出席確認は対面で学生証のカードタッチで行う。
- ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

参考書

顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編、大山、喬史、1939-、谷口、尚、1952-、医学情報社、2006
Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011

他科目との関連

類補綴工学を基礎として実習で実際に装置を製作して応用する。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。実習時間に余裕がないのでデモビデオを見ておくことで時間を有効に使いたいと思います。

備考

実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。

ステップごとにチェックを行います。

昨年度授業終了時アンケート結果より、70 時間の時間を確保しましたが、時間を有効に使うため、ビデオ教材を充実させています。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023562						
科目名	顔面補綴工学実習			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 30 時間							
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1 実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
授業の目的、概要等							
顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解し、眼窩部欠損患者に適応される義眼および眼窩部エピテーゼを製作する。指エピテーゼを製作する。							
授業の到達目標							
1. エピテーゼに用いられる材料について説明できる。							
2. 指の印象から石膏模型を製作する。							
3. 義眼の構成を列挙し、義眼の製作法を説明できる。							
4. 眼窩部エピテーゼの製作法を説明できる。							
5. 内部彩色と外部彩色の違いを説明し、エピテーゼ用シリコン材料に彩色する方法を説明できる。							
6. まつ毛を植毛する方法を説明できる。							
7. 指エピテーゼの構成を列挙し、製作法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	1/9	09:45-12:25	第1実習室	指の印象採得、ワックスパターン、型の製作	指の印象採得、指のワックスパターンの製作、埋没、流ろう、型の製作	大木 明子	到達目標:1,2 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
4-7	1/14	13:30-17:05	第1実習室	義眼の製作	義眼の製作	大木 明子	到達目標:1-3 実習 筆とアクリル絵の具が必要 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
8-11	1/16	13:30-17:05	第1実習室	義眼の製作 ワックスパターンの製作	義眼の製作 エピテーゼワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1-4 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
12-14	1/21	13:30-16:10	第1実習室	ワックスパターンの製作	エピテーゼワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,4 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
15-18	1/23	13:30-17:05	第1実習室	ワックスパターンの製作、埋没	エピテーゼワックスパターンの製作、埋没準備	大木 明子	到達目標:1,4 実習 針など先が細いものが必要

							事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
19-21	1/28	13:30-16:10	第1実習室	ワックスパターンの埋没	エピテーゼワックスパターンの埋没	大木 明子	到達目標:1.4 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
22-24	1/30	13:30-16:10	第1実習室	流ろう、内部彩色、シリコーン重合	流ろう(眼窩エピテーゼ)、内部彩色、シリコーン填入、重合(指)	大木 明子	到達目標:1.4-5 実習 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと
25-28	2/4	13:30-17:05	第1実習室	内部彩色、シリコーン重合	内部彩色、シリコーン填入、重合	大木 明子	到達目標:1.4-5 実習 スパチュラと筆が必要 事前学習:WebClass の動画を視聴しておくこと
29-32	2/6	13:30-17:05	第1実習室	外部彩色、まつ毛付与、エピテーゼ完成	外部彩色、まつ毛付与、義眼研磨	大木 明子	到達目標:1.4-6 実習 まつ毛と筆を準備して持参 事前学習: WebClass の動画を視聴しておくこと 実習作品の提出

授業方法

実習、反転授業

顔面欠損患者に用いられる義眼、顔面補綴装置(エピテーゼ)および指エピテーゼの製作実習

事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。

事前に用意しておくものが提示されるので購入して持参すること。

授業内容

眼窩部エピテーゼ、指エピテーゼ製作実習

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトによって行う。

- ・指エピテーゼ(印象・ワックスパターン、形態、内部彩色、指エピテーゼ全体:計 20 点)
- ・義眼(虹彩、強膜、形態、研磨状態:計 20 点)
- ・ワックスパターン(形態、表面:計 10 点)
- ・完成エピテーゼ(表面、裏面、内部彩色、植毛、全体:計 50 点)について段階的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。出席確認は対面で学生証のカードタッチで行う。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
参考書 顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編, 大山, 喬史, 1939-, 谷口, 尚, 1952-., 医学情報社, 2006 Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011 Fundamentals of Facial Prosthetics／R. E. McKinstry: ABI Professional Publications, 1995
他科目との関連 顎補綴工学を基礎として実習で実際に装置を製作して応用する。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。
備考 実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。 ステップごとにチェックを行います。 義眼の製作において、筆を購入、準備しておくのが望ましい。 まつ毛に関して、つけまつ毛等を各自購入、準備しておくこと。 昨年度授業終了時アンケート結果より、30 時間の時間を確保しましたが、時間を有効に使うため、ビデオ教材を作成しています。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023563						
科目名	臨床義歯管理工学			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 32 時間							
主な講義場所							
2 号館第 1 実習室							
2 号館 3 階 第 3 講義室							
授業の目的、概要等							
歯科医療チームの一員として臨床や訪問歯科診療同行に必要な基本的な医療管理(標準予防策、義歯管理、データ管理)、特に義歯の日常的管理や修理、複製の学理と技法を修得する。							
授業の到達目標							
1. 生体のモニタリング(血圧、脈拍、血中酸素飽和度など)、バイタルサインについて理解し、応用できる。							
2. 標準予防策について理解し、応用できる。							
3. 口腔の加齢と老化の違いを理解し、加齢による口腔内環境の変化に対して行う義歯の複製、修理、リライン、ティッシュコンディショニング、義歯安定剤について説明、応用できる。							
4. デンチャープラークについて説明し、汚れた義歯の弊害を理解できる。							
5. 夜間の義歯装着の影響とナイトガードについて理解し、義歯の管理ができる。							
6. 義歯の清掃法(機械的洗浄、化学的洗浄)を説明し、義歯洗浄剤、口腔保湿剤、洗口液、薬液の注意点を列挙、義歯の清掃に応用できる。							
7. 義歯の着脱法について理解できる。							
8. 複製義歯の役割を説明し、複製義歯を製作する。							
9. 義歯の修理法を説明し、義歯を修理する。							
10. 災害時の歯科医療について理解し、義歯の刻印の意義を説明し、義歯に名前を入れる。							
11. 訪問診療時で用いる器材を列挙し、実際に使用して義歯を調整する体験を行う。							
12. 歯科におけるデジタルデータについて列挙し、デジタル情報の管理、暗号化について理解できる。							
13. 歯科医療情報データベースの構築について応用できる。							
14. 模型のスキャン、義歯のスキャン、データの編集管理ができる。							
15. 口腔内スキャナーを用いた口腔内情報の取得を、マネキンを用いて体験する。							
16. 顔や口腔内写真、義歯の写真の撮影法を説明し、顔、口腔内、義歯の写真を撮影する体験を行う。							
17. 人工歯選択や義歯床色選択について説明し、シェードテイキングを行い、写真撮影する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/18	13:30-17:05	第1実習室	医療従事者として高齢者と接するために 口腔の加齢と老化、義歯装着による口腔内環境の変化 生体のモニタリング、義歯の着脱(実習)	生体のモニタリング、血圧、脈拍、顔貌の観察、医療面接、問診票、標準予防策 口腔の加齢と老化、義歯装着による口腔内環境の変化 バイタルチェック、モニタリング(血圧、脈拍、顔貌の観察等)、義歯着脱時の注意点 (義歯の着脱)	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:1-3、7-8 講義、実習 事前学習:プレテストを実施すること。WebClass の資料をチェックすること 実習レポートの提出
5-8	9/25	13:30-17:05	第1実習室	義歯の管理、デンチャープラークコントロール、ナイトガード 義歯	デンチャープラークの弊害、夜間用義歯、ナイトガード、義歯の清掃法、義歯洗浄剤、口腔保湿剤、義	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:1-6 講義 実習 ペンライトまたは懐中電

				の管理、口腔健康管理 (実習)	歯安定剤、口腔健康管理		灯、手鏡を持参すること。事前学習: WebClass の資料をチェックすること 実習レポートの提出
9-10	12/4	10:45-12:25	第1実習室	災害時歯科医療、訪問診療の環境・機材 義歯の複製	災害時歯科医療、訪問歯科診療の機材 複製義歯の役割	大木 明子	到達目標:3、8、10-11 講義、実習 事前学習: WebClass の資料をチェックすること
11-14	12/4	13:30-17:05	第1実習室	複製義歯の製作(実習)	義歯の複製	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:8、11 実習 事前学習: WebClass の資料をチェックすること 実習作品の提出
15-17	12/11	13:30-16:10	第1実習室	義歯修理、リライン、義歯の情報、刻印 義歯修理(実習)	義歯の修理、ティッシュコンディショナー、リライン、義歯の情報、刻印 義歯の修理(訪問歯科診療機器を使用)	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:9-11 講義 実習 事前学習: WebClass の資料をチェックすること
18-21	12/18	13:30-17:05	第1実習室	義歯修理(実習) 義歯の名入れ実習	義歯の修理(訪問歯科診療機器を使用)、義歯の刻印	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標: 9-11 実習 事前学習: WebClass の資料をチェックすること 実習作品の提出
22-25	1/15	13:30-17:05	第1実習室	デジタル情報の管理、顔面、口腔内情報の管理 顔面、口腔内情報の採取(実習)	デジタル情報の管理、顔面、口腔内情報 口腔内写真、シェードテイキング、人工歯選択、義歯床の色選択、義歯の写真	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標: 12-17 講義 実習 手鏡と保存できるPC などを持参すること。事前学習: WebClass の資料をチェックすること データの保存
26-27	1/22	13:30-15:10	第3講義室	暗号化、義歯のデジタルデータ保存、その他の歯科医療情報 演習	暗号化、義歯のデジタルデータ保存、その他の歯科医療情報、X線画像、CT 画像、電子カルテ 演習	大木 明子	到達目標:12-13 講義 PC 持参 事前学習: WebClass の資料をチェックすること
28-30	1/29	13:30-16:10	第1実習室	デジタルデータ保存(スキャン実習)	義歯のスキャン、口腔内スキャン実習(スキャン、編集、保存)	大木 明子、塩沢 真穂、青木 秀馬	到達目標:13-15 実習 事前学習: WebClass の資料をチェックすること スキャンデー

							タの保存。USB メモリーを準備、事後アンケートの実施
31-32	2/5	13:30-15:10	第3講義室	歯科医療情報データベースの構築、まとめ	各自の画像情報をファイルにまとめて発表、討論	大木 明子、塩沢 真穂	到達目標:12-17 演習 課題発表 事前学習: 発表資料を作成。PC 持参 データのまとめ提出、発表資料の提出、ポストテスト
授業方法 講義、実習、演習 講義・実習は対面で行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 課題を WebClass にて提出すること。							
授業内容 講義(義歯の管理、データベースなど) 実習演習(モニタリング、義歯の管理、複製義歯、義歯修理、刻印、写真撮影、スキャン、データベース管理)							
成績評価の方法 評価は、提出作品、課題、および期末試験(筆記試験(対面):60 分)によって行う。 ・実習製作物(複製義歯、義歯修理・刻印、各 10 点)、デジタルデータの作成(10 点)、実習レポート(モニタリング、義歯管理、各 5 点)、筆記試験(60 点)で総合的に評価する。 ・実習製作物は担当教員 2 名の評価の平均点を得点とする。 ・期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験 60 点と実習製作作品 2 種の評価:各種 10 点ずつ合計 20 点、デジタルデータ発表 10 点、実習レポート 10 点(モニタリング 5 点、義歯管理 5 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。デモビデオを必ず視聴してから実習にのぞむこと。データの保存に際して PC や USB メモリーを準備すること。 最初の講義前までにプレテスト、最後の講義のあとにポストテストを実施してください。この 2 つのテストは成績評価に関与しませんが、みなさんの事前知識の確認を行い講義実習内容に反映させ、終了後にどのくらい理解できたかを確認するために行います。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。出席確認は対面では学生証のカードタッチ、授業中に実施される質問への返答や課題提出で行う。 ・対面講義に出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 義歯ケア事典：らくらくお口のケア：義歯ケアマイスター認定テキスト／日本義歯ケア学会編、日本義歯ケア学会、浜田 泰三、水口 俊介、永末書店、2018							

<p>参考書</p> <p>複製義歯：慣れた義歯こそ高齢者の求める義歯／濱田泰三, 市川哲雄著, 浜田, 泰三, 市川, 哲雄.:永末書店, 2017</p> <p>複製義歯を応用した咬座印象法による総義歯の臨床／矢崎秀昭 著, 矢崎, 秀昭, 1942-.:医歯薬出版, 2004</p> <p>すぐに知りたい!!口腔内規格写真クイック Q&A／片山章子 執筆, 片山達治 監修, 片山, 章子, 片山, 達治.:デンタルダイヤモンド社, 2017</p> <p>デンタルハイジーン別冊 どうして?どうする?診療室からはじまる高齢者歯科／戸原玄:医歯薬出版, 2020</p> <p>災害歯科医学／槻木恵一, 中久木康一編, 槻木, 恵一, 中久木, 康一, 足立, 了平, 飯田, 良平, 大平, 寛.:医歯薬出版, 2018</p> <p>義歯安定剤／浜田泰三[ほか]著, 浜田, 泰三, 村田, 比呂司, 夕田, 貞之, 玉本, 光弘, 貞森, 紳丞.:デンタルダイヤモンド社, 2003</p>
<p>他科目との関連</p> <p>プロセスデバイス工学と全部床義歯工学を基礎とし、審美修復工学、高齢者歯科工学、臨床実習Ⅰと一部連動しています。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。</p>
<p>備考</p> <p>実習:各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。</p> <p>ステップごとにチェックを行います。</p> <p>昨年度のアンケート結果より、理解しやすいよう、講義のあとにできるだけすぐ実習となるように日程変更を行いました。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p> <p>塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023544A						
科目名	歯冠修復工学応用実習			科目ID	DE-354400-E		
担当教員	池田 正臣, 佐藤 隆明[KEDA MASAOMI, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:30 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 2号館第1実習室 2号館総合実習室 2号館重合鑄造室 2号館硬質レジン実習室 2号館 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等 架工義歯に関する知識及び技術について修得する。							
授業の到達目標 1. 適合精度の高いワックスパターンを説明できる。 2. 歯列に合わせた歯冠外形回復を説明できる。 3. ポンティックの基底面形態回復説明できる。 4. ポンティックの窓開を説明できる。 5. ブリッジを埋没・鑄造を説明できる。 6. 鑄造体と支台歯との適合を説明できる。 7. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を説明できる。 8. 鏡面研磨を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-7	4/12	09:45-17:05	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣, 佐藤 隆明	到達目標 1-3
8-12	4/19	09:45-15:10	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣, 佐藤 隆明	到達目標 1-3
13-17	4/26	09:45-15:10	第1実習室	ブリッジのワックスアップ2	支台歯のワックスアップ	池田 正臣, 佐藤 隆明	到達目標 1-3
18-22	5/10	09:45-15:10	第1実習室	ブリッジのワックスアップ3	支台歯のワックスアップ、ポンティックのワックスアップ	池田 正臣, 佐藤 隆明	到達目標 1-3
23-28	5/17	09:45-16:10	第1実習室	ブリッジのワックスアップ4	ポンティックの窓開け、ワックスパターンの連結 埋没	池田 正臣, 佐藤 隆明	到達目標 1-4
29-30	5/31	09:45-11:30	第1実習室	ブリッジのスプルーイング、鑄造、研磨完成	スプルーイング、埋没、鑄造、研磨	池田 正臣, 佐藤 隆明	到達目標 5
授業方法 実習							
成績評価の方法 ・製作物(ブリッジ 90 点)、出席状況(10 点)を総合的に評価する。 ・製作物の点数が 60%未満の場合は再提出とする。							
成績評価の基準							

<ul style="list-style-type: none"> ・実習で製作した作品で評価を行う ・60%以上を合格とする。 ・授業態度を総括的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017
参考書 クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集, 矢谷 博文, 1954-, 三浦 宏之, 細川 隆司, : 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21／田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集, 田上 順次, 阿南 壽, 奈良 陽一郎, 山本 一世, 斎藤 隆史, : 永末書店, 2017
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023545						
科目名	審美修復工学			科目ID	DE-354500-L		
担当教員	上條 真吾, 駒田 亘[KAMIJO SHINGO, KOMADA WATARU]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
遠隔授業、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、4 階第 1 実習室							
授業の目的、概要等							
歯科用陶材を応用した審美修復物、特に陶材焼付金属冠およびオールセラミックスクラウンの理工学的特徴ならびにその製作法を習得する。							
授業の到達目標							
1. クラウン・ブリッジの具備すべき要件を説明できる。							
2. 陶材焼付金属冠の特徴を説明できる。							
3. 陶材と金属の結合について説明できる。							
4. 陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。							
5. 陶材焼付を応用したブリッジの製作法を説明できる。							
6. 陶材を応用した修復物の特徴ならびに製作法を説明できる。							
7. 歯科用 CAD/CAM を用いたスキャニングの特徴ならびに注意点を説明できる。							
8. 歯科用陶材の種類および特徴について説明できる。							
9. 歯科用陶材を用いた各種築盛方法を説明できる。							
10. ジルコニアの理工学的特徴を説明できる。							
11. プレスセラミックについて説明できる。							
12. 天然歯の光学的特徴について説明できる。							
13. シェードテイキングの方法ならびに使用する機器に関する注意点を説明できる。							
14. 歯科に応用されている CAD/CAM システムの特徴を説明できる。							
15. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。							
16. 模型と生体との違いを説明できる。							
17. ブリッジの特徴を説明できる。							
18. 支台歯と支台築造、マージン形態について説明できる。							
19. 各種審美歯冠修復とその特徴について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	6/5	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	生体と間接法	歯の変位と間接法、支台築造	駒田 亘	到達目標:15,16 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
3-4	6/14	09:45-11:30	2号館リフレッシュルーム、第1実習室 総合実習室	CAD/CAM 演習	CAD データ、NC データ作成	上條 真吾	到達目標:7,14
5-6	6/18	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	支台歯とマージン形態	歯冠修復における支台歯形態とマージン形態	駒田 亘	到達目標:18 Web 講義 終了

			型)				後に小テストを実施すること
7	6/21	09:45-10:30	第1実習室	シェードテイキング演習	口腔内撮影、シェードテイキング法	上條 真吾	到達目標:13
8-9	6/25	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	ブリッジ	ブリッジの構造、支台歯形成と印象	駒田 亘	到達目標:17 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
10-11	7/2	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	審美歯冠修復	レジン前装と陶材前装による補綴、CAD/CAM 冠とオールセラミック冠	駒田 亘	到達目標:19 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
12-13	7/9	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	歯科用陶材 1	歯科用陶材の種類、組成と性質 陶材焼付金属冠の特徴、製作法 築盛用陶材の種類と操作法	上條 真吾	到達目標:1-6,8,9 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
14-15	7/16	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	歯科用陶材 2 天然歯の色とシェードの基礎	オールセラミッククラウンの特徴 天然歯の光学的要素と色 シェードイク	上條 真吾	到達目標:6-14 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること

授業方法

講義および演習

遠隔授業(非同期型)のほかにシェードテイキング演習、CAD 演習があります。

遠隔授業(非同期型)では、WebClass 上で小テストを実施すること。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。実習前に動画資料を視聴して予習しておくこと。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

- ・期末試験(100 点)で総括的評価を行う。
- ・期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。
- ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
- ・小テストなどの課題を実施すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬一彦、医歯薬出版、2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、

<p>1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017</p> <p>スタンダード歯科理工学：生体材料と歯科材料／中島裕〔ほか〕編集(幹事)・執筆；石川邦夫〔ほか〕編集・執筆；赤坂司〔ほか〕執筆, 中島, 裕,宮崎, 隆,米山, 隆之,石川, 邦夫,赤坂, 司,:学建書院, 2019</p>
<p>参考書</p> <p>CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-, 宮崎, 隆, 1953-,日本歯科 CAD/CAM 学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2012</p> <p>メタルセラミックス築盛の基礎／山本眞著,山本, 真,:クインテッセンス出版, 1989</p> <p>ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本眞著,山本, 眞(歯科学),:クインテッセンス出版, 1982</p> <p>・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008</p> <p>・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。非同期型の遠隔授業は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、学習の理解が高まるよう審美歯科学実習の時期に合わせて時間割を作成することで内容を改善している。</p> <p>遠隔授業のほかに演習があります。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023546A						
科目名	審美修復工学実習			科目ID	DE-354600-E		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
2 号館 4 階第 1 実習室、ポーセレン室、総合実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等							
審美歯冠修復に用いられるセラミックスクラウンのフレームが備えるべき理工学的条件および形態的特徴を理解し、陶材築盛作業および形態修正の基礎技術を習得する。							
授業の到達目標							
1. 審美歯冠修復に関する概要を説明できる。							
2. 高精度な歯冠修復物を製作するための精密な作業用模型を製作できる。							
3. 審美的および機能的に考慮された歯冠回復できる。							
4. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けできる。							
5. 変形がない精密なワックスパターンを採得できる。							
6. 歯科用 CAD/CAM を使用し、咬合に配慮した理想的な歯冠形態を設計し切削加工できる。							
7. ジルコニアコーピングを製作する際の歯科用 CAM の特性を説明できる。							
8. ジルコニアフレームを支台歯模型に正確に適合できる。							
9. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成できる。							
10. 歯科用陶材の特徴を理解し、それぞれ製品別の色調再現法を理解し実践できる。							
11. 複数の陶材を混ぜることなく積層できる。							
12. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現できる。							
13. スティンによる色調表現法を理解し、実践できる。							
14. 天然歯の持つ質感を、形態修正および艶出しによって表現できる。							
15. 支台歯への適合を確認し、隣接および咬合接触点を調整して研磨できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	5/8	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	審美修復実習の概要 作業用模型製作 1	実習内容説明、トリミング、ダウエルピン植立、2 次石膏、3 次石膏	上條 真吾	到達目標:1,2 学習方法:実習
6-10	5/29	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 2	スプリットキャスト付与、歯型分割、咬合器装着、マージントリミング、ガム模型製作	上條 真吾	到達目標:2 学習方法:実習
11-14	5/31	11:40-16:10	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 3	咬合器装着、マージントリミング、ガム模型製作	上條 真吾	到達目標:2 学習方法:実習
15-17	6/5	13:30-16:10	第1実習室 総合実習室	ワックスアップ 1	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大臼歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3 学習方法:実習
18-23	6/7	09:45-16:10	第1実習室 総合実習室	ワックスアップ 2	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大臼歯（歯冠回復）	上條 真吾	到達目標:3 学習方法:実習
24-28	6/12	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	ワックスアップ 3	上顎中切歯（カットバック）、下顎大臼歯（カットバック）	上條 真吾	到達目標:3 学習方法:実習

29-32	6/14	11:40-16:10	第1実習室 総合実習室	ワックスアップ 4	上顎中切歯（カットバック）、下顎大臼歯（カットバック）	上條 真吾	到達目標:3 学習方法:実習 実習作品の提出
33-37	6/19	10:45-16:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室 総合実習室	歯科用 CAD/CAM 1	上顎中切歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリング	上條 真吾	到達目標:6,7 学習方法:実習
38-42	6/21	10:45-16:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室 総合実習室	歯科用 CAD/CAM 2	上顎中切歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリング	上條 真吾	到達目標:6,7 学習方法:実習
43-47	6/26	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	歯科用 CAD/CAM 3 ジルコニアフレーム調整	下顎大臼歯デザイン 上顎中切歯 適合、フレーム調整	上條 真吾	到達目標:8,9 学習方法:実習 実習作品の提出
48-53	6/28	09:45-16:10	第1実習室 総合実習室	歯科用 CAD/CAM 4 ジルコニアフレーム調整	下顎大臼歯デザイン 上顎中切歯 適合、フレーム調整	上條 真吾	到達目標:8,9 学習方法:実習 実習作品の提出
54-58	7/3	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	陶材築盛練習 1	陶材築盛練習、色調表現練習	上條 真吾	到達目標:10-15 学習方法:実習
59-64	7/5	09:45-16:10	第1実習室 総合実習室	陶材築盛練習 2	上顎中切歯、歯冠回復、カットバック練習	上條 真吾	到達目標:12-15 学習方法:実習
65-69	7/10	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 1	上顎中切歯、シェードベース築盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15 学習方法:実習
70-75	7/12	09:45-16:10	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 2	上顎中切歯、内部ステイン、築盛陶材築盛・焼成	上條 真吾	到達目標:12-15 学習方法:実習
76-80	7/17	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	形態修正 1	上顎中切歯、咬合調整、形態修正	上條 真吾	到達目標:12-15 学習方法:実習
81-82	7/23	10:45-12:25	第1実習室 総合実習室	カービングコンテスト		上條 真吾	
83-87	7/24	10:45-16:10	第1実習室 総合実習室	形態修正 1	上顎中切歯、形態修正、ステイン	上條 真吾	到達目標:12-15 学習方法:実習
88-90	7/26	09:45-12:25	第1実習室 総合実習室	形態修正 3 艶出し、完成	上顎中切歯、形態修正、ステイン、グレース、研磨	上條 真吾	到達目標:12-15 学習方法:実習 実習作品の提出
授業方法 実習							

<p>上顎中切歯、下顎大臼歯の審美修復補綴装置の製作実習</p> <p>事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。</p>
<p>授業内容</p> <p>審美修復補綴装置の製作実習</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は実習で製作するプロダクトによって行う。</p> <p>上顎中切歯(適合、形態、研磨状態、色調:計 60 点)</p> <p>下顎大臼歯(CAD)20 点</p> <p>WaxUp(各 10 点)</p> <p>について段階的に評価し、合計点数を成績とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>実習予定表および実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
<p>教科書</p> <p>歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会,末瀬一彦,：医歯薬出版, 2017</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬一彦, 1951-,宮崎 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,：医歯薬出版, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬一彦, 1951-, 宮崎 隆, 1953-,日本歯科 CAD/CAM 学会,全国歯科技工士教育協議会,：医歯薬出版, 2012</p> <p>メタルセラミックス築盛の基礎／山本真著,山本 真,：クインテッセンス出版, 1989</p> <p>ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真著,山本 真(歯科学),：クインテッセンス出版, 1982</p> <p>・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎 隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008</p> <p>・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること</p>

時間割番号	023547A						
科目名	CAD/CAM システム工学実習			科目ID			
担当教員	土田 優美, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈, 金澤 学[TSUCHIDA Yuumi, IWAKI Maiko, MIYAYASU Annna, KANAZAWA MANABU]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: CAD/CAM システム工学実習 時間数: 30 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室 2 号館 4 階 CAD/CAM 実習室							
授業の目的、概要等 CAD/CAM 機器を用いた歯科補綴装置製作に関する知識及び技術を修得する。							
授業の到達目標 1. 歯科技工用スキャナで歯列模型をスキャンできる。 2. 口腔内スキャナで歯列をスキャンする方法を説明できる。 3. CAD ソフトウェアを用いてクラウンブリッジの補綴装置の設計ができる。 4. フェイススキャナを用いて顔のスキャンができる。 5. 汎用 CAD ソフトウェアを用いた 3D モデリングができる。 6. 3D プリンタを用いたモデルの造形ができる。 7. 歯科関連企業について知る。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/8	10:45-12:25	リアルモードラボ	松風 D2000 の操作	松風 D2000 の操作	岩城 麻衣子, 土田 優美, 宮安 杏奈, 青木 亮一	到達目標: 7 学習方法: 実習 事前学習: なし
3-4	4/15	10:45-12:25	リアルモードラボ	松風 D2000 の操作	松風 D2000 の操作	岩城 麻衣子, 土田 優美, 宮安 杏奈, 青木 亮一	到達目標: 7 学習方法: 実習 事前学習: なし
5-6	4/22	10:45-12:25	リアルモードラボ	模型スキャン、口腔内スキャン	模型スキャン、口腔内スキャン	土田 優美, 宮安 杏奈, 岩城 麻衣子	到達目標: 1-2 学習方法: 4 年生との合同実習 事前学習: なし
7-8	5/13	10:45-12:25	リアルモードラボ	模型スキャン、口腔内スキャン	模型スキャン、口腔内スキャン	土田 優美, 宮安 杏奈, 岩城 麻衣子	到達目標: 1-2 学習方法: 4 年生との合同実習 事前学習: なし
9-10	5/20	10:45-12:25	リアルモードラボ	CAD ソフトウェアを用いた設計実習	CAD ソフトウェアを用いた設計実習	土田 優美, 宮安 杏奈, 岩城 麻衣子	到達目標: 3-5 学習方法: 4 年生との合同実習 事前学習: なし
11-12	5/27	10:45-12:25	リアルモードラボ	CAD ソフトウェアを用いた設計実習	CAD ソフトウェアを用いた設計実習	土田 優美, 宮安 杏奈	到達目標: 3-5 学習方法: 4 年生と

						岩城 麻衣子	の合同実習 事前学習:なし
13-14	6/3	10:45-12:25	リアルモ ードラボ	CAD ソフトウェアを用い た設計実習	CAD ソフトウェアを用いた設計実 習	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:3-5 学 習方法:4 年生と の合同実習 事前 学習:なし
15-16	6/10	10:45-12:25	リアルモ ードラボ	CAD ソフトウェアを用い た設計実習	CAD ソフトウェアを用いた設計実 習	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:3-5 学 習方法:4 年生と の合同実習 事前 学習:なし
17-18	6/17	10:45-12:25	リアルモ ードラボ	CAD ソフトウェアを用い た設計実習	CAD ソフトウェアを用いた設計実 習	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:3-5 学 習方法:4 年生と の合同実習 事前 学習:なし
19-20	6/24	10:45-12:25	リアルモ ードラボ	CAD ソフトウェアを用い た設計実習	CAD ソフトウェアを用いた設計実 習	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:3-5 学 習方法:4 年生と の合同実習 事前 学習:なし
21-22	7/1	10:45-12:25	リアルモ ードラボ	3D プリンタによる造形	3D プリンタによる造形	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:6 学習 方法:4 年生との 合同実習 事前学 習:なし
23-24	7/8	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	試験対策	試験対策	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:3 学習 方法:4 年生との 合同実習 事前学 習:なし
25-26	7/22	10:45-12:25	リアルモ ードラボ	試験対策	試験対策	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:3 学習 方法:4 年生との 合同実習 事前学 習:なし
27-28	7/29	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	最終評価試験	最終評価試験	土田 優美 宮安 杏奈 岩城 麻衣子	到達目標:- 学習 方法:試験 事前 学習:なし
29-30	7/30	13:30-15:10		業界研究	業界研究	金澤 学	到達目標:7 学習 方法:演習 事前 学習:なし
授業方法 実習 デジタルデンティストリー領域の補綴装置製作の実習を行う。 授業期間中に最終評価試験を行う。 最終回は歯科関連の業界研究を行う。							
成績評価の方法 実習中に行われる評価試験によって行う。 出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。							
成績評価の基準 評価試験の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。							
準備学習等についての具体的な指示							

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じて課題等での対応を行うこととする。
参考書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、1951-、宮崎 隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、医歯薬出版、2017.8
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023548A						
科目名	インプラント工学実習				科目ID	DE-354800-E	
担当教員	池田 正臣, 林 政利, 上條 真吾, 下岸 将博, 山本 麻衣子, 柴崎 真樹, 佐藤 隆明[KEDA MASAOMI, HAYASHI MASATOSHI, KAMIJO SHINGO, SHIMOGISHI MASAHIRO, YAMAMOTO Maiko, SHIBASAKI Masaki, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 60 時間							
主な講義場所							
遠隔授業、2 号館 4 階第 1 実習室、第 4 実習室、ポーセレン室、総合実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等							
口腔インプラント治療について理解し、インプラント補綴装置製作の基本的な技術力を養う。歯科用 CAD/CAM システムを応用してインプラントアバットメントおよび上部構造の設計製作を行う。							
授業の到達目標							
1. 口腔インプラント治療の流れを説明できる。 2. 口腔インプラントの上部構造の製作法を説明できる。 3. インプラント用個人トレーの製作法を説明できる。 4. インプラント修復物製作に必要な作業模型の精度を説明できる。 5. インプラント修復物に与えるべき咬合関係を説明できる。 6. インプラント修復物に与えるべき歯冠形態を説明できる。 7. 上部構造体の形態を考慮したアバットメントの設計を説明できる。 8. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計およびカットバック法を説明できる。 9. 歯科用 CAD システムを用いてダブルスキャンによるコーピングの設計を説明できる。 10. 歯科用 CAD システムを用いてアバットメントの設計を説明できる。 11. ジルコニアコーピングとカスタムアバットメントに必要な適合精度を説明できる。 12. 修復物の最終歯冠形態をイメージして陶材の築盛方法を説明できる。 13. インプラント上部構造に与えるべき歯冠形態を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔インプラント 1	口腔インプラント概論 診察・検査と診断, 治療計画の立案	池田 正臣, 下岸 将博, 山本 麻衣子, 柴崎 真樹	到達目標:1,2
3-4	4/24	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔インプラント 2	インプラント外科 インプラント補綴	池田 正臣, 山本 麻衣子, 柴崎 真樹	到達目標:1,2
5-6	5/1	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	口腔インプラント 3	デジタルワークフロー メンテナンス	池田 正臣, 下岸 将博, 山本 麻衣子, 柴崎 真樹	到達目標:1,2
7-10	6/6	13:30-17:05	第1実習室	CAD アバットメントデザイン	CAD/CAM システムを活用したアバットメント、上部構造の設計	上條 真吾, 佐藤 隆明	到達目標:7
11-14	6/13	13:30-17:05	第1実習室	インプラント用個人トレーの製作	オーブントレーの製作、シリコーン印象への石膏注入	池田 正臣, 林 政利, 佐藤 隆明	到達目標:3 実習作品の提出

15-18	6/20	13:30-17:05	第1実習室	作業用模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏操作	池田 正臣 林 政利, 佐藤 隆明	到達目標:4
19-23	6/24	13:30-18:00	第1実習室	作業用模型製作、咬合器装着、歯冠回復	三次石膏操作、咬合器装着、歯型分割、歯冠回復	池田 正臣 林 政利, 佐藤 隆明	到達目標:4-8
24-27	6/27	13:30-17:05	第1実習室	カスタムアバットメント形成	カスタムアバットメントのワックスアップ	池田 正臣 林 政利, 佐藤 隆明	到達目標:5-8
28-32	7/1	13:30-18:00	第1実習室	上部構造体フレーム形成	ジルコニアアバットメント上での歯冠回復、窓開け	池田 正臣 林 政利, 佐藤 隆明	到達目標:5,6,8
33-36	7/4	13:30-17:05	第1実習室	CAD/CAM 操作、ミリング、シンタリング	CAD/CAM システムによるスキニング、ディスク削り出し、シンタリング	池田 正臣 上條 真吾, 佐藤 隆明	到達目標:9
37-41	7/8	13:30-18:00	第1実習室	ジルコニアフレーム調整	ジルコニアアバットメントへの適合確認・調整、フレーム形状の調整・研磨	池田 正臣 上條 真吾, 佐藤 隆明	到達目標:10
42-46	7/11	13:30-18:00	第1実習室	陶材築盛 1 GC コーポレートセンター陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル築盛(単色築盛法)	池田 正臣 上條 真吾, 佐藤 隆明	到達目標:11-13
47-51	7/18	13:30-18:00	第1実習室	陶材築盛 2 GC コーポレートセンター陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル築盛(単色築盛法)	池田 正臣 上條 真吾, 佐藤 隆明	到達目標:11-13
52-55	7/22	13:30-17:05	第1実習室	形態修正、艶出し・研磨 GC コーポレートセンター陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル築盛(単色築盛法)	池田 正臣 上條 真吾, 佐藤 隆明	到達目標:11-13 実習作品の提出
56-60	7/25	13:30-18:00	第1実習室	GC R&D Center 見学	GC R&D Center 見学	池田 正臣 上條 真吾, 佐藤 隆明	

授業方法

遠隔授業(同期型)、実習、見学実習

インプラント個人トレー、アバットメント CAD 実習、上部構造製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験)によって行う。

・インプラント用トレー(5 点)、アバットメント CAD(5 点)、上部構造 40 点、期末試験(50 点)について段階的に評価し、合計点数を作品の成績とする。

・期末試験の配点は 50 点とするが、期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。

・配点は、筆記試験 50 点、提出プロダクト 50 点とし、合計 100 点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
<p>教科書</p> <p>最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編:医歯薬出版, 2017</p> <p>基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017</p>
<p>参考書</p> <p>インプラント歯学の実際／Ashok Sethi・Thomas Kaus 著 瀬戸 皖一・佐藤 淳一訳:クインテッセンス出版, 2006</p> <p>CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,:医歯薬出版, 2012</p> <p>メタルセラミックス築盛の基礎 : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1989</p> <p>ザ・メタルセラミックス : カラーアトラス／山本真 著,:クインテッセンス出版, 1982</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科技工別冊「インプラントの技工」市川哲雄・渡邊文彦 編 医歯薬出版 2004 ・歯科技工別冊「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 医歯薬出版 2007
<p>履修上の注意事項</p> <p>WebClass に資料がアップされたときは、事前に確認しておくこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。新カリキュラムより、15 時間増加の 60 時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビデオ教材を導入しています。</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>池田正臣 メールにて日程調整</p> <p>ikedacsoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023549A						
科目名	小児歯科学			科目ID	DE-354900-L		
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:15 時間 授業形態:講義 WebClass による非同期型の講義と Zoom による同期型の講義							
主な講義場所 講義はすべて遠隔授業(オンデマンドの非同期型授業と最終授業は同期型授業)							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 障害者の口腔状況と補綴の実際を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を説明できる。 2. 歯列咬合と顎・顔面頭蓋の成長過程を説明できる。 3. 小児歯科疾患と治療の概要を説明できる。 4. 小児歯科治療に用いる咬合誘導を概説できる。 5. 出生から青少年期までの心身の成長・発達を説明できる。 6. 小児の情緒と社会性の発達を説明できる。 7. 摂食機能と言語機能の発達過程を理解できる。 8. 小児期歯科におけるチーム医療を説明できる。 9. 歯科治療時の小児の行動への対応法を説明できる。 10. 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。 11. 障害者理解を深めるとともに口腔の特徴について理解できる。 12. 障害者の歯科治療時における行動調整、口腔状況と補綴装置を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/17	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	小児歯科学とは 小児の成長・発達1・発達2	小児歯科の特徴、意義 全身の発育、器官の発育, 摂食嚥下、無歯期の特徴、顎間空隙、言語、情動、社会性	岩本 勉 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達目標:3,5,10 到達目標:5,6,7, 10
3	10/7	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面の発育・歯の発育と異常	骨の成長様式、顎の発育、歯の発生、歯の発育、乳歯の形態、歯の発育異常	岩本 勉 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達目標:1,2
4-5	10/7	14:25-16:10	遠隔授業 (非同期型)	障害者歯科学概論	障害者・有病者の口腔内の特徴と歯科治療	楠本 康香, 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達目標:11,12,
6-8	10/9	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	歯列の発育と咬合の異常 小児う蝕の特徴 小児の歯冠修復、歯内療法	歯列の形態、ヘルマンの咬合発育段階、生理的歯間空隙、ターミナルプレーンの定義と意義、切歯の交換 齲蝕発症の要因、乳歯う蝕	岩本 勉 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達目標:1,2 到達目標:1,3 到達目標:1,3

					の特徴 小児の歯冠修復、歯内療法		
9-11	10/21	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯周疾患、軟組織疾患 咬合誘導概論 保険+動的咬合誘導	小児の歯周疾患、軟組織疾患 咬合誘導の目的、意義 保険装置の種類、クランループ、バンドループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、可撤式保険装置、スぺースリゲーター、維持装置	岩本 勉 岩城 麻衣子、宮安 杏奈	到達目標:1,3 到達目標:3,4 到達目標:3,4
12-14	10/28	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	口腔習癖と筋機能 歯の外傷 小児への歯科対応法	口腔習癖、口腔習癖除去装置 乳歯の外傷、永久歯の外傷、外傷の特徴と治療法 小児への対応法	岩本 勉 岩城 麻衣子、宮安 杏奈	到達目標:3,4,6 到達目標:3,4 到達目標:8,9,10
15	11/11	13:30-14:15	遠隔授業 (同期型)	小児歯科学演習	ケース演習	岩本 勉 岩城 麻衣子、宮安 杏奈	到達目標:1~10 ID: 912 9039 1266 PW: 2024
授業方法							
WebClass による非同期型および一部同期型の講義							
成績評価の方法							
確認テスト(30 点に換算)および期末試験 (70 点) 授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し可否を判定する。							
成績評価の基準							
<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。 ・小テストの結果や授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 ・期末テストが 6 割未満の場合は再試験とする。 							
準備学習等についての具体的な指示							
事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
<p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3 以上の講義受講および聴講した講義の確認テスト参加をもって試験の受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)を受講すること。 ・確認テストを必ず行い、理解を各自確かめること。 ・質問がある場合は、WebClass の掲示板を使って質問すること。 <p>質問があった場合は、担当教員に連絡が行くため、返答までしばし待つこと。</p> <p>質問は、講義を受講した全員に共有されるので、他の学生の参照すること。</p>							
参考書							
小児歯科技工学 = Dental Technology for Pedodontic Appliances//全国歯科技工士教育協議会 編集、内川喜盛、白瀬敏臣、尾崎順男 著:医歯薬出版、2017							
備考							
<p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>岩城麻衣子 miwaki.gerd@tmd.ac.jp</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p>							

時間割番号	023550A						
科目名	小児歯科学実習			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 第1 実習室							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 スペシャルニーズのある患者の口腔内状況、治療内容と口腔内装置の実際を理解する。							
授業の到達目標 1. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明できる。 2. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作できる。 3. スペシャルニーズのある患者について理解を深めるとともに、口腔状況と口腔内装置の実際を理解できる。 4. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	10/9	13:30-17:05	第1実習室	クラウンループ	実習用模型咬合器装着 クラウンループ製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達標:1, 2
5-8	10/16	13:30-17:05	第1実習室	クラウンループ	クラウンループ製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達標:1, 2
9-12	10/23	13:30-17:05		可撤保隙装置	可撤保隙装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達標:1, 2
13-16	10/30	13:30-17:05	第1実習室	可撤保隙装置	可撤保隙装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達標:1, 2
17-22	11/5	09:45-16:10	外部病院等	学外施設見学	学外施設(ゆきわりそう)	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達目標:3
23-26	11/6	13:30-17:05		小児矯正装置	小児矯正装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達標:1, 2
27-30	11/13	13:30-17:05	第1実習室	小児矯正装置	小児矯正装置製作	杉本 明日菜 岩城 麻衣子, 宮安 杏奈	到達標:1, 2
授業方法 実習 クラウンループ、可撤式保隙装置、小児矯正装置(スペースリゲーター)の製作実習 事前に WebClass で提示されている資料を学習して予習しておくこと。 レポート課題が課されるため、期限までに提出すること。							
授業内容 評価は提出作品およびレポート課題によって行う。 ・クラウンループ、可撤式保隙装置、小児矯正装置(スペースリゲーター) 各 25 点、計 75 点							

<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業による講義および演習、レポート提出 25 点 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は提出作品およびレポート課題によって行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウンループ、可撤式保障装置、小児矯正装置(スペースリグゼーナー) 各 25 点、計 75 点 ・遠隔授業による講義および演習、レポート提出 25 点 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
<p>成績評価の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 75 点、レポート課題 25 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p>
<p>教科書</p> <p>:医歯薬出版</p> <p>:医歯薬出版</p>
<p>参考書</p> <p>小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会,内川, 喜盛,白瀬, 敏臣,尾崎, 順男, 1954-,全国歯科技工士教育協議会 編集,内川喜盛, 白瀬敏臣, 尾崎順男 著:医歯薬出版, 2017.2</p> <p>小児歯科／大嶋, 隆, 1947-,全国歯科衛生士教育協議会,大嶋隆 ほか著:医歯薬出版, 2009.11</p> <p>障害者歯科／向井, 美恵, 1947-,全国歯科衛生士教育協議会,向井美恵 ほか 著:医歯薬出版, 2013.5</p>
<p>備考</p> <p>担当教員のオフィスアワー</p> <p>口腔デジタルプロセス学分野</p> <p>准教授 岩城麻衣子 miwaki.gerd@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023551A						
科目名	矯正歯科学			科目ID	DE-355100-L		
担当教員	塩沢 真穂 細道 純[SHIOZAWA Maho, HOSOMICHI JIYUN]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:矯正歯科学 時間数:30 時間 授業形態:講義、実習							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型) 7 号館講義棟 5 階ノイシュタットジャパンルーム 第1実習室							
授業の目的、概要等 顎顔面頭蓋の成長発育ならびに不正咬合の原因・診断・治療について理解し、矯正歯科治療に必要な装置製作に関する知識と基本的技能を修得する。							
授業の到達目標 1. 顎顔面の成長発育と正常な歯列咬合の状態を理解できる。 2. 不正咬合の分類・種類・原因とその影響を理解できる。 3. 矯正歯科の診断・治療法を概説できる。 4. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明できる。 5. 矯正歯科装置の製作法を理解できる。 6. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解できる。 7. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明できる。 8. 矯正歯科装置の製作法を理解できる。 9. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/3	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	矯正歯科学序論、成長発育、正常咬合と不正咬合	歯科矯正学の歩み、不正咬合による障害と矯正歯科治療の意義、矯正歯科治療における矯正歯科技工の意義、顎顔面頭蓋の成長発育、歯列・咬合の成長発育、正常咬合・不正咬合とその分類	細道 純	到達目標:1-6 WebClass 終了 後小テストを実施
4-6	4/4	09:00-11:50	5F 示説室	矯正技工基本の手技 1-3 (歯学科と合同実習)	ワイヤーベンディング	細道 純	到達目標:5 歯学科との合同実習のため、歯学科の担当教員で実施
7-9	4/9	09:00-11:50	5F 示説室	矯正技工基本の手技 4-5 (歯学科と合同実習)	ワイヤーベンディング、自在鑢着	細道 純	到達目標:5 歯学科との合同実習のため、歯学科の担当教員で実施
10-12	6/11	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	不正咬合の原因・予防と生物学的背景、矯正歯科治療の進め方	不正咬合の原因と予防、矯正力に伴う生体反応、矯正歯科治療の流れと歯科技工の関わり、矯正用口	細道 純	到達目標:2,3 WebClass 終了 後小テストを実施

					腔模型、各種検査と症例分析(形態分析・機能分析)		
13-15	6/18	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	矯正装置の必要条件と分類、矯正技工用器具と材料、各種固定式矯正装置の使用法、構成、製作法	矯正装置の必要条件、矯正装置の分類、矯正技工用器具と材料、線屈曲、自在ろう着、舌側弧線装置、顎間固定装置、リップバンパー、ナンスのホールディングアーチ、緩徐拡大装置、急速拡大装置	細道 純	到達目標:4-6 WebClass 終了 後小テストを実施
16-18	6/25	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	各種床矯正装置、保定装置の使用法、製作法、各種機能的装置の使用法、構成、製作法	咬合拳上板、咬合斜面板、床矯正装置、ホーレーの保定装置、トゥースポジションナー、ラップアラウンドリテーナー、犬歯間リテーナー、FSW リテーナー、アクチバートル、バイオネーター、ビムラーのアダプター、フレンケルの装置、アライナー矯正装置、CAD/CAM の応用	細道 純	到達目標:5 WebClass 終了 後小テストを実施
19-21	7/2	13:30-16:10	第1実習室	矯正用口腔模型・作業模型作製、舌側弧線装置製作1	印象採得、石膏注入(矯正用口腔模型、セットアップ・舌側弧線装置・保定装置)、舌側弧線装置・作業模型調整、外形線記入、ST ロック維持管鑑着	細道 純	到達目標:5 実習 一部の実習は5/21の臨床咬合実習の際に事前実施予定
22-24	7/9	13:30-16:10	第1実習室	舌側弧線装置製作2-3	ST ロック脚部屈曲、主線屈曲、鑑着、仕上げ	細道 純	到達目標:5 実習
25-27	7/16	13:30-16:10	第1実習室	可撤式床保定装置製作1-3	外形線記入、外周線屈曲、即重レジン重合	細道 純	到達目標:5 実習
28-30	7/23	13:30-16:10	第1実習室	可撤式床保定装置製作4、アライナー矯正装置・機能的矯正装置見学	可撤式床保定装置・即重レジン重合、仕上げ・研磨、アライナー矯正装置・構成咬合器等見学、まとめ	細道 純	到達目標:5 実習 実習作品の提出 レポート提出

授業方法

遠隔授業(非同期型)、実習

遠隔授業(非同期型)と矯正装置製作実習からなります。一部歯学科と合同実習を行います。

遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

・提出作品は、実習の製作物(40 点):内訳はワイヤーベンディング・自在鑑着・弾線屈曲(10 点)、舌側弧線装置(リングアルアーチ)(15 点)、可撤式保定装置(リテーナー)(15 点)の評価を行う。

・期末試験の配点は 60 点とするが、期末試験が 6 割未満の場合は、再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験 60 点、実習の製作作品を 40 点とし、合計 100 点満点で換算する。

・授業態度など平常点を加味して総合的な評価を行い、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・2/3 以上の出席を受験資格とする。

<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会編；後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良著, 全国歯科技工士教育協議会, 後藤, 尚昭, 宇都宮, 宏充, 横山, 和良, 医歯薬出版, 2017
参考書 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編集, 後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良 著, 医歯薬出版, 2017 歯科技工士のための実践矯正装置製作法／尾崎順男, 宇都宮宏充, 茂原宏美, 後藤尚昭 著, クインテッセンス出版, 2007 チェアサイド・ラボサイドの新矯正装置ビジュアルガイド：患者さんに渡せる装置の説明リーフレット付／後藤滋巳 編者代表, 医歯薬出版, 2015 矯正歯科技工・小児歯科技工：歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編, 医歯薬出版, 2011 最新歯科矯正アトラス／井上直彦・鈴木祥井著, 医歯薬出版, 1984 最新歯科矯正アトラス臨床編Ⅰ／井上直彦著, 医歯薬出版, 1982 歯科矯正学／飯田順一郎, 葛西一貴, 後藤滋巳, 末石研二, 榎宏太郎, 山城隆 編集, 飯田, 順一郎, 葛西, 一貴, 1955-後藤, 滋巳, 1952-, 医歯薬出版, 2019 Contemporary Orthodontics／6th Ed., W. R. Proffit 他著, ELSEVIER MOSBY, 2019 歯科技工士国家試験問題集／全国歯科技工士教育協議会 編, 医歯薬出版, 2019 新・要点チェック歯科技工士国家試験対策 6 矯正歯科技工学・小児歯科技工学／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編, 医歯薬出版, 2020
備考 講義、実習が含まれます。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィシアワーおよび連絡先 細道 純 hosomichi.orts@tmd.ac.jp 科目責任者のオフィシアワーおよび連絡先 塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること
連絡先(メールアドレス) 塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp 細道 純・小野 卓史 t.ono.orts@tmd.ac.jp
オフィシアワー 塩沢 真穂 2 号館 3 階 314 細道 純・小野 卓史 月・水 16:00—17:30 歯科棟北 12 階 咬合機能矯正学分野 教授室

時間割番号	023552						
科目名	再建工学包括臨床実習 I			科目 ID	DE-375200-E		
担当教員	池田 正臣, 佐藤 隆明[KEDA MASAOMI, SATOU Takaaki]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
2 号館 4 階第 1 実習室、総合実習室、重合鋳造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、歯学部附属病院外来、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
歯科医療チームの一員として診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
1. 医療人としての倫理観を身につけられる。 2. 多職種との連携に必要な事項を列挙できる。 3. 臨床模型による歯科技工操作の留意点を説明できる。 4. 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術を習得できる。 5. 歯学部附属病院における各診療科の特徴を理解できる。 6. 歯科補綴装置の製作に必要な情報を取得し、整理できる。 7. 症例に応じた補綴デザインを選択できる。 8. 歯学附属病院の感染対策について説明できる。 9. 個人用防護具 (PPE) を正しく着脱できる。 10. 医療安全について理解し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/9	08:50-10:30	2号館J フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:1-3
3-4	9/24	10:45-12:25	2号館J フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に必要なとなる基本的歯科技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:1-3
5-6	10/8	10:45-12:25	2号館J フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床模型を使った歯科技工技術の習得	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
7	10/10	11:40-12:25	2号館J	再建工学包括臨床実習	臨床模型を使った歯科技工技術	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7

			フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	Phase I	の習得	佐藤 隆明, 塩沢 真穂	
8-9	10/15	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に 必要となる基本的歯科技工技術の 確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:1-3
10-11	10/29	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に 必要となる基本的歯科技工技術の 確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:1-3
12-13	10/31	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に 必要となる基本的歯科技工技術の 確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:1-3
14-15	11/7	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
16-17	11/12	10:45-12:25	第1実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
18-23	11/14	08:50-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	感染対策、個人用防護具(PPE)実 習	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:8,9,10 事前に臨床咬合 学で実習したビデ オを確認しておく こと
24-29	11/18	08:50-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン

			室				
30-35	11/19	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション
36-41	11/20	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション
42-47	11/21	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション
48-53	11/22	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション
54-59	11/25	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション
60-65	11/26	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション
66-71	11/27	08:50-15:10	2号館リフレッシュルーム, 第1実習室, 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーション

72-77	11/28	08:50-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン
78-79	11/29	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
80-81	12/3	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
82-83	12/5	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
84-85	12/10	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
86-87	12/12	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
88	12/17	10:45-11:30	2号館リ フレッシュ ルーム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
89-91	12/19	09:45-12:25	2号館リ	再建工学包括臨床実習	臨床実習に必要な基本的歯科	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7

			フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	Phase I	技工技術の確認	佐藤 隆明, 塩沢 真穂	
92-94	12/24	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
95-97	1/9	13:30-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
98-99	1/10	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
100-1 01	1/14	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
102-1 03	1/15	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
104-1 05	1/16	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明, 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
106-1 07	1/21	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣, 佐藤 隆明,	到達目標:3,4,6,7

			ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室			塩沢 真穂	
108-1 09	1/22	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
110-1 11	1/23	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
112-1 13	1/28	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
114-1 15	1/29	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
116-1 17	1/30	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
118-1 19	2/4	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第1 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7
120-1 21	2/5	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣 佐藤 隆明 塩沢 真穂	到達目標:3,4,6,7

			ム, 第1 実習室 総合実習 室				
授業方法 実習、演習 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。							
成績評価の方法 評価は実習で製作するプロダクトおよびレポートによって行う。 ・歯冠修復(40 点)、有床義歯(40 点)、各科ローテーションレポート(20 点)で総括的に評価し、合計点数を成績とする。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品およびレポートで評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。 ・小テスト、出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・各科ローテーションでは歯学部附属病院の補綴系外来と歯科技工部で実習を行う。服装等に注意すること。不適切な服装・身だしなみの場合は実習を停止する。予定表やレポート書式に関しては WebClass にアップロードされるので確認すること。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。							
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会, 末瀬 一彦, 1951-, 宮崎 隆, 1953-, 日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編: 医歯薬出版, 2017.8							
履修上の注意事項 ・登院式の詳細は別に定める。 ・再建工学包括臨床実習 I Phase II の具体的な班分け、詳細な日程は別に定める。 ・OH と合同模型製作実習があります。							
備考 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 口腔医療工学分野 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp							

時間割番号	023554A						
科目名	医療倫理			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:医療倫理 時間数:15 時間 授業形態:講義・討論 必修 Zoom による同期型の講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型・非同期型)、講義、討論 【吉田先生, 甲畑先生講義の ZoomID】 参加 Zoom ミーティング https://zoom.us/j/93283078372?pwd=MFBmaUJUVGFBUhZPTeItOGJ4MHRsQT09 ミーティング ID: 932 8307 8372 パスコード: 707144							
授業の目的、概要等 ・倫理学の視点から生命倫理の基礎を確認し、その上で、生命倫理が取り組んできた課題および現在直面している問題について理解する。 ・医療倫理, 研究倫理, 技術倫理や個人情報保護について理解する。							
授業の到達目標 1. 生命倫理について説明する。 2. 優生思想の基礎的な理解とその歴史を説明する。 3. 現代の生命倫理が抱える課題を理論的および歴史的視点から論じる。 4. 倫理審査について説明する。 5. 個人情報保護の必要性を説明する 6. 医療倫理を説明する。 7. 技術者倫理および情報倫理について理解し、実践的な対応力を身につける。 8. 社会の現状および企業の仕組みを理解し、社会及び企業との関係において、技術者としてのあり方を身につける。 9.医療現場で働く他職種のメンバーを尊重する姿勢を有する 10.議論において必要な情報を共有し、協調し、また場合に応じてリーダーシップを発揮し、建設的な議論を促進する 11.全人的視点を身に着ける							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/23	09:45-12:25	遠隔授業 (非同期型)	'生命倫理、倫理審査等に関する講義	'倫理審査、研究倫理審査の必要性	江花 有亮 岩城 麻衣子	'到達目標:1-11
4-5	5/7	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	'個人情報保護、医療倫理等に関する講義	'個人情報保護、医療倫理等	甲畑 宏子, 岩城 麻衣子	'到達目標:1-11
6-7	5/14	08:50-10:30	遠隔授業 (同期型)	'技術倫理の実践	匠を考える 技術者倫理と行動 技術者倫理活動の事例 職業倫理の実際を考える	吉田 雅幸, 岩城 麻衣子	'到達目標:1-11

8-15	5/24	08:50-17:05	鈴木章夫 記念講堂	チーム医療の導入	医、歯、看護、衛生との合同授業	岩城 麻衣子	到達目標:1-11	
授業方法 講義, 討論								
成績評価の方法 出席状況(20点), レポート(10点), チーム医療導入のピア評価(40点)および研究倫理取得のための確認テスト(30点)から総合的評価を行う。								
成績評価の基準 ・合計点数が60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。								
準備学習等についての具体的な指示 事前の資料配付およびe-learning上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。e-learning(Web Class)を連絡等に利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。								
試験の受験資格 定期試験は行わず、以下をもって成績判定の資格を得るものとする。 ・3分の2以上の出席 ・出席状況(20点), レポート(10点), チーム医療導入のピア評価(40点), および研究倫理取得のための確認テスト(30点)から総合的評価を行う								
参考書 技術者倫理：技術者として幸福を得るために考えておくべきこと／辻井洋行, 水井万里子, 堀田源治 著, 日刊工業新聞社, 2016 優生学と人間社会：生命科学の世紀はどこへ向かうのか／米本 昌平 [ほか]著, 米本 昌平, 講談社 生そのものの政治学：二十一世紀の生物医学、権力、主体性／ニコラス・ローズ, 法政大学出版局, 2014								
備考 一部, 医、歯、看護、衛生と合同で、グループワークによるアクティブラーニングを実施します。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 口腔デジタルプロセス学分野 准教授 岩城麻衣子 m.iwakigerd@tmd.ac.jp								

時間割番号	023555						
科目名	卒業研究 I			科目 ID	DE-365500-Z		
担当教員							
開講時期	2024 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数:60 時間 授業形態:講義・演習 遠隔授業(同期型)および対面授業 2 号館 2 階第 1 講義室、MD タワー4 階 図書館情報検索室							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2 号館 2 階第 1 講義室、MD タワー4 階 図書館情報検索室							
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心として、各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域研究、あるいは生物学と理工学の融合研究のテーマを検討し、実施に向けて、基本的な研究の進め方および先行研究の検索方法と研究のまとめ方を理解する。 研究者としてのキャリアについて理解する。							
授業の到達目標 1. 研究の進め方を説明できる。 2. EBM・EBHC の概念と研究者としての倫理観を説明できる。 3. 論文の構成を説明できる。 4. 理工学研究および生物学研究との融合研究の概念を説明できる。 5. 本学の基本理念に沿って、論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理する。 6. 本学の基本理念を中心に各人の知的興味、将来の方向性に沿った研究テーマを設定する。 7. 研究実施にあたって必要となる倫理的配慮、個人情報保護および動物の扱いを説明できる。 8. 結論を導くために必要な統計処理について説明できる。 9. 4年生で行う研究の背景および研究方法に関する研究計画書を指導者の助言を受け、記載できる。 10. 修士、博士課程から研究者へのキャリアについて説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	9/20	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	卒業研究オリエンテーション Meeting ID: 996 0766 2833 Passcode: 179697	卒業研究の概要、Evidence-based Medicine (EBM)と研究者としての倫理観 生物学研究と理工学研究との融合研究	青木 和広	到達目標:1-4 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023 に資料アップする
4-6	9/27	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	中間発表会 https://zoom.us/j/97015383501 ミーティング ID: 970 1538 3501	4 年生中間発表会に参加	青木 和広	到達目標: 1-9IL2300110 Padlet にコメントを記入、Webclass で感想記入すること
7	10/11	13:30-14:15	第1講義室	研究とキャリアパス、その1 1コマ目は2号館第1講義室	工学出身の研究者のお話を伺う	青木 和広 土田 優美	到達目標: 1-5,10 。 3回生 土田優美先生と 6回生 久保優里

							さんのお話を伺う
8-9	10/11	14:25-16:10	情報検索室	文献検索1	文献検索の実施と論文読解1 基本理念に沿って、論文を作成するために必要な参考文献の引用方法について学ぶ	青木 和広 澁川 穂積 木下 淳博	到達目標:1-5,10 WebClass に資料アップする 事前学習してくること。演習を行う。
10	10/25	13:30-14:15	第1講義室	キャリアパス その2	起業家のお話を伺う。	青木 和広	特別講義 角 祥太郎氏
11-12	10/25	14:25-16:10	情報検索室	文献検索2	文献検索の実施と論文読解2基本理念に沿って、研究テーマを策定し、関連論文を収集する技術を学ぶ	青木 和広 澁川 穂積	到達目標:1-5,10 WebClass に資料アップする 事前学習してくること。演習を行う。
13	11/1	13:30-14:15	情報検索室	文献検索 3	文献検索の実施と論文読解 3 文献検索の実施がサポートなしでできるまで訓練する。	青木 和広 澁川 穂積	到達目標:1-5, 10 WebClass を参照 Meeting ID: 996 0766 2833 Passcode: 179697
14	11/1	14:25-15:10	第1講義室	キャリアパス その3	ベンチャー企業で働く先輩の話を伺う	青木 和広	到達目標:1-5, 10 OE3-4 卒業研究 2024を参照 8回 生 藤林加江さんのお話を伺う
15	11/1	15:25-16:10	第1講義室	論文について	論文の構成	青木 和広	到達目標:1-5, 10 OE3-4 卒業研究 2024 を参照 Meeting ID: 996 0766 2833 Passcode: 179697
16	11/8	13:30-14:15	遠隔授業 (非同期型)	教員からの研究テーマの提案 研究実施の流れ	AL 基本理念に沿った研究テーマの検討 研究計画の立て方、倫理的配慮・個人情報の管理等の留意点等について研究テーマの検討	青木 和広	到達目標:1-5, 10 OE3-4 卒業研究 2024 を参照 ノートの取り方のレポート提出 進捗状況報告
17-18	11/8	14:25-16:10	特別講義	研究実施の流れ 研究テーマの検討	研究計画の立て方、倫理的配慮・個人情報の管理等の留意点等について研究テーマの検討	青木 和広 金澤 学 池田 正臣 岩城 麻衣子、大木 明子、佐藤 隆明、中川 寿一、上條 真吾、土田 優美	到達目標:1,2,6-8 OE3-4 卒業研究 2024 を参照に資料アップする 事前学習してくること。

19-21	12/6	13:30-16:10	特別講堂	統計その1	卒業研究に用いる統計手法1	池田 正臣	到達目標:1-6, 10 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023 参 照 Meeting ID: 996 0766 2833 Passcode: 179697
22-27	12/13	08:50-15:10	第1講義 室	OH 卒業研究発表会参 加	研究テーマの検討と絞り込み、関 連文献の検索 OH4 年生卒業研 究発表会に参加	青木 和広 大木 明子	到達目標:1-8 OE3-4 卒業研究 2024 を参照
28-30	12/20	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	統計その2	卒業研究に用いる統計手法2	池田 正臣	到達目標:1-6, 10 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023 参 照 Meeting ID: 996 0766 2833 Passcode: 179697
31-33	12/23	09:45-12:25	第1講義 室	統計その3	4 年生の研究に具体的に使われ た統計手法の概説	池田 正臣	到達目標:1-6, 10 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023 参 照 Meeting ID: 996 0766 2833 Passcode: 179697
34-36	1/10	09:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	研究計画書作成	研究計画書作成	青木 和広 金澤 学 池 田 正臣 大 木 明子 岩 城 麻衣子 佐藤 隆明 中川 寿一 土田 優美 上條 真吾	到達目標:1-10 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023 に 資料アップする 各研究指導者の 指示に従って研 究計画書作成
37-42	1/17	09:45-16:10	第1講義 室	卒業研究発表会参加	4 年生卒業研究発表会に参加	青木 和広	到達目標:1-10 OE3-4 卒業研究 2024 を参照
43-45	1/20	09:45-12:25	第1講義 室 遠隔 授業(同 期型)	研究計画書作成	研究計画書作成	青木 和広 金澤 学 池 田 正臣 岩 城 麻衣子 大木 明子 佐藤 隆明 土田 優美 上條 真吾 中川 寿一	到達目標:1-10 各研究指導者の 指示に従って研 究計画書作成
46-48	1/24	13:30-16:10	第1講義 室	研究計画書作成	研究者としてのキャリア 研究計 画書作成	青木 和広 金澤 学 池 田 正臣 大 木 明子 岩 城 麻衣子 佐藤 隆明 上條 真吾 土田 優美	到達目標:1-10 各研究指導者の 指示に従って研 究計画書作成

						中川 寿一	
49-51	1/27	09:45-12:25	2号館J フレッシュ ユルーム	研究計画書作成 ノート の重要性	研究計画書作成 ノートの重要性	青木 和広 澁川 穂積	到達目標:1-10 WebClass に資料 アップする 研究 計画書の本文を 仕上げてくる 挿 入する参考文献 を 10 論文以上、 Refworks にアップ してくる
52-54	2/3	09:45-12:25	第1講義 室 遠隔 授業(同 期型)	研究計画書作成	研究計画書作成	青木 和広 金澤 学 池 田 正臣 岩 城 麻衣子 大木 明子 佐藤 隆明 土田 優美 上條 真吾 中川 寿一	到達目標:1-10 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023に 資料アップする 各研究指導者の 指示に従って研 究計画書作成
55-57	2/7	13:30-16:10	第1講義 室	研究計画書作成	研究計画書作成	青木 和広 金澤 学 池 田 正臣 大 木 明子 岩 城 麻衣子 佐藤 隆明 上條 真吾 土田 優美 中川 寿一	到達目標:1-10 各研究指導者の 指示に従って研 究計画書作成
58-60	2/10	09:45-12:25	2号館J フレッシュ ユルーム	研究計画書作成 ノート の重要性	研究計画書作成 ノートの重要性	青木 和広 澁川 穂積	到達目標:1-10 IL2300110 OE3-4 卒業研究 2023に 資料アップする 研究計画書の本 文を仕上げてくる 挿入する参考文 献を 10 論文以 上、Refworks にア ップしてくる

授業方法

遠隔授業(同期型)、講義、課題学習

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10 点)、課題提出内容(20 点)、研究計画書(70 点)から総合的評価を行う。

成績評価の基準

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10 点)、課題提出内容(20 点)、研究計画書(70 点)から総合的評価を行う。

研究計画書の点数が 60%以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。

e-learning(Web Class)を連絡だけでなく、反転授業のためにも利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

<p>試験の受験資格</p> <p>4 分の 3 の出席が単位取得の最低条件。(各指導者の下で研究を始めた場合、卒業研究 I の時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。臨床実習の時間に卒業研究を当てる場合も考えられるが、カードだけでなく、はじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。また、就職活動により欠席する場合は、以下の2つの条件が満たされることにより、就職活動による欠席を出席扱いとすることは周知事項に記載してあるとおりである; 1. 事前に担当教員に行き先を伝え許可を得る。2. 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを担当教員に見せること。)</p>
<p>参考書</p> <p>研究の育て方：ゴールとプロセスの「見える化」／近藤克則著, 近藤, 克則.: 医学書院, 2018</p>
<p>備考</p> <p>この科目は、論文作成に必要な知識を演習を通して獲得し、指導教員との討論を交えて次年度からの研究のための研究計画書の作成を目標とする。</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>毎週火曜日 17 時～18 時</p> <p>これ以外は</p> <p>メールにて面談の日程を調整すること</p> <p>青木和広 kazuhiko_aoki@tmd.ac.jp</p> <p>それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。</p> <p>非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。</p> <p>対面授業では、AL(グループディスカッション)を行う。</p>

時間割番号	023558				
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ			科目ID	DE-495800-Z
担当教員					
開講時期	2024 年度4年通年	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 評価としては、発展的に学習して自らの課題解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。 また、3)の TMU との交流における成績は、参加への積極性や発表時の内容等により総合的に判断して成績をつけるものとする。なお、ポイントは学年をまたいで持ち越しにはなるが、A+の基準としては、プログラムの全部の参加状況が一つの基準となる。					
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。 ・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。 3)の TMU との交流にあたり、事前に TMU 学生と交流をし、準備を進めることが大切である。 来日時の交流に備えた事前の交流の仕方は、担当教員から指示がある。					
試験の受験資格 試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修(*) 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加					

をもって、単位申請することができる。

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。

(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)

・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。

3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。 3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiko_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。

非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。

国際交流なので、AL(グループディスカッション)を行う。

学生自身で単位申請を行うこと。

第 4 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023509A						
科目名	歯科技工士と法律			科目ID			
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所							
対面講義(2号館3階 第2講義室)							
授業の目的、概要等							
医療上の事故等(インシデント、医療過誤等を含む)は日常的に起こり得ることを認識し、医療安全、個人情報の保護、インフォームドコンセントについて理解する。個人情報の保護を実践するため、守秘義務と個人情報保護法を理解する。保健・衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士の医療と社会における役割を学ぶ。							
授業の到達目標							
1. ヒューマンエラーとリスク、医療安全について用語を説明できる。							
2. インシデントとアクシデント、医療事故と医療過誤の違いを理解し、応用できる。							
3. 医療安全推進のためのリスク管理、防止対策、インシデントレポート、5Sについて説明、応用できる。							
4. 医療安全に関連した法律・規則の基本的事項を説明できる。							
5. 個人情報の保護と守秘義務について理解し、応用できる。							
6. インフォームドコンセントの定義と重要性を説明し、応用できる。							
7. ヘルシンキ宣言を説明できる。							
8. 歯科医事紛争の防止対策について応用できる。							
9. 歯科技工士の役割と倫理について説明できる。							
10. 衛生行政の概要、意義、組織と活動を説明できる。							
11. 歯科技工士法を説明できる。							
12. 歯科技工指示書と歯科技工録について理解し、応用できる。							
13. 医療法の目的、病院と診療所の法的定義を説明できる。							
14. 歯科医師法の目的と歯科医師の任務を説明できる。							
15. 歯科衛生士法の目的と歯科衛生士の法的定義を説明できる。							
16. 保健、社会保障、労働関連法規の概要を説明できる。							
H26 歯科技工学教育モデル・コア・カリキュラム							
A. 歯科技工と歯科医療							
2. 歯科技工士と法律:医療人としての遵法精神を身につけるために、歯科技工士として必要な法律を理解し、遵守する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/10	15:25-18:00	第2講義室	医療安全	エラー、リスク、医療安全、インシデント、リスク管理、インシデントレポート、5S、演習	大木 明子	到達目標 1-4 講義、対面、小テスト、グループワーク 事前学習: WebClass の資料をチェック、課題の提出
4-5	4/24	10:45-12:25	第2講義室	個人情報の保護 インフォームドコンセント、医事紛争	個人情報保護法、守秘義務、インフォームドコンセント、医事紛争、演習	大木 明子	到達目標 5-9 講義、対面、小テスト、グループワーク 事前学習:

							WebClass の資料 をチェック、課題 の提出
6-7	5/8	10:45-12:25	第2講義 室	衛生行政 歯科技工士 法 1	衛生行政 歯科技工士法の概念、 免許、試験、演習	大木 明子	到達目標 10-13 講義、対面、小テ スト、グループワ ーク 事前学習: WebClass の資料 をチェック、課題 の提出
8-9	5/22	10:45-12:25	第2講義 室	歯科技工士法 2	歯科技工業務 歯科技工指示書、 歯科技工録とトレーサビリティ、国 外で製作された技工物、演習	大木 明子	到達目標 14-15 講義、対面、小テ スト、グループワ ーク 事前学習: WebClass の資料 をチェック、課題 の提出
10-11	6/12	10:45-12:25	第2講義 室	歯科技工士法 3 労働 関係法規	歯科技工所、歯科技工士法の雑 則、罰則、附則 労働に関する法 律、ハラスメント、演習	大木 明子	到達目標 16-17 講義、対面、小テ スト、グループワ ーク 事前学習: WebClass の資料 をチェック、課題 の提出
12-13	7/3	10:45-12:25	第2講義 室	歯科医療関係法規 医 療関係法規	医療法、歯科医師法、歯科衛生士 法、一般医療関係者法	大木 明子	到達目標 18-20 講義、対面、小テ スト、グループワ ーク 事前学習: WebClass の資料 をチェック、課題 の提出
14-15	7/17	10:45-12:25	第2講義 室	その他の関係法規 5S 発表	保健衛生法規、医薬品医療機器等 法、5S 発表会	大木 明子	到達目標 3, 21 講義、対面、小テ スト、グループワ ーク、発表 事前 学習: WebClass の 資料をチェック、 5S 発表スライド の提出

授業方法

講義、演習(グループワーク)

対面で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

演習課題を行い、期限までに提出すること。

授業内容

講義、演習

医療安全、個人情報の保護、インフォームドコンセント、歯科技工士法、その他歯科医療、医療に関する法律、労働関係法規

成績評価の方法

評価は提出課題および期末試験(筆記試験(対面):60 分)によって行う。

・演習課題(医療安全:4 点、インフォームドコンセント:4 点、トレーサビリティ:4 点、ハラスメント:2 点、歯科技工料金:2 点、5S 発表:4 点)(20

<p>点)、筆記試験(80点)で総合的に評価する。</p> <p>・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。</p> <p>・配点は、筆記試験80点、演習課題20点とし、合計100点満点で換算する。</p> <p>・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>事前にWebClassに資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。</p> <p>定期試験の前に、歯科技工士国家試験の関係法規の部分の問題をやっておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <p>・3分の2以上の出席を基本とする。出席確認は学生証のカードタッチで行う。</p> <p>・各項目で実施される演習課題を実施し、提示された期限までにレポートを提出すること。</p> <p>・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。</p>
<p>教科書</p> <p>歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬一彦、医歯薬出版、2017</p>
<p>参考書</p> <p>歯科六法コンメンタール 第2版 歯科関連法律の逐条解説／社会歯科学会、シヤカイガツカイ、ヒョーロン・パブリッシャーズ、2021</p> <p>事例・判例から学ぶ歯科の法律／小室歳信 著、小室 歳信、1952-、医歯薬出版、2004</p> <p>歯科医療管理：安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために／日本歯科医療管理学会編、日本歯科医療管理学会、医歯薬出版、2018</p> <p>医療安全：患者の安全を守る看護の基礎力・臨床力／小林美亜編集、小林 美亜、学研メディカル秀潤社、2018</p> <p>看護の現場ですぐに役立つ医療安全のキホン：インシデントから患者さんを守る方法を学ぶ！／大坪陽子、荒神裕之、雑賀智也著、大坪陽子、荒神 裕之、雑賀 智也、秀和システム、2018</p> <p>具体例からはじめる患者と医療従事者のためのインフォームド・コンセント取扱説明書／谷田憲俊著、谷田 憲俊、診断と治療社、2013</p> <p>「知らなかった」はもう許されない個人情報保護法〇と×：法改正で居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションも規制対象に！／外岡潤監修、外岡 潤、1980-、メディカ出版、2017</p> <p>医療・介護における個人情報保護 Q&A：改正法の正しい理解と適切な判断のために／飯田修平編著；宮澤潤、長谷川友紀、森山洋著、飯田 修平、宮澤 潤、長谷川 友紀、森山 洋、じほう、2020</p>
<p>他科目との関連</p> <p>臨床義歯管理工学、再建工学包括臨床実習Ⅱの実習と関連があります。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。演習課題の提出を提示された期日までに行うこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を検討し、グループワークでの演習によりアクティブラーニングの時間を確保した。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023519						
科目名	画像解析学			科目ID	DE-451900-L		
担当教員	土田 優美 渡邊 裕 中村 伸 三浦 雅彦[TSUCHIDA Yuumi, WATANABE HIROSHI, NAKAMURA SHIN, MIURA MASAHIKO]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:画像解析学 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習 選択							
主な講義場所 遠隔授業（Zoom, WebClass） 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等 放射線の性質や、顎顔面口腔領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。							
授業の到達目標 1. 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。 2. エックス線の発生と画像形成の原理を説明できる。 3. エックス線フィルムおよび増感紙の構造と性質を説明できる。 4. エックス線写真処理の原理と方法を説明できる。 5. デジタルラジオグラフィーの原理および特徴を説明できる。 6. 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 7. パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。 8. 顔面頭蓋部撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 9. 歯科用コーンビーム CT、CT、MRI、超音波検査の原理と顎顔面口腔領域における適応を説明できる。 10. 歯科用インプラントのためのステント作成とそのステントを用いる CT について説明できる。 11. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の正常像について説明できる。 12. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の異常所見を指摘できる。 13. 放射線の人体に対する影響を説明できる。 14. がんの放射線治療とその補助装置を説明できる。 15. 断層撮影画像データの三次元構築ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/16	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	エックス線写真の原理	放射線の種類と性質、エックス線画像形成の原理、エックス線写真処理の原理、デジタルラジオグラフィーの原理	渡邊 裕	到達目標:1-5 学習方法:遠隔授業(非同期型)、小テスト 事前学習:なし
4	4/16	16:20-17:05	遠隔授業 (非同期型)	歯科用エックス線撮影の種類と原理	口内法エックス線撮影の種類、パノラマエックス線撮影の原理、顔面頭蓋部撮影の種類、歯科用コーンビーム CT ほか、インプラントのためのステントと CT	渡邊 裕	到達目標:6-10 学習方法:遠隔授業(非同期型) 小テスト 事前学習:なし
5-6	4/23	13:30-15:10	遠隔授業 (非同期型)	歯科用エックス線撮影の種類と原理	口内法エックス線撮影の種類、パノラマエックス線撮影の原理、顔	渡邊 裕	到達目標:6-10 学習方法:遠隔授業

			型)		面頭蓋部撮影の種類、歯科用コーンビーム CT ほか、インプラントのためのステントとCT		業(非同期型) 小テスト 事前学習: なし
7-8	4/23	15:25-17:05	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面口腔領域の正常像と異常像	画像診断、正常像と異常所見	中村 伸	到達目標:11-12 学習方法:遠隔授業(非同期型)、小テスト 事前学習: なし
9-10	5/7	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	放射線の人体への影響	放射線の人体に対する影響	三浦 雅彦	到達目標:13 学習方法:遠隔授業(非同期型)、小テスト 事前学習: なし
11-12	5/14	09:45-11:30	遠隔授業 (非同期型)	放射線治療	がんの放射線治療とその補助装置	三浦 雅彦	到達目標:14 学習方法:遠隔授業(非同期型)、小テスト 事前学習: なし
13	5/21	13:30-14:15	2号館J フレッシュ ユルルーム	試験	試験	土田 優美	到達目標:- 学習方法:試験 事前学習: なし
14-15	5/21	14:25-16:10	2号館J フレッシュ ユルルーム	断層撮影画像データの三次元構築	Zed View を使用した CT データの 3D モデリング	土田 優美	到達目標:15 学習方法:演習 事前学習: なし

授業方法

講義、演習

遠隔授業(同期型・非同期型)、対面授業を行う。

遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格または課題の提出をもって出席とする。

※小テストは実施期限をよく確認し、必ず期限内に実施すること。小テスト未実施および不合格は欠席となるため注意すること。

小テストは満点の取得をもって出席扱いとする。

小テストは期限内であれば何度でも実施可能。

遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。

成績評価の方法

評価は期末試験(筆記試験)によって行う。

期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

出席状況、授業態度の結果を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。

出席状況、授業態度、小テストの結果を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とする。

・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業・見学実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

<p>歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎編 ; 浅海淳一 [ほか] 執筆, 岡野, 友宏, 小林, 馨, 有地, 榮一郎, 浅海, 淳一, : 医歯薬出版, 2018</p> <p>歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編, 日本歯科放射線学会, : 医歯薬出版, 2020</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、授業内容を修正し、内容を改善している。</p>
<p>連絡先(メールアドレス)</p> <p>土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp</p> <p>三浦 雅彦 masa.mdth@tmd.ac.jp</p> <p>渡邊 裕 hiro.orad@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること</p> <p>三浦 雅彦 月、水、金 16:00－18:00 D棟12F 教授室</p> <p>渡邊 裕 毎週金曜日 P.M.0:00-16:00</p>

時間割番号	023532						
科目名	スポーツ歯科学			科目ID	DE-493200-L		
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択 16 時間							
主な講義場所 2号館 3 階 第 2 講義室 口腔保健工学専攻 第 2 実習室、総合実習室、重合・鋳造室							
授業の目的、概要等 スポーツとスポーツ外傷、歯科保健医療について理解し、外傷予防に用いる歯科領域の装置、特にマウスガードの構造と製作法を理解する。マウスガードを製作する。							
授業の到達目標 1. 顎口腔領域のスポーツ外傷とその特徴を理解できる。 2. 顎口腔領域のスポーツ外傷の予防について理解できる。 3. 顎口腔系機能と身体運動機能の関連について理解できる。 4. スポーツ選手における顎口腔系の状態とその健康管理について理解できる。 5. フェイスガードの構造と製作法について理解できる。 6. マウスガードの目的、種類、特徴について理解できる。 7. マウスガードの材料について理解できる。 8. マウスガードの構造と製作法について説明、応用でき、マウスガードを製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	4/11	13:30-16:10	第2講義室	スポーツ歯科学概論	スポーツ外傷の特徴と予防、顎口腔系機能と身体運動機能の関連、スポーツ選手の健康管理	中禮 宏	到達目標:1-4 講義 対面 事前学習:WebClass の資料を確認しておくこと
4-6	4/18	13:30-16:10	第2講義室	マウスガードの製作法	マウスガードの目的、種類、材料、製作法	中禮 宏	到達目標:6-8 講義 対面 事前学習:WebClass の資料を確認しておくこと
7-9	4/25	13:30-16:10	第2講義室 第2実習室	遠隔支援、フェイスガードの製作法 マウスガードの製作 1(実習)	遠隔支援、フェイスガードの目的、構造、製作法 模型調整・咬合器装着	大木 明子、 中禮 宏 上 條 真吾	到達目標:4-8 講義、実習 対面 事前学習: WebClass の資料を確認しておくこと、事前に指定された模型を準備しておくこと
10-12	5/2	13:30-16:10	第2実習室	マウスガードの製作 2 (実習)	EVA シート製マウスガードの圧接調整、ポリオレフィンシートマウスガード1層目圧接	大木 明子、 中禮 宏 上 條 真吾	到達目標:6-8 実習 事前学習: WebClass の資料を確認しておくこと

13-16	5/16	13:30-17:05	第2実習室	マウスガードの製作3 (実習)	ポリオレフィンシートマウスガード 2層目の圧接、形態修正、艶出し、 マウスガードの完成	大木 明子、 中禮 宏 上 條 真吾	到達目標:6-8 実習 事前学習: WebClass の資料 を確認しておくこ と 実習作品の 提出
授業方法 講義、実習 講義のほかに2種類のスポーツマウスガード製作実習が含まれます。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。							
授業内容 スポーツと歯科、スポーツマウスガード、フェイスガードについて マウスガードの製作実習							
成績評価の方法 評価は提出作品および期末試験(筆記試験(対面):60分)によって行う。 ・筆記試験(80点)、マウスガード2種の評価(唇側・口蓋側の辺縁形態、咬合面の形態:各種10点ずつ合計20点)で総合的に評価する。 ・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験80点、マウスガード2種の評価:各種10点ずつ合計20点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。 実習日はマウスガード製作実習を行うので、WebClass の資料を予習し、器材を準備して出席すること。 実習に際しては模型や咬合器などの事前準備が必要であるので、指示されたとおりに準備すること。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。出席確認は対面で学生証のカードタッチで行う。 ・対面講義に出席し、授業中に行われる質問や小テストなどを実施すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 要説スポーツ歯科医学／上野俊明〔ほか〕編、上野、俊明、医学情報社、2020 実践スポーツマウスガード：製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修、上野俊明 編集、医学情報社、2014							
参考書 スポーツ歯科入門ハンドブック：健康スポーツ歯科をめざして／安井利一、杉山義祥 編著、姫野かつよ〔ほか〕著、医学情報社、2009							
他科目との関連 マウスガードの製作実習では、3年の臨床咬合学で製作した各自の上下模型を使用する。臨床実習Ⅱにおいて実習の事前準備を行う。教員の指示に従い、上顎2個、下顎1個を準備しておくこと。							
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習日にはインスツルメント器材を準備しておくこと。バーナーは貸与されるが、欲しい者は各自でバーナーを購入しておくこと。詳細は WebClass にて案内している。							
備考 マウスガードの製作実習では、3年の臨床咬合学で製作した各自の上下模型を使用する。 臨床実習Ⅱにおいて実習の事前準備を行う。教員の指示に従い、上顎2個、下顎1個を準備しておくこと。 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習の日にはインスツルメント器材を準備しておくこと。 本科目を受講し、日本スポーツ歯科医学学会に入会、既定の研修指導等を実施すると、学会認定の「マウスガードテクニカルインストラクタ							

ー」の資格の申請を行うことが可能である。

昨年度授業終了時アンケート結果より、マウスガード製作実習の事前準備を臨床実習Ⅱで時間をとって行うように改善した。

科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

中禮 宏 講師 メールにて日時を相談 chu.spm@tmd.ac.jp

上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023533						
科目名	オーラルアプライアンス工学				科目ID	DE-493300-L	
担当教員							
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択 21 時間							
主な講義場所							
対面講義(第2 講義室)およびオンデマンド(WebClass の OE4 オーラルアプライアンス工学)							
2 号館 4 階 第2 実習室							
授業の目的、概要等							
顎関節症、睡眠時無呼吸症候群の症状と治療法を理解し、治療に用いるスプリントの意義と製作法を修得する。							
授業の到達目標							
1. 閉塞性睡眠時無呼吸症(Obstructive Sleep Apnea: OSA)の症状について説明できる。							
2. OSA の治療法について説明できる。							
3. OSA に用いるスリープスプリント(Oral Appliance: OA)の製作法について説明でき、装置を製作する。							
4. 顎関節症の症状について説明できる。							
5. 顎関節症の治療法について説明できる。							
6. 顎関節症に用いるスプリントの製作法について説明でき、装置を製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/11	10:45-12:25	第2講義室	顎関節症の症状	顎関節症の臨床症状 顎関節症の原因	西山 暁	到達目標: 4 講義、演習 対面 事前学習: WebClass の資料をチェックすること
3-4	4/16	09:45-11:30	遠隔授業(非同期型)	閉塞性睡眠時無呼吸症(OSA)とは	OSA の医学的背景 医科との連携と歯科での対応	秀島 雅之	到達目標:1 講義 WebClass オンデマンド、終了後に小テストを実施 事前学習: WebClass の資料をチェックすること
5-6	4/18	10:45-12:25	第2講義室	顎関節症の治療法	顎関節症の治療法 スタビライゼーションスプリント その他のスプリント	西山 暁	到達目標:5 講義、演習 対面 事前学習: WebClass の資料をチェックすること
7-8	4/23	09:45-11:30	遠隔授業(非同期型)	OSA の治療法	OSA の治療法 OSA 用スプリント(OA)の種類と材料、設計	秀島 雅之	到達目標:2 講義 WebClass オンデマンド、終了後に小テストを実施 事前学習:

							WebClass の資料 をチェックすること
9-11	5/7	13:30-16:10	第2実習 室	OSA 用 OA の製作実習	OA 製作に用いる模型の製作 OA の咬合採得 咬合器装着	秀島 雅之 大木 明子 上條 真吾	到達目標:3 実 習 事前学習: WebClass の資料 をチェックすること
12-15	5/9	13:30-17:05	第2実習 室	顎関節症に用いるスプ rintの製作実習	スタビライゼーションスプリントの 製作、ワックスアップ、埋没、流ろ う、重合	西山 暁 大 木 明子、鈴 木 達	到達目標:6 実 習 事前学習: WebClass の資料 をチェックすること
16-18	5/14	13:30-16:10	第2実習 室	OSA 用 OA の製作実習	OA の設計と製作	秀島 雅之 大木 明子 上條 真吾	到達目標:3 実 習 事前学習: WebClass の資料 をチェックすること 実習作品の 提出
19-21	5/23	13:30-16:10	第2実習 室	顎関節症に用いるスプ rintの製作実習	スタビライゼーションスプリントの 調整	西山 暁 大 木 明子、鈴 木 達	到達目標:6 実 習 事前学習: WebClass の資料 をチェックすること 実習作品の 提出
授業方法 講義、実習 対面講義、オンデマンドのほかにオーラルアプライアンス製作実習が含まれます。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。 オンデマンドで質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。							
授業内容 睡眠時無呼吸症候群と装置:非同期型遠隔講義、実習 顎関節症と装置:対面講義・演習、実習							
成績評価の方法 評価は提出課題、提出作品および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。 ・筆記試験(対面)(80 点)、製作物(OSA 用 OA:10 点、顎関節症用スプリント:10 点)で総合的に評価する。 ・期末試験(OSA50 点満点、顎関節症 50 点満点)が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする(OSA と顎関節症それぞれ 60%以上必要)。 ・製作物はそれぞれの装置の担当教員により評価する。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が OSA と顎関節症それぞれ 60%以上得点したものを合格とする。 ・配点は、筆記試験 80 点、製作物(OSA 用 OA:10 点、顎関節症用スプリント:10 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、小テストの点数を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 小テストなどの課題を実施すること。 実習に際しては模型や咬合器などの事前準備が必要であるので、指示されたとおりに準備すること。							
試験の受験資格							

<p>定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。出席確認は対面では学生証のカードタッチで行う。非同期型では視聴記録と小テストの実施で行う。 ・西山先生ご担当の対面講義に出席し、演習に参加すること。 ・秀島先生ご担当のオンデマンドを視聴し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
<p>構成ユニット</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 睡眠時無呼吸症候群に用いるオーラルアプライアンス(10 時間) 2. 顎関節症に用いるオーラルアプライアンス(11 時間)
<p>参考書</p> <p>写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方／鯨見進一、皆木省吾 編著、鯨見 進一、1956-、皆木、省吾、:ヒョーロン・パブリッシャーズ、2011</p> <p>歯科技工実習／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、:医歯薬出版、2017</p> <p>いびき!?眠気!?睡眠時無呼吸症を疑ったら：周辺疾患も含めた、検査、診断から治療法までの診療の実践／宮崎泰成、秀島雅之 編、宮崎、泰成、秀島、雅之、:羊土社、2018</p> <p>参考書2は第 2 版がでています。(2019 年 3 月)睡眠時無呼吸症のための口腔内装置、160-165</p>
<p>他科目との関連</p> <p>口腔外科工学を基礎としています。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。オンデマンドの場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。 実習の日はインスツルメント器材を準備しておくこと。 事前に模型と咬合器の準備を指示されるので準備してから実習にのぞむこと。</p>
<p>備考</p> <p>昨年度授業終了時アンケート結果より、模型の準備の時間を確保し、授業時間を増やした。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>秀島雅之 講師 メールにて日時を相談 m.hideshima.pro@tmd.ac.jp</p> <p>西山 暁 准教授 メールにて日時を相談 anishi.tmj@tmd.ac.jp</p> <p>科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023564						
科目名	CAD/CAM システム工学演習				科目 ID		
担当教員	土田 優美, 宮安 杏奈, 金澤 学[TSUCHIDA Yuumi, MIYAYASU Annna, KANAZAWA MANABU]						
開講時期	2024 年度前期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: CAD/CAM システム工学演習 時間数: 15 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室, 2 号館 4 階 CAD/CAM 実習室							
授業の目的、概要等 歯科用 CAD/CAM システムを活用した歯科補綴装置製作に関し、歯学科 6 年生に説明することにより自らの知識と技能の向上を図る。							
授業の到達目標 1. 歯科技工用スキャナ、口腔内スキャナについて説明できる。 2. 歯科用 CAD ソフトウェアによる設計について説明できる。 3. 歯科用切削加工機や付加製造機について説明できる。 4. その他の三次元光学スキャナや CAD ソフトウェアについて説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	6/3	13:30-16:10	リアルモードラボ	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 宮安 杏奈	到達目標: 1-4 学習方法: 実習 事前学習: なし
4-6	6/10	13:30-16:10	リアルモードラボ	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 宮安 杏奈	到達目標: 1-4 学習方法: 実習 事前学習: なし
7-9	6/17	13:30-16:10	リアルモードラボ	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 宮安 杏奈	到達目標: 1-4 学習方法: 実習 事前学習: なし
10-12	7/1	13:30-16:10	リアルモードラボ	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 宮安 杏奈	到達目標: 1-4 学習方法: 実習 事前学習: なし
13-15	7/8	13:30-16:10	リアルモードラボ	D6 合同実習	歯科用・汎用 CAD/CAM システムの解説、操作説明	土田 優美 宮安 杏奈	到達目標: 1-4 学習方法: 実習 事前学習: なし
授業方法 実習 歯学科 6 年生に対し歯科用・汎用 CAD/CAM システムに関する解説、操作説明を行う。 数名のグループに分かれ、グループごとに提出課題として説明用の資料を作成する。 また、最終レポートを課す。							
成績評価の方法 提出課題(グループ課題) 50 点、最終レポート 25 点、出席・参加態度点 25 点(各日程につき 5 点)によって行う。							
成績評価の基準 提出課題(グループ課題) 50 点、最終レポート 25 点、出席・参加態度点 25 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							

本科目では試験を行わない。
参考書 基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー／日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,末瀬 一彦, 1951-,宮崎 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編:医歯薬出版, 2017.8
備考 歯学科 6 年生との合同実習 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を修正し、内容を改善している。
連絡先(メールアドレス) 土田 優美yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023553A						
科目名	再建工学包括臨床実習Ⅱ				科目ID	DE-475300-E	
担当教員	上條 真吾, 金澤 学, 土田 優美[KAMIJO SHINGO, KANAZAWA MANABU, TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	4		単位数	7	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
患者本位の歯科医療を実施するうえで必要となる各種歯科補綴装置の製作、ならびに修理に関する知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
1. 医療人としての倫理観を身につける。 2. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙できる。 3. 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術を確実に身につける。 4. 歯学部附属病院の診療システムおよび各診療科の特徴を理解する。 5. 当該実習日における最も効率的な作業計画を立案できる。 6. 使用する材料の理工学的特長を理解し、効率的かつ確実性が高い技工作業ができる。 7. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作できる。 8. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/8	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習概要説明	上條 真吾, 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
3-5	4/8	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	資料作成	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
6-10	4/9	09:45-15:10	2号館リフレッシュルーム、第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習オリエンテーション、ケース配当、臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
11-12	4/15	10:45-12:25	2号館リフレッシュルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾, 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
13-15	4/15	13:30-16:10	2号館リフレッシュルーム、第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
16-17	4/22	10:45-12:25	2号館リフレッシュ	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾, 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

			ユルーム				
18-20	4/22	13:30-16:10	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
21-22	4/25	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
23-27	4/30	09:45-15:10	遠隔授業 (非同期 型)	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
28-29	5/2	10:45-12:25	遠隔授業 (非同期 型)	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
30-31	5/9	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
32-33	5/13	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
34-36	5/13	13:30-16:10	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
37-38	5/16	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
39-40	5/20	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
41-43	5/20	13:30-16:10	2号館リ	再建工学包括臨床実習	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8

			フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	PhaseⅣ			【学習方法】実習
44-46	5/21	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
47-48	5/23	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
49-50	5/27	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
51-53	5/27	13:30-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
54-58	5/28	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
59-63	5/30	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
64-65	6/3	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
66-70	6/5	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユル	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

			ム, 第2 実習室 総合実習 室				
71-75	6/6	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
76-77	6/10	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	CAD 実習	上條 真吾, 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
78-82	6/11	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
83-87	6/13	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
88-89	6/17	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	CAD 実習	上條 真吾, 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
90-94	6/18	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
95-97	6/19	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育準備	金澤 学	【到達目標】8 事 前にチーム医療 入門の WebClass の資料を確認し 準備すること
98-10 2	6/20	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

103-1 05	6/21	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期 型)	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	医歯学融合教育準備	金澤 学	【到達目標】8 事 前にチーム医療 入門の WebClass の資料を確認し 準備すること
106-1 07	6/24	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
108-1 10	6/24	13:30-16:10	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
111-1 18	6/25	08:50-17:05		再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	医歯学融合教育	金澤 学	【到達目標】8 準 備した資料を手 元に置き、演習に 参加すること。 Zoom 情報は後日
119-1 26	6/26	08:50-17:05		再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	医歯学融合教育	金澤 学	【到達目標】8 準 備した資料を手 元に置き、演習に 参加すること。 Zoom 情報は後日
127-1 31	6/27	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
132-1 33	7/1	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
134-1 38	7/2	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
139-1 43	7/4	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

144-1 45	7/8	10:45-12:25	2号館リ フレッシ ュルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	土田 優美	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
146-1 50	7/9	09:45-15:10	2号館リ フレッシ ュルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-5 【学習方法】実習
151-1 55	7/11	09:45-15:10	2号館リ フレッシ ュルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	金澤 学	【到達目標】1-6 【学習方法】実習
156-1 60	7/16	09:45-15:10	2号館リ フレッシ ュルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	金澤 学	【到達目標】1-7 【学習方法】実習
161-1 65	7/18	09:45-15:10	2号館リ フレッシ ュルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
166-1 67	7/22	10:45-12:25		再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	CAD 実習	上條 真吾、 土田 優美	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
168-1 70	7/22	13:30-16:10	2号館リ フレッシ ュルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
171-1 72	7/23	10:45-12:25	2号館リ フレッシ ュルーム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
173-1 74	7/23	13:30-15:10	2号館リ フレッシ ュルーム	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

			ム, 第2 実習室 総合実習 室				
175-1 76	7/24	10:45-12:25		再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
177-1 79	7/24	13:30-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
180-1 84	7/25	09:45-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
185-1 86	9/17	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
187-1 89	9/18	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
190-1 91	9/24	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
192-1 94	10/2	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
195-1 96	10/8	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

			ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室				
197-1 98	10/15	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
199-2 01	10/16	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
202-2 04	10/21	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
205-2 06	10/22	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
207-2 08	10/29	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
209-2 10	11/5	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
211-2 13	11/11	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

			ム, 第2 実習室 総合実習 室				
214-2 15	11/12	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
216-2 17	11/19	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
218-2 20	11/25	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
221-2 22	12/3	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
223-2 25	12/4	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
226-2 28	12/9	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
229-2 30	12/10	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

			実習室 総合実習 室				
231-2 32	12/17	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習
233-2 35	12/23	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム、第2 実習室 総合実習 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-8 【学習方法】実習

授業方法

実習、演習、講義

臨床実習、チーム医療

一部、遠隔授業(同期型)で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

授業内容

臨床実習、演習

成績評価の方法

・評価は実習で製作するプロダクトおよびレポートによって行う。

・臨床実習プロダクト(50 点)、患者別ケースレポート(40 点)、チーム医療評価(10 点)で総合的に評価する。

成績評価の基準

・実習プロダクトおよびレポートで評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。

・出席状況、実習態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

臨床実習予定および基礎実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・4 分の 3 以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(同期型)に出席すること。チーム医療入門は事前準備を行い必ず出席すること。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、1951-、宮崎、隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2017

履修上の注意事項

外来では医療スタッフとしての自覚をもって行動すること。 チーム医療入門の詳細と、歯科技工士国家試験の準備は別に定める。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

連絡先(メールアドレス)

上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023565						
科目名	再建工学包括臨床実習Ⅲ				科目ID		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
多様な臨床ケースを通じて歯科技工士としての自覚を高め、各種補綴装置の製作ならびに修理に関するより複雑で高度な知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
1. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙できる。							
2. 歯学部附属病院各診療科の担当医の診療スタンスを理解し、説明できる。							
3. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作できる。							
4. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	9/25	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
4-6	10/7	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
7-9	10/9	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
10-12	10/23	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
13-15	10/28	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
16-18	11/6	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
19-21	11/18	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
22-24	11/20	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
25-27	12/2	09:45-12:25	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
28-30	12/16	09:45-12:25	第2実習室	再建工学包括臨床実習Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4

			室 総合 実習室	Ⅲ			【学習方法】実習
31-34	12/18	09:45-14:15	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Ⅲ	臨床実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
35-37	1/9	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	再建工学包括臨床実習 Ⅲ	症例報告会	上條 真吾、 大木 明子	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
授業方法 臨床実習 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。							
授業内容 臨床実習、ケースプレゼンテーション							
成績評価の方法 評価は実習で製作するプロダクトおよび臨床ケース発表によって行う。 ・臨床実習プロダクト(60 点)、臨床症例発表(40 点)で総括的に評価する。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品および臨床ケース発表で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。 ・出席状況、実習態度を総括的に評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。							
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、1951-、宮崎 隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会、:医歯薬出版、2017							
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 外来では医療スタッフとしての自覚をもって行動すること。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討、改善している。 卒業研究Ⅲとの選択制。							
連絡先(メールアドレス) 上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 上條 真吾 メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023566						
科目名	統合基礎実習				科目ID	DE-457001-E	
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	4		単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:統合基礎実習 時間数:60 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 第2 実習室							
授業の目的、概要等 全部床義歯の人工歯排列およびクラウンのワックスパターン製作を通して、歯科技工士として必要な基礎知識および歯科技工技術を身につけ、決められた時間内に製作できる技術を養う。 また、歯科技工士として必要な包括的な知識を身に着ける。							
授業の到達目標 1. 全部床義歯において適切な咬合を付与した人工歯排列を行うことができる。 2. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。 3. 一定時間内に人工歯排列、歯肉形成ができる。 4. 一定時間内に歯列に調和したクラウンのワックスパターンを製作できる。 5. 歯科技工士として必要な包括的な知識を有する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/10	13:30-15:10	第2実習室	ろう提の製作	ろう提の製作	土田 優美	到達目標:- 学習方法:実習 事前学習:なし
3-5	4/17	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	上顎前歯部排列	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
6-8	5/1	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	下顎前歯部排列	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
9-11	5/8	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	下顎臼歯部排列	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
12-14	5/15	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	上顎臼歯部排列	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1 学習方法:実習 事前学習:なし
15-17	5/22	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	歯肉形成	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:2 学習方法:実習 事前学習:なし
18-20	6/12	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	全部床義歯人工歯排列	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
21-23	7/3	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列	全部床義歯人工歯排列	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし

24-26	7/17	13:30-16:10	第2実習室	中間評価試験(1)	全部床義歯人工歯排列の中間評価試験	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
27-29	9/24	13:30-16:10	第2実習室	実習用模型の製作	実習用模型の製作	土田 優美	到達目標:- 学習方法:実習 事前学習:なし
30-32	10/1	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	土田 優美	到達目標:4 学習方法:実習 事前学習:なし
33-35	10/8	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
36-38	10/15	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
39-41	10/22	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
42-44	10/29	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
45-47	11/5	13:30-16:10	第2実習室	中間評価試験(2-1)	全部床義歯人工歯排列の中間評価試験	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
48-50	11/12	13:30-16:10	第2実習室	中間評価試験(2-2)	全部床義歯人工歯排列の中間評価試験	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
51-53	11/19	13:30-16:10	第2実習室	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
54-56	11/26	13:30-16:10	第2実習室	歯科技工臨床能力判定試験	歯科技工臨床能力判定試験	土田 優美 羽田 多麻木	到達目標:1-4 学習方法:実習 事前学習:なし
57-60	1/13	09:45-14:15	第2実習室	学科試験	学科試験	土田 優美	到達目標:5 学習方法:試験 事前学習:なし

授業方法

実習

全部床義歯人工歯排列、クラウンのワックスアップ実習。

授業期間中に 2 回の中間評価試験および全国歯科技工士教育協議会の実技認定試験および学科試験を実施する。

成績評価の方法

実習中に行われる中間評価試験(1)(2)、全国歯科技工士教育協議会の実技認定試験および学科試験によって行う。

- ・中間試験(1):人工歯排列 10 点
- ・中間試験(2):人工歯排列 10 点、クラウンパターン 10 点
- ・実技認定試験:人工歯排列 10 点、クラウンパターン 10 点
- ・学科試験:50 点(試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。)
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

学科試験の点数が 6 割以上のものを合格とする。

中間試験、実技認定試験の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・特に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じて課題等での対応を行うこととする。
参考書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures／全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦, 医歯薬出版, 2017 歯科技工実習／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦, 医歯薬出版, 2017 歯科技工士国家試験問題集／全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版
備考 全国歯科技工士教育協議会の実技認定試験については日時が変更となる場合がある。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を修正し、内容を改善している。
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023567						
科目名	統合応用実習			科目ID	DO-E45800-		
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:統合応用実習 時間数:60 時間 授業形態:実習 選択							
主な講義場所 第2 実習室、遠隔授業(WebClass)							
授業の目的、概要等 各実習で習得した基礎知識および歯科技工技術を活用し、歯のデッサン、歯型彫刻、ワイヤーの屈曲を通じて更なる技術の研鑽を行う。 また、歯科技工士として必要な包括的な知識を身に着ける。							
授業の到達目標 1. 各歯の特徴を捉えた解剖学的歯冠形態を描画できる。 2. 各歯の特徴を捉え、解剖学的歯冠形態を彫刻できる。 3. 曲線、ループ等、設計線に合ったワイヤー屈曲ができる。 4. 歯科技工士として必要な包括的な知識を有する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/30	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
5-8	10/7	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
9-12	10/21	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
13-16	10/28	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
17-20	11/11	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
21-24	11/18	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
25-28	11/25	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
29-32	12/2	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
33-35	12/3	13:30-16:10	第2講義	国家試験模擬試験	国家試験模擬試験	土田 優美	到達目標:4 学習

			室				方法:試験 事前学習:なし
36-39	12/9	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
40-42	12/10	13:30-16:10	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
43-46	12/16	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
47-50	12/17	13:30-16:10	第2実習室	中間評価試験	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の中間評価試験	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
51-54	12/23	13:30-17:05	遠隔授業 (非同期型)	課題製作	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし
55-57	1/16	13:30-16:10	第2講義室	国家試験模擬試験	国家試験模擬試験	土田 優美	到達目標:4 学習方法:試験 事前学習:なし
58-60	1/21	13:30-16:10	第2実習室	最終評価試験	デッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲の最終評価試験	土田 優美	到達目標:1-3 学習方法:実習 事前学習:なし

授業方法

実習

歯のデッサン、歯型彫刻、ワイヤー屈曲実習。

毎回の作品課題提出または学説試験の実施をもって出席とする。内容は初回授業時までに通知する。

この課題の結果は成績に加味する。

また、授業期間中に 2 回の国家試験の模擬試験を行う。

成績評価の方法

中間評価試験、最終評価試験および模擬試験によって行う。

- ・中間試験: 石膏彫刻 15 点、展開図デッサン 10 点、ワイヤー屈曲 15 点
- ・最終試験: 石膏彫刻 15 点、展開図デッサン 10 点、ワイヤー屈曲 15 点
- ・模擬試験(1): 10 点(試験結果を 10 点満点に換算)
- ・模擬試験(2): 10 点(試験結果を 10 点満点に換算)

出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

成績評価の基準

評価試験の評点に出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、総合点が 80 点以上であれば A 評価以上とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures/全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木 哲也、1954、全国歯科技工士教育協議会、医歯薬出版、2017

歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、医歯薬出版、2017

歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、医歯薬出版、2017

歯科技工士国家試験問題集/全国歯科技工士教育協議会編、医歯薬出版

備考

歯科技工士免許を取得済みの者は選択できない。

国家試験模擬試験については別途日時を指定する。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を修正し、内容を改善している。
連絡先(メールアドレス) 土田 優美yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023556A				
科目名	卒業研究Ⅱ			科目ID	DE-465600-Z
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	4	単位数	6
実務経験のある教員による授業	該当する				
時間数:144 時間 授業形態:演習・実習					
主な講義場所 口腔保健工学専攻講義室, 実習室, 研究室など各指導者の指示する場所で研究を実施。					
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、発表することにより、研究への理解と意欲を培う。					
授業の到達目標 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究Ⅰで策定した研究計画に基づき研究を実施できる。 2. EBM の概念と研究者としての倫理観を理解できる。 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。 8. 論文の抄録を英語で表現できる。 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-6	4/12	10:45-17:05			
7-8	4/17	08:50-10:30			
9-14	4/19	10:45-17:05			
15-18	4/24	13:30-17:05			
19-24	4/26	10:45-17:05			
25-26	5/1	08:50-10:30			
27-32	5/3	10:45-17:05			
33-38	5/10	10:45-17:05			
39-40	5/15	08:50-10:30			
41-46	5/17	10:45-17:05			
47-52	5/24	10:45-17:05			
53-54	5/29	08:50-10:30			
55-58	5/29	13:30-17:05			
59-64	5/31	10:45-17:05			
65-70	6/7	10:45-17:05			
71-76	6/14	10:45-17:05			
77-78	6/19	08:50-10:30			
79-80	6/21	10:45-12:25			
81-86	6/28	10:45-17:05			
87-92	7/5	10:45-17:05			

93-94	7/10	08:50-10:30	
95-98	7/10	13:30-17:05	
99-104	7/12	10:45-17:05	
105-110	7/19	10:45-17:05	
111-116	7/26	10:45-17:05	
117-119	9/20	13:30-16:10	
120-122	9/27	13:30-16:10	
123-125	10/4	13:30-16:10	
126-128	10/11	13:30-16:10	
129-131	10/18	13:30-16:10	
132-134	10/25	13:30-16:10	
135-139	10/30	09:45-15:10	
140-142	11/1	13:30-16:10	
143-145	11/8	13:30-16:10	
146-150	11/13	09:45-15:10	
151-153	11/15	13:30-16:10	
154-156	11/22	13:30-16:10	
157-161	11/27	09:45-15:10	
162-164	11/29	13:30-16:10	
165-167	12/6	13:30-16:10	
168-172	12/11	09:45-15:10	
173-178	12/13	08:50-15:10	
179-181	12/20	13:30-16:10	
182-187	1/17	09:45-16:10	
授業方法 研究 プログレスミーティング			

中間報告会発表、卒業研究発表を行う。
成績評価の方法 評価は、抄読会、プログレスミーティング、中間報告会発表、卒業論文、卒業研究発表によって行う。 ・各課題の WebClass 等への提出状況を評価に加味する。 ・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。評価は成績に加味する。 ・研究成果報告会での発表内容により段階的な評価を行う。評価は成績に加味する。 ・卒業研究論文(50 点) ・卒業研究発表会の発表内容に対する教員評価(50 点) ・指導教員からの評価も加味して総合評価とする。
成績評価の基準 ・卒業研究論文と卒業研究発表の合計点数が 60 点以上の者を合格とする。 ・配点は、卒業研究発表会のプレゼンテーションに対する教員評価(50 点)と卒業研究論文の評価(50 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・抄読会、プログレスミーティング、中間報告会、指導教員からの評価、各課題の WebClass 等への提出状況を加味してこの科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。
試験の受験資格 単位認定資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・プログレスミーティングをそれぞれ 1 度ずつ担当すること。 ・中間発表会、卒業研究発表会で発表を行うこと。 ・提示された期限までに卒業論文および抄録を提出すること。 ・卒業研究の出席に関して、学生証のカードタッチだけでなく、研究のはじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。卒業研究Ⅱの時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。
備考 研究実習によるアクティブラーニングを実施している。 卒業研究Ⅲを選択した学生は、研究の継続が可能である。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 口腔デジタルプロセス学分野 教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp 准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp

時間割番号	023568				
科目名	卒業研究Ⅲ			科目ID	DO-E46000-
担当教員					
開講時期	2024 年度後期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
時間数:37 時間 授業形態:実習					
主な講義場所 口腔保健工学専攻講義室, 実習室, 研究室など各指導者の指示する場所で研究を実施。					
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、学会発表することにより、研究への理解と意欲を培う。					
授業の到達目標 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究Ⅰで策定した研究計画に基づき研究を実施できる。 2. EBM の概念と研究者としての倫理観を理解できる。 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。 8. 論文の抄録を英語で表現できる。 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室		
1-3	9/25	09:45-12:25			
4-5	10/7	10:45-12:25			
6-8	10/9	09:45-12:25			
9-11	10/23	09:45-12:25			
12-13	10/28	09:45-11:30			
14-16	11/6	09:45-12:25			
17-19	11/18	09:45-12:25			
20-22	11/20	09:45-12:25			
23-25	12/2	09:45-12:25			
26-28	12/16	09:45-12:25			
29-31	12/18	09:45-12:25			
32-34	1/9	13:30-16:10			
授業方法 研究を実施し、卒業論文の執筆を行う。 学会での発表を実施する。					
成績評価の方法 評価は、卒業論文と学会発表によって行う。 ・卒業研究論文(50 点) ・学会での発表内容に対する教員評価(50 点)					
成績評価の基準 ・卒業研究論文と卒業研究発表の合計点数が 60 点以上の者を合格とする。					

<p>・配点は、卒業研究発表会のプレゼンテーションに対する教員評価(40 点)と卒業研究論文の評価(60 点)とし、合計 100 点満点で換算する。</p> <p>・抄読会、プログレスミーティング、中間報告会、研究成果報告会、指導教員からの評価、各課題の WebClass 等への提出状況を加味してこの科目の評価とする。</p>
<p>準備学習等についての具体的な指示</p> <p>卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。</p> <p>卒業研究Ⅱで実施した研究の継続が可能である。</p>
<p>備考</p> <p>臨床実習Ⅲとの選択制である。卒業研究Ⅱで実施した研究の継続が可能である。</p> <p>担当教員のオフィスアワーおよび連絡先</p> <p>口腔デジタルプロセス学分野</p> <p>教授 金澤 学 m.kanazawa.gerd@tmd.ac.jp</p> <p>准教授 岩城麻衣子 m.iwaki.gerd@tmd.ac.jp</p>

時間割番号	023557A						
科目名	卒業製作			科目ID	DE-465700-Z		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2024 年度通年	対象年次	4	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
各学生が歯科補綴装置に関するテーマを設定し、習得した知識および技術を応用して作品の製作およびプレゼンテーションを行う。							
授業の到達目標							
1.製作上に必要な情報を収集し、整理できる。							
2.症例に応じた設計および補綴デザインを選択できる。							
3.歯科技工に関する基本的知識および製作法を説明できる。							
4.歯科技工の基礎技術を応用し製作する。							
5.対象者に合わせたプレゼンテーションを作成し、発表できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	13:30-15:10	2号館リフレッシュルーム、第2実習室、総合実習室	卒業製作の概要	実習内容説明	上條 真吾	【到達目標】1【学習方法】実習
3-7	9/19	10:45-16:10	2号館リフレッシュルーム、第2実習室、総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	【到達目標】1.2【学習方法】実習
8-10	9/20	09:45-12:25	2号館リフレッシュルーム、第2実習室、総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	【到達目標】1.2【学習方法】実習
11-12	9/25	13:30-15:10	2号館リフレッシュルーム、第2実習室、総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	【到達目標】1.2【学習方法】実習

13-17	9/26	10:45-16:10	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
18-20	9/27	09:45-12:25	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
21-22	10/2	13:30-15:10	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
23-27	10/3	10:45-16:10	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
28-30	10/4	09:45-12:25	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
31-32	10/9	13:30-15:10	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
33-37	10/10	10:45-16:10	2号館J フレッシュ ルーム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
38-40	10/11	09:45-12:25	2号館J	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4

			フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室				【学習方法】実習
41-42	10/16	13:30-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
43-47	10/17	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
48-50	10/18	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
51-52	10/23	13:30-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
53-57	10/24	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
58-60	10/25	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
61-65	10/31	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習

			ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室				
66-68	11/1	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
69-70	11/6	13:30-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
71-75	11/7	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
76-78	11/8	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
79-83	11/14	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
84-86	11/15	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
87-88	11/20	13:30-15:10	2号館リ フレッシュ ユル	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習

			ム, 第2 実習室 総合実習 室				
89-93	11/21	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
94-96	11/22	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
97-10 1	11/28	10:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
102-1 04	11/29	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
105-1 06	12/4	13:30-15:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設 計	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
107-1 12	12/5	09:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-4 【学習方法】実習
113-1 15	12/6	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユル ム, 第2	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-5 【学習方法】実習

			実習室 総合実習 室				
116-1 21	12/12	09:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユルレー ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-5 【学習方法】実習
122-1 27	12/19	09:45-16:10	2号館リ フレッシュ ユルレー ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-5 【学習方法】実習
128-1 30	12/20	09:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルレー ム, 第2 実習室 総合実習 室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	【到達目標】1-5 【学習方法】実習
131-1 32	12/24	10:45-12:25	2号館リ フレッシュ ユルレー ム, 第2 実習室 総合実習 室	発表用スライド作成 作 品提出	発表用スライドの作成 作品の提 出	上條 真吾	【到達目標】1-5 【学習方法】実習
133-1 35	1/10	13:30-16:10	遠隔授業 (同期型)	卒業製作発表会	卒業製作のパワーポイント発表	上條 真吾, 大木 明子	【到達目標】5 【学 習方法】実習

授業方法

実習、作品発表

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

授業内容

実習、作品発表

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクツと発表によって行う。

- ・製作作品 70 点
- ・卒業製作発表会の発表内容に対する教員評価 30 点

で総括的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品および製作発表で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。
- ・出席状況、実習態度を総括的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して製作に臨むこと。
- ・製作計画および製作工程に不十分な点がある場合には、各自入念に準備しておくこと。

試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表をすること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023558				
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ			科目 ID	DE-495800-Z
担当教員					
開講時期	2024 年度4年通年	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法					
それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
評価としては、発展的に学習して自らの課題解決策等について具体的に論述できる場合はBより上とする。					
また、3)の TMU との交流における成績は、参加への積極性や発表時の内容等により総合的に判断して成績をつけるものとする。なお、ポイントは学年をまたいで持ち越しにはなるが、A+の基準としては、プログラムの全部の参加状況が一つの基準となる。					
準備学習等についての具体的な指示					
・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して実習に臨むこと。					
・訪問計画は担当教員と相談し、各自入念に準備しておくこと。					
3)の TMU との交流にあたり、事前に TMU 学生と交流をし、準備を進めることが大切である。					
来日時の交流に備えた事前の交流の仕方は、担当教員から指示がある。					
試験の受験資格					
試験の受験資格					
○単位認定条件					
1)海外研修奨励制度による研修プログラム					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。					
(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(3) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(4) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上)					
2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの)					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。					
(2) 研修特別コースの履修(＊)					
研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める)					
(3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(4) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(5) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上)					
(＊)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加					

をもって、単位申請することができる。

・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。

(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。)

・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。

3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (*) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。 また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。 (*)なお、オンラインの国際交流プログラムを実施する場合においても、大学が開催する海外の教育研究機関とのオンライン交流会参加をもって、単位申請することができる。 ・オンライン交流プログラムポイントの総計が 15 以上あること。(各交流プログラム担当者により付与ポイントを設定していただき、国際交流委員会の承認後、募集に際して学生にポイント数を明示する。学年持越し可とする。) ・オンライン交流プログラム(交流会)の単位認定条件は2)(2)(3)以外のすべての条件を満たすこと。 3)台北医学大学(TMU)との交流で必修科目ではない、任意参加のプログラムにすべて参加した場合は、15 ポイントを付与し、エクスターンシップの単位申請ができる。単位認定は、教育委員会および教授会の承認を得る。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

毎週火曜日 17 時～18 時

これ以外は

メールにて面談の日程を調整すること

青木和広 kazuhiko_aoki.bhoe@tmd.ac.jp

それぞれの担当教員への質問は WebClass 科目の掲示板を使うこと。

非同期授業は、動画視聴後に多肢選択式問題をそれぞれの期限までに行うこと。

国際交流なので、AL(グループディスカッション)を行う。

学生自身で単位申請を行うこと。

時間割番号	023569				
科目名	口腔保健工学企業研修			科目ID	DE-495801-Z
担当教員					
開講時期	2024 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
企業の主催するインターンシップに参加し、企業における口腔保健工学の社会実装に関する学習を実施する。					
主な講義場所 インターンシップ実施企業					
授業の目的、概要等 企業の主催するインターンシップに参加し、企業における口腔保健工学の社会実装に関する学習を実施する。					
授業の到達目標 企業における口腔保健工学の社会実装を説明できる。					
授業方法 インターンシップ主催企業が実施方法に従うこと。					
授業内容 1. 事前の届出を行い、科目責任者が認めた企業主催インターンシップを本科目の対象とする。 2. 研修内容は口腔保健工学に関連したものを本科目の対象とする。 3. 30 時間以上の研修があるものを本科目の対象とする。 3. 研修先では、研修先企業の指示にした以外、すべての研修を実施すること。 4. 研修にかかる交通費・食費・その他の支出については自己負担とする。					
成績評価の方法 事前の届出と事後の報告書により成績を評価する。					
準備学習等についての具体的な指示					
試験の受験資格 定期試験は実施しない。					
モジュールの単位判定 開始前の事前の届出書と終了後の報告書を持って単位を認定する。 なお、研修期間は 30 時間以上確保されていること。					